

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

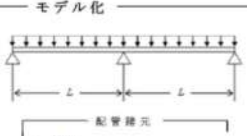
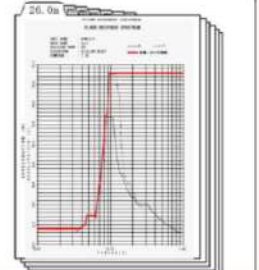
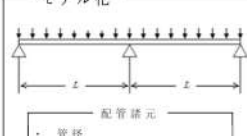
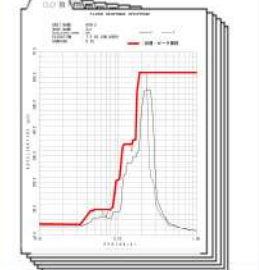
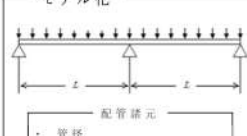
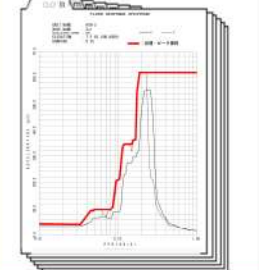
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 設計用地震力</p> <p>解析に使用する設計用地震力の種類及び設計用減衰定数は表1のとおりである。また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰定数については、「5. 参考文献」に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認され、高浜3号機の工事計画において標準支持間隔法での適用について認可実績（平成27年8月4日付 原規規発第1508041号）のある区分Ⅲの値（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）を適用する。</p> <p>なお、区分Ⅲの減衰定数の適用にあたっては、評価対象配管が、解析ブロック端※から解析ブロック端までの間に、水平配管の自重を架構で受けるUボルト支持具を4個以上有することを確認する。</p> <p>※ 6軸拘束のアンカ（機器管台との接続、建屋貫通部、アンカサポート等）またはx, y, zの各方向をそれぞれ2回ずつ拘束するサポート群（アンカ点とみなす）をいう。</p> <p>また、減衰定数の設定において、保温材の効果は考慮する。</p>	<div data-bbox="696 181 1272 877" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <pre> graph TD Start([評価開始]) --> Step1[【手順1】 配管評価用加速度 a Ssの設定] Step1 --> Step2[【手順2】 一次+二次応力の許容値 Ss 算出] Step2 --> Step3[【手順3】 一次応力の許容値 S の算出] Step3 --> Step4[【手順4】 許容スパン LSs 算出] Support[配管の支持スパン L] --> Step4 Step4 --> Decision{【手順5】 評価 L < LSs} Decision -- No --> Step7[詳細検討] Decision -- Yes --> Step8[検討終了] Step7 --> Step8 </pre> </div> <p>図3 定ピッチスパン法による配管評価フロー</p>	<p>3. 設計用地震力</p> <p>解析に使用する設計用地震力の種類及び設計用減衰定数は表1のとおりである。また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰定数については、「5. 参考文献」に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認され、標準支持間隔法での適用について工事計画認可実績のある区分Ⅲの値（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）を適用する。</p> <p>なお、区分Ⅲの減衰定数の適用にあたっては、評価対象配管が、解析ブロック端※から解析ブロック端までの間に、水平配管の自重を架構で受けるUボルト支持具を4個以上有することを確認する。</p> <p>※ 6軸拘束のアンカ（機器管台との接続、建屋貫通部、アンカサポート等）又はx, y, zの各方向をそれぞれ2回ずつ拘束するサポート群（アンカ点とみなす）をいう。</p> <p>また、減衰定数の設定において、保温材の効果は考慮する。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
表1 設計用地震力の種類						表1 設計用地震力の種類			【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる建屋、 床応答曲線高さ例及び減衰定数の 相違
建屋	床応答曲線高さ例 E.L.+(m)	減衰定数(%) (参考文献参照)				建屋	床応答曲線高さ T.P.(m)	減衰定数 (%)	
原子炉周辺建屋 (E/B)	17.1、26.0、 33.6、42.4、 42.6、47.3、55.8	0.5、1.5、 2.0、3.0				周辺補機棟 (RE/B)	17.8、24.8、33.1	0.5、1.5、2.0、3.0	
制御建屋 (C/B)	11.5、15.8、 21.3、26.1、33.6	0.5、1.5、 2.0、3.0				燃料取扱棟 (FH/B)	41.0、47.6、55.0	0.5、1.5、2.0、3.0	
廃棄物処理建屋 (W/B)	17.5、26.0、 33.6、42.6、47.0	0.5、1.5、 2.0、3.0				原子炉補助建屋 (A/B)	10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、 40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、1.5、2.0、3.0	
						ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	10.3、18.8	0.5、1.5、2.0、3.0	
						外部送へい建屋 (O/S)	17.0、17.8、24.8、33.1、41.0、 47.6、51.9、56.2、60.5、69.15、 76.48、81.38、83.10	0.5、1.5、2.0、3.0	
						循環水ポンプ建屋 (CWP/B)	10.05	0.5、1.5、2.0、3.0	
4. 具体的な評価手順 一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を図2に示す。						4. 具体的な評価手順 一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を図2に示す。			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料30）

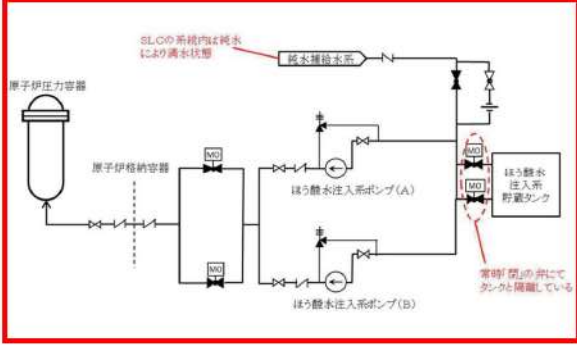
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<p>モデル化</p>  <p>設計用応答曲線</p> <table border="1" data-bbox="392 183 672 319"> <tr><td>入力地震動</td><td>S₀[※]</td></tr> <tr><td>減衰</td><td>JEAG等の値</td></tr> <tr><td>床応答曲線高さ</td><td>耐震設計と同じ</td></tr> <tr><td>床応答曲線谷埋め</td><td>有</td></tr> <tr><td>床応答曲線ヒール保持</td><td>有</td></tr> <tr><td>NS-TR包絡</td><td>有</td></tr> </table> <p>※スペクトル波と断層波の床応答曲線を包絡</p>  <p>INPUT</p> <p>標準支持間隔算出プログラム 解析コード「SPAN」</p> <p>評価基準値限 0.95u (JEAG4601)</p> <p>OUTPUT</p> <table border="1" data-bbox="123 718 380 909"> <tr><th colspan="2">炭素鋼、減衰○%</th></tr> <tr><th>高さ</th><th>EL. Om</th><th>EL. Om</th><th>EL. Om</th></tr> <tr><th>仕様</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th></tr> <tr><td>OB Sch○</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td></tr> <tr><td>...</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>施工図</p> <p>比較</p>	入力地震動	S ₀ [※]	減衰	JEAG等の値	床応答曲線高さ	耐震設計と同じ	床応答曲線谷埋め	有	床応答曲線ヒール保持	有	NS-TR包絡	有	炭素鋼、減衰○%		高さ	EL. Om	EL. Om	EL. Om	仕様	○, Om	○, Om	○, Om	OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)	...				<p>モデル化</p>  <p>設計用応答曲線</p> <table border="1" data-bbox="1556 183 1836 319"> <tr><td>入力地震動</td><td>基準地震動</td></tr> <tr><td>減衰</td><td>JEAG等の値</td></tr> <tr><td>床応答曲線高さ</td><td>耐震設計と同じ</td></tr> <tr><td>床応答曲線谷埋め</td><td>有</td></tr> <tr><td>床応答曲線ヒール保持</td><td>有</td></tr> <tr><td>NS-TR包絡</td><td>有</td></tr> </table> <p>※スペクトル波と断層波の床応答曲線を包絡</p>  <p>INPUT</p> <p>標準支持間隔算出プログラム 解析コード「SPAN」</p> <p>評価基準値限 0.95u (JEAG4601)</p> <p>OUTPUT</p> <table border="1" data-bbox="1288 718 1545 909"> <tr><th colspan="2">炭素鋼、減衰○%</th></tr> <tr><th>高さ</th><th>T.P. Om</th><th>T.P. Om</th><th>T.P. Om</th></tr> <tr><th>仕様</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th></tr> <tr><td>OB Sch○</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td></tr> <tr><td>...</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>施工図</p> <p>比較</p>	入力地震動	基準地震動	減衰	JEAG等の値	床応答曲線高さ	耐震設計と同じ	床応答曲線谷埋め	有	床応答曲線ヒール保持	有	NS-TR包絡	有	炭素鋼、減衰○%		高さ	T.P. Om	T.P. Om	T.P. Om	仕様	○, Om	○, Om	○, Om	OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)	...				<p>モデル化</p>  <p>設計用応答曲線</p> <table border="1" data-bbox="1556 183 1836 319"> <tr><td>入力地震動</td><td>基準地震動</td></tr> <tr><td>減衰</td><td>JEAG等の値</td></tr> <tr><td>床応答曲線高さ</td><td>耐震設計と同じ</td></tr> <tr><td>床応答曲線谷埋め</td><td>有</td></tr> <tr><td>床応答曲線ヒール保持</td><td>有</td></tr> <tr><td>NS-TR包絡</td><td>有</td></tr> </table> <p>※スペクトル波と断層波の床応答曲線を包絡</p>  <p>INPUT</p> <p>標準支持間隔算出プログラム 解析コード「SPAN」</p> <p>評価基準値限 0.95u (JEAG4601)</p> <p>OUTPUT</p> <table border="1" data-bbox="1288 718 1545 909"> <tr><th colspan="2">炭素鋼、減衰○%</th></tr> <tr><th>高さ</th><th>T.P. Om</th><th>T.P. Om</th><th>T.P. Om</th></tr> <tr><th>仕様</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th><th>○, Om</th></tr> <tr><td>OB Sch○</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td><td>(○MPa)</td></tr> <tr><td>...</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>施工図</p> <p>比較</p>	入力地震動	基準地震動	減衰	JEAG等の値	床応答曲線高さ	耐震設計と同じ	床応答曲線谷埋め	有	床応答曲線ヒール保持	有	NS-TR包絡	有	炭素鋼、減衰○%		高さ	T.P. Om	T.P. Om	T.P. Om	仕様	○, Om	○, Om	○, Om	OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)	...				<p>【大飯】 記載表現の相違</p>
入力地震動	S ₀ [※]																																																																																												
減衰	JEAG等の値																																																																																												
床応答曲線高さ	耐震設計と同じ																																																																																												
床応答曲線谷埋め	有																																																																																												
床応答曲線ヒール保持	有																																																																																												
NS-TR包絡	有																																																																																												
炭素鋼、減衰○%																																																																																													
高さ	EL. Om	EL. Om	EL. Om																																																																																										
仕様	○, Om	○, Om	○, Om																																																																																										
OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)																																																																																										
...																																																																																													
入力地震動	基準地震動																																																																																												
減衰	JEAG等の値																																																																																												
床応答曲線高さ	耐震設計と同じ																																																																																												
床応答曲線谷埋め	有																																																																																												
床応答曲線ヒール保持	有																																																																																												
NS-TR包絡	有																																																																																												
炭素鋼、減衰○%																																																																																													
高さ	T.P. Om	T.P. Om	T.P. Om																																																																																										
仕様	○, Om	○, Om	○, Om																																																																																										
OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)																																																																																										
...																																																																																													
入力地震動	基準地震動																																																																																												
減衰	JEAG等の値																																																																																												
床応答曲線高さ	耐震設計と同じ																																																																																												
床応答曲線谷埋め	有																																																																																												
床応答曲線ヒール保持	有																																																																																												
NS-TR包絡	有																																																																																												
炭素鋼、減衰○%																																																																																													
高さ	T.P. Om	T.P. Om	T.P. Om																																																																																										
仕様	○, Om	○, Om	○, Om																																																																																										
OB Sch○	(○MPa)	(○MPa)	(○MPa)																																																																																										
...																																																																																													
<p>図2 標準支持間隔法を用いた評価手順の例</p> <p>5. 参考文献 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」 http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf</p>		<p>図2 標準支持間隔法を用いた評価手順の例</p> <p>5. 参考文献 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p>																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>1-2 ほう酸水に対するケーブルの耐性について</p> <p>【大阪3/4号炉】まとめ資料 補足資料 2-9-別1 補-565 より抜粋</p> <p>内部溢水影響評価において運転員のアクセス性の評価ケースの抽出条件は、漏えい箇所の確認を要することと隔離操作を要することであり、抽出した1ケースの評価結果を表2に示す。</p> <p>現場確認が必要な設備へのアクセスルートにあつては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。別紙1に評価結果の詳細を示す。</p> <p>表2 内部溢水影響評価における運転員のアクセス性の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="174 671 607 879"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定破損(原子炉周辺建屋)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>化学体積制御系</td> </tr> <tr> <td>検知方法</td> <td>サンプ検知</td> </tr> <tr> <td>現場へ行く理由</td> <td>漏えい箇所の確認</td> </tr> <tr> <td>操作箇所</td> <td>中央制御室(遠隔操作)</td> </tr> <tr> <td>アクセスルートの溢水水位</td> <td>0.077m(原子炉周辺建屋E.L.+10.0m)</td> </tr> <tr> <td>水温(気温)</td> <td>~46℃</td> </tr> <tr> <td>薬品(酸性)</td> <td>現場確認時に薬品は漏えいしない。</td> </tr> <tr> <td>被ばく線量^{※1}</td> <td>約2.2 mSv</td> </tr> <tr> <td>汚染物対策</td> <td>実施済み^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 別紙2に根づく線量の考え方を示す。 ※2 別紙3に固縛対策事例を示す。</p>		想定破損(原子炉周辺建屋)	対象	化学体積制御系	検知方法	サンプ検知	現場へ行く理由	漏えい箇所の確認	操作箇所	中央制御室(遠隔操作)	アクセスルートの溢水水位	0.077m(原子炉周辺建屋E.L.+10.0m)	水温(気温)	~46℃	薬品(酸性)	現場確認時に薬品は漏えいしない。	被ばく線量 ^{※1}	約2.2 mSv	汚染物対策	実施済み ^{※2}	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>補足説明資料30</p> <p>ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について</p> <p>溢水影響評価の中で、防護対象機器及びアクセス性に影響を与える可能性がある薬品として、抽出された薬品の影響について下記に示す。</p> <p>1. ほう酸水（五ほう酸ナトリウム溶液）の漏えいによる影響</p> <p>ほう酸水注入系からの溢水は以下のように設定しており、ほう酸水漏えいによる防護対象設備及びアクセス性への影響はない。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>補足説明資料31</p> <p>ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について</p> <p>溢水影響評価の中で、防護対象機器及びアクセス性に影響を与える可能性がある薬品として、抽出された薬品の影響について下記に示す。</p> <p>1. ほう酸水の漏えいによる影響</p> <p>想定破損による溢水においては、化学体積制御系からほう酸水の漏えいを想定しており、以下の理由によりほう酸水漏えいによる防護対象設備及びアクセス性への影響はない。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大阪では運転員のアクセス性の評価の中で、想定破損による化学体積制御系からの漏えいを想定し、運転員によるアクセスが可能であることを確認しており、記載箇所は異なるものの考え方に相違はない。 <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違 ・FWRは化学体積制御系にほう酸水を内包しており、想定破損による溢水でほう酸水の漏えいを想定することから、ほう酸水の漏えいを前提として防護対象設備及びアクセス性への影響を確認している。(大阪と同様)
	想定破損(原子炉周辺建屋)																						
対象	化学体積制御系																						
検知方法	サンプ検知																						
現場へ行く理由	漏えい箇所の確認																						
操作箇所	中央制御室(遠隔操作)																						
アクセスルートの溢水水位	0.077m(原子炉周辺建屋E.L.+10.0m)																						
水温(気温)	~46℃																						
薬品(酸性)	現場確認時に薬品は漏えいしない。																						
被ばく線量 ^{※1}	約2.2 mSv																						
汚染物対策	実施済み ^{※2}																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料31）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>安全機能を有するケーブルは基本的に電線管（フレキシブルチューブ含む。）内に布設されているが、ケーブル自体の没水が想定される場合でもほう酸水等の薬品に対して耐性があることから、設備が機能喪失することはない。なお、ケーブルについては、端子部の没水により設備が機能喪失することから、設備の機能喪失高さにおいて、ケーブルの端子部の高さを考慮している。各ケーブルに対するほう酸水の耐性を表1に示す。</p>	<p>ほう酸水注入系の系統概略について図1に示す。</p> <p>(1) ほう酸水注入系からの溢水量算出に当たっては、待機状態を想定している。（常時「閉」の弁にてほう酸水注入系貯蔵タンクとは隔離されている）</p> <p>(2) ほう酸水注入系は待機状態において純水により封水されていることから、純水の漏えいを想定している。</p> <p>(3) ほう酸水注入系貯蔵タンクは、最高使用圧力が静水頭であるため、破損を想定する必要はない。（想定破損は除外）</p> <p>(4) ほう酸水注入系は耐震Sクラスであるため、地震時溢水は考慮不要である。</p> <p>(5) 万一、ほう酸水注入系貯蔵タンクが破損した場合においても、タンク容量を貯留可能な堰が設置されていること、また、当該区画には床ドレン系が設置されていないことから、他区画にほう酸水が拡散することはない。</p> <p>(6) なお、ほう酸水注入系の系統保有水量には、保守的にほう酸水注入系貯蔵タンクの容量（20.2m³）を含めて算出している。</p>	<p>(1) 安全機能を有するケーブルは基本的に電線管（フレキシブルチューブ含む）内に布設されているが、ケーブル自体の没水が想定される場合でもほう酸水等の薬品に対して耐性があることから、機器が機能喪失することはない。なお、ケーブルについては、端子部の没水により機器が機能喪失することから、機器の機能喪失高さにおいて、ケーブルの端子部の高さを考慮している。各ケーブルに対するほう酸水の耐性を表1に示す。</p> <p>(2) 化学体積制御系は中央制御室からの遠隔操作により隔離するため、漏えい停止操作のための現場へのアクセスは不要である。</p> <p>(3) 化学体積制御系は基準地震動に対する耐震性を確保しているため、地震時溢水は考慮不要である。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、ほう酸水注入系の系統構成によりほう酸水が系外へ漏えいしないことを図1の系統概略を記載し説明しており、泊は想定破損による溢水評価で化学体積制御系からのほう酸水の漏えいを想定しているため、ほう酸水による防護対象設備への影響確認として、樹脂等で構成されるケーブルのほう酸水に対する耐性を確認している。（大飯と同様） 化学体積制御系は想定破損による溢水はシステム検知にて検知し、中央制御室からの遠隔操作により漏えい停止作業を行うことから、現場へアクセスする必要はない。（伊方と同様） 炉型の相違 <p><u>記載表現の相違</u></p>										
<p>【伊方】まとめ資料 添付資料5</p> <p>9条-別添1-添5-4より抜粋</p> <p>添付資料5 想定破損による溢水量について</p> <p>表-1 漏えい停止までの溢水量（1/8）</p> <table border="1" data-bbox="129 683 667 893"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>想定範囲</th> <th>①異常の発生</th> <th>②事業の待機及び漏えい箇所の特長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">化学体積制御系</td> <td>1 抽出ライン ① 再生生体器上流 ② 貫通管(TE) ③ 貫通管～隔離弁(一般) ④ 隔離弁～再生生体器(一般) ⑤ 再生生体器出口(TE)</td> <td>① システム異常 配管破損によりVCT(18.3m³)の保有水の漏れしVCT水位が低下する。VCT過剰水位(494)から原子炉補給開始水位(385)まで水位が低下し原子炉補給開始のコウソウ管が露出する。 ② ①45～385)×0.977m³/s×40.9m²/s×60分 =2.5立</td> <td>中央制御室でのアラーム発生 ①アラーム発生 ②アラーム発生により、抽出ラインからの漏えいと判断。 ③立止。</td> </tr> <tr> <td>2 抽出ライン ① 再生生体器下流 ② 再生生体器出口(TE) ③ 再生生体器出口～長巻線管(一般)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	系統	想定範囲	①異常の発生	②事業の待機及び漏えい箇所の特長	化学体積制御系	1 抽出ライン ① 再生生体器上流 ② 貫通管(TE) ③ 貫通管～隔離弁(一般) ④ 隔離弁～再生生体器(一般) ⑤ 再生生体器出口(TE)	① システム異常 配管破損によりVCT(18.3m ³)の保有水の漏れしVCT水位が低下する。VCT過剰水位(494)から原子炉補給開始水位(385)まで水位が低下し原子炉補給開始のコウソウ管が露出する。 ② ①45～385)×0.977m ³ /s×40.9m ² /s×60分 =2.5立	中央制御室でのアラーム発生 ①アラーム発生 ②アラーム発生により、抽出ラインからの漏えいと判断。 ③立止。	2 抽出ライン ① 再生生体器下流 ② 再生生体器出口(TE) ③ 再生生体器出口～長巻線管(一般)			 <p>図1は、ほう酸水注入系の系統概略図を示している。原子炉伊格納容器から原子炉格納容器へ向かう配管があり、そこからほう酸水注入系ポンプ(A)とほう酸水注入系ポンプ(B)へと分岐する。ポンプ(A)はほう酸水注入系貯蔵タンクに接続されている。また、SLCの系統内は純水により封水状態にあることが示されている。常時「閉」の弁にてタンクと隔離しているという注釈も含まれている。</p>	<p>【伊方】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>化学体積制御系をシステム検知により検知し、現場へアクセスせず中央制御室からの遠隔操作により漏えい停止操作を行うことに相違はない。</p>
系統	想定範囲	①異常の発生	②事業の待機及び漏えい箇所の特長										
化学体積制御系	1 抽出ライン ① 再生生体器上流 ② 貫通管(TE) ③ 貫通管～隔離弁(一般) ④ 隔離弁～再生生体器(一般) ⑤ 再生生体器出口(TE)	① システム異常 配管破損によりVCT(18.3m ³)の保有水の漏れしVCT水位が低下する。VCT過剰水位(494)から原子炉補給開始水位(385)まで水位が低下し原子炉補給開始のコウソウ管が露出する。 ② ①45～385)×0.977m ³ /s×40.9m ² /s×60分 =2.5立	中央制御室でのアラーム発生 ①アラーム発生 ②アラーム発生により、抽出ラインからの漏えいと判断。 ③立止。										
	2 抽出ライン ① 再生生体器下流 ② 再生生体器出口(TE) ③ 再生生体器出口～長巻線管(一般)												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉				
表1 ほう酸水に対する耐性一覧 (1/2)				
種別	絶縁体名	シース名	ほう酸水に対する耐性	備考
高压電力ケーブル	架橋ポリエチレン ^{※1}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	※1 文献「プラスチックによる防食技術」により確認
低压電力ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃クロソルホン化ポリエチレン ^{※2}	○	※2 文献「非金属材料データブック」により確認
	難燃EPゴム ^{※2}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	※3 文献「ふっ素樹脂ハンドブック」により確認
制御ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃クロソルホン化ポリエチレン ^{※2}	○	ケーブル断面図 (例)
	難燃EPゴム ^{※2}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	
	FEP ^{※4}	FEP ^{※4} TFEP ^{※5}	○	
	FEP ^{※4}	ETFE ^{※6}	○	
制御(光)ケーブル	難燃低塩酸ビニル ^{※1} (内部シース)	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	
表1 ほう酸水に対する耐性一覧 (2/2)				
種別	絶縁体名	シース名	ほう酸水に対する耐性	備考
計装ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃クロソルホン化ポリエチレン ^{※2}	○	
	難燃EPゴム ^{※2}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	
核計装ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	
	架橋ポリエチレン ^{※1}	ETFE ^{※6}	○	
FEP：四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合樹脂 TFEP：四フッ化エチレン・プロピレン共重合樹脂 ETFE：四フッ化エチレン・エチレン共重合樹脂				
【参考】 フレキシブルホース				

女川原子力発電所2号炉				
【伊方】まとめ資料 添付資料15				
9条-別添1-添15-58より抜粋				
添付資料15 没水の影響に対する防護対策および評価結果について (別紙8)				
表1 ほう酸水に対する耐性一覧				
種別	絶縁体名	シース名	ほう酸水に対する耐性	備考
高压電力ケーブル	架橋ポリエチレン	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル	○ ^{※1}	※1 文献「プラスチックによる防食技術」により確認
低压電力ケーブル	難燃EPゴム	難燃クロソルホン化ポリエチレン	○ ^{※2}	※2 文献「非金属材料データブック」により確認
	難燃EPゴム	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル	○ ^{※3}	※3 文献「ふっ素樹脂ハンドブック」により確認
制御ケーブル	難燃EPゴム	難燃クロソルホン化ポリエチレン	○ ^{※2}	ケーブル断面図 (例)
	難燃EPゴム	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル	○ ^{※3}	
	特殊耐熱ビニル	特殊耐熱ビニル	○ ^{※4}	
	FEP ^{※4}	FEP ^{※4}	○ ^{※5}	
制御(光)ケーブル	難燃低塩酸ビニル (内部シース)	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル	○ ^{※1}	
	難燃EPゴム	難燃クロソルホン化ポリエチレン	○ ^{※2}	
計装用ケーブル	特殊耐熱ビニル	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル	○ ^{※4}	
核計装用ケーブル	架橋ポリエチレン	ETFE ^{※6}	○ ^{※5}	
	架橋ポリエチレン	難燃架橋ポリエチレン	○ ^{※1}	
※4 FEP：四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合樹脂 ※5 ETFE：四フッ化エチレン・エチレン共重合樹脂 ※6 ETFE：四フッ化エチレン				

泊発電所3号炉				
表1 ほう酸水に対する耐性一覧				
種別	絶縁体名	シース名	ほう酸水に対する耐性	備考
高压電力ケーブル	架橋ポリエチレン ^{※1}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	※1 文献「プラスチックによる防食技術」により確認
低压電力ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃クロソルホン化ポリエチレン ^{※2}	○	※2 文献「非金属材料データブック」により確認
	難燃EPゴム ^{※2}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	※3 文献「ふっ素樹脂ハンドブック」により確認
制御ケーブル	特殊耐熱ビニル ^{※4}	難燃低塩酸特殊耐熱ビニル ^{※1}	○	文献「ふっ素樹脂ハンドブック」により確認
	FEP ^{※5}	TFEP ^{※5}	○	
制御(光)ケーブル	ビニル ^{※1} (内部シース)	難燃低塩酸ビニル ^{※1}	○	
計装ケーブル	難燃EPゴム ^{※2}	難燃クロソルホン化ポリエチレン ^{※2}	○	ケーブル断面図
核計装用ケーブル	架橋ポリエチレン ^{※1}	難燃低塩酸ビニル ^{※1}	○	
架橋ポリエチレン ^{※1}	架橋ポリエチレン ^{※1}	ETFE ^{※6}	○	
	架橋ポリエチレン ^{※1}	ETFE ^{※6}	○	
FEP：四フッ化エチレン・六フッ化プロピレン共重合樹脂 TFEP：四フッ化エチレン・プロピレン共重合樹脂 ETFE：四フッ化エチレン・エチレン共重合樹脂				
【女川】 設計方針の相違 女川は、ほう酸水注入系の系統構成によりほう酸水が系外へ漏えいしないことを図1の系統概略を記載し説明しており、泊は想定破損による溢水評価で化学体積制御系からのほう酸水の漏えいを想定しているため、ほう酸水による防護対象設備への影響確認として、樹脂等で構成されるケーブルのほう酸水に対する耐性を確認している。(大阪と同様)				
【大阪】 設計方針の相違 泊は計装ケーブルの絶縁体にビニルを採用している。(伊方と同様)				
【参考】 フレキシブルチューブ				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p>【島根2号炉】補足説明資料6 （抜粋）9条-別添1補足6-44 別紙2 薬品の溢水による溢水防護対象設備への影響評価について</p> <p>2. 分析用の薬品による影響</p> <p>分析用の薬品は、主に図2.3に示す溢水防護区画外の放射化学分析室（廃棄物処理建物）及び一般化学分析室（制御室建物）に、専用の容器で保管している。保有量は少量であるため、薬品の保管容器が破損した場合でも室外へ流出する可能性は小さい。また、仮に分析用の薬品が室外に流出した場合でも、建物内の他の溢水防護区画とは壁により区画化されており、当該階より下階には溢水防護対象設備はないため、評価に影響を及ぼすおそれはない。</p>	<p>2. 化学薬品漏えいによる影響</p> <p>(1) 分析用の薬品による影響</p> <p>女川2号炉に化学分析室はなく、分析用の薬品による影響はない。</p> <p>(2) その他化学薬品による影響</p> <p>a. 屋内</p> <p>溢水源の中で、薬品等を含むことで化学的な特性を持ち、防護対象設備に影響を与える可能性のあるものとして、ほう酸水の他に防食剤がある。</p>	<p>2. 化学薬品漏えいによる影響</p> <p>(1) 分析用の薬品による影響</p> <p>分析用の薬品は、溢水防護区画外の放射化学室（原子炉補助建屋）及び現場化学分析室（タービン建屋）に、専用の容器で保管している。保有量は少量であるため、薬品の保管容器が破損した場合でも室外へ流出する可能性は小さい。また、仮に分析用の薬品が室外に流出した場合でも、建物内の他の溢水防護区画とは壁により区画化されており、分析室近くの階段室及び機器ハッチ周辺にはスロープが設置されていることから、下階の防護対象設備に影響を及ぼすおそれはない。</p> <p>(2) その他化学薬品による影響</p> <p>溢水源の中で、特定化学物質、毒物及び劇物等を取り扱っている設備は表2のとおりである。なお、屋外には薬品タンクは設置されていない。</p> <p style="text-align: center;">表2 薬品タンク類溢水源リスト</p> <table border="1" data-bbox="1285 1059 1848 1394"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>添加薬品</th> <th>容量（濃度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 24.8n</td> <td>洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td> <td>リン酸水素二ナトリウム</td> <td>0.5m³</td> </tr> <tr> <td>T.P. 24.8n</td> <td>廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク</td> <td>水酸化ナトリウム</td> <td>0.5m³*1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17.8n</td> <td>1次系薬品タンク</td> <td>水酸化ナトリウム 水加ヒドラジジ 過酸化水素</td> <td>0.1m³*1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17.8n</td> <td>セメント固化装置（中和剤計量管）</td> <td>水酸化ナトリウム</td> <td>0.1m³*1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10.3n</td> <td>亜鉛注入装置</td> <td>酢酸亜鉛</td> <td>0.2m³</td> </tr> <tr> <td>T.P. 5.8n</td> <td>酸液ドレンタンク中性ソーダ計量タンク</td> <td>水酸化ナトリウム</td> <td>0.1m³*1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T.P. 2.3n</td> <td>薬液混合タンク</td> <td>水加ヒドラジジ</td> <td>0.5m³*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 添加薬品を常時保管するものではなく、薬品添加時以外はタンク内が空の状態である。 *2 添加薬品を常時保管するものではなく、薬品添加時以外はタンク内が系純水（空調用冷水）にて満たされている。</p>	設置建屋	フロア	溢水源	添加薬品	容量（濃度）	原子炉補助建屋	T.P. 24.8n	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	リン酸水素二ナトリウム	0.5m ³	T.P. 24.8n	廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	水酸化ナトリウム	0.5m ³ *1	T.P. 17.8n	1次系薬品タンク	水酸化ナトリウム 水加ヒドラジジ 過酸化水素	0.1m ³ *1	T.P. 17.8n	セメント固化装置（中和剤計量管）	水酸化ナトリウム	0.1m ³ *1	T.P. 10.3n	亜鉛注入装置	酢酸亜鉛	0.2m ³	T.P. 5.8n	酸液ドレンタンク中性ソーダ計量タンク	水酸化ナトリウム	0.1m ³ *1	原子炉建屋	T.P. 2.3n	薬液混合タンク	水加ヒドラジジ	0.5m ³ *2	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は原子炉補助建屋及びタービン建屋に薬品を保有する分析室があることから、分析用薬品の影響について確認している。（島根と同様）</p> <p>【島根】 記載表現の相違 設備名称の相違 記載方針の相違 建屋配置の違いによって防護対象設備への影響評価が異なるものの、評価結果に相違はない。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は後述のとおり屋外には薬品タンクが無いいため、屋内と屋外に分けた記載はしていない。 ・泊は薬品タンクが複数あることから、表2に一覧として記載している。</p>
設置建屋	フロア	溢水源	添加薬品	容量（濃度）																																		
原子炉補助建屋	T.P. 24.8n	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	リン酸水素二ナトリウム	0.5m ³																																		
	T.P. 24.8n	廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	水酸化ナトリウム	0.5m ³ *1																																		
	T.P. 17.8n	1次系薬品タンク	水酸化ナトリウム 水加ヒドラジジ 過酸化水素	0.1m ³ *1																																		
	T.P. 17.8n	セメント固化装置（中和剤計量管）	水酸化ナトリウム	0.1m ³ *1																																		
	T.P. 10.3n	亜鉛注入装置	酢酸亜鉛	0.2m ³																																		
	T.P. 5.8n	酸液ドレンタンク中性ソーダ計量タンク	水酸化ナトリウム	0.1m ³ *1																																		
原子炉建屋	T.P. 2.3n	薬液混合タンク	水加ヒドラジジ	0.5m ³ *2																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【美浜3号炉】補足資料</p> <p>15 運転員のアクセス性（水位、温度、放射線、薬品及び漂流物） 別紙9 1-9-補-491より抜粋</p> <p>薬品タンクからの漏えいによる化学反応の有無について</p> <p>表1に地震時の溢水源として考慮している以下の薬品タンクについて、設置場所と内包する薬品を調査した結果を示す。破損を想定する補助建屋内の薬品を取扱う装置および薬品タンクの溢水量はわずかであること、また、溢水時の防護具（アノラック、ゴム手袋、全面マスク、長靴もしくは胴長靴）着用によりアクセス性への影響はない。また、破損を想定する屋外タンク約1,560m³のうち薬品タンクの溢水量はわずかであることからアクセス性への影響はない。</p>	<p>防食剤については、原子炉補機冷却系のような閉ループとなっている系統に注入されているが、濃度は十分に低いことから、防護対象設備及びアクセス性への影響はない。また、防護具を配備し、必要に応じ活用する。</p> <p>なお、中和装置には苛性ソーダ及び硫酸が存在するが、いずれも原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）に設置されており、防護対象設備が設置されていないことから、これらが影響を及ぼすことはない。</p> <p>また、現在想定している溢水源中の薬品の他に、個別の容器等の形で保管されている薬品が存在するが、アクセスルートに影響のある場所に保管されておらず、またプラスチック容器に保管されており、万が一、漏えいが発生した場合においても、ごく少量であることからアクセス性への影響はない。</p> <p>b. 屋外</p> <p>屋外薬品タンクから漏えいした場合でも、以下の理由により防護対象設備及びアクセス性への影響はない。女川原子力発電所にある屋外タンクのうち、評価が必要な薬品タンクを表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 屋外薬品タンク</p> <table border="1" data-bbox="696 858 1272 1093"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>設置高さ(m)</th> <th>容量(m³)</th> <th>評価に用いる容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1号復水浄化系復水脱塩装置硫酸貯槽</td> <td>1</td> <td>O.P. +16.1</td> <td>5.4</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>1号復水浄化系復水脱塩装置苛性ソーダ貯槽</td> <td>1</td> <td>O.P. +16.2</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>硫酸貯槽</td> <td>1</td> <td>O.P. +17.3</td> <td>3.9</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>苛性ソーダ貯槽</td> <td>1</td> <td>O.P. +15.7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H塔再生用硫酸貯留槽</td> <td>1</td> <td>O.P. +16.8</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(a) 屋外薬品タンクから溢水した場合、大部分は防液堤内に流下する。</p> <p>(b) 仮に防液堤外に漏えいした場合でも、給排水処理建屋等の外周の側溝に流入する。</p> <p>(c) 地震起因により屋外薬品タンクが転倒（損傷）した場合でも、屋外タンク溢水量の総量（17,540m³）に対して、薬品タンクの容量（36.6m³）はわずかであり濃度は十分に低いことから、防護対象設備及びアクセス性への影響はない。また、防護対象設備が設置されている建屋・エリアとは隔離されているため、影響はない。</p> <p>(d) 防護具を配備し、必要に応じ活用する。</p>	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	1号復水浄化系復水脱塩装置硫酸貯槽	1	O.P. +16.1	5.4	5.4	1号復水浄化系復水脱塩装置苛性ソーダ貯槽	1	O.P. +16.2	20	20	硫酸貯槽	1	O.P. +17.3	3.9	3.9	苛性ソーダ貯槽	1	O.P. +15.7	7	7	H塔再生用硫酸貯留槽	1	O.P. +16.8	0.3	0.3	<p>薬品タンクから漏えいした場合でも、薬品タンクの容量はわずかであり濃度は十分に低いことから、防護対象設備及びアクセス性への影響はない。また、防護具を配備し、必要に応じ活用する。</p> <p>なお、タービン建屋にも薬品タンクが存在するが、防護対象設備が設置されていないことから、これらが影響を及ぼすことはない。</p> <p>また、現在想定している溢水源中の薬品の他に、個別の容器等の形で保管されている薬品が存在するが、アクセスルートに影響のある場所に保管されておらず、またプラスチック容器に保管されており、万が一、漏えいが発生した場合においても、ごく少量であることからアクセス性への影響はない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 女川は防食剤の注入先が閉ループであることを記載しているが、泊は薬品タンクの容量が小さいため、漏えいした場合でも防護対象設備及びアクセス性に影響がないことを記載している。（美浜、高浜1/2/3/4と同様）</p> <p>記載表現の相違 建屋名称及び設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は屋外に溢水源となる薬品タンクは設置していない。（柏崎6,7、伊方と同様）</p>
タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)																													
1号復水浄化系復水脱塩装置硫酸貯槽	1	O.P. +16.1	5.4	5.4																													
1号復水浄化系復水脱塩装置苛性ソーダ貯槽	1	O.P. +16.2	20	20																													
硫酸貯槽	1	O.P. +17.3	3.9	3.9																													
苛性ソーダ貯槽	1	O.P. +15.7	7	7																													
H塔再生用硫酸貯留槽	1	O.P. +16.8	0.3	0.3																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> <p>2. 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価</p> <p>2.1 解析方法</p> <p>使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体をモデル化範囲とし、スロッシングによる溢水量を評価するために、使用済燃料ピットだけでなく、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてに水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警設定値（H.W.L）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれらの溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものとして保守的な評価を行った。使用済燃料ピット周辺の概要を図1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料23</p> <p>使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について</p> <p>1. 溢水評価における保守性</p> <p>女川2号炉の使用済燃料プールスロッシング評価で用いた汎用熱流体解析コード「FLUENT」は、自由表面の大変形を伴う複雑な3次元流体现象を精度良く計算することができるものであり、本解析コードについては、小型の矩形容器を用いた加振試験結果による検証を行った結果、溢水量は試験結果とほぼ一致しており、妥当と判断している。^{※1}</p> <p>また、スロッシング評価における解析モデルは、スロッシング挙動を抑制する方向に働くプールの内部構造物や止水板をモデル化しないこと、解析条件としては、一度プール外に流出した溢水の戻りを考慮しないこととし、評価結果が保守的な評価となるようにしている。</p> <p>更に、溢水影響評価に適用する溢水量の取扱いとして、スロッシング評価結果を10%割増しすることによって、トータル的にも十分に保守性を持たせるように配慮している。スロッシング評価における各項目での保守性を表1に示す。</p> <p>※1 補足説明資料21「スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要」</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料32</p> <p>使用済燃料ピット等のスロッシング評価における保守性について</p> <p>1. 溢水評価における保守性</p> <p>泊発電所3号炉の使用済燃料ピットスロッシング評価で用いた汎用熱流体解析コード「FLOW-3D」は、自由表面の大変形を伴う複雑な3次元流体现象を精度良く計算することができるものであり、本解析コードについては、小型の矩形容器を用いた加振試験結果による検証を行った結果、溢水量は試験結果とほぼ一致しており、妥当と判断している。^{※1}</p> <p>また、スロッシング評価における解析モデルは、スロッシング挙動を抑制する方向に働くピットの内部構造物やフェンスをモデル化しないこと、解析条件としては、燃料取扱棟の使用済燃料ピット、燃料取替キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてに水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれらの溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものとして評価結果が保守的な評価となるようにしている。</p> <p>さらに、溢水影響評価に適用する溢水量の取扱いとして、スロッシング評価結果を10%割増しすることによって、トータル的にも十分に保守性を持たせるように配慮している。スロッシング評価における各項目での保守性を表1に示す。</p> <p>※1 補足説明資料33「スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要」</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた汎用熱流体解析コードであり、同様の検証を行った妥当性を確認している。 ・「FLUENT」は、女川、島根等のBWRで使用しており、「FLOW-3D」は大飯、伊方等のPWRで使用している。 ・泊では、解析条件として、流出した溢水の跳ね返りによる戻りを考慮しているが、燃料取扱棟の使用済燃料ピット、燃料取替キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてに水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれらの溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものとして保守的な評価としている。（大飯と同様）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>6-9 使用済燃料ピットスロッシング解析における水平2方向と鉛直方向の地震力の組合せによる影響確認について</p> <p>1. はじめに</p> <p>使用済燃料ピットのスロッシング解析は、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として評価を実施し、溢水量の大きい方（断層モデルベース等 Ss-10（EW+UD）：29.80m³）を溢水影響評価に採用している。</p> <p>ここでは、水平2方向と鉛直方向の地震力を組合せた場合（EW方向、NS方向及びUD方向）のスロッシングによる溢水量の評価と、それによる影響確認を行った。</p> <p>2. スロッシングによる溢水量</p> <p>水平2方向と鉛直方向の地震力を組合せた場合（EW方向+UD方向及びNS方向+UD方向）で最大となった応答スペクトルベース Ss-1の溢水量は、表1のとおりとなり、溢水量が増加した。（評価対象とする地震波の選定については、別紙のとおり。）</p> <p style="text-align: center;">表1 スロッシングによる溢水量</p> <table border="1" data-bbox="116 1129 680 1233"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>溢水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>断層モデルベース等 Ss-10 EW+UD</td> <td>29.80 (41.12)</td> </tr> <tr> <td>応答スペクトルベース Ss-1 NS+EW+UD</td> <td>31.86 (44.77)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 溢水量の（ ）内の値は、ピーク値を示す。</p>	評価ケース	溢水量[m ³]	断層モデルベース等 Ss-10 EW+UD	29.80 (41.12)	応答スペクトルベース Ss-1 NS+EW+UD	31.86 (44.77)	<p>2. スロッシング評価における地震力の組合せ</p> <p>スロッシング評価における評価用地震動は、使用済燃料プールの固有周期での応答が最も大きい基準地震動 Ss-D1とし、原子炉建屋の水平方向（NS、EW）及び鉛直方向（UD）に対する地震応答解析結果から得られた地震力（加速度時刻歴）をNS+UD方向及びEW+UD方向と組み合わせ、三次元スロッシング解析を2ケース実施し、溢水量の大きいケースを溢水影響評価に適用している。</p> <p>なお、評価用地震動である基準地震動 Ss-D1は、特定の方向性を持たない応答スペクトル手法に基づき策定された地震動であるため、スロッシング評価においては、原子炉建屋の応答軸である水平方向（NS及びEWの1方向）と鉛直方向（UD）の地震力を組み合わせているものであるが、水平2方向と鉛直方向の地震力を組み合わせた場合の溢水影響評価に与える影響について検討を行う。</p> <p>ここで、水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせた場合の溢水量としては、簡便な取扱いとして、EW+UD方向（ケース①：溢水量 37m³）とNS+UD方向（ケース②：溢水量 34m³）の溢水量を足し合せ、保守的に80m³（ケース③）とし、溢水影響評価に与える影響を確認した。</p> <p>なお、本評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p>	<p style="text-align: center;">追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピットのスロッシング評価については、現時点で確定している基準地震動のうち、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量が最大となるSs3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 ・基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量がSs3-2によるスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 <p>2. スロッシング評価における地震力の組合せ</p> <p>スロッシング評価における評価用地震動は、応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動（以下「応答スペクトルベース」という）、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動及び震源を特定せず策定する基準地震動（以下「断層モデルベース等」という）とし、原子炉建屋の水平方向（NS、EW）及び鉛直方向（UD）に対する地震応答解析結果から得られた地震力（加速度時刻歴）を組み合わせ、3次元スロッシング解析を実施し、溢水影響評価に適用している。</p> <p>断層モデルベース等の地震動（Ss3-2等）は、特定の方向性を有する地震動であることから、水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせ、3方向同時入力によりスロッシング解析を実施している。スロッシング評価の結果、溢水量が最大となるのは、Ss3-2の35 m³となる。</p> <p>応答スペクトルベースの地震動（Ss-1）は、特定の方向性を持たない応答スペクトル手法に基づき策定された地震動であるため、簡便な取扱いとして、EW+UD方向（溢水量 9.04 m³）とNS+UD方向（溢水量 13.35 m³）の溢水量を足し合せ、保守的に25 m³とした。</p> <p>以上より、溢水量が最大となるのはSs3-2の35m³となり、これを溢水影響評価に採用する。</p> <p>なお、本評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずにすべての地震動について解析を実施している。 ・評価に用いる地震動は、女川は特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）、泊は特定の方向性を有する断層モデルベース等の地震動（Ss3-2）という相違がある。泊で用いるSs3-2は、EW方向及びNS方向それぞれに観測された地震波があるため、これらと鉛直方向との組合せにより、3方向同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）については、女川と同様の評価手法にて評価を実施しており、Ss3-2による溢水量を超えないことを確認している。 <p>記載方針の相違 上記の設計方針の相違による記載箇所および記載方針の相違。</p>
評価ケース	溢水量[m ³]								
断層モデルベース等 Ss-10 EW+UD	29.80 (41.12)								
応答スペクトルベース Ss-1 NS+EW+UD	31.86 (44.77)								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>3. 影響確認</p> <p>増加した溢水量に対して、溢水影響評価及びピットの機能維持評価それぞれにおいて、以下のとおり影響確認を行った。</p> <p>(1) 溢水影響評価（没水）における影響確認</p> <p>水平2方向と鉛直方向の地震力の組合せた場合において、本文「1.4.3.2 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価」のうち、溢水水位に対して最も裕度が小さい防護対象設備を対象に、表2のとおりその影響を確認した。</p> <p>増加した溢水量による水位上昇は約0.019mとわずかであり、溢水影響評価（没水）に影響がないことを確認した。</p> <p>表2 溢水影響評価（没水）の影響確認結果</p> <table border="1" data-bbox="114 598 689 782"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象設備</th> <th colspan="2">溢水水位[m]</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ[m]</th> <th rowspan="2">影響有無</th> </tr> <tr> <th>水平1方向</th> <th>水平2方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A高压注入ポンプ</td> <td>0.498</td> <td>0.517</td> <td>(対策前) 0.500 (対策後) 0.800^{*1}</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>4A高压注入ポンプ</td> <td>0.516</td> <td>0.535</td> <td>(対策前) 0.500 (対策後) 0.800^{*2}</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※1 3A高压注入ポンプに対し、0.800mの堰の対策を実施する。 ※2 4A高压注入ポンプに対し、0.800mの堰の対策を実施する。</small></p>	防護対象設備	溢水水位[m]		機能喪失高さ[m]	影響有無	水平1方向	水平2方向	3A高压注入ポンプ	0.498	0.517	(対策前) 0.500 (対策後) 0.800 ^{*1}	無	4A高压注入ポンプ	0.516	0.535	(対策前) 0.500 (対策後) 0.800 ^{*2}	無	<p>(1) 没水影響評価</p> <p>影響確認結果として、ケース③の溢水量が原子炉建屋原子炉棟3階燃料取替床に流出した場合、没水影響評価で用いる評価高さは、表2に示すとおりとなり、防護対象設備に与える影響はない。</p> <p>表2 没水影響評価への影響確認結果</p> <table border="1" data-bbox="703 590 1265 782"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>計算値</th> <th>没水影響評価で用いる評価高さ</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース③ (溢水量 80m³)</td> <td>80m³/830.1m² =0.096m</td> <td>0.1m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(参考) 原子炉建屋原子炉棟3階燃料取替床において、最も機能喪失高さが低い防護対象機器は、RCW サージタンク(A)水位差圧伝送器(0.105m^{*1})である。 ※1 没水対策に伴い設置レベルを見直し予定（添付資料19）</small></p>	評価ケース	計算値	没水影響評価で用いる評価高さ	評価結果	ケース③ (溢水量 80m ³)	80m ³ /830.1m ² =0.096m	0.1m	○	<p>(1) 没水影響評価</p> <p>影響確認結果として、地震動 Ss3-2 による水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせたケースの溢水量が原子炉補助建屋 T.P.-1.7mに流出した場合、没水影響評価で用いる評価高さは、表2に示すとおりとなり、防護対象設備に与える影響はない。</p> <p>表2 没水影響評価への影響確認結果</p> <table border="1" data-bbox="1292 582 1854 758"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>計算値</th> <th>没水影響評価で用いる評価高さ</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震動 Ss3-2 による水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせたケース (溢水量 35m³)</td> <td>0.205m</td> <td>0.320m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(参考) 原子炉補助建屋 T.P.-1.7mにおいて、最も裕度が低い防護対象機器は3A-高压注入ポンプである。 ※地震時における溢水水位は、添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」参照。</small></p>	評価ケース	計算値	没水影響評価で用いる評価高さ	評価結果	地震動 Ss3-2 による水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせたケース (溢水量 35m ³)	0.205m	0.320m	○	<p>【女川】 記載方針の相違 泊では、最も裕度が低い防護対象機器があるフロアを記載。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊では、最も裕度が低い防護対象機器があるフロアを記載。</p>
防護対象設備		溢水水位[m]				機能喪失高さ[m]	影響有無																													
	水平1方向	水平2方向																																		
3A高压注入ポンプ	0.498	0.517	(対策前) 0.500 (対策後) 0.800 ^{*1}	無																																
4A高压注入ポンプ	0.516	0.535	(対策前) 0.500 (対策後) 0.800 ^{*2}	無																																
評価ケース	計算値	没水影響評価で用いる評価高さ	評価結果																																	
ケース③ (溢水量 80m ³)	80m ³ /830.1m ² =0.096m	0.1m	○																																	
評価ケース	計算値	没水影響評価で用いる評価高さ	評価結果																																	
地震動 Ss3-2 による水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせたケース (溢水量 35m ³)	0.205m	0.320m	○																																	
<p>添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> <p>3. 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認</p> <p>3.1 評価方針</p> <p>使用済燃料ピットからの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ラック上部水位を求め、使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>評価における使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L) を採用することで、地震後のピット水位が低くなるように評価を行う。これに加えて、スロッシング解析結果における最大到達溢水時の溢水量を用いて、水位低下を評価することで保守的な評価を行う。</p> <p>3.2 使用済燃料ピットの冷却機能の維持</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位が確保されていることを表7のとおり</p>	<p>(2) 使用済燃料プールのスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>a. スロッシングによる使用済燃料プール水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料プールからのスロッシングによる溢水がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位及びプール冷却並びに遮蔽に必要な水位を表3に示す。</p>	<p>(2) 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>a. スロッシングによる使用済燃料ピット水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料ピットからのスロッシングによる溢水がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位及びピット冷却並びに遮蔽に必要な水位を表3に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p>																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>り確認した。</p> <p>また、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な燃料ピット冷却浄化系の防護対象設備が機能喪失しないことを表8のとおり確認した。なお、スロッシングによる溢水量は、地震起因の溢水量と合算して評価した。</p> <p>表7 溢水時における使用済燃料ピットの冷却機能の維持の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="114 443 678 576"> <thead> <tr> <th>ケース</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>冷却機能の維持に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>11.76^{※2} (E.L.+32.91)</td> <td>10.99 (E.L.+32.14)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃）の維持に必要な水位を、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルとした。</p> <p>※2 ピット水位(EW方向、UD方向)=11.76[m] =11.91m(初期ピット水位^{※3})-41.12m³(溢水量)/290.08m²(ピットの面積)</p> <p>※3 初期ピット水位（使用済燃料ピット水位低警報設定値） : 11.91(E.L.+33.06)[m]</p>	ケース	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	19	11.76 ^{※2} (E.L.+32.91)	10.99 (E.L.+32.14)	○	<p>表3 スロッシング発生後の使用済燃料プール水位及び必要水位</p> <table border="1" data-bbox="703 411 1265 619"> <tbody> <tr> <td>初期プール水位 (m)</td> <td>11.515 (O.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※1} (m)</td> <td>10.985 (O.P.+32.365)</td> </tr> <tr> <td>プール冷却に必要な水位^{※2} (m)</td> <td>11.515 (O.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※3} (m)</td> <td>7.958 (O.P.+29.338)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 初期プール水位からの水位低下量(0.53m)は、溢水量(80m³)を使用済燃料プールの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※2 保安規定で定められている、水温(65℃以下)が保たれるために必要な水位として、保守的にオーバーフロー水位を設定した。</p> <p>※3 使用済燃料を考慮した、使用済燃料プール水面の設計基準線量率(≤0.05 mSv/h)を満足する水位。</p> <p>b. プール冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しているが、表3より、地震後の使用済燃料プール水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕と、系統切替操作にかかる時間を評価し、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回らないことを、以下のとおり確認した。</p> <p>使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕については、有効性評価で想定している、原子炉停止後に最短時間(原子炉停止後10日)で取り出された全炉心分の燃料と、過去に取り出された貯蔵燃料が、使用済燃料貯蔵ラックに最大数保管されていることを想定し、また地震に伴うスロッシングによる溢水量80m³を使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態にて算出した。65℃到達までの時間余裕を表4にまとめる。なお、初期水温は40℃と想定した。また、残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間を表5に示す。</p> <p>以上により、使用済燃料プール水温度上昇に対する時間余裕の</p>	初期プール水位 (m)	11.515 (O.P.+32.895)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	10.985 (O.P.+32.365)	プール冷却に必要な水位 ^{※2} (m)	11.515 (O.P.+32.895)	遮蔽に必要な水位 ^{※3} (m)	7.958 (O.P.+29.338)	<p>表3 スロッシング発生後の使用済燃料ピット水位及び必要水位</p> <table border="1" data-bbox="1292 427 1816 528"> <tbody> <tr> <td>初期ピット水位 (m)^{※1}</td> <td>T.P.32.58</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のピット水位^{※2} (m)</td> <td>T.P.32.36</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却に必要な水位^{※3} (m)</td> <td>T.P.31.62</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※4} (m)</td> <td>T.P.29.74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 使用済燃料ピットの低水位警報設定値(L.W.L.)</p> <p>※2 初期ピット水位からの水位低下量(0.22m)は溢水量(35m³)を使用済燃料ピットの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※3 保安規定で定められている、水温(65℃以下)が保たれるために必要な水位として、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルを設定した。</p> <p>※4 使用済燃料を考慮した、使用済燃料ピット水面の設計基準線量率(≤0.01mSv/h)を満足する水位。</p> <p>b. ピット冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、使用済燃料ピット水浄化冷却系及び燃料取替用水系による使用済燃料ピットへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しており、また、表3より、地震後の使用済燃料ピット水位がピット冷却に必要な水位を下回らないことを確認した。</p>	初期ピット水位 (m) ^{※1}	T.P.32.58	スロッシング発生後のピット水位 ^{※2} (m)	T.P.32.36	ピット冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	T.P.31.62	遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	T.P.29.74	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、初期ピット水位について保守的に低水位警報レベルから水位低下するものとして評価している。(大阪と同様) ・ピット水面の設計基準線量率について、泊の方が保守的な値を採用している。
ケース	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果																								
19	11.76 ^{※2} (E.L.+32.91)	10.99 (E.L.+32.14)	○																								
初期プール水位 (m)	11.515 (O.P.+32.895)																										
スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	10.985 (O.P.+32.365)																										
プール冷却に必要な水位 ^{※2} (m)	11.515 (O.P.+32.895)																										
遮蔽に必要な水位 ^{※3} (m)	7.958 (O.P.+29.338)																										
初期ピット水位 (m) ^{※1}	T.P.32.58																										
スロッシング発生後のピット水位 ^{※2} (m)	T.P.32.36																										
ピット冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	T.P.31.62																										
遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	T.P.29.74																										
			<p>【女川】 設備名称の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊と大阪では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても、燃料ピットの水位がピット冷却に必要な水位を下回らないことから、使用済燃料ピットの冷却機能 																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>中で、残留熱除去系によるプールへの給水が完了し、またプール冷却機能も維持されていることから、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温（65℃）を上回ることはない。</p> <p style="text-align: center;">表4 使用済燃料プール水温度と時間余裕</p> <table border="1" data-bbox="696 411 1272 475"> <tr> <td>使用済燃料プール水</td> <td>65℃到達時間(h)</td> <td>100℃到達時間(h) (参考)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表5 残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間</p> <table border="1" data-bbox="696 592 1272 715"> <tr> <td>現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)</td> <td>50(分)※1</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td>300 (m³/h) ※2</td> </tr> <tr> <td>給水完了時間</td> <td>2時間※3</td> </tr> </table> <p>※1 残留熱除去系への系統切替手順は運転手順書にて定められている。また現場所要時間（漏えい箇所の特定、系統切替操作）が50分程度であること及び系統切替操作時の運転員によるアクセス性について問題ないことを確認している。</p> <p>※2 運転手順書にて定める、残留熱除去系ポンプ1台の運転時流量。</p> <p>※3 現場所要時間（漏えい箇所の特定、系統切替操作）及び給水時間に余裕を考慮し設定。</p>	使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)		5	13	現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分)※1	給水流量	300 (m ³ /h) ※2	給水完了時間	2時間※3		<p>が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 泊と大阪では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても、燃料ピットの水位がピット冷却に必要な水位を下回らないことから、使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。
使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)													
	5	13													
現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分)※1														
給水流量	300 (m ³ /h) ※2														
給水完了時間	2時間※3														

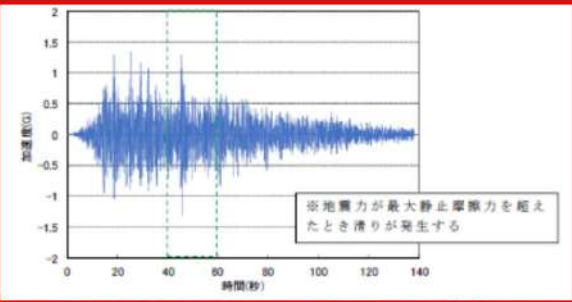
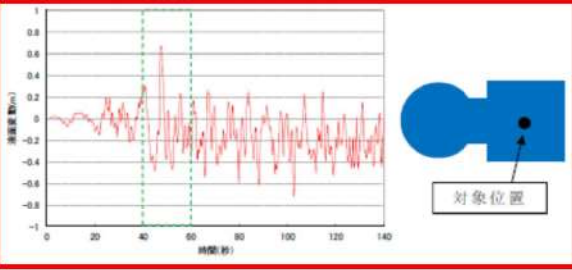
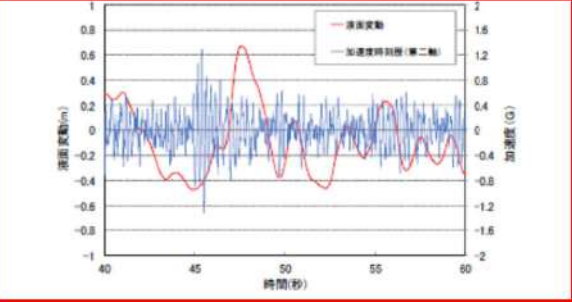
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表 10 溢水時における使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="152 376 636 501"> <thead> <tr> <th></th> <th>地震後の ビット水位 [m]</th> <th>遮蔽機能に 必要な水位[※] [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース 19</td> <td>11.76 (E.L.+32.91)</td> <td>9.24 (E.L.+30.39)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.02\text{mSv/h}$）に必要な水位</p> <p>※2 ビット水位（EW方向、UD方向）=11.76[m] $=11.91\text{m}$（初期ビット水位^{※3}）-41.12m^3（溢水量）/290.08m^2（ビットの面積）</p> <p>※3 初期ビット水位（使用済燃料ビット水位低警報設定値） 11.91（E.L.+33.06）[m]</p>		地震後の ビット水位 [m]	遮蔽機能に 必要な水位 [※] [m]	評価結果	ケース 19	11.76 (E.L.+32.91)	9.24 (E.L.+30.39)	○	<p>c. 遮蔽に必要な水位の確保について</p> <p>表3より、使用済燃料プールの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>c. 遮蔽に必要な水位の確保について</p> <p>表3より、使用済燃料ビットの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
	地震後の ビット水位 [m]	遮蔽機能に 必要な水位 [※] [m]	評価結果								
ケース 19	11.76 (E.L.+32.91)	9.24 (E.L.+30.39)	○								
	<p>3. 原子炉ウェル及びDSビットの考慮</p> <p>使用済燃料プールに加えて、原子炉ウェル及びDSビットのスロッシングについて、水平2方向と鉛直方向の地震力を組み合わせた場合の溢水影響評価に与える影響を検討した。</p> <p>ここで、水平2方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせた場合の溢水量としては、簡便な取扱いとして、EW+UD方向（ケース①：溢水量97m^3）とNS+UD方向（ケース②：溢水量95m^3）の溢水量を足し合せ、保守的に212m^3（ケース③）とし、溢水影響評価に与える影響を確認した。</p> <p>（1）没水影響評価</p> <p>影響確認結果として、ケース③の溢水量が原子炉建屋原子炉棟3階燃料取替床に流出した場合、燃料取替床における想定破損（原子炉補機冷却水系の溢水量265m^3）による溢水影響評価結果に包含される。</p> <p>（2）使用済燃料プール冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>使用済燃料プール及び原子炉ウェル並びにDSビットからのスロッシングによる使用済燃料プール水位低下量は0.52mとなり、表3に示した使用済燃料プール水位低下量0.53mを下回ることから、使用済燃料プール単独での評価結果に包含される。</p>		<p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では、燃料取扱棟の使用済燃料ビット、燃料取替キャナル、キャスクビット、燃料検査ビットすべてに水張りした条件にて溢水量を算出している。一方で、スロッシング後のビット水位の算出時には、この溢水量が使用済燃料ビット単独の容量から流出することを想定している。したがって、ビット単独でスロッシング評価を実施する場合よりも保守的な評価となっている。（大阪と同様）</p>								

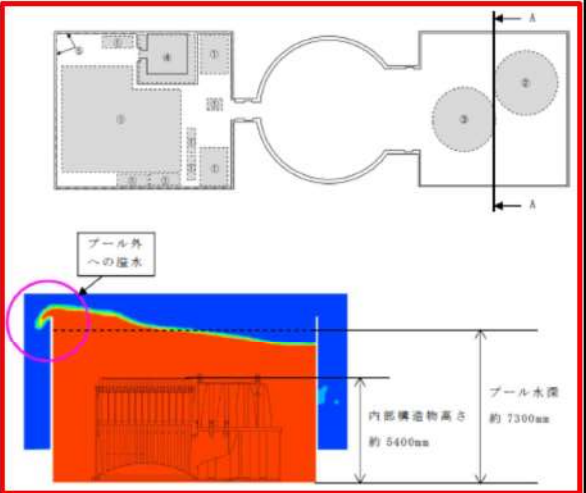
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>DSビットにおける内部構造物のスロッシング影響について</p> <p>1. 内部構造物の滑りによるスロッシング影響について 内部構造物はDSビットに固定されていないため、地震力が内部構造物の最大静止摩擦力を越えたときに滑りが発生すると考えられるが、その挙動については、図1の加速度時刻歴に示すとおり、短い周期での交番挙動となると考えられる。 一方、図2の液面変動に示すとおり、スロッシングは固有周期約4～7秒の長周期による挙動である。 これらの挙動が同時に発生した場合の影響は以下のとおりと考える。</p> <p>(1) 内部構造物の滑りがスロッシング量を増加させるためには、滑りの発生時刻、方向及び速度がすべてスロッシングと同調することが必要と考えられるが、これらがすべて同調することは考えにくいと、滑りがスロッシング量を増加させる可能性は少ないと考えられる。</p> <p>(2) 仮に一時的に、滑りの発生時刻、方向及び速度がスロッシングに同調したとしても、図3に示すとおり、直後に逆方向の滑りとなるか、又は静止するため、スロッシングを抑制する方向に働くと考えられる。</p> <p>(3) 上記のとおり、滑りによるスロッシングへの影響は十分に少ないと考えられるが、解析による溢水量に対して切り上げ処理及び10%増しすることにより保守的に溢水量を算出していることから、女川2号炉にて設定した溢水量は妥当であると考ええる。</p>		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では、内部構造物はビットに固定されており、内部構造物の滑りが発生しないことから、スロッシング量への増加影響はない。</p>

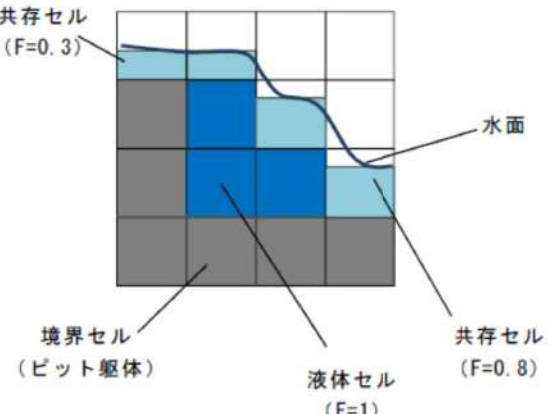
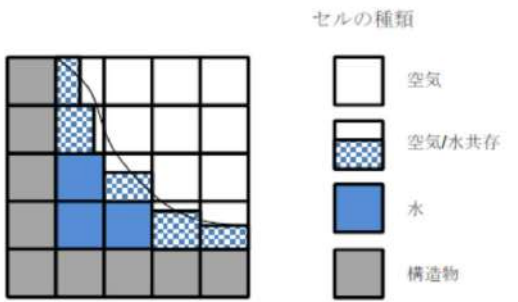
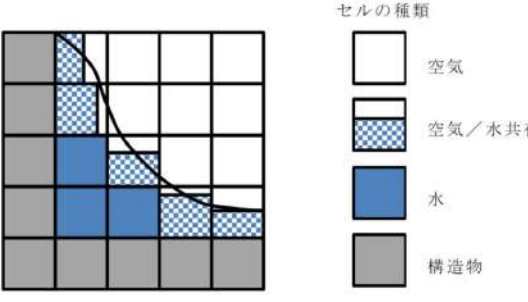
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="712 486 1263 544">図1 基準地震動 S s-D 1 による加速度時刻歴（E W 方向の例）</p>  <p data-bbox="721 863 1232 884">図2 DSピットのスロッシングによる液面変動（中心部）</p>  <p data-bbox="712 1268 1263 1326">図3 スロッシングによる液面変動と加速度時刻歴の比較（40～60秒）</p>		<p data-bbox="1877 177 1928 197">【女川】</p> <p data-bbox="1877 213 1995 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 245 2130 368">泊では、内部構造物はビットに固定されており、内部構造物の滑りが発生しないことから、スロッシング量への増加影響はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 内部構造物の位置と水の揺動範囲について</p> <p>DSピットの内部構造物の位置及び液面変動の断面図を図4に示す。</p> <p>この結果から、スロッシングによる液面変動は水面から1m程度の範囲であるが、内部構造物は水面から2m程度の深い位置に設置されているため、スロッシングによる内部構造物の滑り影響は小さいものと考えられる。</p>  <p>図4 DSピット内部構造物と液面変動の関係（A-A断面の例）</p>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、内部構造物はピットに固定されており、内部構造物の滑りが発生しないことから、スロッシング量への増加影響はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料2（参考資料）</p> <p>流動解析「FLOW-3D」の概要</p> <p>1. 概要</p> <p>スロッシング解析コード（FLOW-3D）は、Flow Science社のCyril W. Hirtが、米国ロスアラモス国立研究所で開発した流体解析ソフトウェアで、自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象をVOF（Volume of Fluid）法により精度よく計算することを特徴としている。</p> <p>主要な一般産業施設の解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。</p> <p>2. VOF（Volume of Fluid）法について</p> <p>VOF法は計算格子（セル）に存在する流体率を開数として扱う方式で、流体で満たされた計算セルを「F=1（Fluid）」、全く存在しないでガス（空気等）のみの計算セルを「F=0（Void）」とし、流体が部分的に存在する計算セルをその体積占有率に応じて「0」から「1」の間の値で表現する。</p> 	<p style="text-align: center;">補足説明資料21</p> <p>スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要</p> <p>1. 概要</p> <p>Fluentは汎用熱流体解析コードで、VOF（Volume of Fluid）法を用いて溢水を伴う大波高現象の解析を実施することが可能である。VOF法は「原子力発電所耐震設計技術規定 JEAC4601-2008」において、スロッシング解析における精度の高い手法であり、複雑な容器形状や流体の非線形現象を考慮する場合に有効であることが記載されている。</p> <p>2. 数値解析</p> <p>(1) VOF（Volume of Fluid）法について</p> <p>VOFは、下式に示すように計算メッシュにおける流体の割合を示すスカラー量である。スロッシング解析では水を100%含むメッシュをVOF=1.0、水が存在せず100%空気のメッシュをVOF=0.0としている。図1にVOFの計算格子（セル）例を示す。</p> $\alpha_1 = \frac{V_1}{V} \quad \dots \textcircled{1}$ <p>ここで、α_1はVOF値、V_1は流体（水）体積、Vは計算メッシュ体積を表す。</p> 	<p style="text-align: center;">補足説明資料33</p> <p>スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要</p> <p>1. 概要</p> <p>FLOW-3Dは汎用熱流体解析コードで、VOF（Volume of Fluid）法を用いて溢水を伴う大波高現象の解析を実施することが可能である。VOF法は「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008」において、スロッシング解析における精度の高い手法であり、複雑な容器形状や流体の非線形現象を考慮する場合に有効であることが記載されている。</p> <p>2. 数値解析</p> <p>(1) VOF（Volume of Fluid）法について</p> <p>VOFは、下式に示すように計算メッシュにおける流体の割合を示すスカラー量である。スロッシング解析では水を100%含むメッシュをVOF=1.0、水が存在せず100%空気のメッシュをVOF=0.0としている。図1にVOFの計算格子（セル）例を示す。</p> $\alpha_1 = \frac{V_1}{V} \quad \dots \textcircled{1}$ <p>ここで、α_1はVOF値、V_1は流体（水）体積、Vは計算メッシュ体積を表す。</p> 	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>スロッシング評価に用いた解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた汎用熱流体解析コードであり、同様の検証を行っている。（泊と大阪は同じ解析コードを使用）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載の適正化</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○計算格子（セル）間の液体移動（上図は2次元であるが、解析は3次元セル）</p> <p>1. 各セルの液体充填率 F (0 から 1 の間の値をとる) 及び周囲のセルの状況により、上図に示すように、気体、共存、液体、境界セルに分類</p> <p>2. 各計算セルの F 値を運動方程式等で計算された流速場にしたがって移流させる</p> <p>3. 時間を進めて計算を繰り返す</p> <p>3. 解析コードの検証</p> <p>解析コードの妥当性検証のため、スロッシング試験を実施し、波高、流出量及びスロッシング挙動について試験と解析を比較した結果を別添に示す。</p> <p>検証の結果、波高、流出量及びスロッシング挙動についてほぼ一致しており、スロッシングによる溢水計算の妥当性が確認できた。</p> <p>4. その他</p> <p>「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008」において、VOF法はスロッシング解析における精度の高い流動解析手法であり、複雑な容器形状や流体の非線形現象を考慮する場合に有効であることが記載されている。</p>	<p>(2) 基礎方程式</p> <p>VOF に対して下記の輸送方程式を解く。</p> $\frac{\partial \alpha_i}{\partial t} + \frac{\partial \alpha_i u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{2}$ <p>ここで、u_i は i 方向の流速 ($i = 1, 2, 3$) を表す。</p> <p>②式の流速 u_i は、③質量保存式、④運動量保存式より計算する。</p> $\frac{\partial \rho}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{3}$ $\frac{\partial \rho u_i}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i u_j}{\partial x_j} = -\frac{\partial P}{\partial x_i} + \frac{\partial}{\partial x_j} \tau_{ij} + \rho K_i \quad \dots \textcircled{4}$ <p>ここで、ρ は密度、P は圧力、τ_{ij} は粘性応力テンソル、K_i は外力を表す。</p> <p>質量保存式、運動量保存式で用いる密度 ρ は⑤式により計算する。</p> $\rho = \alpha_i \rho_i + (1 - \alpha_i) \rho_g \quad \dots \textcircled{5}$ <p>ここで、ρ_i は水密度、ρ_g は空気密度を表す。</p> <p>3. 解析コードの検証</p> <p>小型の矩形容器を用いた加振試験結果^{※1}による解析コードの検証を行った。この結果、溢水量は試験結果とほぼ一致しており、本解析コードは妥当と判断している。</p> <p>(詳細は別紙参照)</p> <p>※1 矩形プールのスロッシング抑制法(3)水平抑制板の溢水量低減効果 M34 (株) 東芝 ○渡邊 和、丹羽 博志、露木 陽、藁科 正彦 (日本原子力学会「2013年春の年会」2013年3月26～28日、近畿大学 東大阪キャンパス)</p>	<p>○計算格子（セル）間の液体移動（上図は2次元であるが、解析は3次元セル）</p> <p>1. 各セルの液体充填率 VOF (0 から 1 の間の値をとる) 及び周囲のセルの状況により、上図に示すように、空気、空気/水共存、水、構造物セルに分類</p> <p>2. 各計算セルの VOF 値を運動方程式等で計算された流速場にしたがって移流させる</p> <p>3. 時間を進めて計算を繰り返す</p> <p>3. 解析コードの検証</p> <p>小型の矩形容器を用いた加振試験結果による解析コードの検証を行った。この結果、溢水量は試験結果とほぼ一致しており、本解析コードは妥当と判断している。</p> <p>(詳細は別紙参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>スロッシング評価に用いた解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた汎用熱流体解析コードである。(泊と大飯は同じ解析コードを使用)</p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>検証に用いた加振試験結果(次頁)が異なるが、女川と同様の検証を実施している。(大飯と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

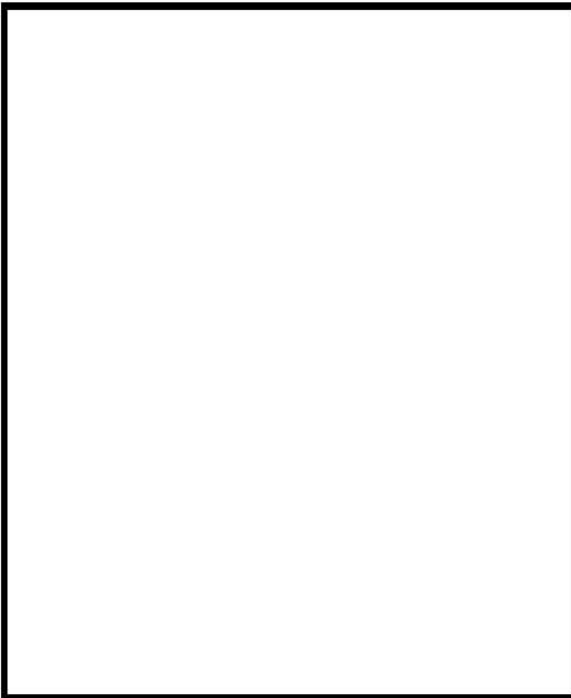
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>1.はじめに</p> <p>海水ポンプエリアの防護対象設備は海水ポンプであり、機能喪失高さは、ポンプモータ下端とする。</p> <p>海水ポンプエリアの溢水影響評価については、地震時の溢水及び放水による溢水においては、排水ルートが機能しないと仮定して評価する。</p> <p>なお、海水ポンプエリア浸水防止蓋が設置されていることから、基準津波による海水ポンプエリアへの津波の流入はない。</p> <p>溢水影響評価として、海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震時のCクラス配管からの溢水を想定し、防護対象設備の機能喪失高さまで到達しないことを確認する。(図1)</p>		<p style="text-align: right;">補足説明資料34</p> <p style="text-align: center;">循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について</p> <p>1.はじめに</p> <p>循環水ポンプ建屋の防護対象設備は原子炉補機冷却海水ポンプであり、機能喪失高さは、ポンプモータ下端とする。</p> <p>循環水ポンプ建屋の溢水影響評価については、溢水防護区画である原子炉補機冷却海水ポンプエリア（以下「海水ポンプエリア」という）と溢水防護区画外である循環水ポンプエリア及び原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ室（以下「海水ストレーナ室」という）に分けて溢水影響評価を実施し、排水ルートが機能しないと仮定して評価する。循環水ポンプ建屋の概要を図1に示す。</p> <p>なお、海水ポンプエリアには浸水防止設備が設置されていることから、基準津波による海水ポンプエリアへの津波の流入はない。</p> <p>溢水影響評価として、循環水ポンプ建屋にある低エネルギー配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震時のCクラス配管からの溢水を想定し、防護対象設備の機能喪失高さまで到達しないことを確認する。(図1(2/2))</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川も防護対象設備である海水ポンプに対する溢水影響評価を実施しているが、個別の補足説明資料は作成していない。 ・泊の海水ポンプエリアは循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、本資料にて評価の考え方を説明している。 ・建屋内外の相違はあるが、海水ポンプに対する評価方針は先行PWRと同様であることから、以降、海水ポンプエリアにおける溢水影響評価の比較として、大阪の記載と比較する。 <p>【大阪】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大阪の海水ポンプエリアは屋外に設置されているのに対し、泊の海水ポンプエリアは循環水ポンプ建屋内に設置されている。</p> <p><u>設備名称の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪は地震時の溢水及び放水による溢水において排水ルートが機能しないと仮定しているが、泊はあらゆる溢水においても、排水ルートが機能しないと仮定している。 ・泊の海水ポンプに対する溢水評価では、防護対象区画である海水ポンプエリアにおける没水評価を行うとともに、防護対象区画外にある循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室からの溢水影響についても確認している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料34）


大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、海水ポンプに対してハロン消火設備を設置しているが、海水ポンプが設置されている海水ポンプエリアには、他の火災源があり、消火栓からの放水により消火活動を実施することから、消火栓からの放水による溢水を想定し評価する。</p> <div data-bbox="125 528 680 1099" style="border: 2px solid black; height: 358px; width: 248px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="159 1134 620 1155" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<p>なお、海水ポンプエリアに対してハロン消火設備を設置しており、消火栓からの放水による消火活動を実施しないが、上階での消火栓からの放水が伝播することから、消火栓からの放水による溢水を想定し評価する。</p> <div data-bbox="1283 523 1850 906" style="border: 2px solid black; height: 240px; width: 253px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center; color: blue;">図1 循環水ポンプ建屋の概要(1/2)</p> <div data-bbox="1283 967 1856 994" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪では、海水ポンプに対して局所的なハロン消火設備を設置している。 ・泊の海水ポンプエリアは全域にハロン消火設備を設置しているが、上階での消火栓からの放水が伝播することから、消火栓からの放水による溢水を想定する。 <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水ポンプエリアの設置場所の相違による。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>2. 海水ポンプエリアの溢水源及び溢水量</p> <p>海水ポンプエリアの溢水源及び溢水量を以下の表1に示す。</p> <p>表1 海水ポンプエリアの溢水源及び溢水量</p> <table border="1" data-bbox="197 1161 600 1305"> <thead> <tr> <th>溢水源</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水系</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置系</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈溢水量の考え方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 海水ポンプエリア外のタンクから、ヘッド圧あるいはポンプにより当該エリア内に送水されている系統は、タンク及び配管保有水を考慮する。 海水ポンプエリア内にすべての機器が設置されている系統は、エリア内の機器の保有水を考慮する。 	溢水源	溢水量 (m ³)	原水系	169	海水電解装置系	4	合計	173		 <p>図1 循環水ポンプ建屋の概要(2/2)</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>2. 海水ポンプエリアの溢水影響評価について</p> <p>2. 1. 海水ポンプエリアの地震による溢水量</p> <p>海水ポンプエリアの耐震Cクラス機器は、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されていることから、地震による溢水は発生しない。（添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」参照）</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>・海水ポンプエリアの設置場所の相違による。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p><u>章立ての相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は海水ポンプエリアの耐震Cクラス機器は、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されていることから、地震による溢水は発生しない。</p>
溢水源	溢水量 (m ³)										
原水系	169										
海水電解装置系	4										
合計	173										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料34）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>・海水ポンプエリア内から当該エリア外へポンプにより送水されている系統は、配管高さや引き回しを踏まえて、保有水を考慮する。</p>  <p>図2 保有水量の算出</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>「5.1 海水ポンプエリアの地震による没水影響評価」より抜粋 また、海水ポンプエリアの入力津波高さ T.P. +6.3m に対し海水ポンプエリア床面は T.P. +2.5m であるが、床面貫通部には海水ポンプエリア浸水防止蓋を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>3. 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価 3.1 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価 海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。 配管破損形状は、貫通クラックとして1系統における単一の破損を想定し、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定して溢水流量を算出した。 算出した溢水流量と海水ポンプエリアの床面に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量と比較することで防護対象設備への影響評価を行った。</p> <p>表2 海水ポンプエリアの配管からの溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="123 1340 645 1492"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>口径 (B)</th> <th>設計圧力 (MPa)</th> <th>溢水流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水系</td> <td>4</td> <td>0.98</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置系</td> <td>1 1/2</td> <td>0.98</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	系統	口径 (B)	設計圧力 (MPa)	溢水流量 (m ³ /h)	原水系	4	0.98	20	海水電解装置系	1 1/2	0.98	5		<p>追而【地震津波側審査の反映】 （下表の破線囲部分は、基準地震動確定後の評価結果により、記載を反映する。）</p> <p>また、海水ポンプエリアの入力津波高さ T.P. [破線] に対し海水ポンプエリア床面は T.P. 2.5m であるが、海水ポンプエリアの床面貫通部には浸水防止設備を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>2. 2 海水ポンプエリアの想定破損による溢水量</p> <p>海水ポンプエリアにおける低エネルギー配管は、応力評価により、想定破損除外を適用していることから、想定破損による溢水は発生しない。（添付資料14「低エネルギー配管の想定破損除外について」参照）</p>	<p>【大阪】 設計方針の相違 入力津波高さの相違 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 章立ての相違 設計方針の相違</p> <p>・泊における海水ポンプエリアにおける低エネルギー配管は、応力評価による想定破損除外を適用していることから想定破損による溢水を考慮しない。 ・泊には区画からの排水に期待しない。</p>
系統	口径 (B)	設計圧力 (MPa)	溢水流量 (m ³ /h)												
原水系	4	0.98	20												
海水電解装置系	1 1/2	0.98	5												

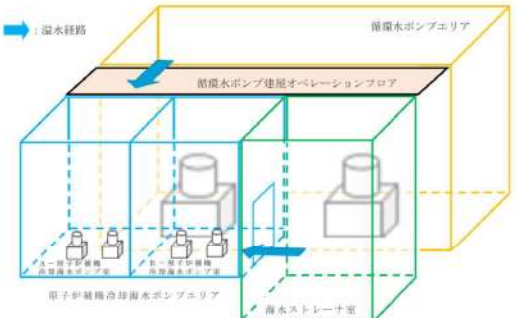
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表3 海水ポンプエリア浸水防止蓋の排水流量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開口面積 (m²)</th> <th>箇所数</th> <th>排水流量 (m³/h)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0013</td> <td>5[*]</td> <td>115</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 既工事計画(大阪3号機第1回工事計画認可申請)の算定式を用いて算出。 海水ポンプエリアの床面(E.L.+2.50m)から海水ポンプの機能喪失高さ(E.L.+4.65m)に余裕を見た(E.L.+4.50m)まで滞留したとして水位差を算出。(水位差2.00m) </td> </tr> </tbody> </table>				開口面積 (m ²)	箇所数	排水流量 (m ³ /h)	備考	0.0013	5 [*]	115	<ul style="list-style-type: none"> 既工事計画(大阪3号機第1回工事計画認可申請)の算定式を用いて算出。 海水ポンプエリアの床面(E.L.+2.50m)から海水ポンプの機能喪失高さ(E.L.+4.65m)に余裕を見た(E.L.+4.50m)まで滞留したとして水位差を算出。(水位差2.00m) 			<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> 泊には区画からの排水に期待する設備は設置されていない。</p>
開口面積 (m ²)	箇所数	排水流量 (m ³ /h)	備考											
0.0013	5 [*]	115	<ul style="list-style-type: none"> 既工事計画(大阪3号機第1回工事計画認可申請)の算定式を用いて算出。 海水ポンプエリアの床面(E.L.+2.50m)から海水ポンプの機能喪失高さ(E.L.+4.65m)に余裕を見た(E.L.+4.50m)まで滞留したとして水位差を算出。(水位差2.00m) 											
<p>※海水ポンプエリア浸水防止蓋は6箇所あるが、溢水ガイドに基づき、1箇所からの排水は期待しないものとする。</p> <p>以上より、想定破損による最大の溢水流量(20 m³/h)は、床面(E.L.+2.50m)に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量(115 m³/h)より小さく、防護対象設備である海水ポンプの機能喪失高さ(E.L.+4.65m)まで水位が上昇することはないことから、溢水の影響はない。</p>					<p>2. 3 海水ポンプエリアの放水による溢水量</p> <p>上階での消火栓からの放水により、海水ポンプエリアへ伝播することから、消火栓からの放水による溢水を想定し、消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <p>・390L/min×2箇所×0.5時間=24 m³</p>	<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 章立ての相違 <u>設計方針の相違</u> 泊では、上階での消火栓からの放水が伝播することから、消火栓からの放水による溢水を想定し評価する。 <u>記載方針の相違</u> 泊では、「2. 4 海水ポンプエリアの浸水影響評価」にて溢水量が最大となるケースを選定して浸水影響評価を実施している。</p>								
<p>4. 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価</p> <p>4.1 海水ポンプエリアの放水による浸水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出し、溢水水位を算出した。</p> <p>・7000/min×3時間=126 m³</p> <p>地震による浸水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量(173 m³)で実施することから、地震による浸水影響評価で包絡される。</p>														

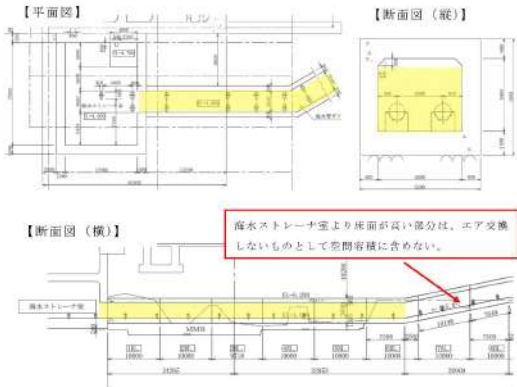
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>5. 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価</p> <p>5.1 海水ポンプエリアの地震による没水影響評価</p> <p>全機器の破損を想定した溢水量（173m³）が流出したと仮定し、溢水水位を算出した。</p> <p>海水ポンプエリアの床面積：240m²</p> <p>以上より、海水ポンプエリアの水位は約0.73m（173m³/240m²）であり、想定される溢水水位 E.L. +3.23m（E.L. +2.50m+0.73m）に対して、防護対象設備である海水ポンプの機能喪失高さは E.L. +4.65m であることから、溢水の影響はない。</p> <p>なお、全機器の破損を想定した溢水量（173m³）は、床面（E.L. +2.50m）に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水を設置しているため、排水も約1時間程度で可能である。</p> <p>また、海水ポンプエリアの入力津波高さ T.P. +6.3m に対し海水ポンプエリア床面は T.P. +2.5m であるが、床面貫通部には海水ポンプエリア浸水防止蓋を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>表4 地震による没水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="114 959 629 1050"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水水位</th> <th>機能喪失高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ（モータ下端）</td> <td>E.L. +3.23m</td> <td>E.L. +4.65m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		溢水水位	機能喪失高さ	評価	海水ポンプ（モータ下端）	E.L. +3.23m	E.L. +4.65m	○		<p>2. 4 海水ポンプエリアの没水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアにおいて、溢水量が最大となる放水による溢水量（24m³）が流出したと仮定し、溢水水位を算出した。</p> <p>海水ポンプエリアの床面積：65.3m² ※</p> <p>※ 滞留面積が小さいB-原子炉補機冷却海水ポンプ室の床面積</p> <p>以上より、海水ポンプエリアの水位は約0.37m（24m³/65.3m²）であり、想定される溢水水位 T.P. 2.87m（T.P. 2.50m+0.37m）に対して、防護対象設備である海水ポンプの機能喪失高さは T.P. 4.0m であることから、溢水の影響はない。</p> <p>表1 没水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1294 970 1854 1066"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水水位</th> <th>機能喪失高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ（モータ下端）</td> <td>T.P. 2.87m</td> <td>T.P. 4.0m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		溢水水位	機能喪失高さ	評価	海水ポンプ（モータ下端）	T.P. 2.87m	T.P. 4.0m	○	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>章立ての相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違 ・泊ではA、B-原子炉補機冷却海水ポンプ室のうち、滞留面積が小さいB-原子炉補機冷却海水ポンプ室の床面積を用いる。 <p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違 ・泊には区画からの排水に期待する設備は設置されていない。 <p>記載方針の相違</p> <p>泊は「2. 1 循環水ポンプ建屋の地震による溢水量」にて、海水ポンプエリアには浸水防止を設置しているため、津波による流入はないことを整理している。</p> <p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違
	溢水水位	機能喪失高さ	評価																
海水ポンプ（モータ下端）	E.L. +3.23m	E.L. +4.65m	○																
	溢水水位	機能喪失高さ	評価																
海水ポンプ（モータ下端）	T.P. 2.87m	T.P. 4.0m	○																

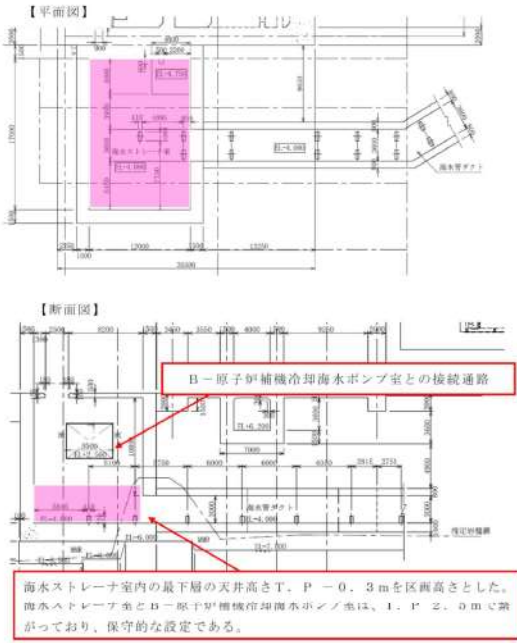
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>3. 循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の溢水影響評価について</p> <p>防護対象区画外からの溢水として、循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室で発生する溢水が、海水ポンプエリアに流入しないことを確認する。循環水ポンプエリアからはT.P. 10.3mのオペレーションフロアを介して海水ポンプエリアに流入する溢水経路があり、海水ストレーナ室からはT.P. 2.5mの接続通路を介して海水ポンプエリアに流入する溢水経路がある。循環水ポンプ建屋の概念図を図2に示す。</p>  <p>図2 循環水ポンプ建屋立体図（概念図）</p> <p>3. 1 空間容積の算出</p> <p>(1) 循環水ポンプエリア</p> <p>循環水ポンプエリアの空間容積は、図3に示す開口で繋がっている5区画の容積を合計し、機器類の欠損体積[※]を除いた5,400m³を、循環水ポンプエリアの空間容積としている。</p> <p>循環水ポンプエリアと原子炉補機冷却海水ポンプ室は扉や開口で接続されておらず、循環水ポンプエリア内で生じた溢水は、循環水ポンプエリアの空間容積である5,400m³までは同エリア内に滞留する。</p> <p>※欠損体積：循環水管（234m³）、循環水ポンプ（129m³）、循環水ポンプモータ（144m³）等を合算</p>	<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> 泊の海水ポンプに対する溢水評価では、防護対象区画である海水ポンプエリアにおける没水評価を行うとともに、防護対象区画外にある循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室からの溢水影響についても確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1285 204 1854 544" style="border: 2px solid black; height: 213px; width: 254px;"></div> <p data-bbox="1429 555 1711 576">図3 循環水ポンプエリア平面図</p> <p data-bbox="1285 587 1854 608">□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p data-bbox="1305 691 1509 711">(2) 海水ストレーナ室</p> <p data-bbox="1323 724 1861 847">海水ストレーナ室及び原子炉補機冷却海水管ダクトは開口で繋がっていることから、図4、5に示す2区画の容積を合計し、機器類の欠損体積[※]を除いた1,200^mを、海水ストレーナ室の空間容積としている。</p> <p data-bbox="1323 860 1861 1018">海水ストレーナ室とB-原子炉補機冷却海水ポンプ室は繋がっているが、海水ストレーナ室の床面レベルがB-原子炉補機冷却海水ポンプ室と比べて低いため、海水ストレーナ室内で生じた溢水は、1,200^mまでは同エリア内に滞留してB-原子炉補機冷却海水ポンプ室に流入しない。</p> <p data-bbox="1361 1031 1749 1051">※ 欠損体積として海水管（88^m）等を合算</p> <div data-bbox="1301 1070 1816 1458"> <p data-bbox="1317 1074 1379 1090">【平面図】</p>  <p data-bbox="1666 1074 1765 1090">【断面図（縦）】</p> <p data-bbox="1323 1291 1420 1307">【断面図（横）】</p> <p data-bbox="1525 1283 1816 1326" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">海水ストレーナ室より床面が低い部分は、エア交換しないものとして空容積に含まない。</p> </div> <p data-bbox="1339 1474 1800 1495">図4 原子炉補機冷却海水管ダクト平面図及び断面図</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1444 853 1736 885">図5 海水ストレーナ室断面図</p> <p data-bbox="1288 925 1848 981">3.2 循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の地震による溢水量</p> <p data-bbox="1310 997 1848 1125">循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の耐震Cクラス機器は、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されていることから、地震による溢水は発生しない。（添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」参照）</p> <p data-bbox="1310 1133 1848 1228">また、循環水ポンプエリアの床面貫通部には津波に対する浸水防止設備を設置し、海水ストレーナ室には津波が流入する経路がないことから、津波による流入はない。</p> <p data-bbox="1288 1268 1848 1324">3.3 循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の想定破損による溢水量</p> <p data-bbox="1310 1340 1848 1396">循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室における低エネルギー配管の想定破損による溢水量を表2及び表3に示す。</p> <p data-bbox="1310 1404 1848 1492">溢水量は、貫通クラックによる溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算出した。（補足説明資料12「想定破損評価における隔離時間の妥当性について」参照）</p>	

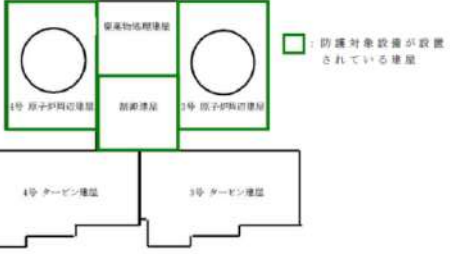
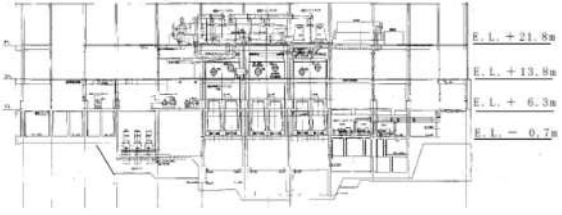
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
		<p>応力評価により、想定破損除外を適用している系統については、溢水量を0 m³とした。（添付資料14「低エネルギー配管の想定破損除外について」参照）</p> <p>表2 循環水ポンプエリアの配管からの溢水流量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>口径 (B)</th> <th>系統圧力 [MPa] 又は 水頭[m]</th> <th>溢水流量 (m³/h)</th> <th>隔離時間 (min)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所内用水系</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>応力評価実施</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>応力評価実施</td> </tr> <tr> <td>軸受冷却系</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>応力評価実施</td> </tr> <tr> <td>循環水管伸縮継手</td> <td>※</td> <td>11.6 [m]</td> <td>1,200</td> <td>80</td> <td>3,020</td> <td>溢水量に系統保有水量1,420m³を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>※内径380mm、厚さ28mm</p> <p>表3 海水ストレーナ室の配管からの溢水流量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>口径 (B)</th> <th>系統圧力 [MPa]</th> <th>溢水流量 (m³/h)</th> <th>隔離時間 (min)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>応力評価実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 4 循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の放水による溢水量</p> <p>消火栓からの放水による溢水量は以下の通り算出した。放水時間については、日本電気協会電気指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5 (1) に従い、等価火災時間を放水時間として設定した。（添付資料24「消火水の放水における放水量について」参照）</p> <p>(循環水ポンプエリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・390L/min×2箇所×120min=94m³ <p>(海水ストレーナ室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・390L/min×2箇所×30min=24m³ <p>3. 5 循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室の没水影響評価</p> <p>(1) 循環水ポンプエリアの没水影響評価</p> <p>循環水ポンプエリアにおいて、溢水量が最大となる想定破損による溢水量は3,020m³であり、循環水ポンプエリアのT.P.10.3mまでの空間容積5,400m³よりも小さく、循環水ポンプエリアにおける溢水水位はT.P.8.0mとなり、循環水ポンプエリアで発生する溢水は同エリア内に貯留可能である。</p>	系統	口径 (B)	系統圧力 [MPa] 又は 水頭[m]	溢水流量 (m ³ /h)	隔離時間 (min)	溢水量 (m ³)	備考	所内用水系	—	—	—	—	0	応力評価実施	海水淡水化設備	—	—	—	—	0	応力評価実施	軸受冷却系	—	—	—	—	0	応力評価実施	循環水管伸縮継手	※	11.6 [m]	1,200	80	3,020	溢水量に系統保有水量1,420m ³ を含む	系統	口径 (B)	系統圧力 [MPa]	溢水流量 (m ³ /h)	隔離時間 (min)	溢水量 (m ³)	備考	海水電解装置海水供給・注入系	—	—	—	—	0	応力評価実施	
系統	口径 (B)	系統圧力 [MPa] 又は 水頭[m]	溢水流量 (m ³ /h)	隔離時間 (min)	溢水量 (m ³)	備考																																														
所内用水系	—	—	—	—	0	応力評価実施																																														
海水淡水化設備	—	—	—	—	0	応力評価実施																																														
軸受冷却系	—	—	—	—	0	応力評価実施																																														
循環水管伸縮継手	※	11.6 [m]	1,200	80	3,020	溢水量に系統保有水量1,420m ³ を含む																																														
系統	口径 (B)	系統圧力 [MPa]	溢水流量 (m ³ /h)	隔離時間 (min)	溢水量 (m ³)	備考																																														
海水電解装置海水供給・注入系	—	—	—	—	0	応力評価実施																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 海水ストレーナ室の没水影響評価</p> <p>海水ストレーナ室において、溢水量が最大となる放水による溢水量は24m³であり、海水ストレーナ室のT.P. -0.3mまでの空間容積1,200m³よりも小さく、海水ストレーナ室における溢水水位はT.P. -3.3mとなり、海水ストレーナ室で発生する溢水は同エリア内に貯留可能である。</p> <p>3. 6 溢水防護区画外からの溢水影響結果</p> <p>循環水ポンプエリア及び海水ストレーナ室で発生する溢水が海水ポンプエリアに流入しないことを確認した。</p>	

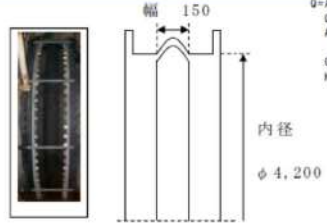

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 5.1</p> <p>タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>1. はじめに</p> <p>タービン建屋には防護対象設備はないが、タービン建屋（循環水管、津波）の溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に及ぼす影響を確認する。（図1、図2）</p>  <p>図1 建屋配置図</p>  <p>図2 タービン建屋断面図</p>	<p>補足説明資料 11</p> <p>タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について</p> <p>1. 想定破損による溢水量</p> <p>(1) 低エネルギー配管の破損に伴う溢水量</p> <p>a. 管理区域内</p> <p>管理区域内において低エネルギー配管の破損を想定する場合、配管口径の大小関係、水源（海水は無限大）から、循環水系配管に破損を想定した際の溢水量が最も大きな値となり、保守的に隔離まで80分を想定した場合の溢水量は、2,192m³である。</p> <p>b. 管理区域外</p> <p>管理区域外において低エネルギー配管の破損を想定する場合、配管口径の大小関係、水源（海水は無限大）から、タービン補機冷却海水系配管に破損を想定した際の溢水量が最も大きな値となり、保守的に隔離まで80分を想定した場合の溢水量は、417m³である。</p>	<p>補足説明資料 35</p> <p>タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について</p> <p>1. 想定破損による溢水量</p> <p>タービン建屋において一系統における単一の機器の破損を想定する場合、復水系又は給水系の配管に破損を想定した際の溢水量が最も大きな値となり、復水系及び給水系の保有水全量が流出した場合の溢水量は、2,570 m³である。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 記載方針の相違 泊では、タービン建屋内の2次系設備には高エネルギー配管と低エネルギー配管を内包しており、単一の機器の破損によって、高エネルギー配管・低エネルギー配管に係らず保有水全量が溢水する。そのため、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分けた記載はしていない。 設計方針の相違 ・泊では系統保有水量の合計が最大となる復水系及び給水系からの溢水を想定している。 ・評価結果の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 高エネルギー配管の破損に伴う溢水量 給水系の配管破断想定では、配管破断から原子炉水位低(L2)、主蒸気隔離弁「全閉」までの時間を保守的に60秒と想定した上で、原子炉給水ポンプトリップまでに想定される溢水量を復水器ホットウェル（通常水位～極低）の水量として考慮していることから、給水系配管の破断想定が最も大きな溢水量となる。その溢水量は、1,145m³である。</p> <p>2. 消火水の放水による溢水 消火水の放水による溢水量は、3時間の放水により想定される溢水量として、一律54m³を考慮する。</p> <p>3. 地震起因による溢水 (1) 管理区域内 地震起因による溢水評価では、耐震性が確認されていない耐震B、Cクラス設備の複数同時破損を考慮する他、保守的に循環水ポンプの運転継続を仮定した評価を実施している。</p>	<p>2. 消火水の放水による溢水量 消火水の放水による溢水量は、3時間の放水により想定される溢水量として、一律54m³を考慮する。</p> <p>3. 地震起因による溢水量 地震起因による溢水評価では、耐震性が確認されていない耐震Cクラス設備の複数同時破損を考慮する他、保守的に循環水ポンプの運転継続を仮定した評価を実施している。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 泊では、タービン建屋内の2次系設備には高エネルギー配管と低エネルギー配管を内包しており、単一の機器の破損によって、高エネルギー配管・低エネルギー配管に係らず保有水全量が溢水する。そのため、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分けた記載はしていない。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・泊のタービン建屋内の機器・配管はすべて耐震Cクラスである。 (大阪と同様) 記載方針の相違 ・泊は上記の評価方針としていることから、溢水量の算出について溢水事象ごとに記載している。 (大阪と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>2. タービン建屋の溢水源と溢水量</p> <p>溢水源は循環水管の伸縮継手部及び2次系機器とする。</p> <p>耐震Cクラスの機器である循環水ポンプ及び出口弁は、地震により破損が想定されるが、ここでは、保守的に地震後も循環水ポンプが動作し続けているものとしてポンプ停止までの時間、循環水管の伸縮継手部からの溢水を考慮する。</p> <p>また、地震による津波の襲来を考慮し、地震発生後の事象進展を考慮した循環水管の伸縮継手部からの津波の流入について考慮する。事象進展は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震により循環水管の破損及び2次系機器が破損し、タービン建屋内に溢水が生じる。 2次系機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の破損による溢水は、ポンプ停止まで生じる。 以降については、津波襲来時も含めて取水側水位及び放水ピット内水位とタービン建屋内水位を比較し、取水側水位及び放水ピット内水位が高い場合は、サイフォン効果により流入する。 <p>なお、タービン建屋内に流入した溢水や津波については、取水側水位及び放水ピット内水位が低い場合は、循環水管の流入経路を逆流してタービン建屋外へ流出するが、保守的に一度流入したものは流出しないものとする。</p> <p>地震発生から循環水ポンプ停止までの溢水量を考慮する。循環水管の伸縮継手部からの破損については、伸縮継手の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p>表1 循環水管の伸縮継手の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="123 1066 672 1129"> <thead> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q/ユニット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,200</td> <td>150</td> <td>102,112</td> </tr> </tbody> </table> <p> $Q = A \times C \sqrt{(2 \times g \times H) \times 3600}$ Q: 溢水流量 (m³/h) A: 断面積 (m²) (π × D × w) にて算出 C: 損失係数 (= 0.82) H: 水頭 (m) (= 15.6m) </p>  <p>図3 循環水管の伸縮継手部</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット	4,200	150	102,112	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(1) 地震起因による機器の破損に伴う溢水量</p> <p>溢水源は循環水管の伸縮継手部及び2次系機器とする。</p> <p>耐震Cクラスの機器である循環水ポンプ及び出口弁は、地震により破損が想定されるが、ここでは、保守的に地震後も循環水ポンプが動作し続けているものとしてポンプ停止までの時間、循環水管の伸縮継手部からの溢水を考慮する。</p> <p>また、地震による津波の襲来を考慮し、地震発生後の事象進展を考慮した循環水管の伸縮継手部からの津波の流入について考慮する。事象進展は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震により循環水管の破損及び2次系機器が破損し、タービン建屋内に溢水が生じる。 2次系機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の破損による溢水は、ポンプ停止まで生じる。 以降については、津波襲来時も含めて取水側水位及び放水ピット内水位とタービン建屋内水位を比較し、取水側水位及び放水ピット内水位が高い場合は、サイフォン効果により流入する。 <p>なお、タービン建屋内に流入した溢水や津波については、取水側水位及び放水ピット内水位が低い場合は、循環水管の流入経路を逆流してタービン建屋外へ流出するが、保守的に一度流入したものは流出しないものとする。</p> <p>地震発生から循環水ポンプ停止までの溢水量を考慮する。循環水管の伸縮継手部からの破損については、伸縮継手の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p>表1 循環水管の伸縮継手の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="1344 1066 1803 1129"> <thead> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,700</td> <td>70</td> <td>37,000</td> </tr> </tbody> </table> <p> $Q = A \times C \sqrt{(2 \times g \times H) \times 3,600}$ Q: 流量 (m³/h) A: 断面積 (= π × D × w) (m²) C: 損失係数 (0.82³⁾) H: 水頭 (= 22.7m²) </p>  <p>循環水管伸縮継手</p> <p>※1 系統の圧力損失としては、破損部における急縮小(ξ=0.5)、急拡大(ξ=1.0)の損失のみを考慮した損失係数を用いる。損失係数Cは次式で表されるため、圧力損失が小さく、損失係数が大きくなるため、溢水量が多くなると評価している。 $C = \sqrt{(1/\xi) + \xi} = \sqrt{(1/0.5) + 1} = 0.82$</p> <p>※2 H = (循環水ポンプ定格揚程) - (破損伸縮継手設置レベル) - (外洋水位100L) ・循環水ポンプ定格揚程: 15.6m ・破損伸縮継手設置レベル: 復水器入口前伸縮継手と想定 (T.P.-6.45m) ・外洋水位-T.P.0.50m</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q	2,700	70	37,000	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> タービン建屋における地震起因の溢水量については、建屋設計が同様である大阪との差異を識別し、相違理由を示す。</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 記載内容を明確にするため、説明項目を「(1)地震起因の破損」と「(2)津波襲来」に書き分けた。</p> <p>【大阪】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計相違による</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 泊は溢水流量算出に用いた圧力損失C及び水頭Hの根拠を注記に記載している。</p>
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット													
4,200	150	102,112													
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q													
2,700	70	37,000													

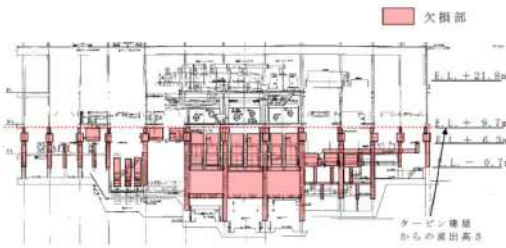
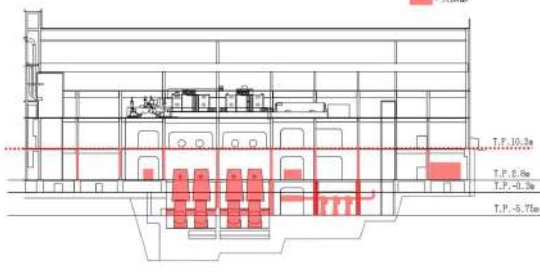
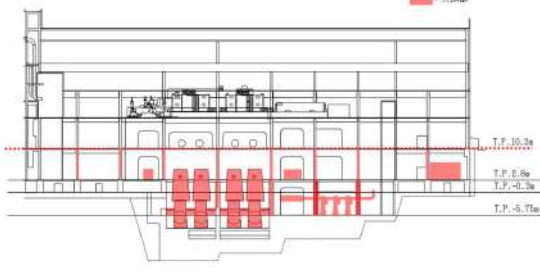
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。循環水ポンプ停止に要する時間とは、ポンプ停止操作を開始してから出口弁が閉止するまでに要する時間である。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p>表2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="197 419 598 531"> <tr><td>① 地震発生事象確認</td><td>10分</td></tr> <tr><td>② 地震発生による異常の認知時間</td><td>10分</td></tr> <tr><td>③ 循環水ポンプ停止</td><td>6分</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26分</td></tr> </table>  <p>図4 循環水ポンプ停止までの時間</p> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。</p> <p>(溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) $102,112(\text{m}^3/\text{h}) \times 26/60(\text{h}) = \text{約} 44,300(\text{m}^3)$</p> <p>表3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="114 1002 680 1082"> <tr><th></th><th>溢水量 (m³)</th></tr> <tr><td>地震による破損</td><td>約 44,300 × 2 ユニット = 約 88,600</td></tr> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器、脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p>	① 地震発生事象確認	10分	② 地震発生による異常の認知時間	10分	③ 循環水ポンプ停止	6分	合計	26分		溢水量 (m ³)	地震による破損	約 44,300 × 2 ユニット = 約 88,600	<p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。循環水ポンプ停止に要する時間とは、ポンプ停止操作を開始してから出口弁が閉止するまでに要する時間である。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p>表2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="1368 411 1760 547"> <tr><td>① 時間余裕</td><td>10分</td></tr> <tr><td>② 現場への移動</td><td>15分</td></tr> <tr><td>③ 漏えい箇所の特定</td><td>5分</td></tr> <tr><td>④ 隔離操作（循環水ポンプ停止）</td><td>16分</td></tr> <tr><td>合計</td><td>46分</td></tr> </table>  <p>図1 循環水ポンプ停止までの時間</p> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。</p> <p>表3 循環水管の伸縮継手部からの溢水量</p> <table border="1" data-bbox="1290 1007 1850 1082"> <tr><th>溢水流量 (m³/h)</th><th>溢水継続時間 (分)</th><th>溢水量 (m³)</th></tr> <tr><td>37,000</td><td>46</td><td>約 28,370</td></tr> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器、脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p>	① 時間余裕	10分	② 現場への移動	15分	③ 漏えい箇所の特定	5分	④ 隔離操作（循環水ポンプ停止）	16分	合計	46分	溢水流量 (m ³ /h)	溢水継続時間 (分)	溢水量 (m ³)	37,000	46	約 28,370	<p>【大阪】 記載方針の相違 泊は表2の①～④の項目を溢水評価ガイドを踏まえた記載としている。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 泊は図1の①～④の項目を溢水評価ガイドを踏まえた記載としている。</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 大阪3/4号炉はツインプラントであるため、文中に1ユニット分の算出結果を示し、表3に2ユニット分の溢水量を記載しているが、泊は1ユニットしかないので表3に算出結果を示している。（算出方法は同様）</p>
① 地震発生事象確認	10分																													
② 地震発生による異常の認知時間	10分																													
③ 循環水ポンプ停止	6分																													
合計	26分																													
	溢水量 (m ³)																													
地震による破損	約 44,300 × 2 ユニット = 約 88,600																													
① 時間余裕	10分																													
② 現場への移動	15分																													
③ 漏えい箇所の特定	5分																													
④ 隔離操作（循環水ポンプ停止）	16分																													
合計	46分																													
溢水流量 (m ³ /h)	溢水継続時間 (分)	溢水量 (m ³)																												
37,000	46	約 28,370																												

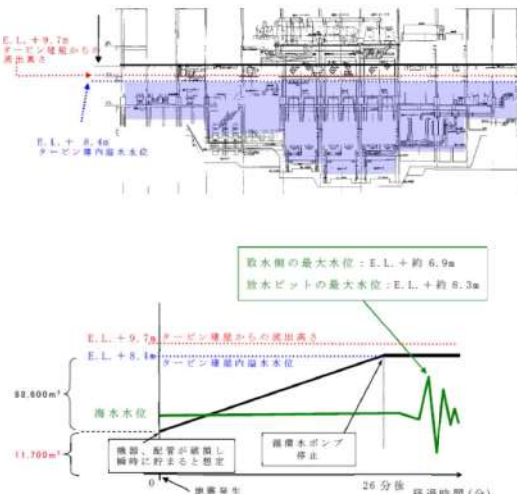
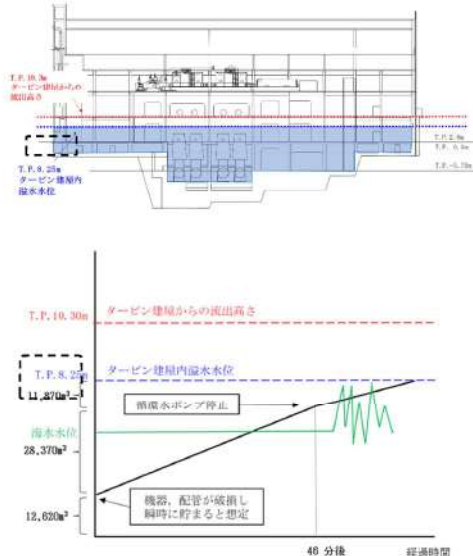
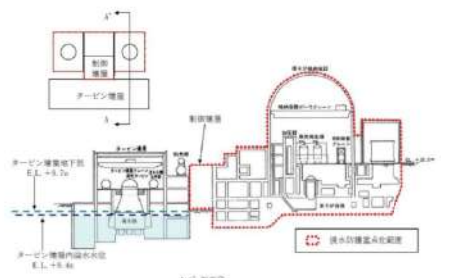
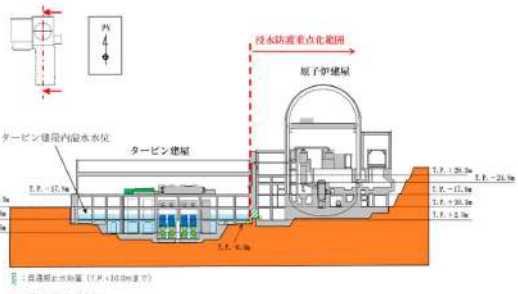
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. タービン建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>3.1 タービン建屋の想定破損による没水影響評価</p> <p>想定破損は単一の機器の破損を想定するが、地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p> <p>4. タービン建屋の放水による没水影響評価</p> <p>4.1 タービン建屋の放水による没水影響評価</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p>	<p>耐震B、Cクラス設備の破損による溢水量は2,873m³、循環水系配管の破損に伴う溢水量は、3,970m³となり、合計6,843m³となる。</p> <p>(2) 管理区域外</p> <p>管理区域内と同様に、耐震性が確認されていない耐震B、Cクラス設備の複数同時破損を考慮する他、保守的にタービン補機冷却海水ポンプの運転継続を仮定した評価を実施している。</p> <p>耐震B、Cクラス設備の破損による溢水量は650m³、タービン補機冷却海水系配管の破損に伴う溢水量は174m³となり、合計824m³となる。</p> <p>4. タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量</p> <p>上述のように、溢水量が最も大きくなるのは地震起因による溢水となるため、評価にはこの値を用いる。</p>	<p>以上より、耐震Cクラス設備の破損による溢水量は12,620m³、循環水管伸縮接手部の破損に伴う溢水量は、28,370m³、循環水ポンプ停止後から津波来襲後までの溢水量は11,870m³となり、合計52,860m³となる。</p> <p>4. タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量</p> <p>上述のように、溢水量が最も大きくなるのは地震起因による溢水となるため、評価にはこの値を用いる。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊のタービン建屋内の機器・配管はすべて耐震Cクラスである。 ・泊は津波来襲による津波の流入を考慮している。(大阪と同様) <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないことから、管理区域と非管理区域に分けた記載はしていない。 <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映により、泊は1項に想定破損、2項に消火放水について記載している。

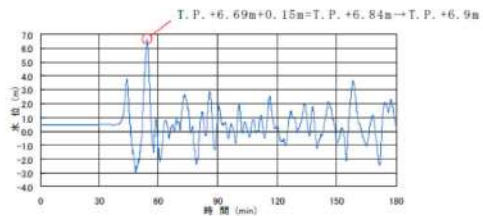
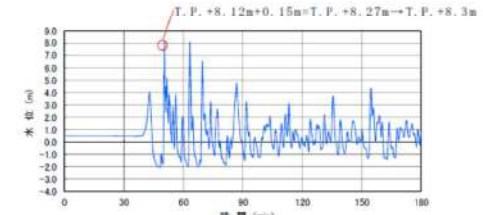
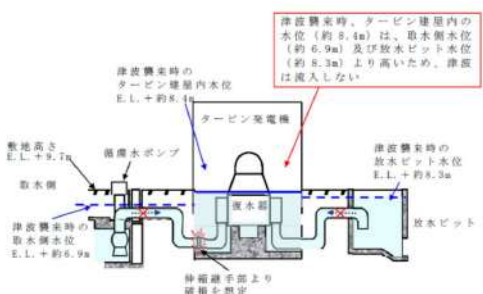


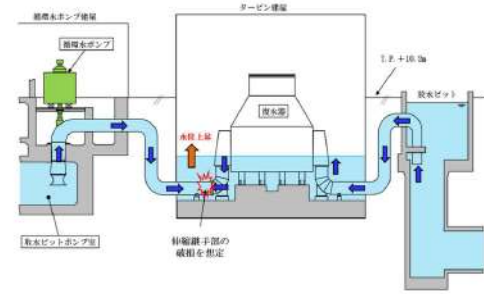
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>5. タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>5.1 タービン建屋の地震による没水影響評価</p> <p>タービン建屋に溢水を保有するための空間容積は、E.L. +9.7m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構造物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出する。（図5）</p> <p>欠損部体積を算出した主な施設は以下のとおり。 建屋構造物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等 機器：ポンプ、タンク、盤等 配管：循環水管、復水管、海水管等</p> <p>表5 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1" data-bbox="112 726 672 821"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地下体積 (m³)</th> <th>欠損部体積 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>約 109,200</td> <td>約 43,000</td> <td>約 66,200</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>約 76,800</td> <td>約 25,500</td> <td>約 51,300</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 約 117,500 m³</p>  <p>図5 タービン建屋断面図</p> <p>2次系機器の破損による溢水量及び循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能であり、建屋外へ流出することがないことを確認した。（図6～図9）</p>	ユニット	地下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)	3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200	4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300	<p>5. タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>タービン建屋に溢水を保有するための空間容積は、T.P.10.3m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構造物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出する（図2）。また、機器及び配管の欠損部体積に対して係数を乗じることで保守性を確保する。</p> <p>欠損部体積を算出した主な施設は以下のとおり。 建屋構造物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等 機器：ポンプ、タンク、盤等 配管：循環水管、復水管、海水管等</p> <p>表5 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1288 726 1848 813"> <thead> <tr> <th>T.P. 10.3m 以下体積 (m³)</th> <th>欠損部体積 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約 83,600</td> <td>約 22,100</td> <td>約 61,500</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図2 タービン建屋断面図</p> <p>追而【地震津波側審査の反映】 以下の破線囲部分は基準津波確定後の評価結果を反映する。</p> <p>2次系機器の破損による溢水量及び循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能である。タービン建屋内における溢水水位はT.P.8.3mとなり、原子炉建屋との境界に対しては溢水防護措置（配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることから、隣接する原子炉建屋に伝播しないことを確認した（図3～図7）。</p>	T.P. 10.3m 以下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)	約 83,600	約 22,100	約 61,500	<p>5. タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>タービン建屋に溢水を保有するための空間容積は、T.P.10.3m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構造物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出する（図2）。また、機器及び配管の欠損部体積に対して係数を乗じることで保守性を確保する。</p> <p>欠損部体積を算出した主な施設は以下のとおり。 建屋構造物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等 機器：ポンプ、タンク、盤等 配管：循環水管、復水管、海水管等</p> <p>表5 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1288 726 1848 813"> <thead> <tr> <th>T.P. 10.3m 以下体積 (m³)</th> <th>欠損部体積 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約 83,600</td> <td>約 22,100</td> <td>約 61,500</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図2 タービン建屋断面図</p> <p>追而【地震津波側審査の反映】 以下の破線囲部分は基準津波確定後の評価結果を反映する。</p> <p>2次系機器の破損による溢水量及び循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能である。タービン建屋内における溢水水位はT.P.8.3mとなり、原子炉建屋との境界に対しては溢水防護措置（配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることから、隣接する原子炉建屋に伝播しないことを確認した（図3～図7）。</p>	T.P. 10.3m 以下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)	約 83,600	約 22,100	約 61,500	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・PWRはタービン建屋の構造上、建屋体積から機器等の欠損部体積を差し引くことで、溢水を保有可能な空間容積を算出している。（大阪と同様） ・その上で、最終的な溢水水位を算出し、防護対象設備が設置される建屋との境界に浸水防護措置を講じていることは女川と同様である。</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> ・章立ての相違 ・泊は機器及び配管の欠損部体積を係数倍することで保守性を確保していることを記載している。保守性確保の考え方は大阪と同様である。</p> <p><u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違 <u>記載表現の相違</u> 図番号の相違</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 泊はタービン建屋の評価判定として隣接する原子炉建屋へ伝播しないことを明記している。</p>
ユニット	地下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)																								
3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200																								
4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300																								
T.P. 10.3m 以下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)																									
約 83,600	約 22,100	約 61,500																									
T.P. 10.3m 以下体積 (m ³)	欠損部体積 (m ³)	空間容積 (m ³)																									
約 83,600	約 22,100	約 61,500																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>100,300 m³ < 117,500 m³ (溢水量) (タービン建屋内の溢水保有可能空間容積)</p> <p>なお、E.L. +9.7m よりも低い位置には、タービン建屋から制御建屋へ浸水する可能性のある溢水伝播経路（扉、開口部、貫通部等）はない。</p> 			<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映により、泊はタービン建屋の溢水水を算出することで評価の判定を行っている。 ・泊はタービン建屋と原子炉建屋との境界には貫通部等があるため、原子炉建屋へ溢水が伝播しないよう溢水防護措置を講じている。
<p>図6 タービン建屋内の溢水水位イメージ</p>		<p>図3 タービン建屋内の溢水水位イメージ</p>	
			
<p>図7 タービン建屋内溢水水位（浸水防護範囲との境界）</p>		<p>図4 タービン建屋内溢水水位（浸水防護範囲との境界）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="179 175 627 446"> (事象進展) 1. 地震発生から循環水ポンプ停止まで (1) 2次系機器の破損による溢水は、タービン建屋内に瞬時に滞留(11,700m³) (2) 循環水ポンプの送水による循環水管の破損箇所からの溢水により、タービン建屋内水位が上昇(88,600m³) 2. 循環水ポンプ停止から津波襲来前まで (1) タービン建屋内の溢水水位の方が周辺平均満潮位より高いことから、外部からの流入はない。 3. 津波襲来時 (1) タービン建屋内の溢水水位の方が津波襲来時の取水側水位及び放水ピット水位より高いことから外部からの流入はない。 </p>  <p data-bbox="246 718 571 750">図8 津波による取水側の水位波形</p>  <p data-bbox="246 1021 571 1053">図9 津波による放水ピットの水位波形</p>  <p data-bbox="134 1404 683 1460">図10 津波襲来時のタービン建屋内水位と取水側水位及び放水ピット水位の概略図</p>		 <p data-bbox="1422 654 1736 686">図5 津波による取水側の水位波形</p>  <p data-bbox="1411 997 1758 1029">図6 津波による放水ピットの水位波形</p>  <p data-bbox="1321 1404 1836 1460">図7 津波来襲時のタービン建屋内水位と取水側水位及び放水ピット水位の概略図</p>	<p data-bbox="1870 175 2128 311"> 【大阪】 記載方針の相違 泊は9-別添1-補35-3に事象進展について記載している。 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 5.2</p> <p>屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>1. はじめに</p> <p>屋外タンク自体は防護対象設備ではないが、地震に起因する破損によって溢水源となりうる屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に流入しないことを確認する。</p> <p>2. 溢水源の抽出</p> <p>発電所敷地内の溢水源となりうるすべての屋外タンクを、図1に示す。このうち、溢水影響のある溢水源について抽出する。地震起因による溢水源としたタンクの抽出フローを図2に示し、タンクの諸元、フローに伴う区分を、表1に示す。</p> <p>【区分の考え方】</p> <p>(1) 溢水影響がないもの</p> <p>① 地震による溢水源としないタンク（区分A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準地震動 Ss による地震力に対して耐震性を確保するもの又は耐震対策工事により、耐震性を確保するもの。 <p>② 地震により破損するが、評価対象外とするタンク（区分B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漏えいの際に気化又は固化する物質を内包しているタンク ・ 地形等を踏まえ防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しないタンク <p>③ 空運用を行うタンク（区分C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラントの運用にて空としているタンク ・ 溢水影響を防止するために、空運用を行うタンク <p>(2) 溢水影響を評価するもの</p> <p>④ 4号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク（区分D）</p> <p>⑤ 3号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク（区分E）</p> <p>⑥ タービン建屋に溢水が伝播するタンク（区分D及び区分E）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水は、タービン建屋に流入する。タービン建屋に流入するタンクは、④⑤項の区分D及び区分Eである。 	<p style="text-align: right;">補足説明資料 31</p> <p>屋外タンクからの溢水影響評価について</p> <p>地震起因による屋外タンク等の破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋（廃棄物処理エリア（管理区域）を除く）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア及び軽油タンクエリアに及ぼす影響を確認した。</p> <p>1. 溢水評価対象となる屋外タンク</p> <p>女川原子力発電所にある屋外タンクのうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて評価を行った。評価の対象となる屋外タンクを表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 36</p> <p>屋外タンクからの溢水影響評価について</p> <p>地震起因による屋外タンク等の破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に及ぼす影響を確認した。</p> <p>原子炉補機冷却海水等の系統排水については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>1. 溢水評価対象となる屋外タンク</p> <p>泊発電所にある屋外タンクのうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて評価を行った。評価の対象となる屋外タンクを表1に示す。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川・大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女川審査実績の反映 ・ 大阪は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、鯨谷タンクエリアの屋外タンクによる溢水については、防護対象設備が設置されている建屋に伝播しないことを確認している。詳細を別紙1に示す。</p> <p>また、放水ラインの閉塞に伴う溢水の発生の可能性については、閉塞しないことを確認している。詳細を別紙2に示す。</p> <div data-bbox="114 341 678 751" style="border: 2px solid red; height: 250px; width: 250px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">詳細の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p style="text-align: center;">図1 溢水源となりうる屋外タンク</p> <div data-bbox="185 842 613 1369" style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto;"> </div> <p style="text-align: center;">図2 屋外タンクの抽出フロー</p>			<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大阪は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

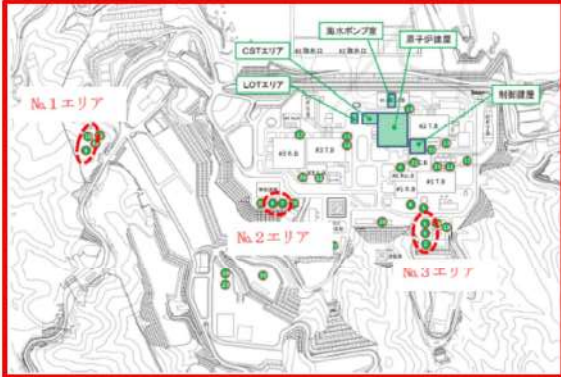

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉				相違理由
表1 溢水源となりうる屋外タンク(1/3)							表1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク(1/2)						表1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク				【女川・大阪】 記載表現の相違 【女川・大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。
No.	タンク名称	ユニット	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	区分	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	No.	タンク名称	基数	容量(m ³)	
1	燃料取替用水タンク	1号炉 2号炉	2基	E.L.+31.5	1,400	A	1	No.1純水タンク	1	O.P.+15.1	1,000	1,000	1	A-2次系純水タンク	1	1,600	1,600
2	1次系純水タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+31.4	424	B	2	No.2純水タンク	1	O.P.+15.4	2,000	2,000	2	B-2次系純水タンク	1	1,600	1,600
			1基	E.L.+31.4	424	E	3	1,2号ろ過水タンク	1	O.P.+15.1	2,000	2,000	3	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,800
3	補助復水タンク	1号炉 2号炉	2基	E.L.+31.9	800	A	4	再生純水タンク	1	O.P.+15.1	1,000	0 ※1	4	3B-ろ過水タンク	1	1,600	1,800
4	1次系用水タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+31.4	540	B	5	No.1サプレッションプール水貯蔵タンク	1	O.P.+15.3	2,000	0 ※1	5	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,800
5	原子炉補機冷却水貯蔵タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+31.4	300	B	6	No.2サプレッションプール水貯蔵タンク	1	O.P.+15.3	1,000	0 ※1	6	A-ろ過水タンク	1	1,600	1,800
6	主復水タンク	1号炉	1基	E.L.+18.0	850	B	7	3号純水タンク	1	O.P.+15.1	1,000	1,000	7	B-ろ過水タンク	1	1,600	1,800
7	主復水タンク	2号炉	1基	E.L.+18.0	1,150	E	8	3号ろ過水タンク	1	O.P.+15.1	2,000	2,000	8	1号及び2号炉補助ボイラー燃料タンク	1	600	450*
8	No.1淡水タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+81.0	10,000	C	9.10	原水タンク	2	O.P.+70.04	4,000	8,000	9	タービン計量タンク	1	70	70
	10,000		B		11-1	1号復水浄化系復水脱塩装置硫酸貯槽	1	O.P.+16.1	5.4	5.4	10	タービン計量タンク		1	110	0*	
	10,000		B		11-2	1号復水浄化系復水脱塩装置苛性ソーダ貯槽	1	O.P.+16.2	20	20	合計				10,530		
9	2次系純水タンク	1号炉 2号炉	2基	E.L.+72.0	3,000	C	12	1号差圧調整槽	1	O.P.+15.0	2.2	2.2	※評価に用いる容量は、発電所の所定期に反映し、運用容量を超過しないように管理する。 なお、本事項は後発規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）				
10	飲料水タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+72.0	500	B	13-1	2号復水浄化系復水脱塩装置苛性ソーダ貯槽	1	O.P.+16.0	32	0 ※1					
11	油計量タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+9.5	100 [kℓ]	C	13-2	2号復水浄化系復水脱塩装置硫酸貯槽	1	O.P.+16.6	7.5	0 ※1					
12	ヒドラジン原液タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+10.8	12	B	13-3	2号硫酸計量槽	1	O.P.+15.8	0.3	0 ※1					
13	硫酸タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+9.3	8.4	B	14	2号バック入り差圧調整装置	1	O.P.+15.4	1	1					
14	液化窒素貯槽	1号炉 2号炉	1基	E.L.+10.8	4.9 [kℓ]	B	15	3号各種薬液貯蔵及び移送系硫酸貯槽	1	O.P.+16.0	2.2	0 ※1					
15	補助ボイラー用燃料タンク	1号炉 2号炉	2基	E.L.+31.5	250 [kℓ]	C	16	3号各種薬液貯蔵及び移送系苛性ソーダ貯槽	1	O.P.+16.0	10.5	0 ※1					
16	非常用ディーゼル発電機燃料油タンク	1号炉 2号炉	4基	[地下]	70 [kℓ]	A	17	3号差圧調整槽	1	O.P.+15.3	0.1	0.1					

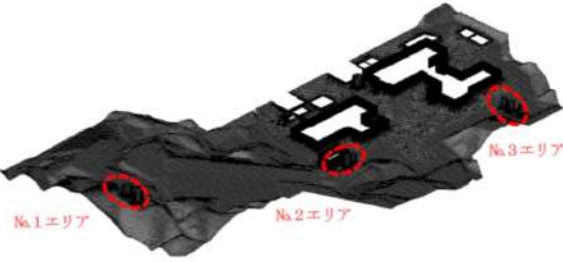
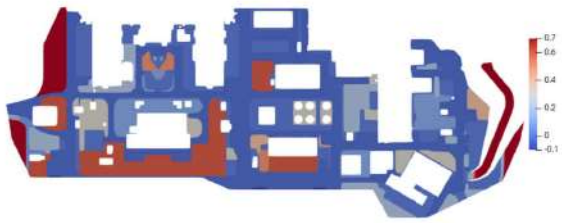
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉		相違理由
表1 溢水源となりうる屋外タンク(2/3)						表1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク(2/2)								【女川・大阪】 記載表現の相違
No.	タンク名称	ユニット	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	区分	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)		
17	廃樹脂処理装置硫酸タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+ 31.5	2	B	18-1	PAC貯槽	1	O.P.+15.3	2	2		
18	廃樹脂処理装置苛性ソーダタンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+ 31.5	2	B	18-2	硫酸貯槽	1	O.P.+17.3	3.9	3.9		
19	アスファルトタンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+ 33.8	23	B	18-3	苛性ソーダ貯槽	1	O.P.+15.7	7	7		
20	A、B2次系純水タンク	3号炉 4号炉	2基	E.L.+ 4.0	9,207	B	18-4	H塔再生用硫酸貯留槽	1	O.P.+16.8	0.3	0.3		
21	C2次系純水タンク	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 81.0	7,500	C	19	1,2号給排水建屋	1	O.P.+14.8	375.21	375.21		
22	淡水タンク	3号炉 4号炉	2基	E.L.+ 4.0	9,207	B	20	3号給排水建屋	1	O.P.+14.8	404.88	404.88		
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 45.5	100	D/E	21-1	高置水槽(給湯系統)	1	O.P.+33.3	6	6		
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 75.6	30	D/E	21-2	高置水槽(給水系統)	1	O.P.+33.3	8	8		
25	非常用ディーゼル発電機燃料油貯蔵タンク	3号炉 4号炉	4基	[地下]	167.8	A	22-1	No.1高架水槽	1	O.P.+34.7	8	8		
26	油計量タンク	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 13.5	130	C	22-2	No.2高架水槽	1	O.P.+34.7	8	8		
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	E.L.+ 13.8	138.2	D/E	23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2		
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 9.7	48	E	23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7		
29	構内排水B次亜塩素酸ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 13.0	36	E	24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P.+34.8	1.2	1.2		
30	構内排水B塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 13.0	6	E	24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P.+34.8	2.0	2.0		
31	構内排水B苛性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 13.0	6	E	24-3	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P.+19.68	1.01	1.01		
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 9.7	8.9	E	24-4	水蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P.+19.68	1.49	1.49		
33	純水装置苛性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 9.7	41	E	24-5	水蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P.+19.68	1.49	1.49		
34	淡水混合タンク	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 4.0	10	B	24-6	水蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P.+19.68	1.49	1.49		
							24-7	高架水槽(飲料水)	1	O.P.+36.55	1.5	1.5		
							24-8	高架水槽(雑用水)	1	O.P.+36.55	2.2	2.2		
							24-9	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P.+19.68	1.49	1.49		
							24-10	水蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P.+19.68	1.49	1.49		
							25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P.+15.613	3.4	6.8		
							26	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P.+14.95	1.49	1.49		
							27	受水槽	1	O.P.+15.3	6	6		
							28-1	上水受水槽	1	O.P.+62.9	37	37		
							28-2	雑用水受水槽	1	O.P.+62.9	55	55		
							28-3	受水槽	1	O.P.+62.9	0.5	0.5		
							29	燃料小出槽	1	O.P.+58.502	0.95	0.95		
							30	給水タンク	1	-	2	2		
							31	配水池	1	O.P.+69.7	300	300		
							32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P.+69.7	6	6		
							32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P.+69.7	4	4		
							33	消火水タンク	1	O.P.+14.8	230	230		
								合計容量(m ³)				17,540		
表1 溢水源となりうる屋外タンク(3/3)						表1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク(2/2)								
No.	タンク名称	ユニット	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	区分	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)		
35	No1、2 矽子洗浄タンク	全共用	2基	E.L.+ 32.0	180	B	25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P.+15.613	3.4	6.8		
36	液体窒素貯槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 14.4	36	B	26	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P.+14.95	1.49	1.49		
37	34海水淡水化装置	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 4.3	34.5	B	27	受水槽	1	O.P.+15.3	6	6		
38	海水電解装置受液槽	1号炉 2号炉	2基	E.L.+ 13.3	250	B	28-1	上水受水槽	1	O.P.+62.9	37	37		
39	タービン建屋海水電解装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	E.L.+ 13.8	3.5	D/E	28-2	雑用水受水槽	1	O.P.+62.9	55	55		
40	1、2アニオン排水タンク	1号炉 2号炉	1基	E.L.+ 14.4	121	E	28-3	受水槽	1	O.P.+62.9	0.5	0.5		
41	1、2カチオン排水タンク	1号炉 2号炉	2基	E.L.+ 14.4	105	E	29	燃料小出槽	1	O.P.+58.502	0.95	0.95		
42	1、2復水処理装置	1号炉 2号炉	1基	E.L.+ 21.3	450	B	30	給水タンク	1	-	2	2		
43	No1~No6消火水バックアップタンク	3号炉 4号炉	6基	E.L.+ 33.3	600	A	31	配水池	1	O.P.+69.7	300	300		
							32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P.+69.7	6	6		
							32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P.+69.7	4	4		
							33	消火水タンク	1	O.P.+14.8	230	230		
								合計容量(m ³)				17,540		
A：地震により溢水は発生しない。 B：防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しない。 C：空運用 D：4号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する。 E：3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する。						※1 評価に用いる容量は、発電所の所管類に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>3. 溢水源の抽出結果及び溢水量</p> <p>(1) 区分C</p> <p>表2 空運用を行うタンク</p> <table border="1" data-bbox="152 272 636 523"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>ユニット</th> <th>基数</th> <th>容量 (m³)</th> <th>区分</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>No.1 淡水タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>1基</td> <td>10,000</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>2基</td> <td>3,000</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>油計量タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>1基</td> <td>100 [ka]</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>補助ボイラ用燃料タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>2基</td> <td>250 [ka]</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>C2次系純水タンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>7,500</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>油計量タンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>130 [ka]</td> <td>C</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>空運用は、社内ルールに反映し水位制限を遵守する。</p> <p>(2) 区分D</p> <p>表3 4号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播するタンク及び溢水量</p> <table border="1" data-bbox="143 651 649 874"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>ユニット</th> <th>基数</th> <th>容量 (m³)</th> <th>区分</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>淡水サージタンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>100</td> <td>D/E</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>飲料水タンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>30</td> <td>D/E</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>復水処理建屋</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>2基</td> <td>138.2</td> <td>D/E</td> <td>276.4</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>タービン建屋海水電解装置受液槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>3.5</td> <td>D/E</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td colspan="6">4号原子炉周辺建屋周りに伝播する溢水量合計</td> <td>約 410</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 区分E</p> <p>表4 3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播するタンク及び溢水量</p> <table border="1" data-bbox="201 994 591 1457"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>ユニット</th> <th>基数</th> <th>容量 (m³)</th> <th>区分</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>2号炉</td> <td>1基</td> <td>424</td> <td>E</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>主復水タンク</td> <td>2号炉</td> <td>1基</td> <td>1,150</td> <td>E</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ヒドランゲン原液タンク</td> <td>2号炉</td> <td>1基</td> <td>12</td> <td>E</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>淡水サージタンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>100</td> <td>D/E</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>飲料水タンク</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>30</td> <td>D/E</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>復水処理建屋</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>2基</td> <td>138.2</td> <td>D/E</td> <td>276.4</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>構内排水設備</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>48</td> <td>E</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>構内排水B次系塩素酸ソーダ貯槽(予備)</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>36</td> <td>E</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>構内排水B塩酸貯槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>6</td> <td>E</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>構内排水B酸性ソーダ貯槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>6</td> <td>E</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>純水装置硫酸貯槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>8.9</td> <td>E</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>純水装置苛性ソーダ貯槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>41</td> <td>E</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>タービン建屋海水電解装置受液槽</td> <td>3号炉 4号炉</td> <td>1基</td> <td>3.5</td> <td>D/E</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>1,3アニオン排水タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>1基</td> <td>121</td> <td>E</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>1,2カチオン排水タンク</td> <td>1号炉 2号炉</td> <td>2基</td> <td>105</td> <td>E</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <p>3号原子炉周辺建屋周りに伝播する溢水量合計 約 1,180</p>	No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	8	No.1 淡水タンク	1号炉 2号炉	1基	10,000	C	0	9	2次系純水タンク	1号炉 2号炉	2基	3,000	C	0	11	油計量タンク	1号炉 2号炉	1基	100 [ka]	C	0	15	補助ボイラ用燃料タンク	1号炉 2号炉	2基	250 [ka]	C	0	21	C2次系純水タンク	3号炉 4号炉	1基	7,500	C	0	26	油計量タンク	3号炉 4号炉	1基	130 [ka]	C	0	No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	39	タービン建屋海水電解装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	4号原子炉周辺建屋周りに伝播する溢水量合計						約 410	No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424	7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150	12	ヒドランゲン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12	23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48	29	構内排水B次系塩素酸ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36	30	構内排水B塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	31	構内排水B酸性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9	33	純水装置苛性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41	39	タービン建屋海水電解装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	40	1,3アニオン排水タンク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121	41	1,2カチオン排水タンク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210	<p>2. 屋外タンク溢水評価モデルの設定</p> <p>(1) 水源の配置</p> <p>女川原子力発電所の溢水影響評価対象となる屋外タンク配置図を図1に示す。</p> <p>表1と図1に示すように、評価に影響を及ぼす大型の水源(1,000m³以上の大型タンク)は敷地内3箇所に分散配置されている(図1中の赤丸)ことから、これらの大型タンクから溢水した場合の影響について確認するため、表2に示すとおり水源を配置した。</p>  <p>図1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク配置図</p> <p>表2 水源の配置</p> <table border="1" data-bbox="707 1038 1256 1289"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>タンク容量 (m³)</th> <th>評価に用いる容量^{*)} (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">No.1エリア</td> <td>原水タンク</td> <td>1</td> <td>4,000</td> <td>4,160</td> </tr> <tr> <td>原水タンク</td> <td>1</td> <td>4,000</td> <td>4,160</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No.2エリア</td> <td>3号純水タンク</td> <td>1</td> <td>1,000</td> <td>1,280</td> </tr> <tr> <td>3号ろ過水タンク</td> <td>1</td> <td>2,000</td> <td>2,280</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No.3エリア</td> <td>No.1純水タンク</td> <td>1</td> <td>1,000</td> <td>1,230</td> </tr> <tr> <td>No.2純水タンク</td> <td>1</td> <td>2,000</td> <td>2,230</td> </tr> <tr> <td>1,2号ろ過水タンク</td> <td>1</td> <td>2,000</td> <td>2,230</td> </tr> <tr> <td colspan="4">総量</td> <td>17,570</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 評価に用いる容量は、評価対象タンク周りの屋外タンク容量も加算した値。</p>	No.	タンク名称	基数	タンク容量 (m ³)	評価に用いる容量 ^{*)} (m ³)	No.1エリア	原水タンク	1	4,000	4,160	原水タンク	1	4,000	4,160	No.2エリア	3号純水タンク	1	1,000	1,280	3号ろ過水タンク	1	2,000	2,280	No.3エリア	No.1純水タンク	1	1,000	1,230	No.2純水タンク	1	2,000	2,230	1,2号ろ過水タンク	1	2,000	2,230	総量				17,570	<p>2. 屋外タンク溢水評価モデルの設定</p> <p>(1) 水源の配置</p> <p>泊発電所の溢水影響評価対象となる屋外タンク配置図を図1に示す。</p>  <p>図1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク配置図</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川は大型の水源(1,000 m³以上の大型タンク)が敷地内3箇所に分散配置されているのに対し、泊はT.P.10m盤の敷地1箇所にのみ配置されていることから、女川のような水源配置の想定は不要である。</p> <p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川審査実績の反映 大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)																																																																																																																																																																																																																																																	
8	No.1 淡水タンク	1号炉 2号炉	1基	10,000	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
9	2次系純水タンク	1号炉 2号炉	2基	3,000	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
11	油計量タンク	1号炉 2号炉	1基	100 [ka]	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
15	補助ボイラ用燃料タンク	1号炉 2号炉	2基	250 [ka]	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
21	C2次系純水タンク	3号炉 4号炉	1基	7,500	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
26	油計量タンク	3号炉 4号炉	1基	130 [ka]	C	0																																																																																																																																																																																																																																																	
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)																																																																																																																																																																																																																																																	
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100																																																																																																																																																																																																																																																	
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30																																																																																																																																																																																																																																																	
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4																																																																																																																																																																																																																																																	
39	タービン建屋海水電解装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5																																																																																																																																																																																																																																																	
4号原子炉周辺建屋周りに伝播する溢水量合計						約 410																																																																																																																																																																																																																																																	
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)																																																																																																																																																																																																																																																	
2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424																																																																																																																																																																																																																																																	
7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150																																																																																																																																																																																																																																																	
12	ヒドランゲン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12																																																																																																																																																																																																																																																	
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100																																																																																																																																																																																																																																																	
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30																																																																																																																																																																																																																																																	
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4																																																																																																																																																																																																																																																	
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48																																																																																																																																																																																																																																																	
29	構内排水B次系塩素酸ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36																																																																																																																																																																																																																																																	
30	構内排水B塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6																																																																																																																																																																																																																																																	
31	構内排水B酸性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6																																																																																																																																																																																																																																																	
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9																																																																																																																																																																																																																																																	
33	純水装置苛性ソーダ貯槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41																																																																																																																																																																																																																																																	
39	タービン建屋海水電解装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5																																																																																																																																																																																																																																																	
40	1,3アニオン排水タンク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121																																																																																																																																																																																																																																																	
41	1,2カチオン排水タンク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210																																																																																																																																																																																																																																																	
No.	タンク名称	基数	タンク容量 (m ³)	評価に用いる容量 ^{*)} (m ³)																																																																																																																																																																																																																																																			
No.1エリア	原水タンク	1	4,000	4,160																																																																																																																																																																																																																																																			
	原水タンク	1	4,000	4,160																																																																																																																																																																																																																																																			
No.2エリア	3号純水タンク	1	1,000	1,280																																																																																																																																																																																																																																																			
	3号ろ過水タンク	1	2,000	2,280																																																																																																																																																																																																																																																			
No.3エリア	No.1純水タンク	1	1,000	1,230																																																																																																																																																																																																																																																			
	No.2純水タンク	1	2,000	2,230																																																																																																																																																																																																																																																			
	1,2号ろ過水タンク	1	2,000	2,230																																																																																																																																																																																																																																																			
総量				17,570																																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) タービン建屋に伝播する溢水量（区分D及び区分E） 区分Dのタンクはすべて区分Eに伝播する結果となるため区分Eの合計が、タービン建屋に伝播する溢水量(2,480m³)である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】別添1本文「10.1 屋外タンク等の溢水による影響」(抜粋) p9条-別添1-10-5</p> <p>■溢水伝播挙動評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ○溢水源となる屋外タンク等を表現し、地震による損傷をタンク側板が瞬時に消失するとして模擬する。 ○構内排水路による排水機能及び敷地外への排出は期待しない。 ○輪谷貯水槽(東側)は基準地震動 Ss によって生じるスロッシングによる溢水量(時刻歴)を模擬する。 </div> <div style="border: 2px solid red; height: 150px; margin-top: 10px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; font-size: small;"> <p>検査の範囲は構造に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">図3 溢水源、溢水伝播経路及び評価する滞留区画</p>	<p>(2) 評価条件 タンクの損傷形態及び流出水の伝播に係る条件について以下のとおり設定した。</p> <p>a. 評価対象タンクは基礎ボルトのない平面タンクであり、地震時にははずりが発生するためタンクと接続されているすべての配管について全周破断を想定した。</p> <p>b. 破断位置については、保守的にタンク付け根部とした。</p> <p>c. タンクからの流出については、タンク水頭に応じて流出流量が低下するものとして評価を実施した。</p> <p>d. 雨水排水路からの流出や、地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>(3) 解析モデル 解析に使用した敷地モデルを図2に示す。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>図2 敷地モデル</p> </div>	<p>(2) 評価条件 タンクの損傷形態及び流出水の伝播に係る条件について以下のとおり設定した。</p> <p>a. 基準地震動に対する耐震性が確保されている2次系純水タンク及びろ過水タンクについては、タンクと接続されているすべての配管について全周破断を想定した。</p> <p>b. 破断位置については、保守的にタンク付け根部とした。</p> <p>c. タンクからの流出については、タンク水頭に応じて流出流量が低下するものとして評価を実施した。</p> <p>d. 容量が1,000 m³以下のタンクについては、地震による損傷をタンク側板が瞬時に消失するとして模擬した。</p> <p>e. 構内排水設備からの流出や、地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>(3) 解析モデル 解析に使用した敷地モデルを図2に示す。敷地モデルには保守性を考慮し、防潮堤の厚さを敷地側に2倍拡幅(循環水ポンプ建屋南側は1.5倍拡幅)させ、実際よりも滞留面積が小さくなるよう設定した。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>図2 敷地モデル</p> </div>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊では、容量が1,000m³を超える大型の屋外タンク6基については、防護対象設備が設置される原子炉建屋及び原子炉補助建屋に近接しているため、地震によりタンク本体が損壊した場合、タンク保有水量が瞬時に敷地に流出し、局所的な水位上昇により防護対象設備が設置される建屋に溢水が流入するおそれがある。以上を踏まえ、大型タンクの本体は基準地震動に対する耐震性を確保している。タンクと接続される配管の完全全周破断を想定していることは、女川と同様である。</p> <p>・容量が1,000 m³以下のタンクについては、過渡的な水位上昇に対してより保守的な解析条件となるよう、タンク容量が瞬時に流出する液柱崩壊を想定している。(島根2号炉と同様)</p> <p><u>設備名称の相違</u> <u>設計方針の相違</u> 泊では保守的な敷地モデルとなるよう、実際の敷地面積より滞留面積が小さくなるよう設定している。</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> 泊及び女川は溢水伝播解析にて屋外タンクからの溢水影響を評価しているのに対し、大飯は解析を実施していない。</p>

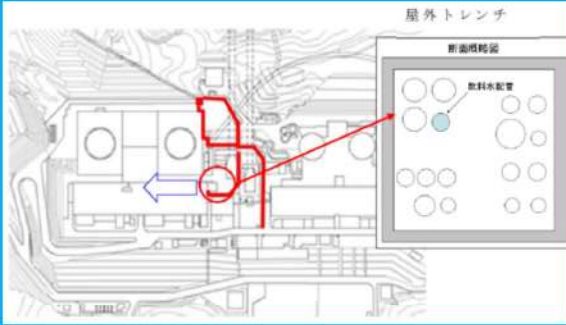
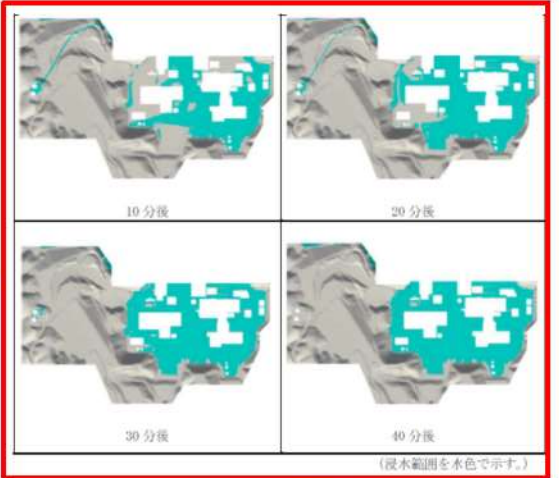
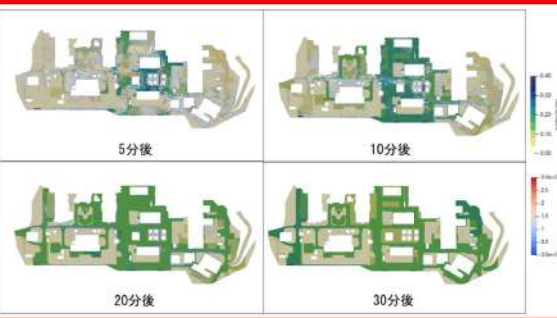

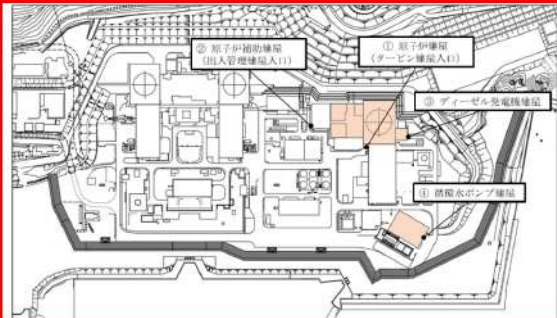
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>4. 溢水影響評価</p> <p>(1) 4号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水 保守的に排水路が閉塞した場合を評価する。4号側の防護対象 設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区分Dより溢水 量合計 410m³であり表5に示すとおり、溢水水位は E.L. +10.0m となるが、防護対象設備が設置されている建屋は、E.L. +11.4m までの流入防止対策(水密扉の設置等)を実施しており、溢水は流 入しない。</p> <p>表5 4号側の防護対象設備が設置されている建屋の溢水影響評 価</p> <table border="1" data-bbox="98 782 689 925"> <thead> <tr> <th>4号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量 合計</th> <th>溢水 水位</th> <th>防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ</th> <th>評 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,600m²</td> <td>410m³</td> <td>E.L. + 10.0m[*]</td> <td>E.L. +11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L. +10.0m=E.L. +9.7m+約 0.3m (=410 m³/1,600 m²)</p> <p>(2) 3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水 敷地は、中央道路から海へ向かって勾配があり排水される設計 であるが、保守的に一時的に滞留するものとして評価する。3号 側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区 分Eより溢水量合計 2,480m³であり表6に示すとおり、溢水水位 は E.L. +10.5m となるが、防護対象設備が設置されている建屋は、 E.L. +11.4m までの流入防止対策(水密扉の設置)を実施しており、 溢水は流入しない。</p> <p>表6 3号原子炉周辺建屋周りの溢水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="98 1308 689 1452"> <thead> <tr> <th>3号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量 合計</th> <th>溢水 水位</th> <th>防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ</th> <th>評 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300m²</td> <td>2,480m³</td> <td>E.L. +10.5m[*]</td> <td>E.L. +11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L. +10.5m=E.L. +9.7m+約 0.8m (=2,480m³/3,300 m²)</p>	4号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積	溢水量 合計	溢水 水位	防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ	評 価	1,600m ²	410m ³	E.L. + 10.0m [*]	E.L. +11.4m	○	3号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積	溢水量 合計	溢水 水位	防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ	評 価	3,300m ²	2,480m ³	E.L. +10.5m [*]	E.L. +11.4m	○	<p>3. 評価結果</p> <p>屋外タンク破損時の局所的な水位上昇について評価した結果、 防護対象設備が設置されている建屋・エリアのカーブ高さを超え ないことを確認した。</p> <p>表3に結果を示す。また、溢水伝播挙動を図4に、測定箇所及 び浸水深を図5-1及び図5-2に示す。</p> <p>なお、軽油タンクエリアについては、軽油タンクの地下化工事 に伴い、水密構造とすることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表3 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="689 718 1279 861"> <thead> <tr> <th></th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>最大浸水深^{※1} (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>0.33^{※2}</td> <td rowspan="4">17,570</td> <td>0.09</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>0.33^{※2}</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>0.20^{※2}(0.60^{※3})</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>0.20^{※2}</td> <td>0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋外壁扉の下端レベルから敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値(図3参照) ※2 海水ポンプ室ビット上端から敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値 ※3 海水ポンプ室浸水防止壁上端から敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値 ※4 敷地レベル0.P. +14.8mからの最大の浸水深</p>  <p>図3 建屋外壁扉（代表例）</p>		カーブ高さ (m)	溢水量 (m ³)	最大浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋	0.33 ^{※2}	17,570	0.09	○	制御建屋	0.33 ^{※2}	0.15	海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})	0.09	復水貯蔵タンク	0.20 ^{※2}	0.09	<p>3. 評価結果</p> <p>屋外タンク破損時の局所的な水位上昇について評価した結果、 防護対象設備が設置されている建屋の開口高さを超えないことを 確認した。</p> <p>表2に結果を示す。また、溢水伝播挙動を図4に、測定箇所及 び浸水深を図5-1及び図5-2に示す。</p> <p>なお、原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外に接する開口 は無いことから、それぞれ隣接するタービン建屋及び出入管理建 屋の開口高さが最大浸水深を上回ることを確認した。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯槽タンク室については、ディーゼ ル発電機燃料油貯槽タンク室内に設置されている非常用ディー ゼル発電機燃料油貯槽及び燃料油配管は静的機器であることか ら、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1279 718 1868 941"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>最大浸水深^{※1} (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋 (タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="5">10,530</td> <td>0.27</td> <td rowspan="5">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P. 10.0mを引いた値 ※2 敷地レベルT.P. 10.0mからの浸水深</p>  <p>図4 建屋外壁扉（代表例）</p>	建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	最大浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	0.27	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	0.17	原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}	0.19	循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}	0.17	<p>【大飯】 設計方針の相違 泊と女川は屋外伝搬解析により 評価を実施しているが、大飯は 溢水量の合計を建屋外の滞留面 積で除すことで溢水水位を算出 している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違 ・設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・泊の原子炉建屋及び原子炉補 助建屋には、屋外から直接出入 するための出入口は無いため、 隣接するタービン建屋及び出入 管理建屋の出入口を水位測定箇 所として評価を実施している。 ・タービン建屋と原子炉建屋、 出入管理建屋と原子炉補助建屋 との境界には、それぞれ水密扉 が設置されているため、屋外タ ンクからの溢水が流入しても防 護対象設備が設置される建屋に 影響は無いが、建屋内に溢水が 流入しない結果となっている。 ・泊のディーゼル発電機燃料油 貯槽タンク室は、女川の軽油 タンクエリアのような水密構造 では無いが、仮に室内に溢水が 流出した場合でも溢水影響は無 い。</p> <p>・評価結果の相違</p>
4号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積	溢水量 合計	溢水 水位	防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ	評 価																																																									
1,600m ²	410m ³	E.L. + 10.0m [*]	E.L. +11.4m	○																																																									
3号側の防護対象設 備が設置されてい る建屋外の滞留面積	溢水量 合計	溢水 水位	防護対象設備が設置 されている建屋の流 入防止対策高さ	評 価																																																									
3,300m ²	2,480m ³	E.L. +10.5m [*]	E.L. +11.4m	○																																																									
	カーブ高さ (m)	溢水量 (m ³)	最大浸水深 ^{※1} (m)	評価																																																									
原子炉建屋	0.33 ^{※2}	17,570	0.09	○																																																									
制御建屋	0.33 ^{※2}		0.15																																																										
海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})		0.09																																																										
復水貯蔵タンク	0.20 ^{※2}		0.09																																																										
建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	最大浸水深 ^{※1} (m)	評価																																																									
原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	0.27	○																																																									
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}		0.17																																																										
原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}		0.19																																																										
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}		0.17																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

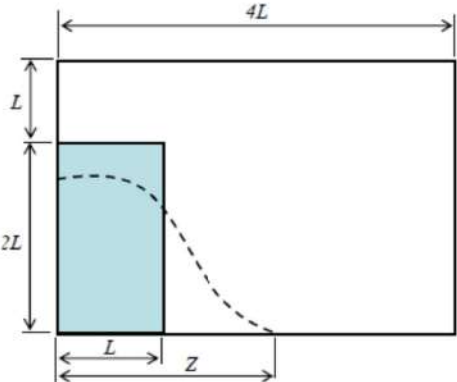
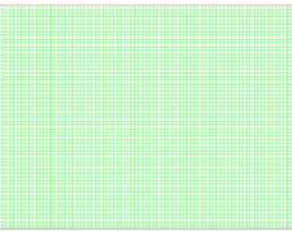
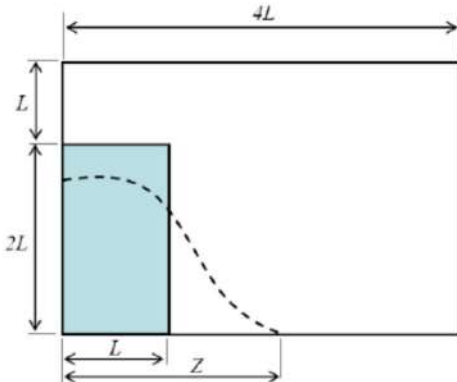

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）


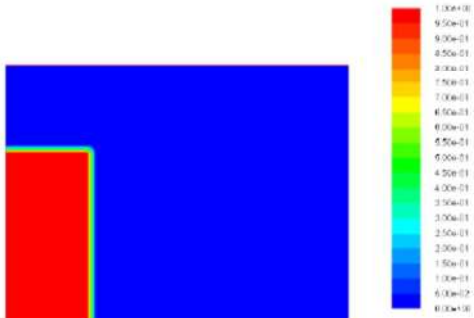
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)タービン建屋に伝播する溢水 タンクから発生する溢水が屋外トレンチを經由してタービン建屋に流入するもの、又は直接タービン建屋に流入するものがある。 タービン建屋に伝播する溢水(2,480m³)については、添付資料5.1「タービン建屋の溢水影響評価」にて、防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認する。 タービン建屋に流入するルートに関して図3に示す。</p> 	 <p>（溢水範囲を水色で示す。）</p>		<p>【大飯】 記載方針の相違 泊は屋外タンクからの溢水がタービン建屋に流入しないことを表2の評価結果に示している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 評価結果の相違</p>
<p>図3 タービン建屋に流入するルート</p>	<p>図4 溢水伝播挙動</p>	<p>図4 溢水伝播挙動</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>5.まとめ 屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認した。 なお、万一これらタンクの溢水が防護対象設備が設置されている建屋に到達したとしても流入防止対策（水密性を有する貫通部のシール充てん、水密扉の設置）を実施しており、溢水は流入しない。（別紙3、4、5参照） また、貫通部シール等の保全については、目視による定期的な外観点検を計画しており、水密性は維持可能である。</p>	 <p>【水位測定箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉建屋（大物輸出入口前） ② 原子炉建屋（06(A)室前） ③ 原子炉建屋（06(B)CS室前） ④ 原子炉建屋（06(B)室前） ⑤ 制御建屋 ⑥ 海水ポンプ室1 ⑦ 海水ポンプ室2 ⑧ CSTエリア ⑨ LOTエリア ⑩ 敷地1 ⑪ 敷地2 <p>図5-1 水位測定箇所</p> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉建屋（タービン建屋入口） ② 原子炉補助建屋（出入管理建屋入口） ③ ディーゼル発電機建屋 ④ 循環水ポンプ建屋 <p>図5-1 水位測定箇所</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊の原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外から直接出入するための出入口は無いため、隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口を水位測定箇所として評価を実施している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図5-2 水位測定箇所における浸水深(1/2)</p>	<p>図5-2 水位測定箇所における浸水深</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> <u>評価結果の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

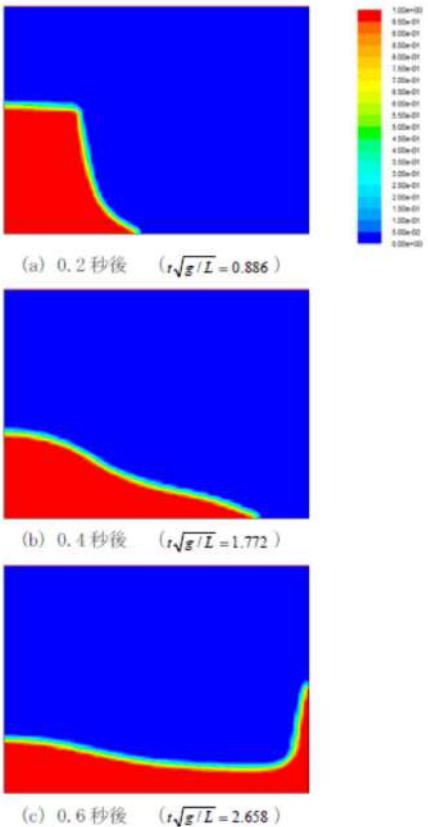
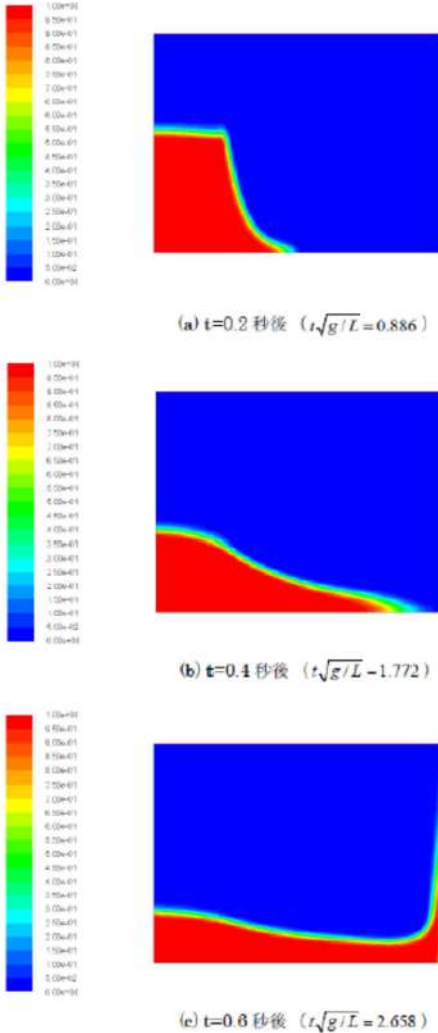
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	 <p>図1 解析対象</p> <p>表1 物性値</p> <table border="1" data-bbox="784 694 1176 965"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>密度 [kg/m³]</td> <td>$\rho_l = 1000$</td> </tr> <tr> <td>粘性係数 [Pa・s]</td> <td>$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$</td> </tr> <tr> <th colspan="2">空気</th> </tr> <tr> <td>密度 [kg/m³]</td> <td>$\rho_g = 1.0$</td> </tr> <tr> <td>粘性係数 [Pa・s]</td> <td>$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 解析モデルと解析条件</p> <p>3.1 メッシュ分割</p> <p>図2にメッシュ分割図を示す。全域においてメッシュサイズを鉛直/水平方向とも0.025[m] (0.05L)とする。</p>  <p>図2 メッシュ分割図</p>	水		密度 [kg/m ³]	$\rho_l = 1000$	粘性係数 [Pa・s]	$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$	空気		密度 [kg/m ³]	$\rho_g = 1.0$	粘性係数 [Pa・s]	$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$	 <p>図1 解析対象</p> <p>表1 物性値</p> <table border="1" data-bbox="1288 694 1848 901"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>密度 [kg/m³]</td> <td>$\rho_l = 1000$</td> </tr> <tr> <td>粘性係数 [Pa・s]</td> <td>$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$</td> </tr> <tr> <th colspan="2">空気</th> </tr> <tr> <td>密度 [kg/m³]</td> <td>$\rho_g = 1.0$</td> </tr> <tr> <td>粘性係数 [Pa・s]</td> <td>$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 解析モデルと解析条件</p> <p>3.1 メッシュ分割</p> <p>図1にメッシュ分割図を示す。全域においてメッシュサイズを鉛直/水平方向とも0.025 [m] (0.05L)とする。</p>  <p>図2 メッシュ分割図</p>	水		密度 [kg/m ³]	$\rho_l = 1000$	粘性係数 [Pa・s]	$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$	空気		密度 [kg/m ³]	$\rho_g = 1.0$	粘性係数 [Pa・s]	$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$	
水																											
密度 [kg/m ³]	$\rho_l = 1000$																										
粘性係数 [Pa・s]	$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$																										
空気																											
密度 [kg/m ³]	$\rho_g = 1.0$																										
粘性係数 [Pa・s]	$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$																										
水																											
密度 [kg/m ³]	$\rho_l = 1000$																										
粘性係数 [Pa・s]	$\mu_l = 1.0 \times 10^{-3}$																										
空気																											
密度 [kg/m ³]	$\rho_g = 1.0$																										
粘性係数 [Pa・s]	$\mu_g = 1.8 \times 10^{-5}$																										

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 2 流体のモデル化 水及び空気の2相流、かつ2相とも非圧縮性粘性流体としてモデル化する。2相の取り扱いについては、VOF法（Volume Of Fluid法）^[1]を採用する。また、層流解析とし、体積分率の離散化には compressive を採用し、界面処理のオプションとして Interfacial Anti-Diffusion を適用する。</p> <p>3. 3 初期条件 水柱の初期状態を模擬するために、図3に示すような体積分率の初期条件を与える。流速及び圧力は、すべて0とする。なお、赤色は水を、青色は空気を、コンターレンジ途中の色（黄緑色等）は水と空気の混合状態を意味する。</p>  <p>図3 体積分率分布（初期条件）</p> <p>3. 4 境界条件 メッシュモデル下面及び側面には、滑りなしの境界条件を与えた。また上面は圧力境界条件とする。</p> <p>3. 5 重力の取り扱い 鉛直下向きに1G（=9.8m/s²）相当の体積力を与える。</p> <p>3. 6 時間積分 非定常計算における時間刻みは、0.01秒とし、100時間ステップ（=1.0秒間）の解析を行う。</p>	<p>3. 2 流体のモデル化 水及び空気の2相流、かつ2相とも非圧縮性粘性流体としてモデル化する。2相の取扱いについては、VOF法（Volume Of Fluid法）^[1]を採用する。</p> <p>3. 3 初期条件 水柱の初期状態を模擬するために、図3に示すような体積分率の初期条件を与える。流速及び圧力は、すべて0とする。なお、赤色は水を、青色は空気を、コンターレンジ途中の色（黄緑色等）は水と空気の混合状態を意味する。</p>  <p>図3 体積分率分布（初期条件）</p> <p>3. 4 境界条件 メッシュモデル下面及び側面には、滑りなしの境界条件を与えた。また上面は圧力境界条件とする。</p> <p>3. 5 重力の取扱い 鉛直下向きに1G（=9.8m/s²）相当の体積力を与える。</p> <p>3. 6 時間積分 非定常計算における時間刻みは、0.01秒とし、100時間ステップ（=1.0秒間）の解析を行う。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 検証解析はすべてのセルが同一のサイズの長方形で形成された理想的な解析メッシュを用いていることから、メッシュ品質が悪い場合に生じる液面の数値拡散の影響が小さく、これを補正するためのオプションを適用するか否かの影響は小さい。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3.7 数値解析</p> <p>圧力と速度の連成には SIMPLE 法^[2]、運動量の離散化には1次精度風上を採用し、1時間ステップあたり20スイープの繰り返し計算を行った。</p> <p>4. 解析結果及びまとめ</p> <p>図4に、体積分率分布を示す。ここで、図中のt：経過時刻[s]、g：重力加速度を示す。時間の経過に伴って水柱が崩壊し、モデル右側面に衝突した水流が壁面を伝って上昇している様子が分かる。</p> <p>実験結果^[2]及び他の数値解法^[3]との比較を、図5及び図6に示す。図5は水の先端（右端）の位置の時間変化を、図6はモデル左端における水面の高さの時間変化を無次元化して整理したグラフである。これらの図において、本解析結果は他の解法・コードで計算した結果とよく一致している。図5の水の先端位置の時間変化において、解析結果が実験結果と比べて先行する傾向があるが、これは実験においては水ダムのスリットの開放が有限時間で行われることや、3次元性の影響があると思われる。</p>	<p>3.7 数値解法</p> <p>PISO法^[3]を採用し、1時間ステップ当たり20スイープの繰り返し計算を行った。</p> <p>4. 解析結果及びまとめ</p> <p>図4に、体積分率分布を示す。ここで、図中のt：経過時刻[s]、g：重力加速度を示す。時間の経過に伴って水柱が崩壊し、モデル右側面に衝突した水流が壁面を伝って上昇している様子が分かる。</p> <p>実験結果^[3]及び他の数値解法^[4]との比較を、図5及び図6に示す。図5は水の先端（右端）の位置の時間変化を、図6はモデル左端における水面の高さの時間変化を無次元化して整理したグラフである。これらの図において、本解析結果は他の解法・コードで計算した結果とよく一致している。図5の水の先端位置の時間変化において、解析結果が実験結果と比べて先行する傾向があるが、これは実験においては水ダムのスリットの開放が有限時間で行われることや、3次元性の影響があると思われる。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>タイムステップごとの計算手法が異なるものの、解く方程式は同一であることから、得られる解は理論的に同一である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(a) 0.2 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 0.886$)</p> <p>(b) 0.4 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 1.772$)</p> <p>(c) 0.6 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 2.658$)</p> <p>図4 水面（体積分率分布）の変化</p>	 <p>(a) t=0.2 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 0.886$)</p> <p>(b) t=0.4 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 1.772$)</p> <p>(c) t=0.6 秒後 ($t\sqrt{g/L} = 2.658$)</p> <p>図4 水面（体積分率分布）の変化</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="728 177 1240 507"> <p>図5 先端位置Zの時間変化</p> </div> <div data-bbox="728 587 1240 917"> <p>図6 水柱高さHの時間変化</p> </div> <div data-bbox="696 959 1272 1326"> <p>参考文献</p> <p>[1] Hirt, C. W. and Nicholls, B. D. : Volume of fluid (VOF) method for dynamics of free boundaries, J. Comput. Phys., Vol 39, pp. 201-221, 1981</p> <p>[2] Ferziger, J. H. and Peric, M. : Computational Method for Fluid Dynamics 3rd Edition, Springer, 2002.</p> <p>[3] Martin, J. C. and Moyce, W. J. : Part IV. An Experimental Study of the Collapse of Liquid Columns on a Rigid Horizontal Plane, Philosophical Transactions of the Royal Society of London. Series A, Mathematical and Physical Science, Vol. 244, No. 882, pp. 312-324, 1952</p> </div>	<div data-bbox="1310 177 1823 507"> <p>図5 先端位置Zの時間変化</p> </div> <div data-bbox="1310 587 1823 917"> <p>図6 水柱高さHの時間変化</p> </div> <div data-bbox="1279 959 1861 1390"> <p>参考文献</p> <p>[1] Hirt, C. W. and Nicholls, B. D. : Volume of fluid (VOF) method for dynamics of free boundaries, J. Comput. Phys., Vol 39, pp. 201-221, 1981</p> <p>[2] Ferziger, J. H. and Peric, M. : Computational Method for Fluid Dynamics 3rd Edition, Springer, 2002.</p> <p>[3] Martin, J. C. and Moyce, W. J. : Part IV. An Experimental Study of the Collapse of Liquid Columns on a Rigid Horizontal Plane, Philosophical Transactions of the Royal Society of London. Series A, Mathematical and Physical Science, Vol. 244, No. 882, pp. 312-324, 1952</p> <p>[4] 越塚誠一, 山川宏, 矢川元基: 数値流体力学 (インテリジェント・エンジニアリング・シリーズ), 培風館, 1997</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>1. はじめに</p> <p>海水ポンプエリアに設置されている防護対象設備は、海水ポンプであり、機能喪失高さは、ポンプモータ下端とする。</p> <p>海水ポンプエリアは、循環水ポンプが設置されている循環水ポンプ室と隣接しているが、海水ポンプエリア周囲に海水ポンプエリア止水壁を設置することにより、独立した区画となる。（図1）</p> <p>以上より、海水ポンプエリア内の溢水影響評価と海水ポンプエリア外の溢水影響評価を実施する。</p> <div data-bbox="120 692 647 935" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">図1 海水ポンプエリア配置図</p> <p>2. 海水ポンプエリア内の溢水影響評価（省略）</p> <p>3. 海水ポンプエリア外からの溢水影響評価</p> <p>海水ポンプエリア外からの溢水影響評価として、図6のとおり溢水を想定し、海水ポンプエリア止水壁（E.L. ）を越えて海水ポンプエリア内に流入して防護対象設備である海水ポンプの機能喪失高さまで到達しないことを確認する。</p> <p>なお、海水ポンプエリア外からの溢水については、屋外排水路逆流防止設備により早期に敷地外へ排水する設計とする。</p> <div data-bbox="120 1453 680 1481" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">参考資料</p> <p style="text-align: center;">原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価</p> <p>1. はじめに</p> <p>泊発電所の屋外における溢水影響評価では、地震起因による屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備が設置される建屋に及ぼす影響を確認している。原子炉補機冷却海水放水路については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定していないが、原子炉補機冷却海水系戻り配管からの排水が敷地に溢水した場合の影響について評価を実施する。</p> <p>1号、2号炉及び3号炉の原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水箇所及び構内排水設備の配置を図1に示す。</p> <div data-bbox="1290 655 1850 983" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">図1 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水箇所及び構内排水設備の配置</p>	<p style="text-align: right;">参考資料</p> <p style="text-align: center;">原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価</p> <p>1. はじめに</p> <p>泊発電所の屋外における溢水影響評価では、地震起因による屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備が設置される建屋に及ぼす影響を確認している。原子炉補機冷却海水放水路については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定していないが、原子炉補機冷却海水系戻り配管からの排水が敷地に溢水した場合の影響について評価を実施する。</p> <p>1号、2号炉及び3号炉の原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水箇所及び構内排水設備の配置を図1に示す。</p> <div data-bbox="1290 655 1850 983" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">図1 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水箇所及び構内排水設備の配置</p>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p>【女川・大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、屋外における溢水評価として、原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水を想定した場合の評価について説明しており、構内排水設備の排水機能に期待した評価を実施している。 ・美浜3号炉の海水ポンプエリア外からの溢水影響評価では、泊と同様に1次系海水戻り配管からの溢水を考慮し、排水設備の機能に期待した評価を実施していることから、先行審査実績として美浜3号炉の記載を参照し、美浜3号炉との相違理由について説明する。 <p>【美浜】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は防護対象設備が設置される建屋に対する屋外からの溢水影響評価方針について記載しており、美浜は海水ポンプに対する海水ポンプエリア外からの溢水影響評価について記載している。 ・また、泊の図1には、溢水箇所と構内排水設備の配置を示すとともに、敷地全体の排水の流れ（T.P.10.0m盤の道路面を流れていくことを想定）を示している。 <p><u>記載箇所の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の海水ポンプエリアの溢水影響評価は循環水ポンプ建屋内の評価として実施しており、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水評価について」にて説明している。美浜の「2. 海水ポンプエリア内の溢水影響評価」についても、本比較表における記載は省略する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>図6 海水ポンプエリア外溢水影響評価フロー</p> <p>3.1 海水ポンプエリア外からの想定破損による溢水影響評価 海水ポンプエリアに隣接している低エネルギー配管を抽出し想定破損による溢水影響を評価する。 配管破損形状は、貫通クラックとして1系統における単一の破損を想定し、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定して溢水流量を算出した。</p> <p>○海水ポンプエリアに隣接する低エネルギー配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環水配管 ・2次系冷却系配管 ・消火水配管 ・淡水配管 <p>表1 海水ポンプエリア外からの想定破損による溢水流量*</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溢水源</th> <th>循環水</th> <th>2次系冷却水</th> <th>消火水</th> <th>淡水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水流量 (m³/h)</td> <td>1,050</td> <td>10.7</td> <td>31.3</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>最大溢水量は循環水配管からの溢水流量(1,050 m³/h*)である。 なお、「3.3 海水ポンプエリア外からの地震による溢水影響評価」における全機器の破損を想定した溢水量(19,150 m³)の方が大きくこれに包絡される。</p> <p>※補足資料 23 3. (3) ① a. ~d. より引用</p>	溢水源	循環水	2次系冷却水	消火水	淡水	溢水流量 (m ³ /h)	1,050	10.7	31.3	6.8			<p>【美浜】 記載箇所の相違 泊の海水ポンプエリアに対する想定破損による溢水影響評価は、循環水ポンプ建屋内における評価として実施しており、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水評価について」で説明している。</p>
溢水源	循環水	2次系冷却水	消火水	淡水									
溢水流量 (m ³ /h)	1,050	10.7	31.3	6.8									

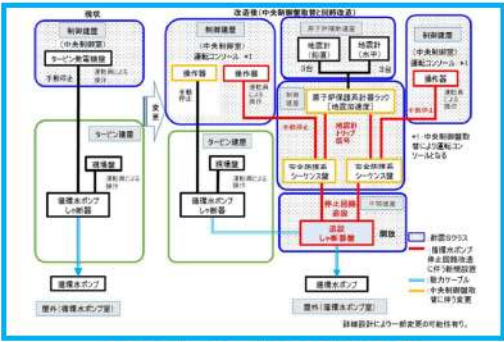
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>3.2 海水ポンプエリア外からの放水による溢水影響評価 海水ポンプエリア外からの放水において、消火栓からの放水による溢水量は126.0 m³である。 なお、「3.3 海水ポンプエリア外からの地震による溢水影響評価」における全機器の破損を想定した溢水量（19,150 m³）の方が大きくこれに包絡される。</p> <p>3.3 海水ポンプエリア外からの地震による溢水影響評価 海水ポンプエリア外からの地震による溢水源は、タービン建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、1次系海水戻り配管からの溢水及び津波による溢水を考慮する。</p> <p>3.3.1 タービン建屋からの地震による溢水影響評価 3.3.1.1 循環水管伸縮継手部の地震による溢水量 循環水管伸縮継手部の全円周状の破損を想定し溢水量を算出する。 (1) 循環水管伸縮継手部の溢水流量 放水口の閉塞を考慮し算出する。</p> <table border="1" data-bbox="129 991 651 1153"> <thead> <tr> <th>内径 (mm)</th> <th>継手幅 (mm)</th> <th>溢水流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,500</td> <td>80</td> <td>60,980*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補足資料 23 3. (3) ③ a. より引用 $Q=A \times C \sqrt{2 \times g \times H} \times 3600$ Q: 溢水流量 (m³/h) A: 断面積 (m²) (π × D × t) にて算出 C: 損失係数 = 0.82 H: 水頭 (m) = 28.1m</p> <p>(2) 循環水ポンプ停止までの溢水量の算出 溢水量の算出に用いる時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮し算出する。 循環水管伸縮継手部からの溢水量の軽減を図るために、循環水ポンプ停止時間が極力短くなるよう、地震トリップ信号により確実に循環水ポンプを停止する(手動停止含む)回路(耐震クラスS)に変更する。 なお、循環水管伸縮継手部からの溢水量の評価においては、溢水量の多くなる循環水ポンプ手動停止の溢水量で評価を実施する。</p>	内径 (mm)	継手幅 (mm)	溢水流量 (m ³ /h)	3,500	80	60,980*		<p>2. 屋外における地震起因による溢水源 地震による溢水源は、屋外タンクからの溢水、原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水を考慮する。</p>	<p>【美浜】 記載箇所の相違 泊の海水ポンプエリアに対する消火水放水による溢水影響評価は、循環水ポンプ建屋内における評価として実施しており、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水評価について」で説明している。 記載表現の相違 評価対象エリアの相違（美浜の「海水ポンプエリア」と泊の「屋外」の相違）による記載表現の相違、及び系統名称の相違 設計方針の相違 ・美浜のタービン建屋の溢水影響評価では、タービン建屋で発生する溢水が屋外に流出する評価結果となっており、海水ポンプエリア外からの溢水源としてタービン建屋からの溢水を想定している。 ・一方泊では、タービン建屋で発生する溢水はタービン建屋の空間容積に貯留可能であることから、屋外に流出することはない。 ・また、泊の屋外においては、防潮堤及び防水壁の設置により、津波が流入することはない。 記載方針の相違 上述の通り、美浜はタービン建屋からの溢水を溢水源として想定しているため、タービン建屋の溢水影響評価について記載している。</p>
内径 (mm)	継手幅 (mm)	溢水流量 (m ³ /h)							
3,500	80	60,980*							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
 <p>図7 循環水ポンプ停止回路変更点※</p> <p>※補足資料20 循環水ポンプ自動停止回路の改造について参照</p> <p>○手動停止</p> <p>プラントトリップに至らないような比較的小さい地震の発生時の対応としては、震度2程度の地震であれば、中央制御室共通盤の地震記録計注意警報(補助建屋 E.L. 3.0gal)発信により地震を早期に検知可能であるため、注意警報発信を起点とする。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 10px auto;"></div> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>地震発生による地震関連警報の発信により事象の判断及び破断箇所の特定を行う。警報要因と合わせて復水器真空などの復水器関連パラメータの変動、監視カメラ等により循環水管からの漏えいを検知し漏えい箇所の特定を行うことが可能である。それらの事象の判断及び破断箇所の特定に10分を想定している。その後、中央制御室にて循環水ポンプを停止操作するのに1分、循環水ポンプの空転に3分、計14分を想定している。</p> <p>表2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="179 1340 638 1460"> <tr> <td>①事象の判断及び破断箇所の特定</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②循環水ポンプ停止操作</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>③循環水ポンプ空転</td> <td>3分^{※1}</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14分</td> </tr> </table> <p>(溢水流量) × (ポンプ停止までの時間) = (溢水量)</p>	①事象の判断及び破断箇所の特定	10分	②循環水ポンプ停止操作	1分	③循環水ポンプ空転	3分 ^{※1}	合計	14分			<p>【美浜】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>美浜はタービン建屋からの溢水を溢水源として想定しているため、タービン建屋の溢水影響評価について記載している。</p>
①事象の判断及び破断箇所の特定	10分										
②循環水ポンプ停止操作	1分										
③循環水ポンプ空転	3分 ^{※1}										
合計	14分										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>60,980 m³/h × 14/60 h = 約 14,230 m³ ※補足資料 23.6. より引用</p> <p>表3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="297 320 524 395"> <tr> <td>溢水量 (m³)</td> </tr> <tr> <td>約 14,230</td> </tr> </table> <p>3.3.1.2 2次系機器の地震による溢水源及び溢水量 2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器、脱気器タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p> <p>表4 2次系機器の保有水量*</p> <table border="1" data-bbox="165 651 658 783"> <thead> <tr> <th colspan="2">保有水量</th> <th rowspan="2">保有水量合計 (m³)</th> </tr> <tr> <th>配管 (m³)</th> <th>容器 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約 1,300</td> <td>約 2,350</td> <td>約 3,650</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※補足資料 23.3.(3) ③ b.~c.、9.より引用</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※補足資料 23.9.より引用</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.3.1.3 2次系海水管の地震による溢水量 2次系海水管からの溢水流量が最も多くなる海水ポンプ4台運転を想定し、海水管破断による圧損を考慮して、12,870m³/h※とする。 ※補足資料 23.3.(3) ③ d.より引用 2次系海水管からの溢水は、地震発生から隔離弁閉止までの時間で算出する。なお、2次系海水管が破断した場合は、海水ポンプ出口ヘッド圧力低警報が瞬時に発信するシステム検知のため検知時間は0分とする。</p> <p>表5 隔離弁閉止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="165 1129 658 1225"> <tr> <td>①事象の判断及び破断箇所の特定</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②破断箇所の隔離</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12分</td> </tr> </table> <p>(溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) 12,870 m³/h × 12/60 h = 約 2,580 m³</p> <p>表6 2次系海水管からの溢水量</p> <table border="1" data-bbox="291 1369 533 1428"> <tr> <td>溢水量 (m³)</td> </tr> <tr> <td>約 2,580</td> </tr> </table> <p>3.3.1.4 タービン建屋に溢水を保有することができる空間容積 タービン建屋に溢水を保有するための空間容積は、タービン建</p>	溢水量 (m ³)	約 14,230	保有水量		保有水量合計 (m ³)	配管 (m ³)	容器 (m ³)	約 1,300	約 2,350	約 3,650	※補足資料 23.3.(3) ③ b.~c.、9.より引用			※補足資料 23.9.より引用			①事象の判断及び破断箇所の特定	10分	②破断箇所の隔離	2分	合計	12分	溢水量 (m ³)	約 2,580			<p>【美浜】 記載方針の相違 美浜はタービン建屋からの溢水を溢水源として想定しているため、タービン建屋の溢水影響評価について記載している。</p>
溢水量 (m ³)																											
約 14,230																											
保有水量		保有水量合計 (m ³)																									
配管 (m ³)	容器 (m ³)																										
約 1,300	約 2,350	約 3,650																									
※補足資料 23.3.(3) ③ b.~c.、9.より引用																											
※補足資料 23.9.より引用																											
①事象の判断及び破断箇所の特定	10分																										
②破断箇所の隔離	2分																										
合計	12分																										
溢水量 (m ³)																											
約 2,580																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>屋からの流出高さである E.L. 以下のタービン建屋容積から、欠損部体積を差し引き算出した。</p> <p>具体的には、タービン建屋容積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構造物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出した。</p> <p>欠損部体積を算出した主な施設は以下のとおり。</p> <p>建屋構造物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等</p> <p>機器：ポンプ、タンク、盤等</p> <p>配管：循環水管、復水管、海水管等</p> <p>(タービン建屋容積) - (欠損部体積) = (空間容積)</p> <p>約 10,600 m³※ - 約 4,230 m³※ = 約 6,370 m³</p> <p>※補足資料 23 3. (4)より引用</p> <p>表 7 溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積</p> <p>図 8 タービン建屋空間容積イメージ</p> <p>3.3.1.5 タービン建屋の地震による溢水影響評価結果</p> <p>タービン建屋からの溢水については、循環水管伸縮継手部からの溢水、2次系機器の保有水量及び2次系海水管からの溢水量を加算して、タービン建屋 E.L. までの空間容積を差し引いて算出した。</p> <p>約 14,230m³+約 3,650m³+約 2,580m³-約 6,370m³=約 14,090m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環水管伸縮継手部からの溢水量約 14,230 m³ (表 3) ・2次系機器の保有水量約 3,650 m³ (表 4) ・2次系海水管の溢水量約 2,580 m³ (表 6) <p>特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タービン建屋地下の空間容積約 6,370 m³ (表 7) <p>タービン建屋の溢水量より空間容積の方が小さいため、タービン建屋外への溢水の流出量は約 14,090 m³ となる。</p>			<p>【美浜】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>美浜はタービン建屋からの溢水を溢水源として想定しているため、タービン建屋の溢水影響評価について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
<p>表 8 タービン建屋からの溢水量</p> <table border="1" data-bbox="210 240 609 309"> <tr> <td></td> <td>溢水量 (m³)</td> </tr> <tr> <td>地震による破損</td> <td>約 14,090</td> </tr> </table> <p>3.3.2 屋外タンクの地震による溢水源及び溢水量 発電所敷地内の溢水源となりうる屋外タンクのうち海水ポンプエリア周りに溢水が伝播する屋外タンクは表9のとおり。</p> <p>表 9 伝播する屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="127 619 647 1118"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>格納容器冷暖房装置膨張タンク</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>2次系純水タンク</td><td>1000</td></tr> <tr><td>補助ボイラ燃料タンク</td><td>110[kℓ]</td></tr> <tr><td>補助ボイラ燃料タンク燃料空気分離器</td><td>0.34</td></tr> <tr><td>補助ボイラ燃料タンク泡消火設備</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>タービン油タンク</td><td>85[kℓ]</td></tr> <tr><td>ヒドラジン原液タンク</td><td>12.045</td></tr> <tr><td>復水処理装置塩酸貯槽</td><td>40</td></tr> <tr><td>復水処理装置苛性ソーダ貯槽</td><td>45</td></tr> <tr><td>復水処理装置逆洗排水槽</td><td>100</td></tr> <tr><td>復水処理装置廃液中和層</td><td>150</td></tr> <tr><td>硫酸タンク</td><td>9</td></tr> <tr><td>構内排水処理設備</td><td>2.28</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,560</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)：詳細については、添付5.2「屋外タンクからの溢水影響評価」に示す。</p>		溢水量 (m ³)	地震による破損	約 14,090	タンク名称	溢水量 (m ³)	格納容器冷暖房装置膨張タンク	0.5	2次系純水タンク	1000	補助ボイラ燃料タンク	110[kℓ]	補助ボイラ燃料タンク燃料空気分離器	0.34	補助ボイラ燃料タンク泡消火設備	0.4	タービン油タンク	85[kℓ]	ヒドラジン原液タンク	12.045	復水処理装置塩酸貯槽	40	復水処理装置苛性ソーダ貯槽	45	復水処理装置逆洗排水槽	100	復水処理装置廃液中和層	150	硫酸タンク	9	構内排水処理設備	2.28	合計	1,560		<p>(1) 屋外タンクからの溢水量 発電所敷地内の溢水源となりうる屋外タンクを表1に示す。また、容量が1,000m³を超える大型タンクからの溢水継続時間を表2に示す。</p> <p>表 1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="1285 635 1834 1027"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>容量 (m³)</th> <th>評価に用いる容量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>A-2次系純水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>2</td><td>B-2次系純水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>3</td><td>3A-ろ過水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>4</td><td>3B-ろ過水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>5</td><td>A-ろ過水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>6</td><td>B-ろ過水タンク</td><td>1</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>7</td><td>1号及び2号炉補助ボイラ燃料タンク</td><td>1</td><td>600</td><td>450*</td></tr> <tr><td>8</td><td>3号炉補助ボイラ燃料タンク</td><td>1</td><td>735</td><td>410*</td></tr> <tr><td>9</td><td>1号炉タービン油計量タンク</td><td>1</td><td>70</td><td>70</td></tr> <tr><td>10</td><td>3号炉タービン油計量タンク</td><td>1</td><td>110</td><td>0*</td></tr> <tr><td colspan="4">合計</td><td>10,530</td></tr> </tbody> </table> <p>*評価に用いる容量は、発電所の所測値に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>表 2 大型タンクからの溢水継続時間</p> <table border="1" data-bbox="1294 1161 1845 1394"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>初期水位 (m)</th> <th>接続配管断面積 (m²)</th> <th>溢水継続時間 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A-2次系純水タンク</td><td>11.56</td><td>0.13</td><td>26</td></tr> <tr><td>B-2次系純水タンク</td><td>11.56</td><td>0.13</td><td>26</td></tr> <tr><td>3A-ろ過水タンク</td><td>11.56</td><td>0.29</td><td>12</td></tr> <tr><td>3B-ろ過水タンク</td><td>11.56</td><td>0.29</td><td>12</td></tr> <tr><td>A-ろ過水タンク</td><td>11.56</td><td>0.23</td><td>15</td></tr> <tr><td>B-ろ過水タンク</td><td>11.56</td><td>0.23</td><td>15</td></tr> </tbody> </table>	No.	タンク名称	基数	容量 (m ³)	評価に用いる容量 (m ³)	1	A-2次系純水タンク	1	1,600	1,600	2	B-2次系純水タンク	1	1,600	1,600	3	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600	4	3B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600	5	A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600	6	B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600	7	1号及び2号炉補助ボイラ燃料タンク	1	600	450*	8	3号炉補助ボイラ燃料タンク	1	735	410*	9	1号炉タービン油計量タンク	1	70	70	10	3号炉タービン油計量タンク	1	110	0*	合計				10,530	タンク名称	初期水位 (m)	接続配管断面積 (m ²)	溢水継続時間 (分)	A-2次系純水タンク	11.56	0.13	26	B-2次系純水タンク	11.56	0.13	26	3A-ろ過水タンク	11.56	0.29	12	3B-ろ過水タンク	11.56	0.29	12	A-ろ過水タンク	11.56	0.23	15	B-ろ過水タンク	11.56	0.23	15	<p>【美浜】 記載方針の相違 美浜はタービン建屋からの溢水を溢水源として想定しているため、タービン建屋の溢水影響評価について記載している。</p> <p>【美浜】 記載表現の相違 記載方針の相違 ・美浜は海水ポンプエリアに対する評価を行っているため、海水ポンプエリア周辺のタンクに限定して溢水量を算出していることを記載している。</p> <p>設計方針の相違 ・次頁に記載の通り、連続的に排水される補機排水による溢水量は、屋外における溢水水位が最大となる時間の溢水量を算出している。(美浜と同様)</p> <p>・泊の溢水水位が最大となるのは、屋外の大型タンクからの溢水が継続する時間であることから、表2に各タンクからの溢水継続時間を示している。</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p>
	溢水量 (m ³)																																																																																																																												
地震による破損	約 14,090																																																																																																																												
タンク名称	溢水量 (m ³)																																																																																																																												
格納容器冷暖房装置膨張タンク	0.5																																																																																																																												
2次系純水タンク	1000																																																																																																																												
補助ボイラ燃料タンク	110[kℓ]																																																																																																																												
補助ボイラ燃料タンク燃料空気分離器	0.34																																																																																																																												
補助ボイラ燃料タンク泡消火設備	0.4																																																																																																																												
タービン油タンク	85[kℓ]																																																																																																																												
ヒドラジン原液タンク	12.045																																																																																																																												
復水処理装置塩酸貯槽	40																																																																																																																												
復水処理装置苛性ソーダ貯槽	45																																																																																																																												
復水処理装置逆洗排水槽	100																																																																																																																												
復水処理装置廃液中和層	150																																																																																																																												
硫酸タンク	9																																																																																																																												
構内排水処理設備	2.28																																																																																																																												
合計	1,560																																																																																																																												
No.	タンク名称	基数	容量 (m ³)	評価に用いる容量 (m ³)																																																																																																																									
1	A-2次系純水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
2	B-2次系純水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
3	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
4	3B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
5	A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
6	B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600																																																																																																																									
7	1号及び2号炉補助ボイラ燃料タンク	1	600	450*																																																																																																																									
8	3号炉補助ボイラ燃料タンク	1	735	410*																																																																																																																									
9	1号炉タービン油計量タンク	1	70	70																																																																																																																									
10	3号炉タービン油計量タンク	1	110	0*																																																																																																																									
合計				10,530																																																																																																																									
タンク名称	初期水位 (m)	接続配管断面積 (m ²)	溢水継続時間 (分)																																																																																																																										
A-2次系純水タンク	11.56	0.13	26																																																																																																																										
B-2次系純水タンク	11.56	0.13	26																																																																																																																										
3A-ろ過水タンク	11.56	0.29	12																																																																																																																										
3B-ろ過水タンク	11.56	0.29	12																																																																																																																										
A-ろ過水タンク	11.56	0.23	15																																																																																																																										
B-ろ過水タンク	11.56	0.23	15																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由											
<p>3.3.3 1次系海水戻り配管からの地震による溢水量</p> <p>地震発生後も海水ポンプは運転が継続されるため、1次系海水戻り配管からの溢水は継続する。</p> <p>海水ポンプエリア外からの溢水影響評価では、溢水水位が最大となる循環水ポンプ停止（14分）までの時間で、1次系海水戻り配管からの溢水量を算出する。</p> <p>(1次系海水戻り流量) (循環水ポンプ停止までの時間) (溢水量) $6,490 \text{ m}^3/\text{h}^* \times 14/60 \text{ h} = \text{約} 1,520 \text{ m}^3$ ※補足資料23 3.(3) ③ f.より引用</p> <p>表 10 1次系海水戻り配管の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="280 582 537 678"> <tr> <td>溢水量 (m³)</td> </tr> <tr> <td>約 1,520</td> </tr> </table> <p>(補足資料23より該当箇所を抜粋)</p> <p>3.(3) ③ f.</p> <table border="1" data-bbox="123 750 672 933"> <tr> <td>f. 1次系海水戻り配管</td> <td>6,490m³/h</td> <td> ○ $5,610\text{m}^3/\text{h} + 508\text{m}^3/\text{h} + 362.8\text{m}^3/\text{h} = 6,480.8\text{m}^3/\text{h} \approx 6,490\text{m}^3/\text{h}$ ・ 1次冷却水クーラ $1,870\text{m}^3/\text{h} \times 3 \text{台} = 5,610\text{m}^3/\text{h}$ ・ ディーゼル発電機冷却水クーラ $254\text{m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 508\text{m}^3/\text{h}$ ・ チラーユニット冷却水クーラ $181.4 \text{ m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 362.8\text{m}^3/\text{h}$ </td> </tr> </table> <p>3.3.4 地震による津波襲来時の溢水量</p> <p>津波襲来時に取水設備等から津波が流入する場合の津波到達時間は、図4のとおり地震発生後40分以降となる。その他の溢水は屋外排水路逆流防止設備にてアクセスルート確保するまでの地震発生後30分以内に構内より排水する計画であるため、津波評価は4.2 津波襲来時の溢水影響評価にて実施する。</p>  <p>※図9の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>図9 津波による取水側の水位波形</p>	溢水量 (m ³)	約 1,520	f. 1次系海水戻り配管	6,490m ³ /h	○ $5,610\text{m}^3/\text{h} + 508\text{m}^3/\text{h} + 362.8\text{m}^3/\text{h} = 6,480.8\text{m}^3/\text{h} \approx 6,490\text{m}^3/\text{h}$ ・ 1次冷却水クーラ $1,870\text{m}^3/\text{h} \times 3 \text{台} = 5,610\text{m}^3/\text{h}$ ・ ディーゼル発電機冷却水クーラ $254\text{m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 508\text{m}^3/\text{h}$ ・ チラーユニット冷却水クーラ $181.4 \text{ m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 362.8\text{m}^3/\text{h}$		<p>(2) 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの地震による溢水量</p> <p>地震発生後も原子炉補機冷却海水ポンプは運転が継続されるため、原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水は継続する。</p> <p>原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価では、溢水水位が最大となる屋外タンクからの溢水継続時間における原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水量を算出する。算出結果を表3に示す。</p> <p>表 3 原子炉補機冷却海水系戻り配管の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="1321 558 1825 646"> <tr> <th>流量 (m³/h)</th> <th>溢水継続時間 (分)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> <tr> <td>11,000^{※1}</td> <td>30^{※2}</td> <td>5,500</td> </tr> </table> <p>※1 $3,400\text{m}^3/\text{h} + 7,600\text{m}^3/\text{h} = 11,000\text{m}^3/\text{h}$</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3号炉原子炉補機冷却海水ポンプ $1,700\text{m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 3,400\text{m}^3/\text{h}$ ・ 1号及び2号炉原子炉補機冷却海水ポンプ $1,900\text{m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} \times 2 \text{ユニット} = 7,600\text{m}^3/\text{h}$ <p>※2 溢水継続時間が最大となるA、B-2次系純水タンクの25.44分に保守性を考慮</p>	流量 (m ³ /h)	溢水継続時間 (分)	溢水量 (m ³)	11,000 ^{※1}	30 ^{※2}	5,500	<p>【美浜】</p> <p>記載表現の相違 機器名称の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・ 溢水水位が最大となる時間について、美浜はタービン建屋における循環水管伸縮継手からの溢水が停止するまでの時間（CWP停止までの14分間）としているのに対し、泊は屋外タンクからの溢水が継続する時間（タンクからの流出量が0となるまでの約30分間）として補機排水の溢水量を算出している。なお、タンクからの溢水継続時間はタンク接続配管断面積によって異なるが継続時間が長い方が保守的な評価となることから30分としている。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は算出結果を表に記載し、算出根拠を注記に記載している。</p> <p>【美浜】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊の屋外においては、防潮堤及び防水壁の設置により津波が流入することはないため、津波襲来時については記載していない。</p>
溢水量 (m ³)														
約 1,520														
f. 1次系海水戻り配管	6,490m ³ /h	○ $5,610\text{m}^3/\text{h} + 508\text{m}^3/\text{h} + 362.8\text{m}^3/\text{h} = 6,480.8\text{m}^3/\text{h} \approx 6,490\text{m}^3/\text{h}$ ・ 1次冷却水クーラ $1,870\text{m}^3/\text{h} \times 3 \text{台} = 5,610\text{m}^3/\text{h}$ ・ ディーゼル発電機冷却水クーラ $254\text{m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 508\text{m}^3/\text{h}$ ・ チラーユニット冷却水クーラ $181.4 \text{ m}^3/\text{h} \times 2 \text{台} = 362.8\text{m}^3/\text{h}$												
流量 (m ³ /h)	溢水継続時間 (分)	溢水量 (m ³)												
11,000 ^{※1}	30 ^{※2}	5,500												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料36）

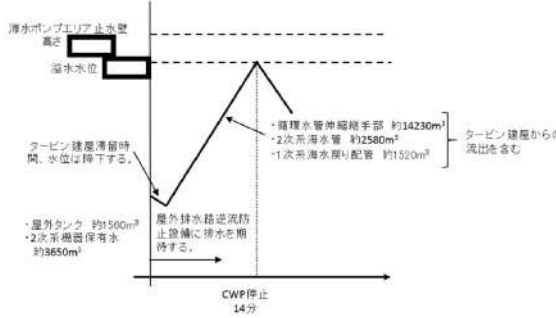
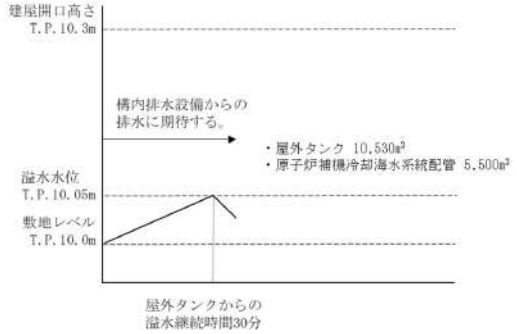
美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">(記載箇所の変更)</p> <p>4. 海水ポンプエリア外の溢水に対する排水評価</p> <p>海水ポンプエリア外の溢水については、屋外排水路逆流防止設備により排水する。</p> <p>屋外排水路逆流防止設備は発電所の運用上早期に排水をする必要があることから、約30分以内に排水する設計とする。</p> <p>地震発生後30分間の溢水量及び排水時間は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震後14分までの溢水量：約17,170 m³（表12） ・地震後14分から30分までの1次系海水戻り配管からの溢水量 <p>海水戻り流量 6,490 m³/h×16分/60分=1,740 m³</p> <p>30分間の溢水量は18,910 m³</p> $17,170 \text{ m}^3 + 1,740 \text{ m}^3 = 18,910 \text{ m}^3$ <p>上記、18,910 m³の溢水量を30分以内で排水する機能を有する屋外排水路逆流防止設備を設置する。</p> <p>なお、設置する屋外排水路逆流防止設備は溢水ガイドに基づき、1箇所からの排水は期待できないものとする。</p> <p>排水開始時期については、早期に滞留エリアの溢水を排水する必要があるため、循環水管伸縮継手部からの溢水発生とほぼ同時に排水可能な設計とする。</p> <p>なお、屋外排水路逆流防止設備の排水能力については別紙「屋外排水路逆流防止設備の排水能力について」に示す。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図12 屋外排水路逆流防止設備設置箇所</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>○循環水ポンプの自動停止における溢水量の評価について（別紙） （省略）</p>		<p>(3) 構内排水設備からの排水量</p> <p>原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水については、構内排水設備により排水する。</p> <p>構内排水設備は発電所の運用上早期に排水をする必要があることから、約30分以内に排水する設計とする。</p> <p>構内排水設備は、14,000 m³の溢水量を30分以内で排水する機能を有する構内排水設備を設置する。</p> <p>なお、設置する構内排水設備は溢水ガイドに基づき、1箇所からの排水は期待できないものとする。</p> <p>排水開始時期については、早期に滞留エリアの溢水を排水する必要があるため、地震発生後早期に排水可能な設計とする。</p> <p>構内排水設備の排水能力については4項「構内排水設備の排水能力について」に示す。</p>	<p>【美浜】</p> <p>記載箇所の相違</p> <p>評価で期待する構内排水設備の排水量について、美浜の4項の記載を比較のため貼り付けた。</p> <p>設備名称の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜は、本項では地震発生後30分間で発生する溢水量をもとに排水設備の排水量を18,910 m³/30分としているが、別紙にて降雨の重量を考慮した上で、排水設備の排水量は21,910 m³/30分以上と定められている。 ・これを踏まえ、泊は降雨との重量を考慮し、設置許可第6条の降雨に対する評価で確認している排水能力を用いて評価を実施しており、排水能力については4項に示している。 <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違による。</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜はタービン建屋における循環水管伸縮継手部からの溢水を溢水水源として想定しているのに対し、泊は地震起因による屋外の溢水を想定していることから、記載内容が異なる。 <p>記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1項の図1に構内排水設備の配置を含めた配置図を記載している。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水ポンプエリア内の評価に係る記載は本比較表への掲載は省略する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>3.3.5 海水ポンプエリア外の溢水影響評価結果</p> <p>海水ポンプエリア外の溢水については、タービン建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、1次系海水戻り配管からの溢水の結果より、海水ポンプエリア外からの溢水水位を算出する。</p> <p style="text-align: center;">(記載箇所の変更)</p> <p>表 11 海水ポンプエリア外の地震による没水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="129 438 645 555"> <thead> <tr> <th>E.L. (m)</th> <th>海水ポンプエリア周辺滞留面積 (m²)</th> <th>溢水量 (m³) / 水位 (m)</th> <th>海水ポンプエリア止水壁高さ (m)</th> <th>海水ポンプの機能喪失高さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□</td> <td>約 7,120[※]</td> <td>約 17,170⁽¹⁾ / □⁽²⁾</td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補足資料 23 3. (5)より引用</p> <p>□ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>(1) 溢水量：約 17,170 m³ 約 14,090 m³ + 約 1,560 m³ + 約 1,520 m³ = 約 17,170 m³ ・タービン建屋からの溢水量約 14,090 m³ (表 9) ・屋外タンクの溢水量約 1,560 m³ (表 10) ・1次系海水戻り配管からの溢水量約 1,520 m³ (表 11)</p> <p>(2) 溢水水位：E.L. □ (約 17,170 m³ - 10,730 m³) / 約 7,120 m² + E.L. □ ≧ E.L. □ ・屋外排水路逆流防止設備排水能力 10,730 m³ / 14 分 ・海水ポンプエリア周辺滞留面積 7,120 m²*</p> <p>溢水水位が最大となる循環水ポンプ停止までの 14 分後の水位が豪雨との重量を考慮した上で、発電所の運用上早期に排水をする必要があることから、30 分間で上記溢水量が屋外排水路逆流防止設備によって排水され、活動可能な水位とする排水能力が必要である。(別紙参照)</p> <p style="text-align: center;">表 11 海水ポンプエリア外の地震による没水影響評価 (記載箇所を変更)</p>	E.L. (m)	海水ポンプエリア周辺滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	海水ポンプエリア止水壁高さ (m)	海水ポンプの機能喪失高さ (m)	□	約 7,120 [※]	約 17,170 ⁽¹⁾ / □ ⁽²⁾	□	□		<p>3. 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価結果</p> <p>原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価については、屋外タンクからの溢水及び原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水を想定し、溢水水位を算出した。</p> <p>表 4 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="1288 422 1848 638"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>排水量 (m³)</th> <th>敷地面積 (m²)</th> <th>敷地浸水深 (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋 (タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="4">16,100^{※2, 3}</td> <td rowspan="4">14,000^{※4}</td> <td rowspan="4">約 46,400^{※5}</td> <td rowspan="4">0.05^{※6}</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベル T.P. 10.0m を引いた値</p> <p>※2 溢水量：16,100 m³ 10,530 m³ + 5,500 m³ + 70 m³ = 16,100 m³</p> <p>・屋外タンクからの溢水量：10,530 m³ (表 1) ・原子炉補機冷却海水系配管からの溢水量：5,500 m³ (表 3) ・地下水排水系及び液体廃棄物処理系からの溢水量：70 m³</p> <p>※3 地下水排水系及び液体廃棄物処理系は常時排水は無いが、保守的にポンプの定格容量による溢水量を想定した。(湧水ビットポンプ：25 m³/h、廃液蒸留水ポンプ 30 m³/h)</p> <p>※4 構内排水設備の排水能力：14,000 m³/h × 2 基 × 30/60 分</p> <p>※5 T.P. 10.0m 盤の道路の面積：46,400 m²</p> <p>※6 敷地レベル T.P. 10.0m からの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	排水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 (m)	評価	原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	16,100 ^{※2, 3}	14,000 ^{※4}	約 46,400 ^{※5}	0.05 ^{※6}	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}	循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}	<p>【美浜】</p> <p>記載表現の相違 評価対象エリアの相違 (美浜の「海水ポンプエリア」と泊の「屋外」の相違) による記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・美浜の表 11 は、横並びのために記載位置を変更した。</p> <p>記載方針の相違 ・泊の表 4 は、補足説明資料 36 の屋外タンクからの溢水評価における女川審査実績を反映した構成とし、建屋開口高さから溢水水位は T.P. 10.0m 盤を基準とした値を示している。</p> <p>設計方針の相違 ・美浜はタービン建屋からの溢水を溢水として想定しているため、タービン建屋からの溢水を記載している。</p> <p>評価結果の相違 ・泊は原子炉補機冷却海水系戻り配管と同様に一次系放水ビットに排水される地下水排水系及び液体廃棄物処理系についても溢水量として考慮している。</p> <p>評価に用いる敷地面積については、溢水が T.P. 10.0m 盤の道路面を流下していることを想定し、保守的に T.P. 10.0m 盤の道路の面積で評価した。</p> <p>記載方針の相違 泊は排水能力については降雨との重量も含めた内容を 4 項に示している。</p>
E.L. (m)	海水ポンプエリア周辺滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	海水ポンプエリア止水壁高さ (m)	海水ポンプの機能喪失高さ (m)																													
□	約 7,120 [※]	約 17,170 ⁽¹⁾ / □ ⁽²⁾	□	□																													
建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	排水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 (m)	評価																											
原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	16,100 ^{※2, 3}	14,000 ^{※4}	約 46,400 ^{※5}	0.05 ^{※6}	○																											
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}																																
原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}																																
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>海水ポンプエリア外からの溢水水位は、E.L. であり、海水ポンプエリア止水壁（E.L. ）に至らず海水ポンプに影響がないことを確認した。</p> <p>また、地震によりS字道路周辺が崩落し、溢水が洗掘することによる泥水の発生が考えられ、ロータリースクリーン側面から直接海水ポンプ直前に泥水が流入する恐れがあるため泥水対策壁（E.L. ）を設置する。</p> <p>なお、屋外排水路逆流防止設備については、14分間で10,730m³以上排水可能な設計とする。</p>  <p>図10 地震発生後の溢水水位イメージ</p>		<p>屋外における溢水水位は T.P. 10.05m であり、防護対象設備が設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋の開口高さ（T.P. 10.3m）に至らず、影響がないことを確認した。</p>  <p>図2 地震発生後の溢水水位イメージ</p>	<p>【美浜】</p> <p>記載表現の相違 評価対象エリアの相違（美浜の「海水ポンプエリア」と泊の「屋外」の相違）による記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違 ・評価結果の相違</p> <p>記載方針の相違 ・美浜は海水ポンプ、泊は防護対象設備が設置される建屋に対する評価判定を記載している。</p> <p>設計方針の相違 美浜は海水ポンプエリアに対する止水対策を施しているが、泊は防護対象設備が設置される建屋に溢水は流入しない評価結果となっていることから、対策は不要である。</p> <p>記載箇所の相違 評価で期待する構内排水設備の排水量について、泊は（3）に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="120 188 685 443" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="174 450 645 475" data-label="Caption"> <p>図 11 海水ポンプエリア外の地震による没水影響評価</p> </div> <div data-bbox="174 497 645 523" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <div data-bbox="120 571 667 657" data-label="Text"> <p>4. 海水ポンプエリア外の溢水に対する排水評価 （記載箇所を変更）</p> </div> <div data-bbox="120 689 398 746" data-label="Text"> <p>5. 津波襲来時の没水影響評価 （省略）</p> </div> <div data-bbox="645 826 689 849" data-label="Text"> <p>別紙</p> </div> <div data-bbox="197 858 600 880" data-label="Text"> <p>屋外排水路逆流防止設備の排水能力について</p> </div> <div data-bbox="120 928 689 1018" data-label="Text"> <p>海水ポンプエリア外からの溢水の排水について、溢水ガイドに従い算出される屋外の溢水及び豪雨との重量も含めて評価を行う。</p> </div> <div data-bbox="120 1034 309 1056" data-label="Text"> <p>1. 想定される溢水量</p> </div> <div data-bbox="120 1066 533 1120" data-label="Text"> <p>(1) 屋外の溢水量：18,910 m³ （4. 海水ポンプエリア外の排水評価による）</p> </div> <div data-bbox="120 1168 353 1190" data-label="Text"> <p>(2) 豪雨との重量について</p> </div> <div data-bbox="120 1200 689 1257" data-label="Text"> <p>配管及び機器からの溢水量に、発電所敷地における降雨についても評価する。</p> </div> <div data-bbox="120 1273 689 1327" data-label="Text"> <p>発電所敷地内に、発電所周辺地域における日最大1時間降水量の既往最大値(57.9mm)を用い評価する。</p> </div>		<div data-bbox="1285 858 1630 880" data-label="Text"> <p>4. 構内排水設備の排水能力について</p> </div> <div data-bbox="1285 928 1854 1018" data-label="Text"> <p>原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水の排水について、溢水ガイドに従い算出される屋外の溢水及び降雨との重量も含めて評価を行う。</p> </div> <div data-bbox="1285 1034 1518 1056" data-label="Text"> <p>(1) 想定される溢水量</p> </div> <div data-bbox="1285 1066 1854 1152" data-label="Text"> <p>① 地震起因による溢水量：16,100 m³ （表 4 原子炉補機冷却海水系戻り配管からの溢水影響評価による）</p> </div> <div data-bbox="1285 1168 1473 1190" data-label="Text"> <p>② 降雨との重量</p> </div> <div data-bbox="1285 1200 1854 1257" data-label="Text"> <p>地震起因による溢水量に、発電所敷地における降雨についても評価する。</p> </div> <div data-bbox="1285 1273 1854 1327" data-label="Text"> <p>発電所周辺地域における日最大1時間降水量の既往最大値(57.5mm/h)を用い評価する。溢水量を表5に示す。</p> </div>	<div data-bbox="1877 178 2114 338" data-label="Text"> <p>【美浜】 <u>記載方針の相違</u> 泊は海水ポンプエリアにおける評価ではないため、当該図面は記載していない。</p> </div> <div data-bbox="1877 555 2114 778" data-label="Text"> <p>【美浜】 <u>記載箇所の相違</u> ・9-別添1-補36-24に記載箇所を移動した。 ・海水ポンプエリア内における津波襲来時の評価に係る記載は本比較表への掲載は省略する。</p> </div> <div data-bbox="1877 865 2114 986" data-label="Text"> <p>【美浜】 <u>記載表現の相違</u> 泊は本資料では「降雨」という表現で統一した。</p> </div> <div data-bbox="1877 1034 2114 1088" data-label="Text"> <p><u>設計方針の相違</u> ・評価結果の相違</p> </div> <div data-bbox="1877 1273 2114 1391" data-label="Text"> <p><u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。 <u>記載方針の相違</u> 泊は溢水量を表5に示している。</p> </div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

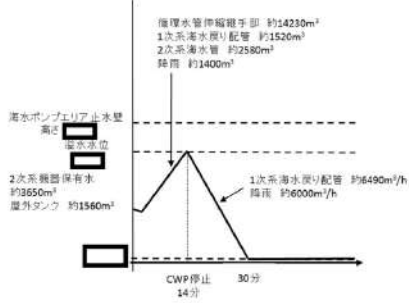
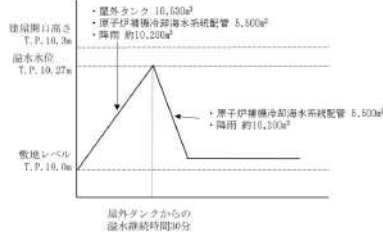
美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>(敷地面積) × (降雨量) = 溢水量 $103,300 \text{ m}^2 \times 57.9 \text{ mm/h} = 5,990 \text{ m}^3$ $\approx 6,000 \text{ m}^3$ (1時間最大値)</p> <p>2. 別ハザードからの要求 発電所の運用上早期に排水をすることから、30分間で上記溢水量が屋外排水路逆流防止設備によって排水され、活動可能な水位としなければならないため、1次系海水戻りからの溢水量及び降雨については、30分で再評価する。</p> <p>・屋外 18,910 m³/30分 ・降雨 3,000 m³/30分 $(6,000 \text{ m}^3 \times 30/60\text{h} = 3,000 \text{ m}^3)$ 合計 21,910 m³</p> <p>屋外排水路逆流防止設備の排水能力は、30分以内に21,910 m³を排水できる能力が必要であるため、約21,910 m³/30分以上の排水能力が必要である。</p> <p>3. 屋外排水路逆流防止設備の必要な排水能力について 屋外の溢水量及び降雨が排水でき、かつ、別ハザードからの要求が満足できる屋外排水路逆流防止設備の排水能力は、約21,910 m³/30分以上必要である。</p> <p>排水開始時期については、早期に滞留エリアの溢水を排水する必要があるため、循環水管伸縮継手部からの溢水発生とほぼ同時に排水可能な設計とする。</p>		<p>表5 日最大1時間降水量による溢水量(1時間最大値)</p> <table border="1" data-bbox="1330 252 1809 360"> <thead> <tr> <th>1時間の降水量 (mm)</th> <th>集水面積^{※1} (m²)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57.5</td> <td>約353,600</td> <td>約20,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 T.P.31m盤以上の雨水集水面積も含む</p> <p>(2) 別ハザードからの要求 設置許可基準規則第6条（自然事象）において、構内排水設備の排水可能流量は設計基準降水量（57.5mm/h）による降雨時の雨水流入量を上回り、排水可能であると評価しているため、地震と降雨が重畳した場合の影響についても評価する。30分間で発生する地震及び降雨重畳時の溢水量を表6に示す。</p> <p>表6 地震及び降雨重畳時の溢水量 (30分間)</p> <table border="1" data-bbox="1330 751 1809 850"> <thead> <tr> <th>地震起因による溢水量 (m³)</th> <th>降雨による溢水量 (m³)</th> <th>合計 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,100</td> <td>10,200</td> <td>26,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 構内排水設備の排水能力について 別ハザードからの要求が満足できる構内排水設備の排水能力は、1基あたり14,000m³/h以上である。</p> <p>排水開始時期については、早期に滞留エリアの溢水を排水する必要があるため、地震発生後早期に排水可能な設計とする。</p>	1時間の降水量 (mm)	集水面積 ^{※1} (m ²)	溢水量 (m ³)	57.5	約353,600	約20,400	地震起因による溢水量 (m ³)	降雨による溢水量 (m ³)	合計 (m ³)	16,100	10,200	26,300	<p>【美浜】 <u>設計方針の相違</u> 泊はT.P.10m盤の敷地全体の降雨量を算出しており、T.P.31m盤の一部からT.P.10m盤に雨水が流入するため、T.P.31m盤以上の雨水集水面積を考慮している。（設置許可6条の降水評価と同様）</p> <p><u>記載方針の相違</u> ・泊は別ハザードからの要求として、6条自然事象の降雨に対する評価を踏まえ、地震と降雨が重畳した場合の影響を確認することを記載している。 ・泊は算出結果を表に記載している。</p> <p>【美浜】 <u>設備名称の相違</u> <u>記載方針の相違</u> ・美浜は、海水ポンプエリア外からの溢水評価にて、降雨が重畳した場合の溢水量を想定して排水設備の排水能力を定めているのに対し、泊は設置許可第6条の降雨に対する評価で確認している排水能力を用いて評価を実施している。 ・美浜はタービン建屋における循環水管伸縮継手部からの溢水を溢水源として想定しているのに対し、泊は地震起因による屋外の溢水を想定していることから、記載内容が異なる。</p>
1時間の降水量 (mm)	集水面積 ^{※1} (m ²)	溢水量 (m ³)													
57.5	約353,600	約20,400													
地震起因による溢水量 (m ³)	降雨による溢水量 (m ³)	合計 (m ³)													
16,100	10,200	26,300													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>なお、溢水水位が最大となる循環水ポンプ停止までの14分後の水位が豪雨との重量を考慮した上で、30分以内に排水する排水能力が必要である。</p> <p>○屋外排水路逆流防止設備の排水能力 $21,910 \text{ m}^3/30 \text{ 分} \times 2 = 43,820 \text{ m}^3/\text{h} \approx 46,000 \text{ m}^3/\text{h}$</p> <p>○14分での排水量 $46,000 \text{ m}^3/\text{h} \times 14 \text{ 分} / 60 \text{ 分} = 10,730 \text{ m}^3$</p> <p>○14分での溢水量 （屋外溢水量）（降雨） $17,170 \text{ m}^3 + 1,400 \text{ m}^3 = 18,570 \text{ m}^3$</p> <p>・14分での降雨量 $6,000 \text{ m}^3/\text{h} \times 14 \text{ 分} / 60 \text{ 分} = 1,400 \text{ m}^3$</p> <p>○滞留面積：7,120 m²</p> <p>○溢水水位 $(18,570 \text{ m}^3 - 10,730 \text{ m}^3) / 7,120 \text{ m}^2 + E. \square = E. \square$</p> <p>○枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>（4）降雨重畳時の溢水影響評価</p> <p>溢水水位が最大となる屋外タンクからの溢水継続時間（30分）の溢水水位が、降雨との重量を考慮した場合でも、防護対象設備が設置される建屋の開口高さを超えないことを評価した。</p> <p>溢水水位の算出結果を表7に示す。溢水水位はT.P. 10. 27mであり、防護対象設備が設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋の開口高さ（T.P. 10. 3m）に至らず、影響がないことを確認した。</p> <p>表7 降雨重畳時の溢水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="1281 587 1861 817"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>排水量 (m³)</th> <th>敷地面積 (m²)</th> <th>敷地浸水深 (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋 （タービン建屋入口）</td> <td>0. 30^{※1}</td> <td rowspan="4">26, 300</td> <td rowspan="4">14, 000^{※2}</td> <td rowspan="4">約46, 400^{※3}</td> <td rowspan="4">0. 27^{※4}</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0. 30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 （出入管理建屋入口）</td> <td>0. 30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0. 30^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P. 10. 0mを引いた値 ※2 構内排水設備の排水能力 14, 000m³/h × 2 基 × 30/60 分 ※3 T.P. 10. 0m盤の道路の面積：46, 400 m² ※4 敷地レベルT.P. 10. 0mからの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	排水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 (m)	評価	原子炉建屋 （タービン建屋入口）	0. 30 ^{※1}	26, 300	14, 000 ^{※2}	約46, 400 ^{※3}	0. 27 ^{※4}	○	ディーゼル発電機建屋	0. 30 ^{※1}	原子炉補助建屋 （出入管理建屋入口）	0. 30 ^{※1}	循環水ポンプ建屋	0. 30 ^{※1}	<p>【美浜】</p> <p>記載表現の相違 泊は本資料では「降雨」という表現で統一した。</p> <p>設計方針の相違 溢水水位が最大となる時間について、美浜はタービン建屋における循環水管伸縮継手からの溢水が停止するまでの時間（OWP停止までの14分間）としているのに対し、泊は屋外タンクからの溢水が継続する時間（タンクからの流出量が0となるまでの約30分間）として補機排水の溢水量を算出している。</p> <p>記載方針の相違 ・泊は地震及び降雨重畳時においても、防護対象設備が設置される建屋に影響がないことを確認したことを明記している。 ・泊は算出結果を表に記載し、算出根拠を注記に記載している。 ・泊の表7は、補足説明資料36の屋外タンクからの溢水評価における女川審査実績を反映した構成とし、建屋開口高さと溢水水位はT.P. 10. 0m盤を基準とした値を示している。</p> <p>【美浜】</p> <p>設計方針の相違 評価に用いる敷地面積については、溢水がT.P. 10. 0m盤の道路面を流下していることを想定し、保守的にT.P. 10. 0m盤の道路の面積で評価した。</p>
建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	排水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 (m)	評価																	
原子炉建屋 （タービン建屋入口）	0. 30 ^{※1}	26, 300	14, 000 ^{※2}	約46, 400 ^{※3}	0. 27 ^{※4}	○																	
ディーゼル発電機建屋	0. 30 ^{※1}																						
原子炉補助建屋 （出入管理建屋入口）	0. 30 ^{※1}																						
循環水ポンプ建屋	0. 30 ^{※1}																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料36）

美浜発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1 溢水水位イメージ</p> <p>屋外排水路逆流防止設備については、保守的に46,000 m³/hの排水可能な設計とする。</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		 <p>図3 溢水水位イメージ</p>	<p>【美浜】 記載方針の相違 泊は設置許可第6条（自然事象）で定めた排水能力を用いて評価を実施しているため、必要な排水量について記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>添付資料 1.4.1</p> <p>その他の溢水に対する確認について</p> <p>その他の溢水に対して、想定される事象を整理するとともに、漏えいの早期検知及び排水により、漏えい水が溢水防護区画内に滞留しない設計となっていることを確認する。</p> <p>1. その他の溢水事象の整理</p> <p>溢水防護区画内にて発生が想定されるその他の溢水事象について表1に整理する。</p> <p>表1 その他の溢水事象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>想定事象</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 機器ドレン</td> <td>・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む。） ・サンプルシンクドレン 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器の動作（誤動作含む）</td> <td>・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等</td> <td>小～中</td> </tr> <tr> <td>(3) 機器損傷（配管以外）</td> <td>・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(4) 人的過誤</td> <td>・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等</td> <td>小～大</td> </tr> <tr> <td>(5) 配管フランジ部損傷</td> <td>・配管フランジ部からのリーク</td> <td>小</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)機器ドレン 通常運転状態において発生するドレンであり、床ドレン排水管及び機器ドレン排水管により排水可能な設計としている。</p> <p>(2)機器の動作（誤動作含む） 安全弁の動作は設計上想定されているものであり2次側は配管により冷却材貯蔵タンク等に直接繋がっており区画内に放出されない設計としている。（気体系の安全弁は除く。） 大気開放タンクの補給弁等開放端に繋がる弁が誤開、開固着した場合には、タンクがオーバーフローする可能性があるが、タンクオーバーフロー管は配管によりサンプタンク等に接続されており、区画内に漏えいしない設計となっている。</p>	分類	想定事象	漏えい量	(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む。） ・サンプルシンクドレン 等	小	(2) 機器の動作（誤動作含む）	・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中	(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小	(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等	小～大	(5) 配管フランジ部損傷	・配管フランジ部からのリーク	小	<p>補足説明資料 33</p> <p>その他の漏えい事象に対する確認について</p> <p>その他の漏えい事象に対して、想定される事象を整理するとともに、漏えいの早期検知及び隔離操作により、漏えい水が安全機能に影響を及ぼさない設計となっていることを確認する。</p> <p>1. その他漏えい事象の整理</p> <p>溢水防護区画内にて発生が想定されるその他漏えい事象について表1に整理する。</p> <p>表1 その他の漏えい事象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>想定事象</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 機器ドレン</td> <td>・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器の作動（誤作動含む）</td> <td>・安全弁作動 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等</td> <td>小～中</td> </tr> <tr> <td>(3) 機器損傷（配管以外）</td> <td>・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(4) 人的過誤</td> <td>・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 等</td> <td>小～大</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 機器ドレン 通常運転状態において発生するドレンで有り、床及び機器ドレンファンネルにより排水可能な設計としている。</p> <p>(2) 機器の作動（誤作動含む） 安全弁の作動は設計上想定されているものであり、二次側は自系統等に直接つながっており、区画内に放出されない設計としている（気体系の安全弁は除く） 大気開放タンクの補給弁等、開放端に繋がる弁が誤開、開固着した場合には、タンクがオーバーフローする可能性があるが、タンクオーバーフロー管は機器ドレンファンネル等に接続されており、区画内に漏えいしない設計となっている。</p>	分類	想定事象	漏えい量	(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等	小	(2) 機器の作動（誤作動含む）	・安全弁作動 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中	(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小	(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 等	小～大	<p>補足説明資料 37</p> <p>その他の漏えい事象に対する確認について</p> <p>その他の漏えい事象に対して、想定される事象を整理するとともに、漏えいの早期検知及び排水により、漏えい水が安全機能に影響を及ぼさない設計となっていることを確認する。</p> <p>1. その他漏えい事象の整理</p> <p>溢水防護区画内にて発生が想定されるその他漏えい事象について表1に整理する。</p> <p>表1 その他の漏えい事象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>想定事象</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 機器ドレン</td> <td>・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器の作動（誤作動含む）</td> <td>・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等</td> <td>小～中</td> </tr> <tr> <td>(3) 機器損傷（配管以外）</td> <td>・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等</td> <td>小</td> </tr> <tr> <td>(4) 人的過誤</td> <td>・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等</td> <td>小～大</td> </tr> <tr> <td>(5) 配管フランジ部損傷</td> <td>・配管フランジ部からのリーク</td> <td>小</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 機器ドレン 通常運転状態において発生するドレンで有り、床及び機器ドレン配管により排水可能な設計としている。</p> <p>(2) 機器の作動（誤作動含む） 安全弁の作動は設計上想定されているものであり、2次側は配管により冷却材貯蔵タンク等に直接繋がっており、区画内に放出されない設計としている。（気体系の安全弁は除く） 大気開放タンクの補給弁等、開放端に繋がる弁が誤開、開固着した場合には、タンクがオーバーフローする可能性があるが、タンクオーバーフロー管は配管によりサンプタンク等に接続されており、区画内に漏えいしない設計となっている。</p>	分類	想定事象	漏えい量	(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等	小	(2) 機器の作動（誤作動含む）	・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中	(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小	(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等	小～大	(5) 配管フランジ部損傷	・配管フランジ部からのリーク	小	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>その他の漏えい事象に対し、女川は漏えい検知後に隔離操作を実施する方針としているが、泊では床ドレン及び機器ドレンから排水可能な設計としており、漏えい区画内に漏えい水が滞留しないよう設計上の配慮がなされている。（大阪と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊では大阪と同様にアイスプラグ施工不良、配管フランジ部のリークによるその他漏えい事象について記載している。</p> <p>【女川・大阪】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>炉型の違いによる（大阪と同様）</p>
分類	想定事象	漏えい量																																																				
(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む。） ・サンプルシンクドレン 等	小																																																				
(2) 機器の動作（誤動作含む）	・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中																																																				
(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小																																																				
(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等	小～大																																																				
(5) 配管フランジ部損傷	・配管フランジ部からのリーク	小																																																				
分類	想定事象	漏えい量																																																				
(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等	小																																																				
(2) 機器の作動（誤作動含む）	・安全弁作動 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中																																																				
(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小																																																				
(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 等	小～大																																																				
分類	想定事象	漏えい量																																																				
(1) 機器ドレン	・ポンプシールドレン ・空調ドレン（結露水含む） ・サンプルシンクドレン 等	小																																																				
(2) 機器の作動（誤作動含む）	・安全弁動作 ・開放端に繋がる弁の誤開、開固着 等	小～中																																																				
(3) 機器損傷（配管以外）	・開放端に繋がる弁のシートリーク ・弁グランドリーク ・ポンプシールドレンリーク ・フランジリーク 等	小																																																				
(4) 人的過誤	・弁誤操作 ・隔離未完機器の誤開放 ・開放点検中設備への誤通水 ・アイスプラグ施工不良 等	小～大																																																				
(5) 配管フランジ部損傷	・配管フランジ部からのリーク	小																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)機器損傷（配管以外） 弁グランドリークについては、1次系弁はリークオフライン等により系外漏えいに至らないよう設計上の配慮がされている。 また、その他のリーク事象については、漏えい量は比較的小なく、床ドレン排水管等により排水可能な設計としている。</p> <p>(4)人的過誤 事象によっては大量の漏えいが発生する可能性があるが、過去のトラブル事例から、基本的にはプラントが停止している定期検査時に発生しているものであり、人的要因であることから、発生時には早期に隔離等の対処が可能である。</p> <p>(5)配管フランジ部損傷 配管フランジ部からのリークについては、漏えい量は比較的小なく、床ドレン排水管等により排水可能な設計としている。</p>	<p>(3) 機器損傷（配管以外） 弁グランドリークについては、一次系弁は、リークオフライン等により系外漏えいに至らないよう設計上の配慮がされている。 また、その他のリーク事象については、漏えい量は比較的小なく、床ドレンファンネル等により排水可能な設計としている。</p> <p>(4) 人的過誤 事象によっては大量の漏えいが発生する可能性があるが、過去のトラブル事例から、基本的にはプラントが停止している定期検査時に発生しているものであり、人的要因であることから、発生時には早期に隔離等の対処が可能である。</p>	<p>(3) 機器損傷（配管以外） 弁グランドリークについては、1次系弁は、リークオフライン等により系外漏えいに至らないよう設計上の配慮がされている。 また、その他のリーク事象については、漏えい量は比較的小なく、床ドレン配管等により排水可能な設計としている。</p> <p>(4) 人的過誤 事象によっては大量の漏えいが発生する可能性があるが、過去のトラブル事例から、基本的にはプラントが停止している定期事業者検査時に発生しているものであり、人的要因であることから、発生時には早期に隔離等の対処が可能である。</p> <p>(5) 配管フランジ部損傷 配管フランジ部からのリークについては、漏えい量は比較的小なく、床ドレン配管等により排水可能な設計としている。</p>	<p>【女川・大阪】 設備名称の相違</p> <p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊では大阪と同様に配管フランジ部のリークによるその他漏えい事象について記載している。</p> <p>【大阪】 設備名称の相違</p>
<p>2. その他の溢水事象に対する対応方針 表1に整理した事象のうち、(1)～(3)については、基本的には床ドレン配管及び機器ドレン配管により排水可能な設計としており、漏えい水が区画内に滞留しないよう設計上の配慮がなされている。 当該区画又は排水先のサンプタンク等において、漏水の発生を検知することが可能な設計となっている。 一方、少量の漏えい量であっても早期検知が出来ない場合には、防護対象設備が機能喪失に至る可能性もあるため、図1に示す確認フローにて溢水防護区画ごとに確認を実施した。確認結果を表2,3に示す。</p>	<p>2. その他漏えい事象に対する対応方針 表1に整理した事象のうち、(1)～(3)については、基本的に漏えい量が少なく、現在の想定破損による溢水に含まれると考えられる。一方、一部の区画においては想定破損を除外している場合があり、現状の影響評価で包含されず、少量の漏えい量であっても安全機能に影響を及ぼす可能性が考えられるため、図1に示す確認フローにて区画ごとに確認を実施した。確認結果について表2に示す。 なお、(4)人的過誤については、発生の未然防止を図るために、定められた運用、手順を確実に順守すると共に、トラブル事例等を参考に継続的な運用改善を行っていく。</p>	<p>2. その他漏えい事象に対する対応方針 表1に整理した事象のうち、(1)～(3)及び(5)については、基本的には床ドレン配管及び機器ドレン配管により排水可能な設計としており、漏えい水が区画内に滞留しないよう設計上の配慮がなされている。 当該区画若しくは排水先の補助建屋サンプタンク等において、漏水の発生を検知することが可能な設計となっている。 一方、少量の漏えい量であっても早期検知ができない場合には、防護対象設備が機能喪失に至る可能性もあるため、図1に示す確認フローにて溢水防護区画ごとに確認を実施した。確認結果について表2に示す。 なお、(4)人的過誤については、発生の未然防止を図るために、定められた運用、手順を確実に順守すると共に、トラブル事例等を参考に継続的な運用改善を行っていく。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 ・女川では想定破損による溢水はその他漏えい事象と同様に、ドレンでの漏えい検知器等による検知に期待しており、その他漏えい事象は想定破損による溢水に含まれるか確認している。泊では想定破損による溢水に対する漏えい検知とその他漏えい事象に対する漏えい検知手段が異なることから、その他漏えい事象が想定破損による溢水に含まれるか確認する必要はない。(大阪と同様) ・その他漏えい事象に対する漏えい検知システムについて溢水防護区画ごとに確認し、早期漏洩検知が可能であることを確認している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. その他漏えい事象に対する確認結果</p> <p>表2のとおり、その他漏えい事象の発生が想定される区画については、想定破損による溢水影響評価を実施しており、想定破損による溢水影響評価に包含されることを確認した。したがって、想定破損による溢水影響評価において、漏えい検知器等による検知及び隔離操作が可能であることを確認していることから、その他漏えい事象が発生した場合でも、同様に漏えい検知及び隔離操作が可能である。</p> <p>なお、各区画における漏えい検知性については、補足説明資料36にて確認しており、その他漏えい事象の発生が想定される区画（表2の溢水源有りの区画）についても漏えい検知が可能であることを確認している。</p> <p>※ 漏えい検知システムにより早期漏えい検知が可能な場合</p> <p>図1 確認フロー</p>	<p>3. その他漏えい事象に対する確認結果</p> <p>表2のとおり、その他漏えい事象の発生が想定される区画については、想定破損による溢水影響評価を実施しており、想定破損による溢水影響評価に包含されることを確認した。したがって、想定破損による溢水影響評価において、漏えい検知器等による検知及び隔離操作が可能であることを確認していることから、その他漏えい事象が発生した場合でも、同様に漏えい検知及び隔離操作が可能である。</p> <p>なお、各区画における漏えい検知性については、補足説明資料36にて確認しており、その他漏えい事象の発生が想定される区画（表2の溢水源有りの区画）についても漏えい検知が可能であることを確認している。</p> <p>図1 その他漏えい事象に対する対応確認フロー</p>	<p>3. その他漏えい事象に対する確認結果</p> <p>表2のとおり、その他漏えい事象の発生が想定される区画については、想定破損による溢水影響評価を実施しており、想定破損による溢水影響評価に包含されることを確認した。したがって、想定破損による溢水影響評価において、漏えい検知器等による検知及び隔離操作が可能であることを確認していることから、その他漏えい事象が発生した場合でも、同様に漏えい検知及び隔離操作が可能である。</p> <p>なお、各区画における漏えい検知性については、補足説明資料36にて確認しており、その他漏えい事象の発生が想定される区画（表2の溢水源有りの区画）についても漏えい検知が可能であることを確認している。</p> <p>※ 漏えい検知システムにより早期漏えい検知が可能な場合</p> <p>図1 その他漏えい事象に対する対応確認フロー</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川では想定破損による溢水はその他漏えい事象と同様に、ドレンでの漏えい検知器等による検知に期待しており、その他漏えい事象は想定破損による溢水に包含されるか確認している。泊では想定破損による溢水に対する漏えい検知とその他漏えい事象に対する漏えい検知手段が異なることから、その他漏えい事象が想定破損による溢水に包含されるか確認する必要はない。（大阪と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																																																
表2 大阪4号炉 その他の溢水事象に対する検知システム等の確認結果(1/5)				表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果(6/17)		【女川】 記載表現の相違																																																																																																																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>(備考)</th> <th>区画内床下ドレンの有無</th> <th>漏えい検知システム</th> <th>検知箇所</th> <th>④ 漏えい検知設備の有無</th> <th>① 区画内設備内設備の取付位置の有無</th> <th>防護対象設備</th> <th>詳細モデル番号</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>区域区分</th> <th>建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高、IV (4E-150)、IV (4E-150)、IV (4E-150)</td> <td>4EB-1</td> <td>39.0</td> <td></td> <td rowspan="17">4号炉原子炉周辺建屋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-50</td> <td>26.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-51</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-52</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-5A</td> <td>17.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-5B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-6A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-6B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-53A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-9A</td> <td>10.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有</td> <td>原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報</td> <td>排水先</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7</td> <td>4EB-9B</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		(備考)	区画内床下ドレンの有無	漏えい検知システム	検知箇所	④ 漏えい検知設備の有無	① 区画内設備内設備の取付位置の有無	防護対象設備	詳細モデル番号	E.L. + [m]	区域区分	建屋		有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高、IV (4E-150)、IV (4E-150)、IV (4E-150)	4EB-1	39.0		4号炉原子炉周辺建屋		無	-	-	-	無	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-50	26.9			無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-51				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-2				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-52				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-3				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-4				無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-5A	17.1			無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-5B				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6A				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6B				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-53A				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6				有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-9A	10.0			有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-9B					<table border="1"> <thead> <tr> <th>装置</th> <th>区分</th> <th>E.L. [m]</th> <th>区画番号</th> <th>設備名称</th> <th>① 区画内の設備の有無</th> <th>② 区画内の設備の有無</th> <th>③ 漏えい検知システム</th> <th>④ 区画内ドレンの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補助装置</td> <td>管理区域</td> <td>4.1</td> <td>34B-E-12</td> <td>B-1-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助装置</td> <td>管理区域</td> <td>4.1</td> <td>34B-E-12</td> <td>B-1-2 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助装置</td> <td>管理区域</td> <td>4.1</td> <td>34B-E-12</td> <td>B-1-3 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助装置</td> <td>管理区域</td> <td>2.0</td> <td>34B-E-13</td> <td>B-2-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>		装置	区分	E.L. [m]	区画番号	設備名称	① 区画内の設備の有無	② 区画内の設備の有無	③ 漏えい検知システム	④ 区画内ドレンの有無	原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有	原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-2 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有	原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-3 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有	原子炉補助装置	管理区域	2.0	34B-E-13	B-2-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有	<p>【女川】 設計方針の相違 その他漏えい事象に対し、女川は漏えい検知及び隔離操作の可否を確認することで評価の判定を行っているが、泊は溢水防護区画に漏えい検知システムが設置されており、早期に漏えいを検知可能であることを確認することで評価の判定を行っている。なお、床ドレン及び機器ドレンから排水可能な設計としており、漏えい区画内に漏えい水が滞留しないよう設計上の配慮がなされている。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 設備名称の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>	
(備考)	区画内床下ドレンの有無	漏えい検知システム	検知箇所	④ 漏えい検知設備の有無	① 区画内設備内設備の取付位置の有無	防護対象設備	詳細モデル番号	E.L. + [m]	区域区分	建屋																																																																																																																																																																																																												
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高、IV (4E-150)、IV (4E-150)、IV (4E-150)	4EB-1	39.0		4号炉原子炉周辺建屋																																																																																																																																																																																																												
	無	-	-	-	無	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-50	26.9																																																																																																																																																																																																														
	無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-51																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-2																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-52																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-3																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-4																																																																																																																																																																																																															
	無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-5A	17.1																																																																																																																																																																																																														
	無	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-5B																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6A																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6B																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-53A																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-6																																																																																																																																																																																																															
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-9A	10.0																																																																																																																																																																																																														
	有	原子炉周辺建屋センシングタンク水位高警報	排水先	有	有	4A、4B7、4C7、4D7、4E7、4F7、4G7、4H7、4I7、4J7、4K7、4L7、4M7、4N7、4O7、4P7、4Q7、4R7、4S7、4T7、4U7、4V7、4W7、4X7、4Y7、4Z7	4EB-9B																																																																																																																																																																																																															
装置	区分	E.L. [m]	区画番号	設備名称	① 区画内の設備の有無	② 区画内の設備の有無	③ 漏えい検知システム	④ 区画内ドレンの有無																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-2 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助装置	管理区域	4.1	34B-E-12	B-1-3 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助装置	管理区域	2.0	34B-E-13	B-2-1 原子炉補給冷却水ポンプタンク水位高警報	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表2 大阪4号炉 その他の溢水事象に対する検知システム等の確認結果(4/5)				表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果(9/17)		【女川】 記載表現の相違	
建屋	4号炉 原子炉 周辺 建屋						
区域区分	非 管理 区域						
E.L. +10	17.1						
評価 エリア 番号	4EP-N13B 4EP-N14B 4EP-N15 4EP-N16A 4EP-N16B 4EP-N17A 4EP-N17B 4EP-N18A 4EP-N18B 4EP-N19 4EP-N20A 4EP-N20B						
防護対象設備	4A, 4B制御用空気圧縮機室 給気ファン 4原子炉トリップ遮断装置 (4RTS) 4A, 4B電動補助給水ポンプ室 給気ファン 4A, 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704) 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2711, 2712, 2713, 2714) 4A, 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-A) 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-B) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-A) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-B) 4タービン補助給水ポンプ 4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機						
① 区内検 知設備 の有無	有 ^②						
② 漏えい検 知設備 の有無	-						
漏えい検 知箇所	-						
検知システム	-						
区内 床ドレン の有無	無						

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表2 大阪4号炉 その他の溢水事象に対する検知システム等の確認結果(4/5)				表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果(9/17)		【女川】 記載表現の相違	
建屋	4号炉 原子炉 周辺 建屋						
区域区分	非 管理 区域						
E.L. +10	17.1						
評価 エリア 番号	4EP-N13B 4EP-N14B 4EP-N15 4EP-N16A 4EP-N16B 4EP-N17A 4EP-N17B 4EP-N18A 4EP-N18B 4EP-N19 4EP-N20A 4EP-N20B						
防護対象設備	4A, 4B制御用空気圧縮機室 給気ファン 4原子炉トリップ遮断装置 (4RTS) 4A, 4B電動補助給水ポンプ室 給気ファン 4A, 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704) 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2711, 2712, 2713, 2714) 4A, 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-A) 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-B) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-A) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-B) 4タービン補助給水ポンプ 4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機						
① 区内検 知設備 の有無	有 ^②						
② 漏えい検 知設備 の有無	-						
漏えい検 知箇所	-						
検知システム	-						
区内 床ドレン の有無	無						

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表2 大阪4号炉 その他の溢水事象に対する検知システム等の確認結果(4/5)				表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果(9/17)		【女川】 記載表現の相違	
建屋	4号炉 原子炉 周辺 建屋						
区域区分	非 管理 区域						
E.L. +10	17.1						
評価 エリア 番号	4EP-N13B 4EP-N14B 4EP-N15 4EP-N16A 4EP-N16B 4EP-N17A 4EP-N17B 4EP-N18A 4EP-N18B 4EP-N19 4EP-N20A 4EP-N20B						
防護対象設備	4A, 4B制御用空気圧縮機室 給気ファン 4原子炉トリップ遮断装置 (4RTS) 4A, 4B電動補助給水ポンプ室 給気ファン 4A, 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704) 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2711, 2712, 2713, 2714) 4A, 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-A) 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-B) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-A) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-B) 4タービン補助給水ポンプ 4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機						
① 区内検 知設備 の有無	有 ^②						
② 漏えい検 知設備 の有無	-						
漏えい検 知箇所	-						
検知システム	-						
区内 床ドレン の有無	無						

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表2 大阪4号炉 その他の溢水事象に対する検知システム等の確認結果(4/5)				表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果(9/17)		【女川】 記載表現の相違	
建屋	4号炉 原子炉 周辺 建屋						
区域区分	非 管理 区域						
E.L. +10	17.1						
評価 エリア 番号	4EP-N13B 4EP-N14B 4EP-N15 4EP-N16A 4EP-N16B 4EP-N17A 4EP-N17B 4EP-N18A 4EP-N18B 4EP-N19 4EP-N20A 4EP-N20B						
防護対象設備	4A, 4B制御用空気圧縮機室 給気ファン 4原子炉トリップ遮断装置 (4RTS) 4A, 4B電動補助給水ポンプ室 給気ファン 4A, 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704) 4Bディーゼル発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2711, 2712, 2713, 2714) 4A, 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-A) 4Bディーゼル発電機制御装置 (4DC-B) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-A) 4タービン補助給水ポンプ 駆動装置(4TF-B) 4タービン補助給水ポンプ 4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機						
① 区内検 知設備 の有無	有 ^②						
② 漏えい検 知設備 の有無	-						
漏えい検 知箇所	-						
検知システム	-						
区内 床ドレン の有無	無						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																					
		<p>表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果 (12/17)</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p>																																																																																																																																																																																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>検査</th> <th>設備区分</th> <th>T,F,Val</th> <th>設備番号</th> <th>設備中の漏えい検知設備の設置状況</th> <th>設備中の漏えい検知設備の有無</th> <th>漏えい検知設備の有無</th> <th>漏えい検知システム</th> <th>設備内での検知システム(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-監視器監視ヘッダ圧力 (19) (037-F-013)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-検知器監視圧力 (1) (037-F-006)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-001)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-002)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-検知器監視圧力 (19) (037-F-003)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-A-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-004)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>17.0</td> <td>038-F-01</td> <td>2-B-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-005)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-004)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-005)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-006)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-007)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-008)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-009)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-010)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-011)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-012)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-013)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-014)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>17.0</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-015)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-016)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-017)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-018)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>計装地区画</td> <td>18</td> <td>033-F-011</td> <td>3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-019)</td> <td>無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>19.0</td> <td>038-0-01</td> <td>3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-010)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>19.0</td> <td>038-0-01</td> <td>3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-011)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>19.0</td> <td>038-0-01</td> <td>3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-012)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>19.0</td> <td>038-0-01</td> <td>3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-013)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> <tr> <td>異子歩検</td> <td>管理区画</td> <td>19.0</td> <td>038-0-01</td> <td>3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-014)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>床水検</td> <td>床水検知システム</td> </tr> </tbody> </table>	検査	設備区分	T,F,Val	設備番号	設備中の漏えい検知設備の設置状況	設備中の漏えい検知設備の有無	漏えい検知設備の有無	漏えい検知システム	設備内での検知システム(参考)	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-監視器監視ヘッダ圧力 (19) (037-F-013)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (1) (037-F-006)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-001)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-002)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (19) (037-F-003)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-A-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-004)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-005)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-004)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-005)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-006)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-007)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-008)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-009)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-010)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-011)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-012)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-013)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-014)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-015)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-016)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-017)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-018)	無	-	-	無	異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-019)	無	-	-	無	異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-010)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-011)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-012)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-013)	有	有	床水検	床水検知システム	異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-014)	有	有	床水検	床水検知システム	<p>設計方針の相違</p> <p>その他漏えい事象に対し、女川は漏えい検知及び隔離操作の可否を確認することで評価の判定を行っているが、泊は溢水防護区画に漏えい検知システムが設置されており、早期に漏えいを検知可能であることを確認することで評価の判定を行っている。なお、床ドレン及び機器ドレンから排水可能な設計としており、漏えい区画内に漏えい水が滞留しないよう設計上の配慮がなされている。(大飯と同様)</p>
検査	設備区分	T,F,Val	設備番号	設備中の漏えい検知設備の設置状況	設備中の漏えい検知設備の有無	漏えい検知設備の有無	漏えい検知システム	設備内での検知システム(参考)																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-監視器監視ヘッダ圧力 (19) (037-F-013)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (1) (037-F-006)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-001)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (11) (037-F-002)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-検知器監視圧力 (19) (037-F-003)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-A-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-004)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	17.0	038-F-01	2-B-監視器監視ヘッダ圧力監視器 (037-F-005)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-004)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-005)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-006)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-007)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-008)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-009)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-010)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-011)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-012)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-013)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-014)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	17.0	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-015)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-016)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-017)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-A-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-018)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	計装地区画	18	033-F-011	3-B-モニターセル監視器監視圧力 (032-F-019)	無	-	-	無																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-010)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-011)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-012)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-B-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-013)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																
異子歩検	管理区画	19.0	038-0-01	3-A-使用済燃料ビレット冷却器監視器 (037-C-014)	有	有	床水検	床水検知システム																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表2 その他漏えい事象に対する検知システム等の確認結果 (17/17)</p> <table border="1" data-bbox="1285 240 1868 480"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>区域区分</th> <th>1F [4]</th> <th>区域番号</th> <th>漏えい検知対象設備</th> <th>工区範囲内の漏えい検知設備の有無</th> <th>工区範囲外の漏えい検知設備の有無</th> <th>検知手段</th> <th>検知システム</th> <th>工区範囲外の検知システム(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3B-E-04</td> <td>2A-2号機用冷却機</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>排水先</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>原子炉施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3B-E-04</td> <td>2B-2号機用冷却機</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>排水先</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>発電水ポンプ施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3C-F-001</td> <td>3A-1号機用発電機冷却水ポンプ</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>当区域</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>発電水ポンプ施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3C-F-0-001</td> <td>3B-1号機用発電機冷却水ポンプ</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>当区域</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>発電水ポンプ施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3C-F-0-002</td> <td>3C-1号機用発電機冷却水ポンプ</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>当区域</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>発電水ポンプ施設</td> <td>異常検出部</td> <td>2.3</td> <td>3C-F-0-002</td> <td>3D-1号機用発電機冷却水ポンプ</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>当区域</td> <td>排水ドレン</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>	機種	区域区分	1F [4]	区域番号	漏えい検知対象設備	工区範囲内の漏えい検知設備の有無	工区範囲外の漏えい検知設備の有無	検知手段	検知システム	工区範囲外の検知システム(参考)	原子炉施設	異常検出部	2.3	3B-E-04	2A-2号機用冷却機	有	有	排水先	排水ドレン	有	原子炉施設	異常検出部	2.3	3B-E-04	2B-2号機用冷却機	有	有	排水先	排水ドレン	有	発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-001	3A-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有	発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-001	3B-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有	発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-002	3C-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有	発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-002	3D-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u> その他漏えい事象に対し、女川は漏えい検知及び隔離操作の可否を確認することで評価の判定を行っているが、泊は溢水防護区画に漏えい検知システムが設置されており、早期に漏えいを検知可能であることを確認することで評価の判定を行っている。なお、床ドレン及び機器ドレンから排水可能な設計としており、漏えい区画内に漏えい水が滞留しないよう設計上の配慮がなされている。(大飯と同様)</p>
機種	区域区分	1F [4]	区域番号	漏えい検知対象設備	工区範囲内の漏えい検知設備の有無	工区範囲外の漏えい検知設備の有無	検知手段	検知システム	工区範囲外の検知システム(参考)																																																																
原子炉施設	異常検出部	2.3	3B-E-04	2A-2号機用冷却機	有	有	排水先	排水ドレン	有																																																																
原子炉施設	異常検出部	2.3	3B-E-04	2B-2号機用冷却機	有	有	排水先	排水ドレン	有																																																																
発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-001	3A-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有																																																																
発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-001	3B-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有																																																																
発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-002	3C-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有																																																																
発電水ポンプ施設	異常検出部	2.3	3C-F-0-002	3D-1号機用発電機冷却水ポンプ	有	有	当区域	排水ドレン	有																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料</p> <p>11-2 別のハザードからの溢水について</p> <p>1. はじめに</p> <p>自然現象による建屋外の溢水事象について評価を実施している。設置許可基準第6条の適合性を「大阪3号炉及び4号炉 外部事象の考慮について」において抽出された事象に照らして溢水影響評価の要否を検討し整理した。</p> <p>2. 検討結果</p> <p>(1) 溢水影響評価の要否</p> <p>抽出された事象に対して、溢水が発生しない場合及び発生した溢水が他の事象に包絡される場合は評価を否とし、発生する溢水を評価する場合は要とした。抽出された事象、評価要否及び理由を表1に示す。</p> <p>(2) 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価が必要な事象は、地震、津波、竜巻、及び降水の4事象である。事象による溢水影響評価は、表1に示す資料にて、防護対象設備が設置されている建屋に流入しないこと及び防護対象設備に影響がないことを確認した。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 28</p> <p>別のハザードからの溢水影響について</p> <p>1. はじめに</p> <p>設置許可基準規則第九条第1項には、溢水が発生した際に安全施設の安全機能を損なわないことが要求事項であり、地震による屋外タンクの破損、津波、降水などの自然現象による屋外の溢水事象について評価を実施している。</p> <p>本資料は、設置許可基準規則第六条の検討「自然現象及び故意によるものを除く人為による事象の選定について」において、抽出された事象に対して溢水の影響有無を検討したものである。</p> <p>2. 検討結果</p> <p>(1) 溢水影響の検討要否</p> <p>抽出された事象に対して溢水影響の検討要否について、検討した結果を表1に示す。</p> <p>(2) 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価が必要な事象については、表2に示すとおり検討を実施しており、新たに評価が必要な事象がないことを確認した。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 38</p> <p>別のハザードからの溢水影響について</p> <p>1. はじめに</p> <p>設置許可基準規則第九条第1項には、溢水が発生した際に安全施設の安全機能を損なわないことが要求事項であり、地震による屋外タンクの破損、津波、降水等の自然現象による屋外の溢水事象について評価を実施している。</p> <p>本資料は、設置許可基準規則第六条の検討「自然現象及び故意によるものを除く人為による事象の選定について」において、抽出された事象に対して溢水の影響有無を検討したものである。</p> <p>2. 検討結果</p> <p>(1) 溢水影響の検討要否</p> <p>抽出された事象に対して溢水影響の検討要否について、検討した結果を表1に示す。</p> <p>(2) 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価が必要な事象については、表2に示すとおり検討を実施しており、新たに評価が必要な事象がないことを確認した。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
表1 別のハザードからの溢水影響の評価要否(1/3)			表1 別のハザードからの溢水影響の検討要否(1/2)			表1 別のハザードからの溢水影響の検討要否 (1/2)			<p>【大阪】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント立地条件の相違による評価結果の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント立地条件の相違による評価結果の相違</p>
事象*	評価要否	理由	事象	検討要否	理由	事象	検討要否	理由	
地震	○	地震に起因する屋外タンクの破損によって発生する溢水の影響評価を添付資料5.2「屋外タンクからの溢水影響評価」にて実施。	洪水	×	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられており、敷地が洪水による被害を受けることはないことから、洪水による溢水は考慮しない	洪水	×	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられており、敷地が洪水による被害を受けることはないことから、洪水による溢水は考慮しない	
地滑り	×	(地震による地滑り) 地震による地滑りによって、屋外タンクが破損したとしても、地震時の評価に包絡される。	風(台風)	×	最大瞬間風速は設計電巻の最大風速未満であり電巻評価に包絡される	風(台風)	×	最大瞬間風速は設計電巻の最大風速未満であり電巻評価に包絡される	
	×	(大雨による地滑り) 国土交通省が示す土石流危険区域内に原子炉補助建屋があり、土石流の影響を及ぼす可能性があるため、堰堤を1箇所設置し、土石流が原子炉補助建屋に到達しない設計としている。また、発電所内で地滑りの影響を受ける可能性がある溢水水源を抽出したところ、No.1淡水タンクがあるが、当該タンクは溢水影響を考慮し、空運用することとしており、溢水は発生しない。 【添付資料5.2 屋外タンクからの溢水影響評価】	電巻	○	最低気温の設計基準値は-14.5℃であり、かつ、屋外機器で凍結のおそれがあるものに対しては凍結防止対策を施しているため、凍結により屋外機器が破損することはない。なお、仮に屋外タンクが凍結により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	電巻	○	最低気温の設計基準値は-19.0℃であり、かつ、屋外機器で凍結のおそれがあるものに対しては凍結防止対策を施しているため、凍結により屋外機器が破損することはない。なお、仮に屋外タンクが凍結により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
津波	○	津波の襲来による溢水影響評価を添付資料4「海水ポンプエリアの溢水影響評価」及び添付資料5.1「タービン建屋からの溢水影響評価」にて実施。	凍結	×	最低気温の設計基準値は-19.0℃であり、かつ、屋外機器で凍結のおそれがあるものに対しては凍結防止対策を施しているため、凍結により屋外機器が破損することはない。なお、仮に屋外タンクが凍結により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	凍結	×	最低気温の設計基準値は-19.0℃であり、かつ、屋外機器で凍結のおそれがあるものに対しては凍結防止対策を施しているため、凍結により屋外機器が破損することはない。なお、仮に屋外タンクが凍結により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
高潮	×	舞鶴検潮所における記録によれば、本地点の潮位は既往最高潮位 T.P.+0.93m であり、津波襲来時の放水ビット水位は最大 T.P.+8.3m であることから、津波事象に包絡される。	降水	○		降水	○		
風(台風)	×	舞鶴特別地域気象観測所における記録によれば、最大瞬間風速 51.9m/s であり、電巻影響評価における風速 100m/s に包絡される。また、溢水影響評価においては、保守的に電巻によって敷地内すべての屋外タンク(電巻防護対策を実施しているタンクを除く)を同時に破損させて評価するため、電巻事象に包絡される。	積雪	×	積雪量の設計基準値は 120cm であり、積雪による屋外タンクの破損は考えられない。なお、仮に屋外タンクが積雪荷重により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	積雪	×	積雪量の設計基準値は 180cm であり、積雪による屋外タンクの破損は考えられない。なお、仮に屋外タンクが積雪荷重により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
			落雷	×	落雷防止対策として、建築基準法に基づき高さ 20m を超える原子炉建屋等へ日本産業規格 (JIS) に準拠した避雷設備等を設置しており、落雷による溢水は発生しない。なお、仮に屋外タンクが落雷により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	落雷	×	落雷防止対策として、建築基準法に基づき高さ 20m を超える原子炉建屋等へ日本産業規格 (JIS) に準拠した避雷設備等を設置しており、落雷による溢水は発生しない。なお、仮に屋外タンクが落雷により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
			地滑り	×	女川原子力発電所には、地滑り、土石流及び崩れを起すような地形は存在しないことから、安全施設の安全機能を損なうような地滑りが生じることはない。なお、仮に屋外タンクが地滑りにより破損したとしても、地震時の評価に包絡される	地滑り	×	市発電所の防護対象設備が設置される建屋は地滑りにより影響を受ける範囲にはないため、影響を受けない。仮に屋外タンクが地滑りにより破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
			火山の影響	×	降下火砕物の層厚は敷地内の地質調査等の結果から 15cm 程度であり、屋外タンクの破損のおそれはない。なお、仮に屋外タンクが降下火砕物により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	火山の影響	×	降下火砕物の層厚は敷地内の地質調査等の結果から 20cm 程度であり、積雪荷重を組み合わせたとしても屋外タンクの破損のおそれはない。なお、仮に屋外タンクが降下火砕物により破損したとしても、地震時の評価に包絡される	
			生物学的事象	×	想定される海生生物の襲来により溢水は発生しない。また、小動物の侵入により屋外タンクの破損が考えられるが、地震時の評価に包絡される	生物学的事象	×	想定される海生生物の襲来により溢水は発生しない。また、小動物の侵入により屋外タンクの破損が考えられるが、地震時の評価に包絡される	
			森林火災	×	森林火災については、消火活動による溢水が想定されるが、土壌への浸透及び発電所に設置している排水管により排水可能であることから降水評価に包絡される	森林火災	×	森林火災については、消火活動による溢水が想定されるが、土壌への浸透及び発電所に設置している排水管により排水可能であることから降水評価に包絡される	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表1 別のハザードからの溢水影響の評価要否(2/3)		表1 別のハザードからの溢水影響の検討要否(2/2)		表1 別のハザードからの溢水影響の検討要否(2/2)		【大阪】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川】 設計方針の相違 プラント立地条件の相違による評価結果の相違 【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による
事象	評価要否	理由	事象	検討要否	理由	
電巻	○	電巻影響評価により電巻防護対策を実施した屋外タンクを除き、屋外タンクは電巻によって破損することから、電巻に起因する屋外タンクの破損によって発生する溢水が防護対象設備されている建屋に流入しないことを別紙1「電巻による溢水影響評価」にて評価実施。	高潮	×	安全施設（非常用取水設備を除く。）は、高潮の影響を受けない敷地高さ（0.P.+3.5m）以上に設置されているため、高潮による溢水は考慮しない。	
降水	○	自然現象にて評価した降水による溢水が防護対象設備されている建屋に流入しないこと及び防護対象設備に影響がないことを別紙2「豪雨による溢水影響評価（防護対象設備が設置されている建屋）」及び別紙3「豪雨による溢水影響評価（海水ポンプエリア）」にて評価実施。	飛来物（航空機落下）	×	航空機落下確率評価結果は、約5.0年×10 ⁴ 回/炉・年であり、防護設計の要否判断の基準である10 ⁴ 回/炉・年を超えないため、航空機落下による溢水は考慮しない。	
洪水	×	発電所敷地付近に河川はないことから、溢水は発生しない。	ダムの崩壊	×	敷地周辺には、ダムや堰堤は存在せず、敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地がダムの崩壊による被害を受けることはないため、ダムの崩壊による溢水は考慮しない。	
落雷	×	落雷の影響を受ける可能性のある屋外タンクについては、建築基準法第33条及び日本工業規格（JIS）に準拠した避雷設備を設置しており、落雷によって溢水は発生しない。	爆発	×	発電所の近くには、爆発により安全施設に影響を及ぼすような爆発物の製造及び貯蔵設備はないことから、爆発による溢水は考慮しない。	
森林火災	×	森林火災については、消火活動による溢水が想定されるが、土壌への浸透及び発電所に設置している排水管により排水可能であることから降水評価に包絡される。	近隣工場等の火災	×	発電所の近くには、火災により安全施設に影響を及ぼすような石油コンビナート等の石油工業関連施設はないことから、近隣工場等の火災による溢水は考慮しない。	
凍結（低温）	×	屋外タンクで凍結のおそれのある計器用検出配管については、ヒートトレースや凍結防止低温にて対策を実施しており、溢水は発生しない。	有毒ガス	×	発電用原子炉施設周辺には、石油コンビナート等の大規模な有毒物質を貯蔵する固定施設はなく、陸上輸送等の可動施設についても主要な幹線道路や航路から発電用原子炉施設は十分離れていることから、事故等による発電所への有毒ガスの影響はなく、溢水は発生しない。	
火山の影響	×	火山灰により一部の屋外タンクの破損が考えられるが、地震時の評価に包絡される。	船舶の衝突	×	発電用原子炉施設は、主要な航路から十分に離れていることから、船舶の衝突による発電所への影響はなく、溢水は発生しない。	
積雪	×	積雪により一部の屋外タンクの破損が考えられるが、地震時の評価に包絡される。	電磁的障害	×	計測制御回路を構成する制御盤及びケーブルは、鋼製筐体や金属シールド付ケーブルの適用により電磁波の侵入を防止する等の設計をしており、電磁的障害により溢水は発生しない。	
生物学的事象	×	海生生物や小動物によって屋外タンクは破損しないため溢水は発生しない。	近隣工場等の火災	×	発電所の近くには、火災により安全施設に影響を及ぼすような石油コンビナート等の石油工業関連施設はないことから、近隣工場等の火災による溢水は考慮しない。	
船舶の衝突	×	船舶の衝突による屋外タンクの破損はなく、溢水は発生しない。	有毒ガス	×	発電用原子炉施設周辺には、石油コンビナート等の大規模な有毒物質を貯蔵する固定施設はなく、陸上輸送等の可動施設についても主要な幹線道路や航路から発電用原子炉施設は十分離れていることから、事故等による発電所への有毒ガスの影響はなく、溢水は発生しない。	
				船舶の衝突	×	発電用原子炉施設は、主要な航路から十分に離れていることから、船舶の衝突による発電所への影響はなく、溢水は発生しない。
				電磁的障害	×	安全保障弁は、計装盤へ入線する電源受電部へのラインフィルタや遮断回路の設置、外部からの信号入力部へのラインフィルタや遮断回路の設置、鋼製筐体や金属シールド付ケーブルの適用により電磁波の侵入を防止する等の設計をしており、電磁的障害により溢水は発生しない。

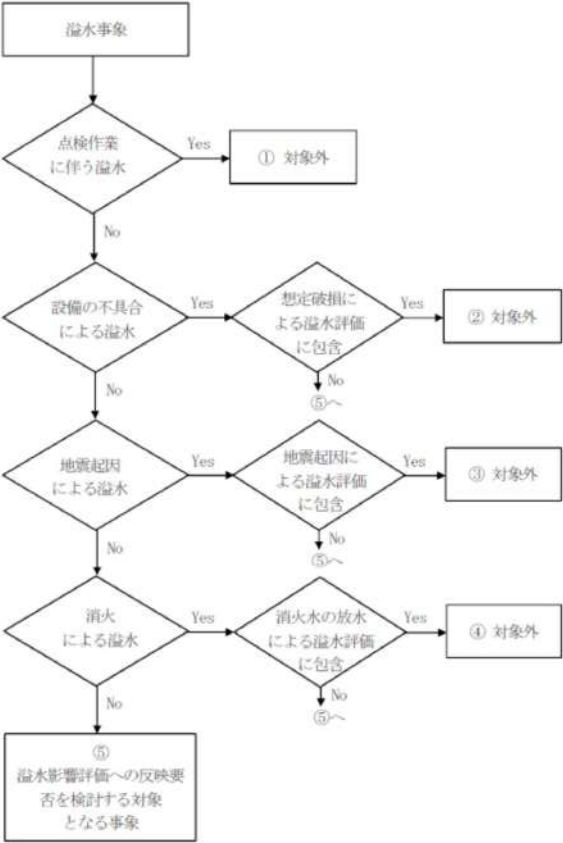
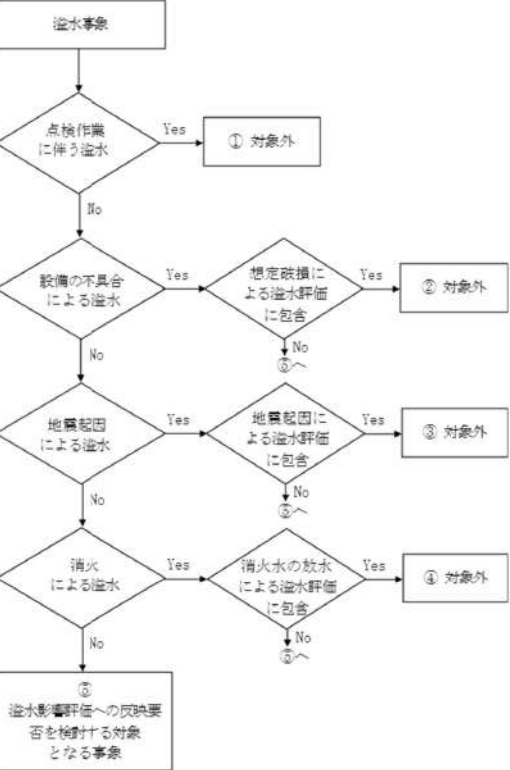
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表1 別のハザードからの溢水影響の評価要否(3/3)					【大阪】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映
事象 ^{※1}	評価要否	理由			
航空機落下	×	航空機落下確率評価結果は、約3.2年×10 ⁻⁸ 回/炉・年であり、防護設計の要否判断の基準である10 ⁻⁷ 回/炉・年を超えないため、航空機落下を考慮する必要はない。			
爆発	×	発電所敷地付近には、爆発による安全施設に影響を及ぼすような石油コンビナート施設はないことから、爆発によって溢水は発生しない。			
ダムの崩壊	×	発電所敷地付近には、ダムは存在しないことから、ダムの崩壊による溢水は発生しない。			
電磁的障害	×	電磁的障害によりタンクは破損しないため、溢水は発生しない。			
近隣工場等の火災	×	発電所の近くには、火災により安全施設に影響を及ぼすような石油コンビナート施設はないことから、近隣工場等の火災による溢水は発生しない。			
有毒ガス	×	幹線道路、鉄道路線、主要軌路及び石油コンビナート施設は発電所から十分な離隔距離が確保されており、事故等による発電所への有毒ガスの影響はなく溢水は発生しない。			
※1「大阪3号炉及び4号炉 外部事象の考慮について（6-自-別添-9～14）」					
表2 溢水影響評価に対する検討結果			表2 溢水影響評価に対する検討結果		
事象	説明		事象	説明	【女川】 設計方針の相違 プラント立地条件の相違による評価結果の相違
竜巻	内部溢水影響評価においては、発電所内に設置される屋外タンクの破損に伴う溢水影響を評価しており、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない耐震B、Cクラスの屋外タンク全数が破損した場合の影響について評価を実施している（耐震補強工事を実施する屋外タンクはない）ことから、設計竜巻による飛来物により、屋外タンクが破損した場合に発生する溢水量は、地震時に発生を想定する溢水量と同様であり、地震時評価に包絡されることを確認		竜巻	内部溢水影響評価においては、発電所内に設置される屋外タンクの破損に伴う溢水影響を評価しており、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない耐震B、Cクラスの屋外タンク全数が破損した場合の影響について評価を実施している（耐震性が確保されている屋外タンクについても接続配管の破損を考慮）ことから、設計竜巻による飛来物により、屋外タンクが破損した場合に発生する溢水量は、地震時に発生を想定する溢水量と同様であり、地震時評価に包絡されることを確認	
降水	最大1時間降水量は、地震による屋外溢水水位以下であり、地震時評価に包絡されることを確認		降水	最大1時間降水量の既往最大値（57.6mm/h）を想定しても、防護対象設備が機能喪失しないことを確認。	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">補足説明資料 29</p> <p>過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに 溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出 内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。 ①プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象 ②公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象 ③キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広く抽出</p> <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象について、図1（内部溢水影響評価への反映要否判断フロー）及び表1（内部溢水影響評価への反映を不要とする理由）に基づき抽出した。抽出された事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を表2（不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について）に示す。</p> <p>4. 不具合事例への対応について 不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることとなっていることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。 今後、新たな不具合情報を入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を確認する。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 39</p> <p>過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに 溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出 内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。 ①プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象 ②公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象 ③キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広く抽出</p> <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象について、図1（内部溢水影響評価への反映要否判断フロー）及び表1（内部溢水影響評価への反映を不要とする理由）に基づき抽出した。抽出された事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を表2（不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について）に示す。</p> <p>4. 不具合事例への対応について 不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることとなっていることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。 今後、新たな不具合情報を入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を確認する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図1 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー</p>	 <p>図1 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表1 内部溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>② 設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>③ 地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④ 消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	① 点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	② 設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	③ 地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	④ 消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	<p>表1 内部溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>②設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、日皿からの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>③地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料ビットのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、日皿からの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	③地震起因による溢水	使用済燃料ビットのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
各ステップの項目	理由																						
① 点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																						
② 設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																						
③ 地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																						
④ 消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																						
各ステップの項目	理由																						
①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																						
②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象（保守不完全含む）については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。 また、日皿からの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																						
③地震起因による溢水	使用済燃料ビットのスロッシングによる溢水及び衝撃性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																						
④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(1/18)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1265 935"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）</td> </tr> </table>	件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について	事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号	事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。	再発防止対策	(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。	内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(1/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1839 1007"> <tr> <td>件名③</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。また、トレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）</td> </tr> </table>	件名③	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について	事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号	事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。	再発防止対策	(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。また、トレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。	内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について																						
事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号																						
事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。																						
再発防止対策	(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。																						
内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）																						
件名③	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について																						
事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号																						
事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁（V-18-46）付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。 しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口が置いていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサベイを実施した。 高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。 また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。																						
再発防止対策	(1) 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動が掛かる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2) 恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。また、トレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。																						
内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1) 復水器室への漏えい検知器の設置 (2) 復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3) 循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4) 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(2/18)</p> <table border="1" data-bbox="703 1137 1265 1414"> <tr> <td>件名②</td> <td>タービン建屋地下1階雨水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2003.8.15 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名②	タービン建屋地下1階雨水について	事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号	事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。	再発防止対策	(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(2/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 1137 1839 1457"> <tr> <td>件名②</td> <td>タービン建屋地下1階雨水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2003.8.15 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名②	タービン建屋地下1階雨水について	事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号	事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。	再発防止対策	(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名②	タービン建屋地下1階雨水について																						
事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号																						
事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。																						
再発防止対策	(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名②	タービン建屋地下1階雨水について																						
事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号																						
事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路（放射線管理区域内）において、水たまり（約2.3m×5m×5mm：約600リットル）を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト（配管を通すための空間）内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。																						
再発防止対策	(1) ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果：良好 (2) 建屋内は手作業にて通路の水たまりの採取処理等を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1補足説明資料39)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(3/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 284 1267 502"> <tr> <td>件名①</td> <td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2004.10.9 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該感知器を取り替えることとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。</td> </tr> </table>	件名①	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)	事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号	事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。	再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(3/23)</p> <table border="1" data-bbox="1281 284 1854 502"> <tr> <td>件名③</td> <td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2004.10.9 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該感知器を取り替えることとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。</td> </tr> </table>	件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)	事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号	事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。	再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名①	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)																						
事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号																						
事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。																						
再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。																						
件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)																						
事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号																						
事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入り口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。																						
再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。また、屋外からの溢水影響については、屋外タンクからの溢水影響評価結果に包含される。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(4/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 691 1267 943"> <tr> <td>件名④</td> <td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号	事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。	再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(4/23)</p> <table border="1" data-bbox="1281 691 1854 1007"> <tr> <td>件名④</td> <td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号	事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。	再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号																						
事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。																						
再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHW サンプ(B)・LPCP(A)～(C) 雨水流入																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号																						
事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。																						
再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(5/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 1137 1267 1348"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑤	【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号	事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。	再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(5/23)</p> <table border="1" data-bbox="1281 1137 1854 1390"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑤	【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号	事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。	再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑤	【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号																						
事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。																						
再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名⑤	【中越沖地震】T/B T/B B1F(管) 南側壁上部5m(ヤードHT r奥ノンセグ室)より雨水流入																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号																						
事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したピットに水がたまり電線管貫通部を通してタービン建屋内に流入したと推定される。																						
再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(6/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 288 1272 528"> <tr> <td>件名①</td> <td>【中越沖地震】A x / B B1P 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。</td> </tr> </table>	件名①	【中越沖地震】A x / B B1P 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽	事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。	再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(6/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 276 1861 579"> <tr> <td>件名①</td> <td>【中越沖地震】A x / B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。</td> </tr> </table>	件名①	【中越沖地震】A x / B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽	事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。	再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名①	【中越沖地震】A x / B B1P 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽																						
事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。																						
再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。																						
件名①	【中越沖地震】A x / B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい																						
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽																						
事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。																						
再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(7/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 687 1272 1015"> <tr> <td>件名①</td> <td>海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名①	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について	事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号	事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。	再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(7/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 695 1861 1110"> <tr> <td>件名①</td> <td>海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名①	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について	事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号	事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。	再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名①	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について																						
事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号																						
事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。																						
再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名①	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について																						
事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号																						
事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。																						
再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について（8/23）</p> <table border="1" data-bbox="1288 279 1861 1053"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋地下1階で水溜りの発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.5.2 教習2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>敦賀発電所2号機は、定格熱出力一定運転中のところ、平成21年5月2日9分頃、巡視点検をしていた運転員がタービン建屋地下1階（非管理区域）で水溜りを発見した。</p> <p>溜まっていた水の流入経路を調査した結果、タービン建屋に隣接する給水処理建屋からタービン建屋地下1階に通じているトレンチ（配管やケーブルを設置しているトンネル、以下「当該トレンチ」という）の壁を越えて、流入していることを確認し、さらに給水処理建屋を確認した結果、母子の汚損検出器※1の排水が継続していることを確認した。</p> <p>母子の汚損検出器は、母子の表面に付着した海塩粒子を水で洗浄し塩分濃度を測定する装置です。その洗浄水は補給水槽から供給されるが、その水位が下がると自動で排水電磁弁が閉じ、給水電磁弁が開いて水が供給される。</p> <p>今回は、排水電磁弁が動作不良で閉じずに給水が行われたため、直接、排水先である当該トレンチに給水が流れ込む状態が継続していることを確認した。このため、排水電磁弁の上流側にある給水元弁を閉じたところ、当該トレンチへの給水の流れ込みが停止し、タービン建屋地下1階への水の流入も停止した。</p> <p>流入した水による機器への影響はなかった。</p> <p>また、溜まっていた水の量は、水溜りの範囲からタービン建屋地下1階（面積：約580㎡、深さ：約1cm、水量：約5.8㎥）と当該トレンチ内（面積：約74㎡、深さ：約10cm、水量：約7.4㎥）合計で約13.2㎥と推定した。</p> <p>なお、母子の汚損検出器の補給水槽への給水は、2次浴で使用する放射能を含まない水であるため、この事象による環境への影響はなかった。</p> <p>対策として、排水電磁弁を新品に取替えるとともに、母子の汚損検出器の補給水槽給水配管の排水を当該トレンチに入らない箇所に変更する。</p> <p>※1：屋外開閉所の母子の汚損状況を確認するために設置している検出器</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>記載なし</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、タービン建屋についてはT.P.10.3mまで溢水防護措置を実施済みである。</p> <p>また、タービン建屋は溢水防護対応設備がなく、発生した溢水は防護対象設備が設置されている建屋へ流出しないことを確認済みである。</p> </td> </tr> </table>	件名⑧	タービン建屋地下1階で水溜りの発見について	事象発生日等	2009.5.2 教習2号	事象の概要	<p>敦賀発電所2号機は、定格熱出力一定運転中のところ、平成21年5月2日9分頃、巡視点検をしていた運転員がタービン建屋地下1階（非管理区域）で水溜りを発見した。</p> <p>溜まっていた水の流入経路を調査した結果、タービン建屋に隣接する給水処理建屋からタービン建屋地下1階に通じているトレンチ（配管やケーブルを設置しているトンネル、以下「当該トレンチ」という）の壁を越えて、流入していることを確認し、さらに給水処理建屋を確認した結果、母子の汚損検出器※1の排水が継続していることを確認した。</p> <p>母子の汚損検出器は、母子の表面に付着した海塩粒子を水で洗浄し塩分濃度を測定する装置です。その洗浄水は補給水槽から供給されるが、その水位が下がると自動で排水電磁弁が閉じ、給水電磁弁が開いて水が供給される。</p> <p>今回は、排水電磁弁が動作不良で閉じずに給水が行われたため、直接、排水先である当該トレンチに給水が流れ込む状態が継続していることを確認した。このため、排水電磁弁の上流側にある給水元弁を閉じたところ、当該トレンチへの給水の流れ込みが停止し、タービン建屋地下1階への水の流入も停止した。</p> <p>流入した水による機器への影響はなかった。</p> <p>また、溜まっていた水の量は、水溜りの範囲からタービン建屋地下1階（面積：約580㎡、深さ：約1cm、水量：約5.8㎥）と当該トレンチ内（面積：約74㎡、深さ：約10cm、水量：約7.4㎥）合計で約13.2㎥と推定した。</p> <p>なお、母子の汚損検出器の補給水槽への給水は、2次浴で使用する放射能を含まない水であるため、この事象による環境への影響はなかった。</p> <p>対策として、排水電磁弁を新品に取替えるとともに、母子の汚損検出器の補給水槽給水配管の排水を当該トレンチに入らない箇所に変更する。</p> <p>※1：屋外開閉所の母子の汚損状況を確認するために設置している検出器</p>	再発防止対策	記載なし	内部溢水影響評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、タービン建屋についてはT.P.10.3mまで溢水防護措置を実施済みである。</p> <p>また、タービン建屋は溢水防護対応設備がなく、発生した溢水は防護対象設備が設置されている建屋へ流出しないことを確認済みである。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載している。 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名⑧	タービン建屋地下1階で水溜りの発見について												
事象発生日等	2009.5.2 教習2号												
事象の概要	<p>敦賀発電所2号機は、定格熱出力一定運転中のところ、平成21年5月2日9分頃、巡視点検をしていた運転員がタービン建屋地下1階（非管理区域）で水溜りを発見した。</p> <p>溜まっていた水の流入経路を調査した結果、タービン建屋に隣接する給水処理建屋からタービン建屋地下1階に通じているトレンチ（配管やケーブルを設置しているトンネル、以下「当該トレンチ」という）の壁を越えて、流入していることを確認し、さらに給水処理建屋を確認した結果、母子の汚損検出器※1の排水が継続していることを確認した。</p> <p>母子の汚損検出器は、母子の表面に付着した海塩粒子を水で洗浄し塩分濃度を測定する装置です。その洗浄水は補給水槽から供給されるが、その水位が下がると自動で排水電磁弁が閉じ、給水電磁弁が開いて水が供給される。</p> <p>今回は、排水電磁弁が動作不良で閉じずに給水が行われたため、直接、排水先である当該トレンチに給水が流れ込む状態が継続していることを確認した。このため、排水電磁弁の上流側にある給水元弁を閉じたところ、当該トレンチへの給水の流れ込みが停止し、タービン建屋地下1階への水の流入も停止した。</p> <p>流入した水による機器への影響はなかった。</p> <p>また、溜まっていた水の量は、水溜りの範囲からタービン建屋地下1階（面積：約580㎡、深さ：約1cm、水量：約5.8㎥）と当該トレンチ内（面積：約74㎡、深さ：約10cm、水量：約7.4㎥）合計で約13.2㎥と推定した。</p> <p>なお、母子の汚損検出器の補給水槽への給水は、2次浴で使用する放射能を含まない水であるため、この事象による環境への影響はなかった。</p> <p>対策として、排水電磁弁を新品に取替えるとともに、母子の汚損検出器の補給水槽給水配管の排水を当該トレンチに入らない箇所に変更する。</p> <p>※1：屋外開閉所の母子の汚損状況を確認するために設置している検出器</p>												
再発防止対策	記載なし												
内部溢水影響評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、タービン建屋についてはT.P.10.3mまで溢水防護措置を実施済みである。</p> <p>また、タービン建屋は溢水防護対応設備がなく、発生した溢水は防護対象設備が設置されている建屋へ流出しないことを確認済みである。</p>												

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 補足説明資料 39)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(8/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 247 1272 598"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入	事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。	再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(9/23)</p> <table border="1" data-bbox="1279 247 1854 598"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入	事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。	再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入																					
事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号																					
事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。																					
再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。																					
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																					
件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入																					
事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号																					
事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア（放射線管理区域）で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり（約5m×約5.0m）があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。																					
再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる閉閉材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。																					
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																					
<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(9/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 758 1272 1173"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。（6箇所）なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水	事象発生日等	2011.3.11 女川2号	事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。	再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。（6箇所）なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(10/23)</p> <table border="1" data-bbox="1279 758 1854 1173"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った（6箇所）。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水	事象発生日等	2011.3.11 女川2号	事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。	再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った（6箇所）。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水																					
事象発生日等	2011.3.11 女川2号																					
事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。																					
再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。（6箇所）なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。																					
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																					
件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器（B）室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水																					
事象発生日等	2011.3.11 女川2号																					
事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器（A）（B）室及びHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。 浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ（B）エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイ及び配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。																					
再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った（6箇所）。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管及びケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋間の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。																					
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																					

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料39）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(10/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 236 1272 710"> <tr> <td>件名等</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1、2、3、4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなど使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	事象発生日等	2011.3.11 福島第二1、2、3、4号	事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなど使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。	再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(11/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 236 1861 805"> <tr> <td>件名等</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1、2、3、4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下「SFP」という)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水する等し、使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	事象発生日等	2011.3.11 福島第二1、2、3、4号	事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下「SFP」という)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水する等し、使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。	再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名等	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について																						
事象発生日等	2011.3.11 福島第二1、2、3、4号																						
事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなど使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。																						
再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。																						
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名等	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について																						
事象発生日等	2011.3.11 福島第二1、2、3、4号																						
事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のあるところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の本臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下「SFP」という)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達日視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水する等し、使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。																						
再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に襲った当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。																						
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(11/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 1024 1272 1355"> <tr> <td>件名等</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。	再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(12/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 1024 1861 1390"> <tr> <td>件名等</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。	再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。	内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名等	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について																						
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																						
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。																						
再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名等	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について																						
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																						
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。 津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1) 北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナエリア間の排水溝用の開口。 (2) ケーブルピット。																						
再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(防潮堤、防潮壁等を設置)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(12/18)</p> <table border="1" data-bbox="703 245 1265 943"> <tr> <td>件名ID</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2日割における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災（震度6弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。</td> </tr> </table>	件名ID	【東日本大震災関連】125V蓄電池2日割における溢水について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災（震度6弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。	再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。	内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(13/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 245 1839 943"> <tr> <td>件名ID</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池28室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災（震度弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。非常用電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。</td> </tr> </table>	件名ID	【東日本大震災関連】125V蓄電池28室における溢水について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災（震度弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。非常用電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。	再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。	内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表相が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名ID	【東日本大震災関連】125V蓄電池2日割における溢水について																						
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																						
事象の概要	東日本大震災（震度6弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。																						
再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。																						
件名ID	【東日本大震災関連】125V蓄電池28室における溢水について																						
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																						
事象の概要	東日本大震災（震度弱）発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋が外れたことにより、サービス建屋実験室サンパ（管理区域）から原子炉建屋バッテリー室（非管理区域）へのサンパ水の流入が発生した。非常用電源の停電により開となった実験室サンポンプシール水電磁弁から供給された消火水（停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給）が当該サンパに流入し続け、当該サンパ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンパの制御電源喪失で、サンパ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンパとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。																						
再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンパとの恒久的な隔離措置として、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンパの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所（この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性がある）を含め、銅板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンポンプシール水電磁弁が停電により開となること、及び制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平面間として、管理区域からのドレンファンネル、ベント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるもの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所（既に閉止措置済みの1箇所を含む）について閉止措置を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等）を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 （1）復水器室への漏えい検知器の設置 （2）復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 （3）循環水ポンプのトリップインターロックの追加 （4）上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 補足説明資料 39)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(13/18)</p> <table border="1" data-bbox="701 252 1270 938"> <tr> <td>件名等</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 </td> </tr> </table>	件名等	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について	事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号	事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 	内部溢水影響評価への影響	<ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(14/23)</p> <table border="1" data-bbox="1283 252 1856 973"> <tr> <td>件名等</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 </td> </tr> </table>	件名等	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について	事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号	事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 	内部溢水影響評価への影響	<ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名等	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について																						
事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号																						
事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>																						
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 																						
内部溢水影響評価への影響	<ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 																						
件名等	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について																						
事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号																						
事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるばやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器（予備）であったこと。 焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み（床上5cm程度の浸水）があったこと。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>																						
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換又は修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員及び協力企業作業員に周知する。 																						
内部溢水影響評価への影響	<ul style="list-style-type: none"> 基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策（防潮堤、防潮壁等を設置）を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について (14/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 965 1270 1348"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.9.21 女川1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について (15/23)</p> <table border="1" data-bbox="1283 252 1854 869"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>伊方発電所1、2号機 タービン建屋非常用排水ポンプの排水配管からの水漏れについて</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.7.9 伊方1、2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>伊方発電所第1号機は通常運転中、伊方発電所第2号機は復水器清掃のため電気出力を517MWまで低下させて運転中のところ、7月9日15時20分頃2号機タービン建屋入口近傍の電気マンホールから水漏れがあることを作業員が確認した。 伊方発電所第2号機の復水器清掃に伴うタービン建屋非常用排水ポンプの起動後、水漏れが確認されたことから、タービン建屋非常用排水ポンプ出口排水配管（以下「非常用排水配管」という）につながるすべてのポンプを隔離したところ、漏えいは停止した。なお、漏えい量は最大約20mと推定され、漏えい水には放射性物質が含まれていないことを確認した。また、非常用排水配管から漏えいした水が近傍のケーブルダクトを通じ、1号機タービン建屋内に浸入し、7月9日17時07分に1号機タービン建屋地下1階に設置している蒸気発生器ブローダウン水放射能自動分析装置分電盤が被水し地絡したため、同装置を停止した。なお、本装置は、蒸気発生器ブローダウン水の放射能を補助的に測定する装置であり、本設のプロセスマニタにて監視しているため、停止しても問題はなかった。水漏れ箇所近傍を掘削し埋設配管部を確認した結果、非常用排水配管曲げ管部に腐食による貫通穴が4箇所（最大で250mm×250mm）確認された。このため、当該配管を新品に取り替え、7月15日10時40分に1号機タービン建屋非常用排水ポンプ運転状態で漏えいのないことを確認し、通常状態に復旧した。なお、本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能による影響はなかった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>記載なし</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、溢水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑥	伊方発電所1、2号機 タービン建屋非常用排水ポンプの排水配管からの水漏れについて	事象発生日等	2011.7.9 伊方1、2号	事象の概要	伊方発電所第1号機は通常運転中、伊方発電所第2号機は復水器清掃のため電気出力を517MWまで低下させて運転中のところ、7月9日15時20分頃2号機タービン建屋入口近傍の電気マンホールから水漏れがあることを作業員が確認した。 伊方発電所第2号機の復水器清掃に伴うタービン建屋非常用排水ポンプの起動後、水漏れが確認されたことから、タービン建屋非常用排水ポンプ出口排水配管（以下「非常用排水配管」という）につながるすべてのポンプを隔離したところ、漏えいは停止した。なお、漏えい量は最大約20mと推定され、漏えい水には放射性物質が含まれていないことを確認した。また、非常用排水配管から漏えいした水が近傍のケーブルダクトを通じ、1号機タービン建屋内に浸入し、7月9日17時07分に1号機タービン建屋地下1階に設置している蒸気発生器ブローダウン水放射能自動分析装置分電盤が被水し地絡したため、同装置を停止した。なお、本装置は、蒸気発生器ブローダウン水の放射能を補助的に測定する装置であり、本設のプロセスマニタにて監視しているため、停止しても問題はなかった。水漏れ箇所近傍を掘削し埋設配管部を確認した結果、非常用排水配管曲げ管部に腐食による貫通穴が4箇所（最大で250mm×250mm）確認された。このため、当該配管を新品に取り替え、7月15日10時40分に1号機タービン建屋非常用排水ポンプ運転状態で漏えいのないことを確認し、通常状態に復旧した。なお、本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能による影響はなかった。	再発防止対策	記載なし	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、溢水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 記載方針の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載している。 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について																						
事象発生日等	2011.9.21 女川1号																						
事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																						
再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名⑥	伊方発電所1、2号機 タービン建屋非常用排水ポンプの排水配管からの水漏れについて																						
事象発生日等	2011.7.9 伊方1、2号																						
事象の概要	伊方発電所第1号機は通常運転中、伊方発電所第2号機は復水器清掃のため電気出力を517MWまで低下させて運転中のところ、7月9日15時20分頃2号機タービン建屋入口近傍の電気マンホールから水漏れがあることを作業員が確認した。 伊方発電所第2号機の復水器清掃に伴うタービン建屋非常用排水ポンプの起動後、水漏れが確認されたことから、タービン建屋非常用排水ポンプ出口排水配管（以下「非常用排水配管」という）につながるすべてのポンプを隔離したところ、漏えいは停止した。なお、漏えい量は最大約20mと推定され、漏えい水には放射性物質が含まれていないことを確認した。また、非常用排水配管から漏えいした水が近傍のケーブルダクトを通じ、1号機タービン建屋内に浸入し、7月9日17時07分に1号機タービン建屋地下1階に設置している蒸気発生器ブローダウン水放射能自動分析装置分電盤が被水し地絡したため、同装置を停止した。なお、本装置は、蒸気発生器ブローダウン水の放射能を補助的に測定する装置であり、本設のプロセスマニタにて監視しているため、停止しても問題はなかった。水漏れ箇所近傍を掘削し埋設配管部を確認した結果、非常用排水配管曲げ管部に腐食による貫通穴が4箇所（最大で250mm×250mm）確認された。このため、当該配管を新品に取り替え、7月15日10時40分に1号機タービン建屋非常用排水ポンプ運転状態で漏えいのないことを確認し、通常状態に復旧した。なお、本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能による影響はなかった。																						
再発防止対策	記載なし																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、溢水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について (14/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 965 1270 1348"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.9.21 女川1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について (16/23)</p> <table border="1" data-bbox="1283 965 1854 1444"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.9.21 女川1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について																						
事象発生日等	2011.9.21 女川1号																						
事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																						
再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各種屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名⑥	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について																						
事象発生日等	2011.9.21 女川1号																						
事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階及び配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																						
再発防止対策	(1) ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋及び非常用電源室などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2) トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3) 類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 補足説明資料 39)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(15/18)</p> <table border="1" data-bbox="696 240 1272 979"> <tr> <td>件名等</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6、7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・更に隙間ゲージ(0、0.5mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6、7号	事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・更に隙間ゲージ(0、0.5mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(17/23)</p> <table border="1" data-bbox="1279 240 1861 1010"> <tr> <td>件名等</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6、7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、すべてのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6、7号	事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、すべてのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名等	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について																						
事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6、7号																						
事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。																						
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・更に隙間ゲージ(0、0.5mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名等	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について																						
事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6、7号																						
事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子が建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。																						
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、すべてのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
		<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について（18/23）</p> <table border="1" data-bbox="1288 244 1861 879"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>A-非常用ディーゼル発電機 燃料油配管からのわずかな油の漏えいについて</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.8.19 大阪2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>大阪発電所2号機は第24回定期検査中のところ、平成25年8月19日10時00分頃、協力会社社員から2号機A-非常用ディーゼル発電機（以下、「A-DG」といふ）室付近（屋外）で油の臭いがしているとの連絡を受けた。直ちに当社社員が現地の状況を確認したところ、燃料油貯油槽（地下タンク）とA-DG燃料油サービスタンクをつないでいる配管のトレンチ内にある燃料油配管から燃料油（A重油）がわずかに漏えい（約3滴/min）していることを確認した。A-DGの機能に影響を与える漏えいではなかったが、当該DGを待機除外とし、配管を補修することとした。漏えいした燃料油はトレンチ内に溜まっており、構外への流出はなかった。また、漏えいした燃料油については拭き取りを実施した。本事象による環境への放射能の影響はない。また、他の予備電源が確保されていることにより、保安規定に定める運転上の制限も満足している。なお、当該DGについては復旧が完了し、待機状態とした。 事象の原因 A-DG室建屋壁から伝い落ちた雨水等が、建屋壁とトレンチ上部の蓋との隙間及びトレンチ上部の蓋のケーブル等貫通用の開口部から配管トレンチ内に入り、雨水浸入防止処置状態が不十分であった箇所から保温材の内部に浸入し漏洩状態となった結果、長時間かけて配管外面から腐食、減肉し漏えいに至ったものと推定された。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1) 当該配管を新品に取り替えた。 (2) 保温材（外装板）と壁貫通部の隙間の雨水浸入防止処置を確실행した。 (3) 配管上部のトレンチ蓋とA-DG室建屋壁との隙間及びトレンチ蓋開口部に雨水浸入防止処置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>漏水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> <p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について（19/23）</p> <table border="1" data-bbox="1288 1002 1861 1353"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>泊発電所3号機における大雨による湧水ビット水のオーバーフローについて</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.8.27 泊3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>泊発電所3号機については、定期検査のためプラント停止中のところ、8月27日19時25分頃、夕方からの豪雨により湧水が増加し、原子炉補助建屋の地下2階にある湧水ビットポンプの排水能力を上回ったことにより、湧水ビット水がオーバーフローする事象が発生しました。オーバーフローした湧水ビット水が隣接する制御用地震計室に流入したため、制御用地震計の電源を断りました。また、オーバーフローした湧水ビット水の一部が非管理区域から管理区域へ浸入しましたが、管理区域内で適切に管理しています。オーバーフローした非管理区域の湧水については、排水ポンプやバキュームカーにより8月28日1時45分頃、排水を完了しました。本事象による、放射性物質の放出はありません。なお、泊発電所1号及び2号機には、同様な事象は発生していません。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>記載なし</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>漏水経路の設定に係る事象であるが、漏水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑧	A-非常用ディーゼル発電機 燃料油配管からのわずかな油の漏えいについて	事象発生日等	2013.8.19 大阪2号	事象の概要	大阪発電所2号機は第24回定期検査中のところ、平成25年8月19日10時00分頃、協力会社社員から2号機A-非常用ディーゼル発電機（以下、「A-DG」といふ）室付近（屋外）で油の臭いがしているとの連絡を受けた。直ちに当社社員が現地の状況を確認したところ、燃料油貯油槽（地下タンク）とA-DG燃料油サービスタンクをつないでいる配管のトレンチ内にある燃料油配管から燃料油（A重油）がわずかに漏えい（約3滴/min）していることを確認した。A-DGの機能に影響を与える漏えいではなかったが、当該DGを待機除外とし、配管を補修することとした。漏えいした燃料油はトレンチ内に溜まっており、構外への流出はなかった。また、漏えいした燃料油については拭き取りを実施した。本事象による環境への放射能の影響はない。また、他の予備電源が確保されていることにより、保安規定に定める運転上の制限も満足している。なお、当該DGについては復旧が完了し、待機状態とした。 事象の原因 A-DG室建屋壁から伝い落ちた雨水等が、建屋壁とトレンチ上部の蓋との隙間及びトレンチ上部の蓋のケーブル等貫通用の開口部から配管トレンチ内に入り、雨水浸入防止処置状態が不十分であった箇所から保温材の内部に浸入し漏洩状態となった結果、長時間かけて配管外面から腐食、減肉し漏えいに至ったものと推定された。	再発防止対策	(1) 当該配管を新品に取り替えた。 (2) 保温材（外装板）と壁貫通部の隙間の雨水浸入防止処置を確실행した。 (3) 配管上部のトレンチ蓋とA-DG室建屋壁との隙間及びトレンチ蓋開口部に雨水浸入防止処置を実施した。	内部溢水影響評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	件名⑨	泊発電所3号機における大雨による湧水ビット水のオーバーフローについて	事象発生日等	2013.8.27 泊3号	事象の概要	泊発電所3号機については、定期検査のためプラント停止中のところ、8月27日19時25分頃、夕方からの豪雨により湧水が増加し、原子炉補助建屋の地下2階にある湧水ビットポンプの排水能力を上回ったことにより、湧水ビット水がオーバーフローする事象が発生しました。オーバーフローした湧水ビット水が隣接する制御用地震計室に流入したため、制御用地震計の電源を断りました。また、オーバーフローした湧水ビット水の一部が非管理区域から管理区域へ浸入しましたが、管理区域内で適切に管理しています。オーバーフローした非管理区域の湧水については、排水ポンプやバキュームカーにより8月28日1時45分頃、排水を完了しました。本事象による、放射性物質の放出はありません。なお、泊発電所1号及び2号機には、同様な事象は発生していません。	再発防止対策	記載なし	内部溢水影響評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、漏水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 記載方針の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載している。 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名⑧	A-非常用ディーゼル発電機 燃料油配管からのわずかな油の漏えいについて																						
事象発生日等	2013.8.19 大阪2号																						
事象の概要	大阪発電所2号機は第24回定期検査中のところ、平成25年8月19日10時00分頃、協力会社社員から2号機A-非常用ディーゼル発電機（以下、「A-DG」といふ）室付近（屋外）で油の臭いがしているとの連絡を受けた。直ちに当社社員が現地の状況を確認したところ、燃料油貯油槽（地下タンク）とA-DG燃料油サービスタンクをつないでいる配管のトレンチ内にある燃料油配管から燃料油（A重油）がわずかに漏えい（約3滴/min）していることを確認した。A-DGの機能に影響を与える漏えいではなかったが、当該DGを待機除外とし、配管を補修することとした。漏えいした燃料油はトレンチ内に溜まっており、構外への流出はなかった。また、漏えいした燃料油については拭き取りを実施した。本事象による環境への放射能の影響はない。また、他の予備電源が確保されていることにより、保安規定に定める運転上の制限も満足している。なお、当該DGについては復旧が完了し、待機状態とした。 事象の原因 A-DG室建屋壁から伝い落ちた雨水等が、建屋壁とトレンチ上部の蓋との隙間及びトレンチ上部の蓋のケーブル等貫通用の開口部から配管トレンチ内に入り、雨水浸入防止処置状態が不十分であった箇所から保温材の内部に浸入し漏洩状態となった結果、長時間かけて配管外面から腐食、減肉し漏えいに至ったものと推定された。																						
再発防止対策	(1) 当該配管を新品に取り替えた。 (2) 保温材（外装板）と壁貫通部の隙間の雨水浸入防止処置を確실행した。 (3) 配管上部のトレンチ蓋とA-DG室建屋壁との隙間及びトレンチ蓋開口部に雨水浸入防止処置を実施した。																						
内部溢水影響評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチ部含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名⑨	泊発電所3号機における大雨による湧水ビット水のオーバーフローについて																						
事象発生日等	2013.8.27 泊3号																						
事象の概要	泊発電所3号機については、定期検査のためプラント停止中のところ、8月27日19時25分頃、夕方からの豪雨により湧水が増加し、原子炉補助建屋の地下2階にある湧水ビットポンプの排水能力を上回ったことにより、湧水ビット水がオーバーフローする事象が発生しました。オーバーフローした湧水ビット水が隣接する制御用地震計室に流入したため、制御用地震計の電源を断りました。また、オーバーフローした湧水ビット水の一部が非管理区域から管理区域へ浸入しましたが、管理区域内で適切に管理しています。オーバーフローした非管理区域の湧水については、排水ポンプやバキュームカーにより8月28日1時45分頃、排水を完了しました。本事象による、放射性物質の放出はありません。なお、泊発電所1号及び2号機には、同様な事象は発生していません。																						
再発防止対策	記載なし																						
内部溢水影響評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、漏水経路に設定されていない建屋間、区画間については、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(16/18)</p> <table border="1" data-bbox="703 288 1265 671"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</td> </tr> </table>	件名⑩	C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ	事象発生日等	2014.9.19 女川1号	事象の概要	燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。	再発防止対策	・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(20/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 288 1856 743"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</td> </tr> </table>	件名⑩	C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ	事象発生日等	2014.9.19 女川1号	事象の概要	燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。	再発防止対策	・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。	<p>【女川】 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名⑩	C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ																						
事象発生日等	2014.9.19 女川1号																						
事象の概要	燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。																						
再発防止対策	・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。																						
件名⑩	C/B 2F 非常用D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ																						
事象発生日等	2014.9.19 女川1号																						
事象の概要	燃料移送ポンプ試験運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が駆体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1t)及び地下3階非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5t))。																						
再発防止対策	・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・駆体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の駆体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、取内に滞留している液体が滲み出した事象である。内部溢水評価では、上層で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上層等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる駆体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。																						
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(17/18)</p> <table border="1" data-bbox="703 871 1265 1174"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について	事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。	再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(21/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 871 1856 1238"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について	事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。	再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について																						
事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号																						
事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。																						
再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について																						
事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号																						
事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。																						
再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサーで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(18/18)</p> <table border="1" data-bbox="698 276 1270 810"> <tr> <td>件名等</td> <td>原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2016.9.28 志賀2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m³、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	原子炉建屋内への雨水流入について	事象発生日等	2016.9.28 志賀2号	事象の概要	原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m ³ の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m ³ 、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。	再発防止対策	①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について(22/23)</p> <table border="1" data-bbox="1283 276 1854 938"> <tr> <td>件名等</td> <td>原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2016.9.28 志賀2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m³、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）</td> </tr> <tr> <td>内部溢水影響評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名等	原子炉建屋内への雨水流入について	事象発生日等	2016.9.28 志賀2号	事象の概要	原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m ³ の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m ³ 、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。	再発防止対策	①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）	内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>
件名等	原子炉建屋内への雨水流入について																						
事象発生日等	2016.9.28 志賀2号																						
事象の概要	原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m ³ の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m ³ 、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。																						
再発防止対策	①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						
件名等	原子炉建屋内への雨水流入について																						
事象発生日等	2016.9.28 志賀2号																						
事象の概要	原子炉建屋内（非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕）に約6.6m ³ の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビッド上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビッド内へ流入。ビッドからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内（非管理区域）に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階（管理区域含む）へも流入した。原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品（C）室で約6.5m ³ 、下層階（管理区域内及び非管理区域内合計）で約86リットルであった。																						
再発防止対策	①原子炉建屋を貫通する地下貫通部の水密化を速やかに実施 ②開閉所共通トレンチへの雨水流入量低減のためNO.1ハンドホールに設けた接続部の閉止 ③構内東側道路の排水能力の増強（仮設排水ポンプの追加配備等） ④非常用電気品（C）室床面のひび割れ補修及び漏えいを考慮した補修基準を検討し設定 ⑤警報発生時の現場確認方法の改善 ⑥警報発生時における原因調査の徹底 ⑦大雨警報発令時の運用管理強化（大雨警報発令時におけるパトロール体制の構築）																						
内部溢水影響評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外壁境界部の貫通孔に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p>表2 不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について (23/23)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1856 943"> <tr> <td data-bbox="1285 256 1391 284">件名②</td> <td data-bbox="1395 256 1856 284">伊方発電所第3号機 総合排水処理装置沈殿池壁面からの水漏れについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 285 1391 308">事象発生日等</td> <td data-bbox="1395 285 1856 308">2021.6.30 伊方3号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 309 1391 587">事象の概要</td> <td data-bbox="1395 309 1856 587"> <p>6月30日16時19分、伊方発電所3号機総合排水処理装置（管理区域外）のE沈殿池のコンクリート壁より微量の水漏れがあることを運転員が確認した。このため、E沈殿池の排水作業を行い同日18時51分に水漏れは停止し、7月1日15時10分、E沈殿池の水抜きを完了した。漏れた水の量は推定約240リットルであり、分析の結果、法令で定める排水基準値を満たしており、環境への影響はなかった。また、プラント設備への影響及び環境への放射能の影響もなかった。調査の結果、水漏れは沈殿池のコンクリート壁の継ぎ目部のひび割れから発生していたことから、コンクリート壁の継ぎ目部を修繕した。その後、沈殿池に水張りを行い漏えいがないことを確認し、8月17日14時55分、通常状態に復旧した。なお、その他の沈殿池の用途は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A沈殿池：E沈殿池と同様。 ・B、F沈殿池：復水脱塩装置で使用する樹脂の再生水を受け入れる。 ・C沈殿池：事務所で発生した手洗い、トイレ、食堂等の生活排水を浄化処理した水を受け入れる。 ・D沈殿池：ろ過器の逆洗水など懸濁物を含む水を受け入れる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 588 1391 874">再発防止対策</td> <td data-bbox="1395 588 1856 874"> <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該側壁外側のひび割れが生じた部分のコンクリートをはつり撤去、復旧した。 (2) ゴム止水板の修繕は構造上困難なため、その代替として当該側壁内側の継ぎ目部に樹脂系シート型止水工法にて内側からの水の浸入防止処置を実施し、(1)の対策と合わせて水漏れがないことを確認した。 (3) 本事象の発生部位は南側側壁のみであるが、予防保全として北側側壁の内側にも同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施した。 (4) 前述の通りA沈殿池側壁内側の継ぎ目についても同一仕様であることから、予防保全の水平展開として、2022年度に同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施する。 (5) 点検要否の判定基準となる社内マニュアルについて、側壁内側に今回新たに施工した樹脂系シート型止水工法の健全度判定を追加した内容に改正する。 (6) 同マニュアルについて、側壁外側の外観点検頻度を現行の1回/2年から1回/1年に改正する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 876 1391 943">内部溢水影響評価への影響</td> <td data-bbox="1395 876 1856 943"> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチを含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> </td> </tr> </table>	件名②	伊方発電所第3号機 総合排水処理装置沈殿池壁面からの水漏れについて	事象発生日等	2021.6.30 伊方3号	事象の概要	<p>6月30日16時19分、伊方発電所3号機総合排水処理装置（管理区域外）のE沈殿池のコンクリート壁より微量の水漏れがあることを運転員が確認した。このため、E沈殿池の排水作業を行い同日18時51分に水漏れは停止し、7月1日15時10分、E沈殿池の水抜きを完了した。漏れた水の量は推定約240リットルであり、分析の結果、法令で定める排水基準値を満たしており、環境への影響はなかった。また、プラント設備への影響及び環境への放射能の影響もなかった。調査の結果、水漏れは沈殿池のコンクリート壁の継ぎ目部のひび割れから発生していたことから、コンクリート壁の継ぎ目部を修繕した。その後、沈殿池に水張りを行い漏えいがないことを確認し、8月17日14時55分、通常状態に復旧した。なお、その他の沈殿池の用途は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A沈殿池：E沈殿池と同様。 ・B、F沈殿池：復水脱塩装置で使用する樹脂の再生水を受け入れる。 ・C沈殿池：事務所で発生した手洗い、トイレ、食堂等の生活排水を浄化処理した水を受け入れる。 ・D沈殿池：ろ過器の逆洗水など懸濁物を含む水を受け入れる。 	再発防止対策	<ol style="list-style-type: none"> (1) 当該側壁外側のひび割れが生じた部分のコンクリートをはつり撤去、復旧した。 (2) ゴム止水板の修繕は構造上困難なため、その代替として当該側壁内側の継ぎ目部に樹脂系シート型止水工法にて内側からの水の浸入防止処置を実施し、(1)の対策と合わせて水漏れがないことを確認した。 (3) 本事象の発生部位は南側側壁のみであるが、予防保全として北側側壁の内側にも同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施した。 (4) 前述の通りA沈殿池側壁内側の継ぎ目についても同一仕様であることから、予防保全の水平展開として、2022年度に同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施する。 (5) 点検要否の判定基準となる社内マニュアルについて、側壁内側に今回新たに施工した樹脂系シート型止水工法の健全度判定を追加した内容に改正する。 (6) 同マニュアルについて、側壁外側の外観点検頻度を現行の1回/2年から1回/1年に改正する。 	内部溢水影響評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチを含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 女川の認可（2020年2月）以降の最新情報を反映した。 記載表現の相違 泊はPWRで発生した不具合事象を抽出し記載していることから表数が異なる。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
件名②	伊方発電所第3号機 総合排水処理装置沈殿池壁面からの水漏れについて												
事象発生日等	2021.6.30 伊方3号												
事象の概要	<p>6月30日16時19分、伊方発電所3号機総合排水処理装置（管理区域外）のE沈殿池のコンクリート壁より微量の水漏れがあることを運転員が確認した。このため、E沈殿池の排水作業を行い同日18時51分に水漏れは停止し、7月1日15時10分、E沈殿池の水抜きを完了した。漏れた水の量は推定約240リットルであり、分析の結果、法令で定める排水基準値を満たしており、環境への影響はなかった。また、プラント設備への影響及び環境への放射能の影響もなかった。調査の結果、水漏れは沈殿池のコンクリート壁の継ぎ目部のひび割れから発生していたことから、コンクリート壁の継ぎ目部を修繕した。その後、沈殿池に水張りを行い漏えいがないことを確認し、8月17日14時55分、通常状態に復旧した。なお、その他の沈殿池の用途は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A沈殿池：E沈殿池と同様。 ・B、F沈殿池：復水脱塩装置で使用する樹脂の再生水を受け入れる。 ・C沈殿池：事務所で発生した手洗い、トイレ、食堂等の生活排水を浄化処理した水を受け入れる。 ・D沈殿池：ろ過器の逆洗水など懸濁物を含む水を受け入れる。 												
再発防止対策	<ol style="list-style-type: none"> (1) 当該側壁外側のひび割れが生じた部分のコンクリートをはつり撤去、復旧した。 (2) ゴム止水板の修繕は構造上困難なため、その代替として当該側壁内側の継ぎ目部に樹脂系シート型止水工法にて内側からの水の浸入防止処置を実施し、(1)の対策と合わせて水漏れがないことを確認した。 (3) 本事象の発生部位は南側側壁のみであるが、予防保全として北側側壁の内側にも同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施した。 (4) 前述の通りA沈殿池側壁内側の継ぎ目についても同一仕様であることから、予防保全の水平展開として、2022年度に同様の止水工法による水の浸入防止処置を実施する。 (5) 点検要否の判定基準となる社内マニュアルについて、側壁内側に今回新たに施工した樹脂系シート型止水工法の健全度判定を追加した内容に改正する。 (6) 同マニュアルについて、側壁外側の外観点検頻度を現行の1回/2年から1回/1年に改正する。 												
内部溢水影響評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間（地下トレンチを含む）の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>補足説明資料 35</p> <p>溢水発生後の復旧について</p> <p>1. はじめに 女川2号炉における内部溢水影響評価の結果、安全機能が維持されることを確認しており、ここでは貯留した溢水の復旧対応方針について整理した。</p> <p>2. 最終貯留エリア 発生した溢水は最終的に下記エリアに貯留するものと想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋原子炉棟：R-B3F-1（R-B3F-9含む） ・原子炉建屋付属棟：R-1F-17, R-B3F-12, R-B3F-11, R-B3F-14 ・制御建屋：C-B2F-1, C-B2F-2 <p>3. 想定する状況 最終貯留エリアの浸水深が最大になる状況（当該エリアのサンポンプが機能喪失）を想定する。</p> <p>4. 最終貯留エリアへのアクセス 各エリアとも、浸水状況を確認しながら、上階からアクセス可能である。</p> <p>5. 復旧作業 溢水発生後の復旧については、溢水の貯留状況と排水関連設備の運転状況等により排水先を適切に選定する。基本的には溢水が発生した当該の建屋・棟で健全なサンプ及び廃棄物処理設備を確認し、仮設ポンプ等により移送する。</p>	<p>補足説明資料 40</p> <p>溢水発生後の復旧について</p> <p>1. はじめに 泊発電所3号炉における内部溢水影響評価の結果、安全機能が維持されることを確認しており、ここでは貯留した溢水の復旧対応方針について整理した。</p> <p>2. 最終貯留エリア 発生した溢水は最終的に下記エリアに貯留するものと想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋：3RB-D-N2, 3RB-F-6, 3RB-H-N4, 3RB-J-1, 3RB-J-2, 3RB-K-N1, 3RB-K-N4 ・原子炉補助建屋：3AB-F-7, 3AB-K-25, 3AB-K-26, 3AB-K-32, 3AB-L-11, 3AB-L-1, 3AB-L-9, 3AB-L-8, 3AB-L-7, 3AB-L-6, 3AB-L-5, 3AB-L-4, 3AB-L-3, 3AB-L-2 ・循環水ポンプ建屋：3CWP-A-N1, 3CWP-A-N2 <p>3. 想定する状況 最終貯留エリアの浸水深が最大になる状況（当該エリアのサンポンプが機能喪失）を想定する。</p> <p>4. 最終貯留エリアへのアクセス 各エリアとも、浸水状況を確認しながら、上階からアクセス可能である。</p> <p>5. 復旧作業 溢水発生後の復旧については、溢水の貯留状況と排水関連設備の運転状況等により排水先を適切に選定する。基本的には溢水が発生した当該の建屋で健全なサンプ及び廃棄物処理設備を確認し、仮設ポンプ等により移送する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 建屋名称及び区画の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違 建屋名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

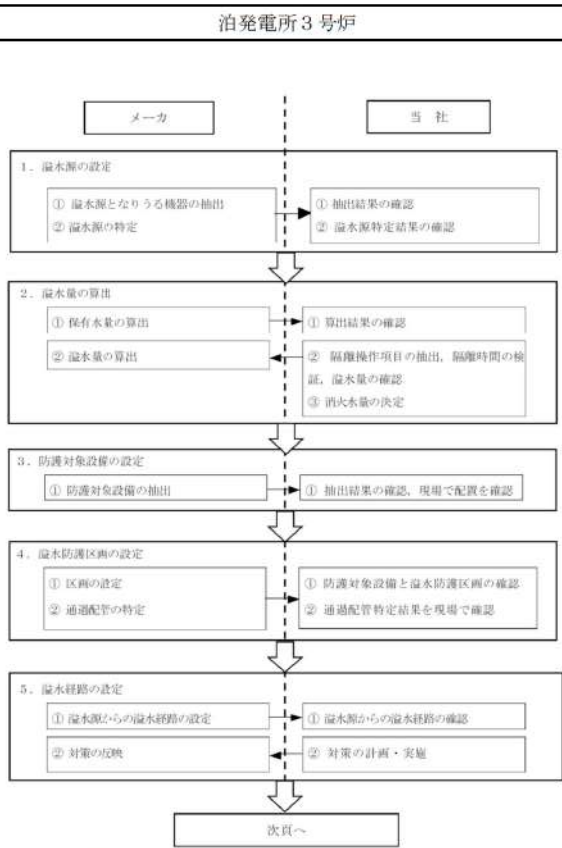
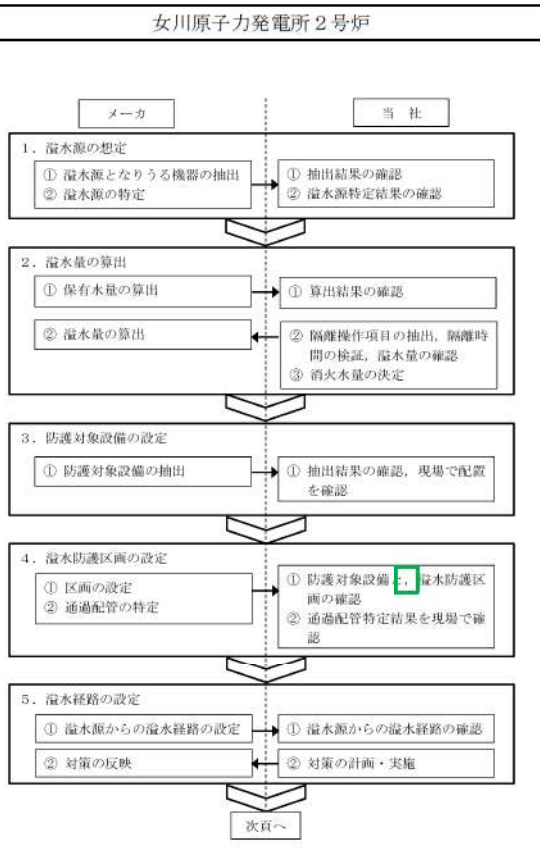
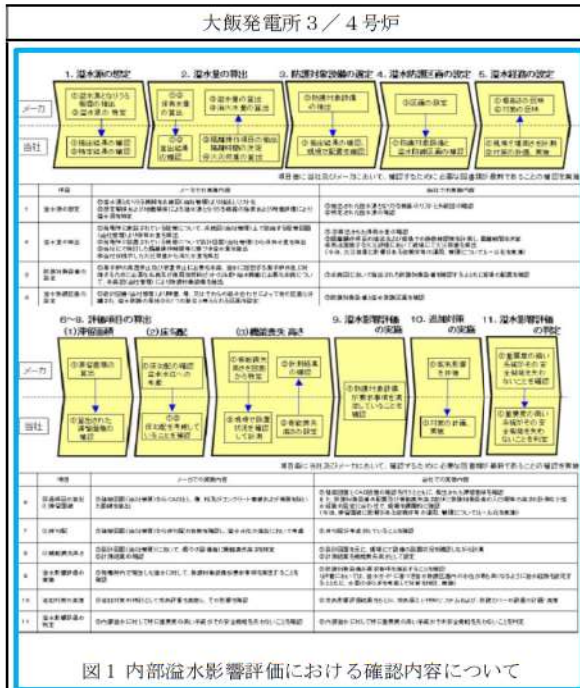
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>6. 復旧作業期間</p> <p>例として、原子炉建屋付属棟において溢水量が最大である原子炉補機冷却海水系の溢水（想定破損による溢水量358m³）が発生した場合、排水能力10m³/h程度の仮設排水ポンプを使用することで、準備作業を考慮しても2日程度で排水作業が可能である。その他の溢水源・溢水発生エリアにおいても、想定される溢水量に対して、仮設排水ポンプを使用し、1週間程度での排水作業が可能である。</p> <p>7. 機器の点検作業</p> <p>排水作業完了後に、没水した機器の点検を速やかに行う。機器の点検等には時間を要するが、その間プラントは安全機能が維持されている。</p> <p>なお、特にプラント停止後については、冷温停止機能、燃料プールの冷却及び補給機能の維持が重要になるため、この機能に係る系統の運転継続が重要となる。機器の点検においては、この運転状態が長期に継続することから、機器の復旧についても、これら運転状態の維持を最優先とした作業工程にて復旧作業を進める。</p>	<p>6. 復旧作業期間</p> <p>例として、原子炉建屋において溢水量が最大である主給水系からの溢水（想定破損による溢水量642.3m³）が発生した場合、排水能力10m³/h程度の仮設排水ポンプを使用することで、準備作業を考慮しても3日程度で排水作業が可能である。その他の溢水源・溢水発生エリアにおいても、想定される溢水量に対して、仮設排水ポンプを使用し、1週間程度での排水作業が可能である。</p> <p>7. 機器の点検作業</p> <p>排水作業完了後に、没水した機器の点検を速やかに行う。機器の点検等には時間を要するが、その間プラントは安全機能が維持されている。</p> <p>なお、特にプラント停止後については、冷温停止機能、燃料ピットの冷却及び補給機能の維持が重要になるため、この機能に係る系統の運転継続が重要となる。機器の点検においては、この運転状態が長期に継続することから、機器の復旧についても、これら運転状態の維持を最優先とした作業工程にて復旧作業を進める。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違 建屋名称の相違 設計方針の相違 評価結果の相違により、溢水量が最大となる系統及び溢水量が相違している。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>するとともに、溢水源とした設備の破損により生じる溢水影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。</p> <p>3. 内部溢水影響評価における確認内容 内部溢水影響評価においては、プラントメーカーへ評価委託を実施するとともに、併せて当社で現場確認、図面、設計資料の確認を実施している。具体的には、溢水影響評価に係る溢水源、溢水経路、防護対象設備の機能喪失高さ等を現場状況も含めて確認している。確認のプロセスを図1に、確認内容を表1に示す。 なお、今後、当社において溢水影響評価に変更を及ぼすおそれのある各種工事並びに資機材管理についてルール化を実施する。</p> <p>4. 今後の対応 (1) 資機材の持込み等に対する管理 溢水評価区画において、資機材の持込み等により評価条件としている火災荷重及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>(2) 水密扉に対する管理 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を整備し、的確に実施する。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>(3) 改造工事による溢水源の追加、変更の対応 改造工事の実施により、溢水源が追加、変更となる場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p>	<p>価するとともに、溢水源とした設備の破損により生じる溢水影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。</p> <p>3. 内部溢水影響評価における確認内容 内部溢水影響評価においては、プラントメーカーへ評価委託を実施するとともに、併せて当社で現場確認、図面、設計資料の確認を実施している。具体的には、溢水影響評価に係る溢水源、溢水経路、防護対象設備の機能喪失高さ等を現場状況も含めて確認している。確認のプロセスを図1に、確認内容を表1に示す。 なお、今後、当社において溢水影響評価に変更を及ぼすおそれのある各種工事並びに資機材管理についてルール化を実施する。</p> <p>4. 今後の対応 (1) 資機材の持込み等に対する管理 溢水評価区画において、資機材の持込み等により評価条件としている火災荷重及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>(2) 水密扉に対する管理 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を整備し、的確に実施する。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>(3) 改造工事による溢水源の追加、変更の対応 改造工事の実施により、溢水源が追加、変更となる場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料41）

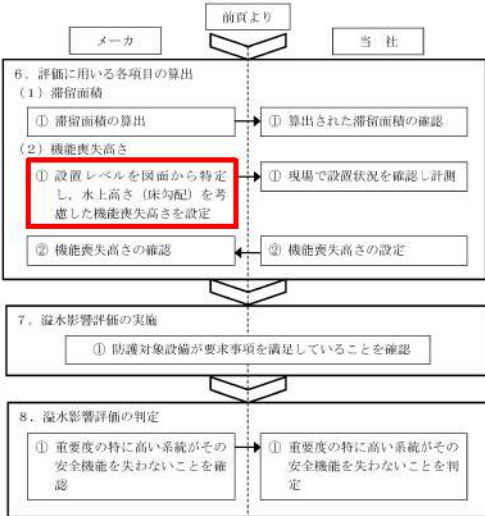
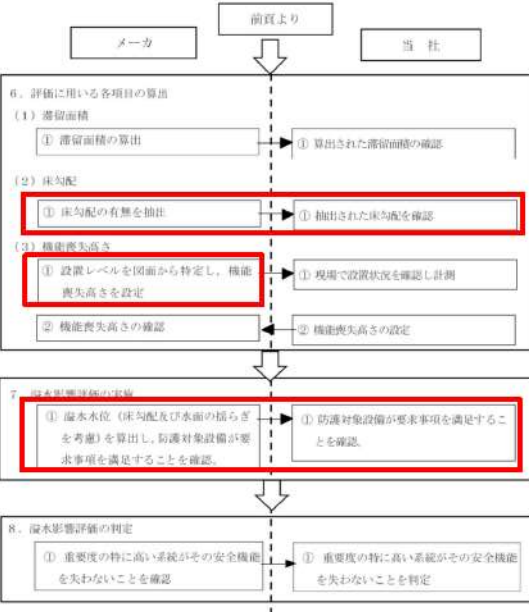


相違理由

【大阪】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

【女川】
 記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

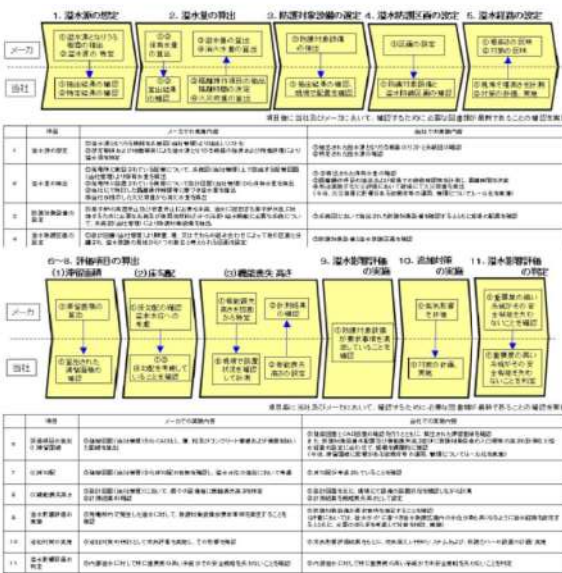
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-5-9より抜粋 ・溢水水位その1 溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。 $\text{溢水水位}[\text{m}] = \text{溢水量}[\text{m}^3] / \text{滞留面積}[\text{m}^2] + \text{床勾配}$</p>	 <p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー(2/2)</p>	 <p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー(2/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 女川では床勾配を考慮して機能喪失高さを設定しているが、泊では設置レベルを基に機能喪失高さを設定し、算出した溢水水位に床勾配を加算することとしている。 （溢水水位の算出において床勾配を考慮する点は島根と同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【伊方3号炉】まとめ資料 別添3 9条-別添3-5より抜粋</p> <p>表-1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 防護対象設備の抽出</td> <td>① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低温停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。</td> <td>① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。</td> </tr> <tr> <td>2 溢水源の設定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水源となりうる機器を溢水源として特定。</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。</td> </tr> <tr> <td>3 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。</td> <td>① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。</td> <td>① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。</td> </tr> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。</td> <td>① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 浸水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、扉及び逆止弁等）。</td> </tr> <tr> <td>6 評価項目の算出（1）滞留面積</td> <td>① 建屋図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。</td> <td>① 建屋図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	1 防護対象設備の抽出	① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低温停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。	① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。	2 溢水源の設定	① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水源となりうる機器を溢水源として特定。	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。	3 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。	① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 浸水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、扉及び逆止弁等）。	6 評価項目の算出（1）滞留面積	① 建屋図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建屋図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 溢水源の想定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認</td> </tr> <tr> <td>2 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 S_g によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 漏水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）</td> <td>① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出</td> </tr> <tr> <td>3 防護対象設備の設定</td> <td>① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出</td> <td>① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書より、障壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定</td> <td>① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認	2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 S _g によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 漏水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書より、障壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 溢水源の想定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認</td> </tr> <tr> <td>2 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出</td> <td>① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出</td> </tr> <tr> <td>3 防護対象設備の設定</td> <td>① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出</td> <td>① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書又は現地施工図より、壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定</td> <td>① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認	2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書又は現地施工図より、壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設備名称の相違 記載方針の相違</p> <p>泊は、手動隔離と自動隔離における系統隔離範囲図、隔離操作時間を元にメーカーにて溢水量を算出している。（伊方と同様）</p>
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 防護対象設備の抽出	① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低温停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。	① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。																																																				
2 溢水源の設定	① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水源となりうる機器を溢水源として特定。	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。																																																				
3 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。	① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。																																																				
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 浸水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、扉及び逆止弁等）。																																																				
6 評価項目の算出（1）滞留面積	① 建屋図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建屋図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																																				
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認																																																				
2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 S _g によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 漏水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出																																																				
3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書より、障壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定																																																				
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認																																																				
2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定 ④ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出																																																				
3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書又は現地施工図より、壁、扉、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料41）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p>【比較のため再掲】</p>  <p>図1 内部溢水影響評価における確認内容について</p>	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な堰等の検討及び設置の計画、実施</td> </tr> <tr> <td>6 滞留面積の算出</td> <td>① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で用まれた範囲）を読み取り床面積を算出</td> <td>① 算出された滞留面積を確認</td> </tr> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認</td> <td>① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定</td> </tr> <tr> <td>7 溢水影響評価の実施</td> <td>① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認</td> <td>① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の揺らぎを考慮した対策を実施）</td> </tr> <tr> <td>8 溢水影響評価の判定</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 代表例として機能喪失高さの確認状況を参考資料に示す。</p>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な堰等の検討及び設置の計画、実施	6 滞留面積の算出	① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で用まれた範囲）を読み取り床面積を算出	① 算出された滞留面積を確認	機能喪失高さ	① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認	① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定	7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の揺らぎを考慮した対策を実施）	8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）</td> </tr> <tr> <td>6 滞留面積の算出</td> <td>① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出</td> <td>① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認</td> </tr> <tr> <td>床勾配の算出</td> <td>① 建築図面から床勾配の有無を確認</td> <td>① 抽出された床勾配を確認</td> </tr> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>① 設計図面により、個々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを設定 ② 設定した機能喪失高さの確認</td> <td>① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定</td> </tr> <tr> <td>7 溢水影響評価の実施</td> <td>① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の揺らぎを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能維持）を満足することを確認</td> <td>① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施</td> </tr> <tr> <td>8 溢水影響評価の判定</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 代表例として機能喪失高さの確認状況を参考資料に示す。</p>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）	6 滞留面積の算出	① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出	① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認	床勾配の算出	① 建築図面から床勾配の有無を確認	① 抽出された床勾配を確認	機能喪失高さ	① 設計図面により、個々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを設定 ② 設定した機能喪失高さの確認	① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定	7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の揺らぎを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能維持）を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施	8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 堰等の対策検討の目的について、女川は溢水経路を形成するため、泊は溢水影響評価に必要な対策のためとしている。（伊方と同様） <u>設計方針の相違</u> ・泊は、区画の全面積から欠損となる機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出している。区画面積及び区画内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、常設機器等の欠損面積は現場実測により算出している。（大阪と同様） ・女川では床勾配を考慮して機能喪失高さを設定しているが、泊では設置レベルを基に機能喪失高さを設定し、算出した溢水水位に床勾配を加算することとしている。（島根、大阪と同様） ・泊では機能喪失高さは、「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の2種類設定している。保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。（島根と同様）</p>
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な堰等の検討及び設置の計画、実施																																								
6 滞留面積の算出	① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で用まれた範囲）を読み取り床面積を算出	① 算出された滞留面積を確認																																								
機能喪失高さ	① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認	① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定																																								
7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の揺らぎを考慮した対策を実施）																																								
8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定																																								
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）																																								
6 滞留面積の算出	① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出	① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認																																								
床勾配の算出	① 建築図面から床勾配の有無を確認	① 抽出された床勾配を確認																																								
機能喪失高さ	① 設計図面により、個々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを設定 ② 設定した機能喪失高さの確認	① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定																																								
7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の揺らぎを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能維持）を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施																																								
8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定																																								
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋 1.1 機能喪失高さ 機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。 まとめ資料 p9条-別添1-5-9より抜粋 ・溢水水位その1 溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。 溢水水位[m] = 溢水量[m³] / 滞留面積[m²] + 床勾配</p>	<p>【伊方3号炉】まとめ資料 別添3 9条-別添3-5より抜粋 表-1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書または現地施工図により、壁、堰またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。</td> <td>① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。</td> </tr> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。</td> <td>① 溢水経路に対して、壁、堰、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。</td> </tr> <tr> <td>6 評価項目の算出(1)滞留面積</td> <td>① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。</td> <td>① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。</td> </tr> </tbody> </table>	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、堰またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、堰、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。	6 評価項目の算出(1)滞留面積	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、堰またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、堰、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。																																								
6 評価項目の算出(1)滞留面積	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-5-9より抜粋</p> <p>・溢水水位その1</p> <p>溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。</p> <p>溢水水位[m] = 溢水量[m3] / 滞留面積[m2] + 床勾配</p>	<p>参考資料</p> <p>機能喪失高さの確認状況</p> <p>1. 弁</p> <p>(1) 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さを設定</p> <div data-bbox="703 392 1265 738" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="743 764 1261 804" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<p>参考資料</p> <p>機能喪失高さの確認状況</p> <p>1. 弁</p> <p>(1) 基本設定箇所及び個別測定箇所の設置レベルを図面から特定し、基準床レベルからの機能喪失高さを設定</p> <p><基本設定箇所></p> <div data-bbox="1364 424 1789 810" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p><個別測定箇所></p> <div data-bbox="1397 896 1756 1326" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="1288 1353 1854 1377" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では機能喪失高さは、「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の2種類設定している。保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。(島根と同様)</p> <p>・女川では床勾配を考慮して機能喪失高さを設定しているが、泊では設置レベルを基に機能喪失高さを設定し、算出した溢水水位に床勾配を加算することとしている。(島根、大阪と同様)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p>	<p>(2) 現場計測結果の確認</p>  <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の機能喪失高さ(計測値)を確認した。 (機能喪失高さ(計測値)-現場計測値-水上高さ) 機能喪失高さ(設計値)及び機能喪失高さ(計測値)を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定</p> <p>2. 計器</p> <p>(1) 設置レベルを図面から特定し、水上高さ(床勾配)を考慮した機能喪失高さを設定</p>  <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>(2) 現場計測結果の確認</p>  <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の個別測定箇所における機能喪失高さ(計測値)を確認した。 (機能喪失高さ(計測値) = 現場測定値 - 水上高さ)</p> <p>2. 計器</p> <p>(1) 基本設定箇所及び個別測定箇所の設置レベルを図面から特定し、基準床レベルからの機能喪失高さを設定</p> <p><基本設定箇所及び個別測定箇所></p>  <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測状況の相違 <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では基本設定箇所で没水してしまう機器については「実力高さ(個別測定箇所)」を機能喪失高さに設定している。(島根と同様) <p>女川との相違理由は1. 弁と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 現場計測結果の確認</p> <div data-bbox="701 209 1267 580" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の機能喪失高さ(計測値)を確認した。 (機能喪失高さ(計測値)=現場計測値-水上高さ)</p> <p>機能喪失高さ(設計値)及び機能喪失高さ(計測値)を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定</p>  </div> <p>3. 空調機</p> <p>(1) 設置レベルを図面から特定し、水上高さ(床勾配)を考慮した機能喪失高さを設定</p> <div data-bbox="701 932 1267 1251" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="775 1283 1263 1315" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<p>(2) 現場計測結果の確認</p> <div data-bbox="1357 240 1787 576" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  </div> <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の個別測定箇所における機能喪失高さ(計測値)を確認した。 (機能喪失高さ(計測値)=現場測定値-水上高さ)</p> <p>3. 空調機</p> <p>(1) 基本設定箇所及び個別測定箇所の設置レベルを図面から特定し、基準床レベルからの機能喪失高さを設定</p> <p><基本設定箇所></p> <div data-bbox="1283 932 1839 1318" style="border: 1px solid black; height: 242px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="1283 1350 1839 1382" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>女川との相違理由は1. 弁と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 現場計測結果の確認</p>  <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の機能喪失高さ（計測値）を確認した。 （機能喪失高さ（計測値）＝現場計測値－水上高さ） 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定</p>	<p><個別測定箇所></p>  <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>(2) 現場計測結果の確認</p>  <p>現場ワークダウンにより、防護対象設備の個別測定箇所における機能喪失高さ（計測値）を確認した。 （機能喪失高さ（計測値）＝現場測定値－水上高さ）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p style="text-align: right;">補足資料5-2 別紙3</p> <p>内部溢水影響評価における継続的な管理</p> <p>今後、内部溢水影響評価については、火災荷重や滞留面積の変更等について、継続的に当社にて管理していくことを目的に「内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則」を制定する予定である。</p> <p>本マニュアルに記載する内容について以下の項目を検討している。なお、本マニュアルは当社 QMS 体系に組み込み継続的に一元管理する。</p>		<p style="text-align: right;">補足説明資料 42</p> <p>内部溢水影響評価における継続的な管理</p> <p>今後、内部溢水影響評価については、火災荷重や滞留面積の変更等について、継続的に当社にて管理していくことを目的に、以下のマニュアル類に内部溢水の影響評価に関連する記載を反映する予定である。</p> <p>【反映予定先マニュアル】</p> <p>「泊発電所内部溢水対応要則」、「泊発電所常設物・仮置物管理要則」</p> <p>「泊発電所設計基準事象影響評価要則」、「泊発電所影響評価細則」</p> <p>各種マニュアルに記載する内容については、以下の項目を検討している。なお、各種マニュアルは当社 QMS 体系に組み込み継続的に一元管理する。</p> <p>また、常設物・仮置物の設置においては、申請された物品の発熱量を考慮した放水時間、及び申請された物品の欠損面積を考慮した上で溢水影響評価に影響を与えないことを確認している。（別紙1）</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>女川では継続的な管理にかかわる個別資料を作成していないため、審査実績のある大阪の資料と比較する。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>常設物・仮置物の設置に関する実運用のフローを記載。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>								
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(1/5)</p>		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(1/5)</p>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。</td> <td>1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合		<table border="1"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。</td> <td>1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合	
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)										
1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備(事務用品、資機材等含む)を計画する段階に確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置又は既設設備を改造する場合 ②設備の新設又は既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア及び溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合										
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)										
1. 評価を実施する項目 当社において、各種工事及び恒設設備・資機材の設置を計画する段階で確認が必要な内容を記載する。	1. 評価する項目の確認 ①水(蒸気含む)を保有する機器(配管含む)を新たに設置並びに既設設備を改造する場合 ②設備の新設並びに既設設備の改造に伴う火災荷重及び消火設備の見直しがある場合 ③防護対象区画エリア並びに溢水経路の見直しがある場合 ④防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備を設置することにより床面積の変更がある場合										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(2/5)</p> <table border="1" data-bbox="114 293 680 831"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。</td> <td>2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)</td> </tr> <tr> <td>3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認</td> <td>3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。</td> </tr> <tr> <td>4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認</td> <td>4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)	3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。	4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(2/5)</p> <table border="1" data-bbox="1290 277 1850 783"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。</td> <td>2. 評価の方法の明記 ① 想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ② 消火水放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③ 地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)</td> </tr> <tr> <td>3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認</td> <td>3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。</td> </tr> <tr> <td>4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認</td> <td>4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ① 想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ② 消火水放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③ 地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)	3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。	4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																		
2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ①想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ②放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)																		
3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。																		
4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認すると共に、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。																		
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)																		
2. 評価の方法の明記 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」に従い評価内容、評価方法を記載する。	2. 評価の方法の明記 ① 想定破損による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気) ② 消火水放水による溢水影響評価方法(浸水、被水) ③ 地震による溢水影響評価方法(浸水、被水、蒸気)																		
3. 溢水源に係る評価 今回の評価結果を基に溢水源の変更の有無の確認	3. 溢水源に係る評価 溢水源の追加/変更に伴う評価を行い、溢水源リストの変更がある場合は、溢水源リストの変更を行う。																		
4. 防護対象設備に係る評価 今回の評価結果を基に抽出した防護対象設備(機能喪失高さ)の確認	4. 防護対象設備に係る評価 防護対象設備に対して溢水影響のないことを確認するとともに、防護対象設備リストの変更がある場合は、防護対象設備リストの変更を行う。																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(3/5)</p> <table border="1" data-bbox="114 292 683 970"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="114 316 394 491"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認 </td> <td data-bbox="400 316 683 491"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 496 394 970"> 6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認 </td> <td data-bbox="400 496 683 970"> 6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。 </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。	6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(3/5)</p> <table border="1" data-bbox="1285 292 1854 839"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 316 1581 563"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認 </td> <td data-bbox="1588 316 1854 563"> 5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)を行う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 568 1581 839"> 6. 消火放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認 </td> <td data-bbox="1588 568 1854 839"> 6. 消火放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。 </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)を行う。	6. 消火放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 消火放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)														
5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に、設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認すると共に、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合は、必要な対策工事(流出防止対策等)を行う。														
6. 放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較し没水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。														
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)														
5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 今回の評価結果を基に設定した溢水防護区画及び溢水経路の設定の確認	5. 溢水防護区画及び溢水経路の設定に係る評価 溢水防護区画及び溢水経路に対して溢水影響のないことを確認するとともに、必要な対策を実施した場合は溢水防護区画及び溢水経路の変更を行う。また溢水経路上の扉においては、開放する場合も考慮し溢水が他区画へ流入する場合、必要な対策工事(シール等)を行う。														
6. 消火放水による溢水影響評価 今回の評価結果を基に火災活動における設備対応の変更有無の確認	6. 消火放水による溢水影響評価 消火活動における放水による時間設定エリアを基に、防護対象設備に対して、各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火水の放水による溢水量から算出される溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、没水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合には、各リストの変更を実施する。														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(4/5)</p> <table border="1" data-bbox="114 284 683 874"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="114 316 398 419">7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</td> <td data-bbox="405 316 683 762"> 7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。 ①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、設水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 794 398 874">8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法</td> <td data-bbox="405 794 683 874">8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。 ①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、設水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(4/5)</p> <table border="1" data-bbox="1285 292 1854 767"> <thead> <tr> <th>マニュアルへの反映事項</th> <th>記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 320 1570 416">7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。</td> <td data-bbox="1576 320 1854 639"> 7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し設水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 695 1570 743">8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法</td> <td data-bbox="1576 671 1854 743">8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。</td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し設水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)														
7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア及び溢水経路上に恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。 ①防護対象区画エリア及び溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し、設水影響について再評価すると共に、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ②防護対象区画エリア及び溢水経路に新たな設備の設置や恒設設備(事務用品、資機材等含む)を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。														
8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。														
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)														
7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価。	7. 防護対象区画エリア並びに溢水経路上に恒設設備又は資機材(常設物、仮設物等)を設置することにより床面積の変更がある場合の評価 ① 防護対象区画エリア並びに溢水経路ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較し設水影響について再評価するとともに、必要な対策を実施した場合は、各リストの変更を実施する。 ② 防護対象区画エリア並びに溢水経路に新たな常設物を設置する場合は、アクセス性を考慮して確実な因轉を実施することを確認する。														
8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に用いた帳票類の管理方法	8. 評価に用いた帳票類の管理 溢水影響評価に必要な帳票の管理方法を構築する。														

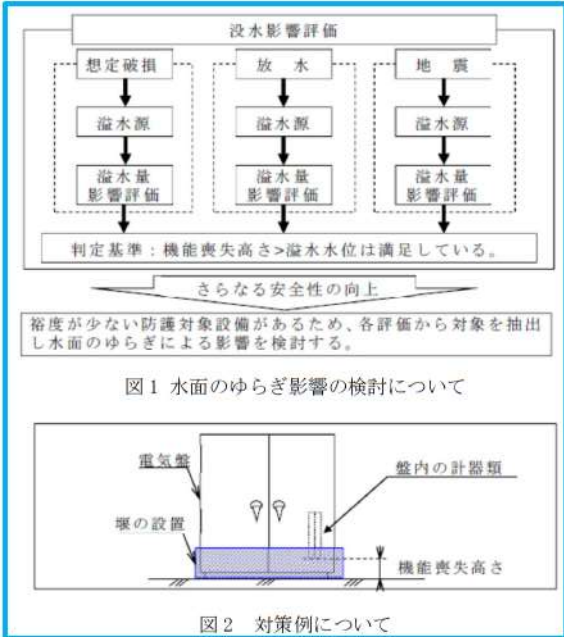
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表1 内部溢水発生時における原子炉施設の保全のための活動所則(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 284 398 308">マニュアルへの反映事項</th> <th data-bbox="405 284 683 308">記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="114 320 398 906"> <p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p> </td> <td data-bbox="405 320 683 906"> <p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="421 491 676 719"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	<p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p>	<p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="421 491 676 719"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p>		<p>表1 各種マニュアルへの反映事項(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1285 284 1570 308">マニュアルへの反映事項</th> <th data-bbox="1576 284 1854 308">記載内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 320 1570 906"> <p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p> </td> <td data-bbox="1576 320 1854 906"> <p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="1592 427 1839 576"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	マニュアルへの反映事項	記載内容(案)	<p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p>	<p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="1592 427 1839 576"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。</p>
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)										
<p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p>	<p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで、消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="421 491 676 719"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓及びスプリンクラーを用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p>										
マニュアルへの反映事項	記載内容(案)										
<p>9. その他</p> <p>①消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項掲示の管理方法</p> <p>②管理区域内で消火栓を用いた消火活動実施後の内部溢水影響評価の検証</p>	<p>9. その他</p> <p>①防護対象設備が設置されているエリアで消火栓を用いた放水を行う場合の注意事項を、現場の防護対象設備設置エリアに掲示する。</p> <div data-bbox="1592 427 1839 576"> <p>掲示物</p>  </div> <p>②管理区域内で実際に火災が発生し、消火栓を用いた消火活動を実施した場合、その消火活動の結果を踏まえ、内部溢水影響評価の妥当性について検証を行う。</p>										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>※1 申請された物品の発熱量を考慮した火災区画の等価時間が、火災区画の耐火時間と溢水区画の放水時間を上回らないことを確認する。 ※2 申請された物品の欠損面積を考慮しても、溢水防護対象設備が機能喪失しないことを確認する。 ※3 ※1により、評価を満足しない場合は、火災荷重の削減又は設置区画の見直しを実施する。※2により評価を満足しない場合は、欠損面積の見直し又は設置区画の見直しを実施する。</p> <p style="text-align: center;">図1 常設物・仮置物申請フロー</p>	<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 常設物・仮置物の設置に関する実運用のフローを記載。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料</p> <p>12-1 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎの影響評価</p> <p>1. はじめに 没水影響評価において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）は満足しているが裕度が少ない防護対象設備があるため、消火活動に係る放水による溢水影響評価、地震起因による溢水影響評価及び想定破損による溢水影響評価から対象を抽出し、水面のゆらぎによる影響を検討し、対策を実施する。</p> <div data-bbox="116 518 678 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">図1 水面のゆらぎ影響の検討について</p> <p style="text-align: center;">図2 対策例について</p> </div>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 15</p> <p>防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価</p> <p>1. はじめに 没水影響評価において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）は満足しているが裕度が小さい防護対象設備があるため、溢水の影響を評価するために想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水影響評価結果から、裕度が小さい対象機器を抽出し、水面のゆらぎによる影響を検討する。</p> <p>2. 水面のゆらぎの考慮について (1) 溢水源から流出する際の水勢 溢水が防護区画に流入した直後は、過渡的に水勢によりゆらぎが発生する可能性があるが、時間の経過と共に水位が上昇するにつれ流体の水勢は弱まり、ゆらぎによる水面の変動は十分小さくなると考えられることから、水勢によるゆらぎの考慮は不要である。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 43</p> <p>防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価</p> <p>1. はじめに 没水影響評価において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）は満足しているが裕度が小さい防護対象設備があるため、溢水の影響を評価するために想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水影響評価結果から、裕度が小さい対象機器を抽出し、水面のゆらぎによる影響を検討する。</p> <p>2. 水面のゆらぎの考慮について (1) 溢水源から流出する際の水勢 溢水が防護区画に流入した直後は、過渡的に水勢によりゆらぎが発生する可能性があるが、時間の経過と共に水位が上昇するにつれ流体の水勢は弱まり、ゆらぎによる水面の変動は十分小さくなると考えられることから、水勢によるゆらぎの考慮は不要である。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 人員の移動による水面のゆらぎ</p> <p>内部溢水発生後、運転員等が歩行する際に、水位変動することが考えられる。このため、人員の移動により溢水水位に応じてゆらぎが発生する可能性があることから、溢水防護区画において0.1m^{*1}のゆらぎを考慮することとする。</p> <p>※1 浸水時の歩行試験を実施した結果、水面で最大変動は約30mmであったことから、0.1mのゆらぎは十分な保守性を有していると考えられる。（浸水時の歩行試験の詳細については補足説明資料8参照。）</p> <p>3. 検討手順</p> <p>図1に示す手順にて対象設備の抽出を実施した。</p> <div data-bbox="786 660 1178 975" data-label="Diagram"> <pre> graph TD A[溢水防護区画] --> B["機能喪失高さ(①) > 没水水位(②) で①-②の値が0.1m以下の設備を抽出"] B --> C[ゆらぎ対策の実施] </pre> </div> <p>図1 ゆらぎ影響評価の対象設備抽出手順</p>	<p>(2) 人員の移動による水面のゆらぎ</p> <p>内部溢水発生後、運転員等が歩行する際に、水位変動することが考えられる。このため、人員の移動により溢水水位に応じてゆらぎが発生する可能性があることから、溢水防護区画において0.1mのゆらぎを考慮することとする。</p> <p>3. 検討手順</p> <p>図1に示す手順にて対象設備の抽出を実施した。</p> <div data-bbox="1384 668 1756 970" data-label="Diagram"> <pre> graph TD A[溢水防護区画] --> B["機能喪失高さ(①) > 没水水位(②) で①-②の値が0.1m以下の設備を抽出"] B --> C[ゆらぎ対策の実施] </pre> </div> <p>図1 ゆらぎ影響評価の対象設備抽出手順</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 女川は歩行試験の結果について記載している。評価において0.1mのゆらぎを考慮していることは女川と泊で同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>(3)想定破損による影響評価</p> <p>想定破損による没水影響評価のうち、判定基準に対し裕度が小さいエリアについて溢水の伝播に伴う水面のゆらぎの影響を検討した。</p> <p>裕度の小さい設備は、電気盤である。</p> <p>電気盤については、当該エリアへの溢水の伝播は、上階で発生した溢水が階段又は機器ハッチを流下した後、常時閉止された扉を通して当該エリアへ伝播することから、溢水の伝播による水面のゆらぎの影響は小さいと考える。</p> <p>(4)評価結果に対する対策について</p> <p>前述のとおり、放水による影響、地震に起因する影響、想定破損による影響それぞれの評価によりゆらぎの影響は小さいと考えられるが、さらなる安全性向上のため、裕度が10cm以下の設備に対し水面のゆらぎ対策として堰の設置等を実施する。対策を実施する設備を表1、2、3、4に、堰の設置施工例を図3に示す。</p> <p>表3 想定破損による影響に対する対策を実施する防護対象設備</p>	<p>4. ゆらぎによる影響評価</p> <p>(1) 想定破損による溢水</p> <p>想定破損による溢水影響評価において、溢水の伝播に伴う水面のゆらぎによる影響を検討した。</p> <p>判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度が小さい防護対象設備への伝播について、おおむね共通通路部等を通じ当該エリアに伝播することから、溢水の伝播による水面のゆらぎの影響は小さいと考えられるが、更なる安全性向上対策として水面のゆらぎ対策を実施する。</p> <p>表1に想定する機器の破損等により生じる溢水による影響に対して、裕度が小さい防護対象設備と実施するゆらぎ対策を示す。</p> <p>表1 想定破損による影響に対するゆらぎ対策を実施する防護対象設備</p>	<p>4. ゆらぎによる影響評価</p> <p>(1) 想定破損による溢水</p> <p>想定破損による溢水影響評価において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度の小さい防護対象設備はなく、想定破損による溢水においてゆらぎ対策は不要であることを確認した。</p> <p>表1に想定する機器の破損等により生じる溢水による影響に対して、裕度が最も小さい防護対象設備を示す。</p> <p>表1 想定破損による影響に対するゆらぎ影響評価結果</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では想定破損による溢水影響評価において、ゆらぎを考慮した0.1mの裕度を確保できていることから、女川の4.(2)項の記載と同様とした。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊において想定破損による溢水影響評価において、ゆらぎを考慮した0.1mの裕度を確保できていることから、ゆらぎ対策は不要である。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川・大阪】 設計方針の相違 設備配置による相違 記載方針の相違 対策実施設備が無いことによる表題の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 機能喪失高さの考え方については「添付資料5 機能喪失高さの考え方」に記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪はゆらぎ対策（堰）の設置施工例を掲載しているが、確認結果より、泊はゆらぎ対策が不要であることから記載していない。</p>																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>E.L. +[m]</th> <th>滞留エリア番号</th> <th>①溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能喪失高さ [m]</th> <th>裕度 ②-① [m]</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>15.8</td> <td>CB-9</td> <td>0.015</td> <td>3B1, 3B2 パワーセンタ (3PC-B1, B2)</td> <td>0.060</td> <td>0.045</td> <td>堰の設置</td> </tr> </tbody> </table>	号炉	E.L. +[m]	滞留エリア番号	①溢水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策	3号炉	15.8	CB-9	0.015	3B1, 3B2 パワーセンタ (3PC-B1, B2)	0.060	0.045	堰の設置	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象設備 (機器番号)</th> <th>没水水位 (m) ①</th> <th>機能喪失高さ (m) ②</th> <th>余裕 (m) ②-①</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-2F-2-5</td> <td>CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F001A)</td> <td rowspan="3">0.3</td> <td>0.385</td> <td>0.085</td> <td rowspan="2">堰設置※1</td> </tr> <tr> <td>CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F004A)</td> <td>0.375</td> <td>0.075</td> </tr> <tr> <td>R-2F-5</td> <td>HECW(A) 往還差圧調節弁 (P25-F014A)</td> <td>0.395</td> <td>0.095</td> <td>—※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画入口に堰を設置する。設置する堰は、止水性能試験により、その有効性が確認されたものを設置する</p> <p>※2 図2に示すとおり、設定している機能喪失高さは相当の裕度を有していることから、ゆらぎ対策が不要であることを確認</p>	区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策	R-2F-2-5	CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F001A)	0.3	0.385	0.085	堰設置※1	CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F004A)	0.375	0.075	R-2F-5	HECW(A) 往還差圧調節弁 (P25-F014A)	0.395	0.095	—※2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象設備 (機器番号)</th> <th>没水水位 (m) ①</th> <th>機能喪失高さ (m) ②</th> <th>余裕 (m) ②-①</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A8-D-N52</td> <td>3A, 3B-中央制御室第2層ファン (3VSP20A, B)</td> <td>0.048</td> <td>0.150</td> <td>0.102</td> <td>—※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 機能喪失高さに対して必要な裕度を有していることから、ゆらぎ対策は不要であることを確認</p>	区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策	3A8-D-N52	3A, 3B-中央制御室第2層ファン (3VSP20A, B)	0.048	0.150	0.102	—※1	
号炉	E.L. +[m]	滞留エリア番号	①溢水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策																																												
3号炉	15.8	CB-9	0.015	3B1, 3B2 パワーセンタ (3PC-B1, B2)	0.060	0.045	堰の設置																																												
区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策																																														
R-2F-2-5	CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F001A)	0.3	0.385	0.085	堰設置※1																																														
	CAMS 電磁弁(サンプル切替弁) (D23-F004A)		0.375	0.075																																															
R-2F-5	HECW(A) 往還差圧調節弁 (P25-F014A)		0.395	0.095	—※2																																														
区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策																																														
3A8-D-N52	3A, 3B-中央制御室第2層ファン (3VSP20A, B)	0.048	0.150	0.102	—※1																																														
<p>図3 堰の設置施工例</p>	<p>図2 HECW(A) 往還差圧調節弁の機能喪失高さ</p>																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p>2. 検討結果</p> <p>(1)放水による影響評価</p> <p>放水による没水影響評価のうち、判定基準に対し裕度が小さいエリアについて、放水や作業員の移動に伴う水面のゆらぎの影響を検討した。</p> <p>裕度の小さい設備は、ファン、電気盤である。</p> <p>電気盤には筐体があるため盤周囲で水面のゆらぎが生じても筐体が防護カバーの役割を果たし、筐体内部の水面はほぼ静定状態となる。また、消火栓からの放水時は作業員が火災源に対し消火を行うことから、防護対象設備への溢水の伝播による水面のゆらぎの影響は小さいと考える。</p> <p>なお、発電所における消火活動に関する標準類において、建屋内の火災に対しては、消火器による初期活動を基本としているが、火災の状況により消火栓を使用する場合の注意事項として、次のように規定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓使用時は、必ず当直課長に確認する。 ・水を使用しての消火活動は、付近の機器及びプラントへの影響等を考慮し、放水方向に注意するものとする。 <p>建屋内での火災では、状況に応じて消火栓の調節弁を調整しながら消火活動を実施すると考えられ、火災荷重に基づく等価火災時間を用いて2600/minの消火水を放水すると想定している評価であり、溢水量評価として保守性を有すると考える。また、スプリンクラーからの放水量については、火災防護において、設計上考慮する放水量を用いて溢水影響評価を実施している。</p> <p>その上で、さらなる安全性向上対策として水面のゆらぎ対策（堰の設置等）を実施する。</p>	<p>(2) 消火水の放水による溢水</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価（添付資料26参照）において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度の小さい防護対象設備はなく、消火水の放水によるゆらぎ対策は不要であることを確認した。</p>	<p>(2) 消火水の放水による溢水</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価（添付資料22参照）において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度の小さい防護対象設備はなく、消火水の放水によるゆらぎ対策は不要であることを確認した。</p> <p>表2に消火水の放水により生じる溢水による影響に対して、裕度が最も小さい防護対象設備を示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>消火水の放水による溢水に対して、女川、泊共にゆらぎ対策は必要ない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>4. (1) 項の記載に合わせ裕度が最も小さい防護対象設備を示し、ゆらぎ対策が不要であることが分かるよう記載している。</p>																																																		
<p>表1 放水による影響に対する対策を実施する防護対象設備</p> <table border="1" data-bbox="100 1197 689 1460"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>滞留エリア番号</th> <th>①没水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能喪失高さ [m]</th> <th>裕度 ②-① [m]</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>17.1</td> <td>3EB-N12B</td> <td>0.301</td> <td>3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン</td> <td>0.300</td> <td>-0.001</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3EB-N13B</td> <td>0.059</td> <td>3原子炉トリップ遮断器盤(3RTS)</td> <td>0.040</td> <td>-0.019</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4号炉</td> <td>17.1</td> <td>4EB-N13B</td> <td>0.276</td> <td>4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン</td> <td>0.310</td> <td>0.034</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>4EB-N14B</td> <td>0.059</td> <td>4原子炉トリップ遮断器盤(4RTS)</td> <td>0.050</td> <td>-0.009</td> <td>堰の設置</td> </tr> </tbody> </table>	号炉	E.L. + [m]	滞留エリア番号	①没水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策	3号炉	17.1	3EB-N12B	0.301	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	0.300	-0.001	堰の設置	17.1	3EB-N13B	0.059	3原子炉トリップ遮断器盤(3RTS)	0.040	-0.019	堰の設置	4号炉	17.1	4EB-N13B	0.276	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	0.310	0.034	堰の設置	17.1	4EB-N14B	0.059	4原子炉トリップ遮断器盤(4RTS)	0.050	-0.009	堰の設置		<p>表2 放水による影響に対するゆらぎ影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1279 1197 1868 1460"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象設備(機器番号)</th> <th>没水水位 (m) ①</th> <th>機能喪失高さ (m) ②</th> <th>余裕 (m) ②-①</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3AB-K-21</td> <td>3A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁(3V-SI-020A)</td> <td>0.827</td> <td>0.930</td> <td>0.103</td> <td>—^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 機能喪失高さに対して必要な裕度を有していることから、ゆらぎ対策は不要であることを確認</p>	区画番号	防護対象設備(機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策	3AB-K-21	3A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁(3V-SI-020A)	0.827	0.930	0.103	— ^{※1}	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>設備配置による相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>対策実施設備が無いことによる表題の相違</p>
号炉	E.L. + [m]	滞留エリア番号	①没水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策																																														
3号炉	17.1	3EB-N12B	0.301	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	0.300	-0.001	堰の設置																																														
	17.1	3EB-N13B	0.059	3原子炉トリップ遮断器盤(3RTS)	0.040	-0.019	堰の設置																																														
4号炉	17.1	4EB-N13B	0.276	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	0.310	0.034	堰の設置																																														
	17.1	4EB-N14B	0.059	4原子炉トリップ遮断器盤(4RTS)	0.050	-0.009	堰の設置																																														
区画番号	防護対象設備(機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策																																																
3AB-K-21	3A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁(3V-SI-020A)	0.827	0.930	0.103	— ^{※1}																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p>(2)地震に起因する影響評価</p> <p>地震に起因する没水影響評価のうち、判定基準に対し裕度が小さいエリアについて、溢水の伝播に伴う水面のゆらぎの影響を検討した。</p> <p>裕度の小さい設備は、高圧注入ポンプである。</p> <p>当該エリアの溢水の伝播は、階段及び機器ハッチであるが、当該設備は、機器ハッチからは十分な距離が離れていることから、溢水の伝播による水面のゆらぎの影響は小さいと考える。</p>	<p>(3)地震起因による溢水</p> <p>地震起因による没水影響評価（添付資料28参照）において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度の小さい防護対象設備はなく、地震起因の溢水によるゆらぎ対策は不要であることを確認した。</p>	<p>(3)地震起因による溢水</p> <p>地震起因による溢水影響評価（添付資料24参照）において、判定基準（機能喪失高さ>溢水水位）に対して裕度の小さい防護対象設備はなく、地震起因の溢水によるゆらぎ対策は不要であることを確認した。</p> <p>表3に地震起因により生じる溢水による影響に対して、裕度が最も小さい防護対象設備を示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>消火水の放水による溢水に対して、女川、泊共にゆらぎ対策は必要ない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>4.(1)項の記載に合わせ裕度が最も小さい防護対象設備を示し、ゆらぎ対策が不要であることが分かるよう記載している。</p>																																																		
<p>表2 地震に起因する影響に対する対策を実施する防護対象設備</p> <table border="1" data-bbox="114 790 674 1045"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>滞留エリア番号</th> <th>①溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能喪失高さ [m]</th> <th>裕度 ②-① [m]</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3号炉</td> <td>3.5</td> <td>3EB-12</td> <td>0.498</td> <td>3A高圧注入ポンプ</td> <td>0.500</td> <td>0.002</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>3EB-13</td> <td>0.396</td> <td>3B高圧注入ポンプ</td> <td>0.500</td> <td>0.104</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4号炉</td> <td>3.5</td> <td>4EB-12</td> <td>0.440</td> <td>4B高圧注入ポンプ</td> <td>0.500</td> <td>0.060</td> <td>堰の設置</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>4EB-13</td> <td>0.516</td> <td>4A高圧注入ポンプ</td> <td>0.500</td> <td>-0.016</td> <td>堰の設置</td> </tr> </tbody> </table>	号炉	E.L. + [m]	滞留エリア番号	①溢水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策	3号炉	3.5	3EB-12	0.498	3A高圧注入ポンプ	0.500	0.002	堰の設置	3.5	3EB-13	0.396	3B高圧注入ポンプ	0.500	0.104	堰の設置	4号炉	3.5	4EB-12	0.440	4B高圧注入ポンプ	0.500	0.060	堰の設置	3.5	4EB-13	0.516	4A高圧注入ポンプ	0.500	-0.016	堰の設置	<p>5. 没水影響評価における保守性について</p> <p>(1) 溢水量を算出する際に、以下を考慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管施工図を使用した場合は、計算値に10%を加味し保有水量を設定。 平面図を使用した場合は、計算値に50%を加味し保有水量を設定。 計算結果を10m³単位で切り上げ。 	<p>表3 地震に起因する影響に対するゆらぎ影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1288 821 1848 1045"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象設備 (機器番号)</th> <th>没水水位 (m) ①</th> <th>機能喪失高さ (m) ②</th> <th>余裕 (m) ②-①</th> <th>対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3AB-L-8</td> <td>3A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)</td> <td>0.208</td> <td>0.320</td> <td>0.112</td> <td>—※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 機能喪失高さに対して必要な余裕を有していることから、ゆらぎ対策は不要であることを確認</p>	区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策	3AB-L-8	3A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	0.208	0.320	0.112	—※1	<p>【大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>設備配置による相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>対策実施設備が無いことによる表題の相違</p>
号炉	E.L. + [m]	滞留エリア番号	①溢水水位 [m]	防護対象設備	②機能喪失高さ [m]	裕度 ②-① [m]	対策																																														
3号炉	3.5	3EB-12	0.498	3A高圧注入ポンプ	0.500	0.002	堰の設置																																														
	3.5	3EB-13	0.396	3B高圧注入ポンプ	0.500	0.104	堰の設置																																														
4号炉	3.5	4EB-12	0.440	4B高圧注入ポンプ	0.500	0.060	堰の設置																																														
	3.5	4EB-13	0.516	4A高圧注入ポンプ	0.500	-0.016	堰の設置																																														
区画番号	防護対象設備 (機器番号)	没水水位 (m) ①	機能喪失高さ (m) ②	余裕 (m) ②-①	対策																																																
3AB-L-8	3A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	0.208	0.320	0.112	—※1																																																
<p>12-2 没水評価における保守性及びゆらぎ対策について</p> <p>防護対象設備の機能喪失高さの余裕及び保守性並びにゆらぎ対策について検討した。</p> <p>1. 没水影響評価における各フロアの溢水水位算出の保守性</p> <p>(1) 各フロアの溢水水位が高くなるように、意図的に溢水防護区画を細分化した。</p>	<p>(1) 溢水量を算出する際に、以下を考慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管施工図を使用した場合は、計算値に10%を加味し保有水量を設定。 平面図を使用した場合は、計算値に50%を加味し保有水量を設定。 計算結果を10m³単位で切り上げ。 	<p>5. 没水影響評価における保守性について</p> <p>(1) 溢水量を算出する際に、以下を考慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管施工図を使用した場合は、計算値に10%を加味し保有水量を設定。 平面図を使用した場合は、建屋外部の3辺（縦、横、高さ）にルートされ、かつ往復していると仮定し、配管サイズを系統の最大径として保有水量を設定する。 計算結果を10m³単位で切り上げて保有水量を設定。 	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、保有水量の算出において機器配置図を使用した場合は、建屋の縦横上下に往復していると仮定して、さらに配管サイズも系統の最大径とすることで保守性を十分に確保している。（補足説明資料1の比較表に詳述）</p>																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 区画外漏えいの溢水経路に沿った没水評価では、通路の溢水水位が低くならないように通路を流れる溢水水位と各区画内の防護対象機器の機能喪失高さを比較した。(通路の滞留面積に各区画の滞留面積を加えると水位が低くなるため)</p> <p>(3) 溢水防護区画内に設置されている床ドレンについては、溢水水位が高くなるように他の区画へ流出しない設定とした。</p> <div data-bbox="116 699 678 1050" style="border: 2px solid blue; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>図1 溢水水位算出の保守性(原子炉周辺建屋 E.L. +3.5m の例)</p> <div data-bbox="125 1106 674 1150" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p>以上の評価を実施していることで保守性を確保しているが、さらなる対策としてゆらぎについて検討した。</p>	<p>(2) 機能喪失高さの設定に当たっては、床勾配分を考慮している。</p> <div data-bbox="703 308 1256 523" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【島根2号炉】まとめ資料 p.9 条-別添 1-5-9 より抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溢水水位その1 <p>溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。 溢水水位 [m] = 溢水量[m³] / 滞留面積[m²] + 床勾配 [m]</p> </div> <p>(3) 溢水防護区画内に設置されている床ドレンについては、溢水水位が高くなるように他の区画へ流出しない設定としている。</p> <p>没水影響評価においては、以上のように保守性を確保しているが、表1に記載したとおり、ゆらぎ対策を実施する。</p>	<p>(2) 溢水水位の算出に当たっては、床勾配分を考慮している。</p> <p>(3) 溢水防護区画内に設置されている床ドレンについては、溢水水位が高くなるように他の区画へ流出しない設定としている。</p> <p>没水影響評価においては、以上のように保守性を確保しているが、すべての防護対象設備に対して、人員の移動により生じるゆらぎを考慮した0.1mの裕度を確保できていることを確認した。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 床勾配の考慮について、女川は機能喪失高さの設定時に一律考慮しているのに対し、泊では溢水水位の算出において床勾配を考慮している(島根、大阪(次ページ)と同様)</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・女川では、機能喪失高さとして防護対象設備の設置レベル(例：弁が設置される配管の中心レベル)を使用しており、0.1mの裕度を満足しないケースがある。 ・泊では、機能喪失高さとして保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ(基本設定箇所)」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ(個別測定箇所)」を適用して没水評価の判定を行い、すべての防護対象設備が0.1mの裕度を満足しているため、ゆらぎ対策を適用した防護対象設備がない。(添付資料5の比較表に詳述)</p>

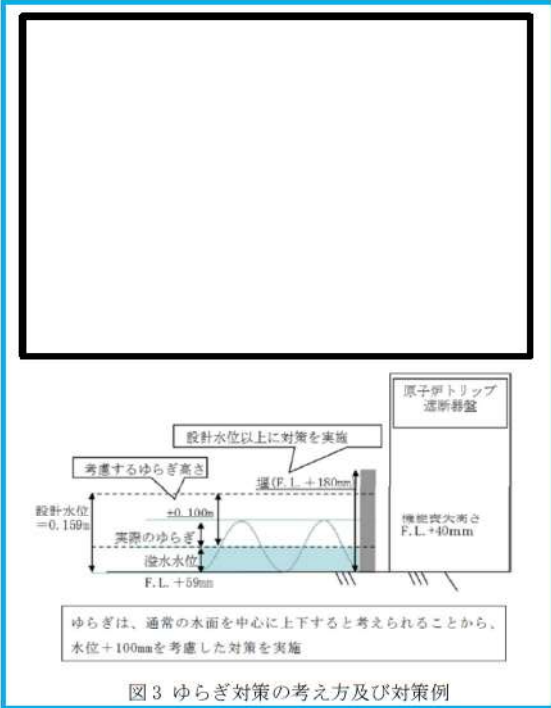
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料43）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. ゆらぎ対策の考え方</p> <p>溢水水位とは、溢水量と滞留面積から算出され、「床勾配を考慮」とは、無条件に溢水水位に0.050mを上乗せした値である。したがって、実際の溢水水位が0.057mであり、床勾配があれば、0.050mを上乗せし、溢水水位が0.107mとなる。防護対象設備の没水評価では実際の溢水水位に床勾配を考慮した溢水水位で評価を行っている。</p> <p>ゆらぎは、実際の溢水水位以上にゆらぐことはないので、ゆらぎを考慮した溢水水位は、溢水水位に0.100mを上乗せすることで保守的となる。</p> <p>ゆらぎを考慮した溢水水位を設計水位とし、没水対策は、設計水位以上の高さとなるよう実施する。</p> <div data-bbox="129 587 678 1034" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>図2 ゆらぎを考慮した溢水水位の考え方</p> </div>			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料43）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. ゆらぎの対策例(案) (4 原子炉トリップ遮断器盤)</p> <p>図3のとおり、E.L. +17.1mの溢水水位 F.L. +59mmにゆらぎ対策（100mm）分を考慮して堰（F.L. +180mm）を設置する。</p>  <p>図3 ゆらぎ対策の考え方及び対策例</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 6</p> <p style="text-align: center;">経年劣化事象の検討</p> <p>1. 経年劣化事象の考慮</p> <p>原子力発電所で使用されている配管については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検等）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>経年劣化事象と保全内容を表1に示す。</p>		<p style="text-align: right;">補足説明資料 44</p> <p style="text-align: center;">経年劣化事象の検討</p> <p>1. 経年劣化事象の考慮</p> <p>原子力発電所で使用されている配管については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検等）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>経年劣化事象と保全内容を表1に示す。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪審査実績の反映 ・経年劣化事象に対する考慮及び保全内容を明記し、大阪の記載を参照し相違理由について説明する。

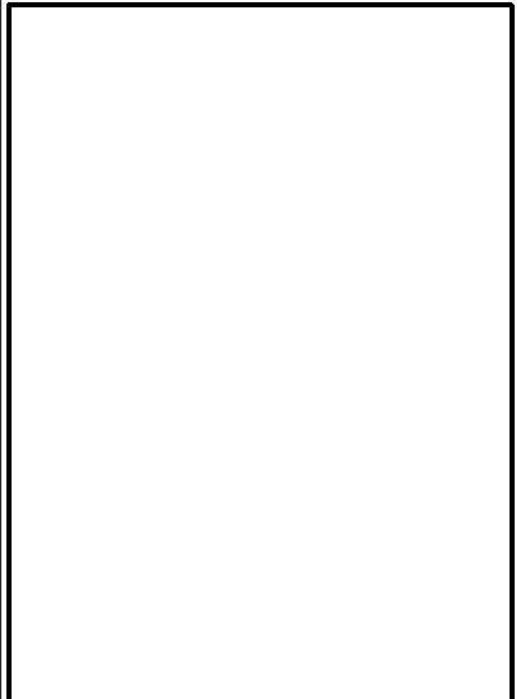
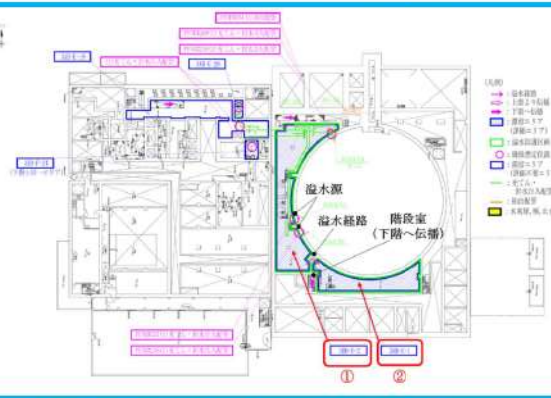
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表1 経年劣化事象と保全内容				表1 経年劣化事象と保全内容		
経年劣化事象	保全内容		系統	経年劣化事象	保全内容	系統
腐食	疲労 <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用期間中検査により超音波探傷試験、表面試験、漏えい試験等を実施し有意な欠陥のないことを確認している。 ・ 日本機械学会基準「配管の高サイクル熱疲労に関する評価指針」にしたがって、1次冷却系、化学体積制御系、余熱除去系における高サイクル熱疲労割れの発生可能性を評価し、損傷の発生が否定できないと評価された配管については非破壊検査を実施するとともに、その後取替を行っている。 ・ PWSCCが懸念される690合金部位について、690合金への取替えや「ボンゾ」施工により応力緩和を図っている。 	1次冷却系 化学体積制御系 安全注入系 余熱除去系 格納容器スプレイス系 主蒸気系 主給水系 燃料ピット 冷却浄化系 原子炉補機冷却系 非常用電源系	1次冷却系 化学体積制御系 安全注入系 余熱除去系 原子炉格納容器スプレイス系 主蒸気系 主給水系 使用済燃料ピット 水浄化冷却系 原子炉補機冷却系 非常用所内電源系	疲労 <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用期間中検査により超音波探傷試験、表面試験、漏えい試験等を実施し有意な欠陥のないことを確認している。 ・ 高サイクル熱疲労割れについて、設計段階において日本機械学会基準「配管の高サイクル熱疲労に関する評価指針」に基づく評価を実施し、熱疲労損傷を防止する配管配置により高サイクル熱疲労割れが発生する可能性はない。 ・ PWSCCが懸念される部位について、設計段階においてインコネル690合金を採用し、応力緩和を図っている。 ・ 日常点検（巡視点検等）、配管外観検査、振動測定等により配管に異常のないことを確認している。 	【大阪】 設備名称の相違 設計方針の相違 ・ 泊においては、設計時より配管の高サイクル熱疲労割れを防止する配管配置としていること、及び、PWSCCに対し応力緩和を目的とした材質を採用している。 以上より、大阪の保全内容に記載されている配管取替については、泊では記載していない。（建設工認「高サイクル熱疲労に関する説明書」による） ・ 泊においては、設計時より主給水系の配管は低合金鋼を採用しており、流れ加速型腐食（減肉）の対策を実施していることから対象系統としていない。	
						流れ加速型腐食（減肉） <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本機械学会「加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格」に基づき、減肉が想定される系統に対して超音波厚さ測定を実施している。 ・ 日常点検（巡視点検等）、配管外観検査等により配管に異常のないことを確認している。
	海水による腐食 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海水を内包する配管については、防食を目的としたライニングを行っている。また、定期的にピンホール検査や肉厚測定を実施し、健全性を確認している。 ・ 日常点検（巡視点検等）、配管外観検査等により配管に異常のないことを確認している。 	原子炉補機冷却系	海水による腐食 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海水を内包する配管については、防食を目的としたライニングを行っている。また、定期的にピンホール検査や肉厚測定を実施し、健全性を確認している。 ・ 日常点検（巡視点検等）、配管外観検査等により配管に異常のないことを確認している。 	原子炉補機冷却海水系		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">補足説明資料 13</p> <p>溢水伝播フロー図について</p>  <p>【伝播フロー図中の代表的な凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤色の区画は、溢水発生区画 ・青色の区画は、溢水が伝播する区画 ・実線の区画は、防護区画で、点線の区画はその他区画 ・矢印は溢水伝播の方向 ・黄色で示しているのは、止水に期待する設備 	<p style="text-align: right;">補足説明資料 45</p> <p>溢水伝播経路の設定について</p> <p>1. 溢水伝播フロー図について</p>  <p>【伝播フロー図中の代表的な凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実線の区画は、防護区画で、点線の区画はその他区画 ・矢印は溢水伝播の方向 ・黄色で示しているのは、止水に期待する設備 	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・BWRは溢水伝播フロー図を用いて実際に没水評価を行っているのに対し、PWRは、地震・想定破損・消火水の評価ケースごとに溢水伝播経路図を作成することで溢水経路を特定し、没水影響評価結果整理表にて没水評価を実施している。（PWR共通） ・そのため、溢水伝播フロー図には各区画の接続状況や滞留面積等を整理し、溢水発生の有無や隣接区画への溢水伝播の有無については溢水伝播経路図にて整理している。 ・女川の【伝播フロー図の代表的な凡例】については、泊の溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表でどのように示しているかを次頁以降に記載している。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>【大阪3,4号炉】まとめ資料 添付資料 2-9-別1-369より抜粋</p>  <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>（前頁の再掲）</p> <p>【伝播フロー図中の代表的な凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤色の区画は、溢水発生区画 ・青色の区画は、溢水が伝播する区画 ・実線の区画は、防護区画で、点線の区画はその他区画 ・矢印は溢水伝播の方向 ・黄色で示しているのは、止水に期待する設備 <p>【溢水伝播の説明】</p> <p>1. ①の区画で溢水が発生。①は防護区画のため、溢水量を全量貯留した際の溢水水位を算出。</p>	<p>2. 溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表について</p> <p>溢水伝播経路図にて溢水経路を特定し、没水影響評価整理表にて評価を実施した。溢水伝播経路図の凡例及び没水影響評価結果整理表における評価内容を表1に示す。</p> <p>表1 溢水伝播経路図の凡例及び没水影響評価結果整理表における評価内容</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 1859 805"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水伝播経路図（凡例）</th> <th>没水評価結果整理表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水源</td> <td>○：地震・想定破損における溢水源 ■：消火栓</td> <td>・溢水源が設置されているエリアは青色セルで表示</td> </tr> <tr> <td>溢水経路 滞留エリア</td> <td>→：溢水経路 □：溢水滞留エリア</td> <td>・溢水経路を考慮して滞留エリアを設定 ・建屋間の伝播を考慮する場合は備考に記載</td> </tr> <tr> <td>上階からの伝播 下階への伝播</td> <td>⇨：上階より伝播 ⇩：下階へ伝播</td> <td>・上階から下階へ溢水量の全量が伝播 ・階段室等の伝播経路、伝播先となる上階及び下階のエリア番号は備考に記載</td> </tr> <tr> <td>止水に期待する設備</td> <td>■：堰、水密扉、止水板</td> <td>・水密扉、堰等の止水に期待できる設備が設置されている場合は防護区画への溢水流入は考慮しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>【溢水伝播の説明】</p> <p>（1）①の溢水源が設置される区画で溢水が発生。①は防護区画のため、溢水量を全量貯留した際の溢水水位を算出。</p>  <p>図1 想定破損（化学体積制御系）による溢水伝播経路図（T. P. 17. 8m 中間床）</p>		溢水伝播経路図（凡例）	没水評価結果整理表	溢水源	○：地震・想定破損における溢水源 ■：消火栓	・溢水源が設置されているエリアは青色セルで表示	溢水経路 滞留エリア	→：溢水経路 □：溢水滞留エリア	・溢水経路を考慮して滞留エリアを設定 ・建屋間の伝播を考慮する場合は備考に記載	上階からの伝播 下階への伝播	⇨：上階より伝播 ⇩：下階へ伝播	・上階から下階へ溢水量の全量が伝播 ・階段室等の伝播経路、伝播先となる上階及び下階のエリア番号は備考に記載	止水に期待する設備	■：堰、水密扉、止水板	・水密扉、堰等の止水に期待できる設備が設置されている場合は防護区画への溢水流入は考慮しない	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違</p> <p>・BWRは溢水伝播フロー図を用いて実際に没水評価を行っているのに対し、PWRは、地震・想定破損・消火水の評価ケースごとに溢水伝播経路図を作成することで溢水経路を特定し、没水影響評価結果整理表にて没水評価を実施している。（PWR共通）</p> <p>・そのため、表1には女川の伝播フロー図の代表的な凡例に対応する項目について、泊の溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表でどのように示しているかを記載している。</p> <p>記載方針の相違 泊は①区画に溢水源が設置されていることを明記している。</p>
	溢水伝播経路図（凡例）	没水評価結果整理表																
溢水源	○：地震・想定破損における溢水源 ■：消火栓	・溢水源が設置されているエリアは青色セルで表示																
溢水経路 滞留エリア	→：溢水経路 □：溢水滞留エリア	・溢水経路を考慮して滞留エリアを設定 ・建屋間の伝播を考慮する場合は備考に記載																
上階からの伝播 下階への伝播	⇨：上階より伝播 ⇩：下階へ伝播	・上階から下階へ溢水量の全量が伝播 ・階段室等の伝播経路、伝播先となる上階及び下階のエリア番号は備考に記載																
止水に期待する設備	■：堰、水密扉、止水板	・水密扉、堰等の止水に期待できる設備が設置されている場合は防護区画への溢水流入は考慮しない																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【島根2号炉】まとめ資料p.9条-別添1-5-9より抜粋</p> <p>5.2 想定破損による浸水影響評価</p> <p>b. 溢水水位の算出</p> <p>・ 溢水水位その1</p> <p>溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。</p> <p>溢水水位 [m] = 溢水量[m3] / 滞留面積[m2] + 床勾配[m]</p>	<p>2. 溢水水位は、溢水量 (m³) ÷ 面積【滞留面積】(m²) で算出。</p> <p>①における溢水水位 (評価高さ) は、$300 \div 52 = 5.77 = 5.8$ (小数点以下第二位を切上げ)</p> <p>3. ②に溢水が伝播。②は防護区画であり、溢水を積極的に流すことができる開口がないため、溢水量全量が貯留されるものとして溢水水位を算出。(①の区画におけるカーブ高さは無視し、保守的に全量を伝播。この考え方はこれ以降共通)</p> <p>6. 階段を経由し、⑧へ溢水量全量が伝播。⑧は防護区画のため、溢水水位 (評価高さ) を算出。</p>	<p>(2) 溢水水位は、溢水量 (m³) ÷ 面積【滞留面積】(m²) + 床勾配 (m) で算出。</p> <p>①における溢水水位 (評価高さ) は、$37.6 \div 285.6 + 0.05 = 0.182$ (小数点以下第四位切上げ)</p> <div data-bbox="1283 343 1861 651" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>(1) 化学体積制御系 (充てん・封水注入配管)</p> <p>【浸水後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制御時間：10分 (流量変動加、加算) ・ 浸水量：37.6m³ (滞留までの最大浸水、配管・機器の保有水量) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>階層</th> <th>区域区分</th> <th>T.P. [m]</th> <th>浸水エリア番号</th> <th>評価エリア番号</th> <th>① 浸水容量 [m³]</th> <th>② 滞留面積 [m²]</th> <th>③ 床勾配 [m]</th> <th>④ 溢水水位 (①/②+③)</th> <th>防護対象設備^{注1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2階</td> <td rowspan="3">21.2</td> <td rowspan="3">21.2</td> <td>210-2-2</td> <td>210-2-2</td> <td>31.6</td> <td>285.6</td> <td>0.05</td> <td>0.182</td> <td>3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-175)</td> </tr> <tr> <td>210-2-1</td> <td>210-2-1</td> <td>11.6</td> <td>214.8</td> <td>0.05</td> <td>0.137</td> <td>3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-177)</td> </tr> <tr> <td>210-2-2</td> <td>210-2-2</td> <td>31.6</td> <td>74.1</td> <td>0.05</td> <td>0.481</td> <td>3-10 充てんタンクC/V外配管継手A、B (07-03-180A/B)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3階</td> <td rowspan="2">17.8</td> <td rowspan="2">17.8</td> <td>170-2-2</td> <td>170-2-2</td> <td>31.6</td> <td>74.1</td> <td>0.05</td> <td>0.481</td> <td>3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-181)</td> </tr> <tr> <td>170-2-2</td> <td>170-2-2</td> <td>31.6</td> <td>74.1</td> <td>0.05</td> <td>0.481</td> <td>3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-182)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①からの溢水伝播のため滞留量は①及び②の両者の合計</p> </div> <p>図2 想定破損 (化学体積制御系) による浸水影響評価結果整理表 (例1)</p> <p>(3) ②の隣接区画に溢水が伝播。②は防護区画であり、溢水を積極的に流すことができる開口がないため、溢水量全量が貯留されるものとして溢水水位を算出 (①の区画における出入口高さは無視し、保守的に全量を伝播。この考え方はこれ以降共通) (図1参照)。</p> <p>(4) 階段を経由し、下階の③区画へ溢水量全量が伝播。③は防護区画のため、溢水水位 (評価高さ) を算出。</p> <div data-bbox="1283 1029 1861 1391" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>図3 想定破損 (化学体積制御系) による溢水伝播経路図 (T.P. 17.8m)</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	階層	区域区分	T.P. [m]	浸水エリア番号	評価エリア番号	① 浸水容量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	③ 床勾配 [m]	④ 溢水水位 (①/②+③)	防護対象設備 ^{注1}	2階	21.2	21.2	210-2-2	210-2-2	31.6	285.6	0.05	0.182	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-175)	210-2-1	210-2-1	11.6	214.8	0.05	0.137	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-177)	210-2-2	210-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-10 充てんタンクC/V外配管継手A、B (07-03-180A/B)	3階	17.8	17.8	170-2-2	170-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-181)	170-2-2	170-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-182)	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は溢水水位の算出時に区画の床勾配を考慮していることを記載している。(島根と同様) ・ 泊は溢水伝播の説明と併せて溢水伝播経路図及び浸水影響評価結果整理表の例を示している。 <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は②区画が、溢水水源が設置される区画の隣接区画であることを明記している。 ・ 区画及び溢水経路の相違により、溢水伝播の説明の記載順が異なり、上階から下階への伝播について、泊は4.に、女川は6.に記載している。 <p>記載表現の相違</p>
階層	区域区分	T.P. [m]	浸水エリア番号	評価エリア番号	① 浸水容量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	③ 床勾配 [m]	④ 溢水水位 (①/②+③)	防護対象設備 ^{注1}																																													
2階	21.2	21.2	210-2-2	210-2-2	31.6	285.6	0.05	0.182	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-175)																																													
			210-2-1	210-2-1	11.6	214.8	0.05	0.137	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-177)																																													
			210-2-2	210-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-10 充てんタンクC/V外配管継手A、B (07-03-180A/B)																																													
3階	17.8	17.8	170-2-2	170-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-181)																																													
			170-2-2	170-2-2	31.6	74.1	0.05	0.481	3-1 充てんタンクC/V外配管継手 (07-03-182)																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>4. ③に溢水が伝播。③は防護区画であるが、溢水を積極的に流す階段があるため、溢水水位（評価高さ）は低く抑えられる。（開口部からの流出については、定量的な評価を実施）</p> <p>5. ④及び⑤はその他区画であり、③の開口により溢水量全量が流入することはないため、溢水量を記載する欄へは「流入有」とのみ記載。その他の項目は「-」。</p>	<p>(5) ④の溢水源が設置される区画で溢水が発生（3AB-H-9）。④は防護区画であるが、溢水を積極的に流す開口部があるため、溢水水位（評価高さ）は低く抑えられる（開口部からの流出については、定量的な評価を実施）。</p>  <p>図4 想定破損（化学体積制御系）による溢水伝播経路図 (T.P. 10. 3m)</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>  <p>図5 想定破損（化学体積制御系）による没水影響評価結果整理表（例2）</p>	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> ・区画及び溢水経路の相違により、例示区画の評価内容の違いに応じた記載内容とし、女川では防護区画外からの伝播を記載しているが泊では防護区画内の溢水発生を記載している。また、溢水を下階に流すための開口は、女川は階段であるが泊は開口部としている。 ・泊は溢水伝播の説明と併せて溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表の例を示している。 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> ・区画及び溢水経路の相違により、例示区画の評価内容の違いに応じた記載内容としているため、泊は防護対象区画のみを記載しており、その他区画については記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>7. ⑥に溢水量全量が伝播するものとして、溢水水位（評価高さ）を算出。</p> <p>8. ⑦、⑨、⑩と⑧の間には堰を設置するため、溢水の伝播はない。</p> <p>9. 上記で実施した、溢水水位（評価高さ）と機能喪失高さを比較することで、機能喪失を判定。</p>	<p>(6) 止水を期待できる堰等が設置されている区画には、溢水の伝播はない。</p> <p>図6 想定破損（補助蒸気系）による溢水伝播経路図 (T.P. 17. 8m)</p> <p>図7 想定破損（補助蒸気系）による没水影響評価結果整理表 (例3)</p> <p>(7) 上記で実施した、溢水水位（評価高さ）と機能喪失高さを比較することで、機能喪失を判定。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は7. に隣接区画への伝播（⑧⇒⑥）について記載しているが、泊は3. の考え方と同様であるため記載は省略している。 ・区画及び溢水経路の相違により、例示区画の評価内容の違いに応じた記載内容としている。 ・泊は溢水伝播の説明と併せて溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表の例を示している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">補足説明資料 38</p> <p>重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について</p> <p>本補足説明資料については、第四十三条の審査資料に統合する。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 46</p> <p>重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について</p> <p>重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針については、第四十三条の審査資料で説明する。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>資料の作成方針（資料構成）の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: right;">補足説明資料1</p> <p>防護区画内の溢水源となりうる系統</p> <p>原子炉建屋(1/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 316 1274 1098"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-R3F-1</th> <th>R-R3F-2</th> <th>R-R3F-3</th> <th>R-R3F-4</th> <th>R-R3F-5</th> <th>R-R3F-6</th> <th>R-R3F-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>□</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>□</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>□</td><td>□</td></tr> <tr><td>LIVCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>□</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPVCS</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>○*</td><td>□</td><td>○*</td><td>○*</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>□</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MURP</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>MURC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FR</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FRMUR</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>HNCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HNCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HNCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HP2W</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-R3F-1	R-R3F-2	R-R3F-3	R-R3F-4	R-R3F-5	R-R3F-6	R-R3F-7	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	□	-	-	-	-	RHR-B	-	-	-	-	-	□	-	RHR-C	-	-	-	-	-	□	□	LIVCS	-	-	-	□	-	-	-	HPVCS	-	○*	-	○*	□	○*	○*	RCIC	-	□	-	-	-	-	-	CEW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	-	○	-	-	○	-	RD	○	○	○	-	○	○	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MURP	○	-	-	-	-	-	○	MURC	-	-	-	-	-	-	-	FR	-	-	-	-	-	-	-	FRMUR	-	-	-	-	-	○	○	HNCW	-	-	-	-	-	-	-	HNCW-A	-	-	-	-	-	-	-	HNCW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-	RCW-A/E	-	-	○	○	-	-	-	RCW-B/N	○	○	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	-	-	-	○	○	RCW-A	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	○	-	-	HP2W	-	-	-	-	-	-	-	HPH	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	○	○	-	○	○	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、想定破損については、添付資料10「溢水伝播経路図(平面図)」において、想定破損を考慮する配管の敷設ルートを明示しており、どの区画に溢水源があるか確認することが可能である。また、添付資料17「想定破損による設水影響評価結果」において、溢水源エリアを明記しており、溢水源が敷設されている区画を確認することが可能である。地震起因の溢水についても同様に、添付資料10「溢水伝播経路図(平面図)」において、溢水源の配置を明示しており、どの区画に溢水源があるか確認することが可能である。また、添付資料24「地震起因による設水影響評価結果」において、溢水源が敷設されている区画を確認可能である。 ・これらの結果、想定破損及び地震起因の溢水において、溢水源となりうる区画の設置場所を適切に反映できている。 ・なお、泊では、多くの配管に対して、標準支持間隔法により応力評価を実施し、想定破損除外を適用している一方、女川では、想定破損除外を適用している配管が比較的少ないため、想定破損による溢水源が多い。そのため、溢水防護区画ごとに想定破損による溢水源を抽出し、その中から最大の溢水源に対して、溢水影響評価を実施しており、左記の表の形で整理することが有効であると考ええる。 <p>(次ページへ続く)</p>
	R-R3F-1	R-R3F-2	R-R3F-3	R-R3F-4	R-R3F-5	R-R3F-6	R-R3F-7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	-	□	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	-	-	-	□	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	-	-	-	□	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LIVCS	-	-	-	□	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPVCS	-	○*	-	○*	□	○*	○*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	□	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CEW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	○	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	○	○	○	-	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MURP	○	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MURC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FR	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FRMUR	-	-	-	-	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HNCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HNCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HNCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	○	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	-	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HP2W	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	○	○	-	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(2/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-B3F-8</th> <th>R-B3F-9</th> <th>R-B3F-15</th> <th>R-B3F-10</th> <th>R-B3F-11</th> <th>R-B3F-12</th> <th>R-B3F-13</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CED</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPDS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BPDS</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCTC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BD</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MHW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RNCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCS-A/N</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCS-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCS-B/N</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCS-B/E</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSS-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSS-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>TRH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFD(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：漏水源有 □：漏水源(想定破損除外) -：漏水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-B3F-8	R-B3F-9	R-B3F-15	R-B3F-10	R-B3F-11	R-B3F-12	R-B3F-13	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CED	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RBR-A	-	-	-	○	-	-	-	RBR-B	-	-	-	○	-	-	-	RBR-C	-	-	-	○	-	-	-	LPDS	-	-	-	○	-	-	-	BPDS	○	-	-	○	-	-	-	RCTC	-	-	-	○	-	-	-	CUW	-	-	○	-	-	-	-	FPC	-	-	-	○	-	-	-	BD	-	○	-	○	-	-	-	LCW	-	-	-	○	-	-	-	HCW	-	-	-	○	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MHW	-	-	-	-	-	-	-	MWC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	○	-	-	FW	○	-	-	○	-	-	-	RNCW	-	-	-	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCS-A/N	-	○	-	-	-	-	-	RCS-A/E	-	-	-	○	○	-	-	RCS-B/N	-	○	-	○	-	-	-	RCS-B/E	○	-	-	-	○	-	-	RSS-A	-	-	-	-	○	-	-	RSS-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	○	HPSW	-	-	-	-	-	-	○	TRH	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGFD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGFD(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDD(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	○	○	○	消火配管	-	-	-	-	○	○	○	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		<p>以上より、泊でも資料内で溢水源となりうる系統の敷設・設置場所を適切に反映できており、本補足説明資料の作成は不要であると判断する。</p>
	R-B3F-8	R-B3F-9	R-B3F-15	R-B3F-10	R-B3F-11	R-B3F-12	R-B3F-13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CED	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-A	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-B	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-C	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPDS	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BPDS	○	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCTC	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BD	-	○	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MHW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	○	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RNCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCS-A/N	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCS-A/E	-	-	-	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCS-B/N	-	○	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCS-B/E	○	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSS-A	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSS-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
TRH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFD(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(3/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-B2F-14</th> <th>R-B2F-1</th> <th>R-B2F-4</th> <th>R-B2F-2</th> <th>R-B2F-3</th> <th>R-B2F-5</th> <th>R-B2F-6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPFS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPFS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RC1C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BCWF</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>MEWC</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>FW</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPBW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HNCW</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HKH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>23A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：漏水源有 □：漏水源（想定破損除外） -：漏水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-B2F-14	R-B2F-1	R-B2F-4	R-B2F-2	R-B2F-3	R-B2F-5	R-B2F-6	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	○	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	○	-	-	-	-	-	RHR-B	-	-	○	-	-	-	-	RHR-C	-	-	○	-	-	-	-	LPFS	-	-	-	○	-	-	-	HPFS	-	-	-	-	○	-	-	RC1C	-	-	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	-	○	FPC	-	-	-	○	-	-	-	RD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	RCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	BCWF	-	○	○	-	-	-	○	MEWC	-	○	○	-	-	-	○	FW	○	-	-	-	-	○	-	FPBW	-	-	-	-	○	-	-	HNCW	-	○	○	-	-	○	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	○	○	○	-	-	-	○	RCW-A/E	-	○	-	○	-	-	-	RCW-B/N	○	○	○	-	-	○	○	RCW-B/E	○	○	○	-	-	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	○	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	○	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HKH	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	○	-	-	-	-	○	-	消火配管	○	○	-	○	○	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	23A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-B2F-14	R-B2F-1	R-B2F-4	R-B2F-2	R-B2F-3	R-B2F-5	R-B2F-6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPFS	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPFS	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RC1C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BCWF	-	○	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MEWC	-	○	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	○	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPBW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HNCW	-	○	○	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	○	○	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	○	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	○	○	○	-	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	○	○	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HKH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	○	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	○	○	-	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
23A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(4/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-R2F-6-1</th> <th>R-R2F-6-2</th> <th>R-R2F-7</th> <th>R-R2F-8</th> <th>R-R2F-9</th> <th>R-R2F-10</th> <th>R-R2F-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CHD</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RC1C</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>PPC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWFP</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HWIC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>PPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-R2F-6-1	R-R2F-6-2	R-R2F-7	R-R2F-8	R-R2F-9	R-R2F-10	R-R2F-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CHD	-	-	○	-	-	-	○	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	○	-	-	-	-	RHR-B	-	-	○	-	-	-	○	RHR-C	-	-	○	-	-	-	○	LPCS	-	-	○	-	-	-	-	HPCS	-	-	○	-	-	-	-	RC1C	-	-	○	-	-	-	-	CUW	○	○	○	-	-	-	-	PPC	-	-	○	-	-	-	○	RD	-	-	○	-	-	-	-	LCW	-	-	○	-	-	-	-	HCW	-	-	○	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	HWFP	○	-	-	-	-	-	○	HWIC	-	-	○	-	-	-	○	FW	-	-	-	-	○	-	-	PPSW	-	-	○	-	-	-	○	HSCW	-	-	○	○	○	○	○	HECW-A	-	-	-	○	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	○	○	-	○	-	○	RCW-A/E	-	-	○	-	-	-	○	RCW-B/N	-	○	○	-	○	-	○	RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	○	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	○	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	-	-	-	-	-	○	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(C)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	○	○	○	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-R2F-6-1	R-R2F-6-2	R-R2F-7	R-R2F-8	R-R2F-9	R-R2F-10	R-R2F-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CHD	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RC1C	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	○	○	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
PPC	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HWFP	○	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HWIC	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
PPSW	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW	-	-	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	○	○	-	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	○	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	○	○	-	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HWH	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(5/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-BIF-2</th> <th>R-BIF-3</th> <th>R-BIF-3-1</th> <th>R-BIF-3-2</th> <th>R-BIF-3-3</th> <th>R-BIF-4</th> <th>R-BIF-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEB</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RPCS</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CLW</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FTC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MBFP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>MERC</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-BIF-2	R-BIF-3	R-BIF-3-1	R-BIF-3-2	R-BIF-3-3	R-BIF-4	R-BIF-5	FDW	-	-	-	○	-	-	-	CEB	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RBB-A	-	-	-	-	-	-	-	RBB-B	-	-	-	-	-	-	-	RBB-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	○	-	-	-	-	-	-	RPCS	○	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CLW	-	○	-	○	-	-	-	FTC	-	-	-	○	-	-	-	BD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	○	-	-	-	MBFP	-	-	-	○	-	-	○	MERC	-	○	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FPMW	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	-	-	-	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	○	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	○	RCW-B/E	-	○	-	-	-	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-BIF-2	R-BIF-3	R-BIF-3-1	R-BIF-3-2	R-BIF-3-3	R-BIF-4	R-BIF-5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CEB	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RPCS	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CLW	-	○	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FTC	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MBFP	-	-	-	○	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MERC	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HWH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(6/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-B1F-6</th> <th>R-B1F-7</th> <th>R-B1F-8</th> <th>R-B1F-9</th> <th>R-B1F-10</th> <th>R-B1F-11</th> <th>R-B1F-12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RF</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWF</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FR</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPM/W</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MNC/W</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSP-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSP-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(A)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(A)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLD(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPD(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(A)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDD(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-B1F-6	R-B1F-7	R-B1F-8	R-B1F-9	R-B1F-10	R-B1F-11	R-B1F-12	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHB-A	-	-	-	-	-	-	-	RHB-B	-	-	-	-	-	-	-	RHB-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCC	-	-	-	-	-	-	-	HPCC	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	-	-	-	-	-	-	RF	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWF	-	-	-	-	-	-	-	MWC	-	-	-	-	-	-	-	FR	-	-	-	-	-	-	-	FPM/W	-	-	-	-	-	-	-	MNC/W	-	-	-	-	-	-	-	HCCW-A	-	-	-	-	-	-	-	HCCW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	○	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	○	-	RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	-	RSP-A	-	-	-	-	-	-	-	RSP-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(A)	-	○	-	-	-	-	-	DGLW(B)	-	-	-	-	-	○	-	DGLW(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGLD(A)	-	○	-	-	-	-	-	DGLD(B)	-	-	-	-	-	○	-	DGLD(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGPD(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGPD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGPD(C)	-	-	-	-	-	-	-	DGDD(A)	-	○	-	-	-	-	-	DGDD(B)	-	-	-	-	-	○	-	DGDD(C)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	○	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-B1F-6	R-B1F-7	R-B1F-8	R-B1F-9	R-B1F-10	R-B1F-11	R-B1F-12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RF	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWF	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FR	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPM/W	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MNC/W	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSP-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSP-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HWH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(A)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(B)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(A)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(B)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLD(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPD(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPD(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(A)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(B)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDD(C)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	原子炉建屋(7/17)								
		R-B1F-13	R-B1F-14	R-MB1F-1	R-MB1F-2	R-MB1F-3	R-MB1F-4	R-1F-1	
		FDB	-	-	-	-	-	-	
		CEB	-	-	-	-	-	-	
		SLC	-	-	-	-	-	-	
		RHB-A	○	-	-	-	-	-	
		RHB-B	-	○	-	-	-	-	
		RHB-C	-	-	-	-	-	-	
		LPCS	-	○	-	-	-	-	
		MFCS	-	-	-	-	-	-	
		RC1C	-	-	-	-	-	-	
		CEB	-	-	-	-	-	-	
		FPC	○	-	-	-	-	-	
		RD	-	-	-	-	-	-	
		LCE	-	-	-	-	-	-	
		HCE	-	-	-	-	-	-	
		SD	-	-	-	-	-	-	
		FDB	-	-	-	-	-	-	
		MRFP	-	○	-	-	-	-	
		MRBC	-	-	-	-	-	-	
		FW	-	-	-	-	-	-	
		FFMW	-	-	-	-	-	-	
		HMCW	-	-	-	-	-	-	
		HMCW-A	-	-	-	-	-	-	
		HMCW-B	-	-	-	-	-	-	
		RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	
		RCW-A/E	-	-	○	-	-	-	
		RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	
		RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	
		RSW-A	-	-	-	-	-	-	
		RSW-B	-	-	-	-	-	-	
		HPCW	-	-	-	-	-	-	
		HPCW	-	-	-	-	-	-	
		HWH	-	-	-	-	-	-	
		DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	
		DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	
		DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	
		DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	
		DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	
		DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	
		DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	
		DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	
		DGFO(D)	-	-	-	-	-	-	
		DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	
		DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	
		DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	
		MSC	-	-	-	-	-	-	
		消火配管	-	-	-	-	-	-	
		衛生配管	-	-	-	-	-	-	
		25A以下配管	-	-	-	-	-	-	
		【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(8/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-1F-2</th> <th>R-1F-3</th> <th>R-1F-4</th> <th>R-1F-5</th> <th>R-1F-6</th> <th>R-1F-7</th> <th>R-1F-7-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>BD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-E/E</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPI</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGF(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGF(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGF(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGD(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGD(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGD(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) ー：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-1F-2	R-1F-3	R-1F-4	R-1F-5	R-1F-6	R-1F-7	R-1F-7-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CKD	-	-	-	-	-	-	○	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	-	○	-	-	-	RHR-B	-	-	-	○	-	-	-	RHR-C	-	-	-	○	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	RPCS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	○	○	○	-	○	-	BD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWP	-	-	-	○	-	-	-	MCWC	-	-	-	○	-	○	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FPMW	-	-	-	○	-	-	-	HW	-	-	-	○	○	○	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	HECW-N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	○	○	○	○	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-E/E	○	○	○	○	○	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	○	-	-	-	HPS	-	-	-	-	-	-	-	HPI	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGF(A)	-	-	-	-	○*	-	-	DGF(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGF(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGD(A)	-	-	-	-	○	-	-	DGD(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGD(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	○	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-1F-2	R-1F-3	R-1F-4	R-1F-5	R-1F-6	R-1F-7	R-1F-7-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CKD	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	○	○	○	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWP	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWC	-	-	-	○	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HW	-	-	-	○	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	○	○	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-E/E	○	○	○	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPI	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGF(A)	-	-	-	-	○*	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGF(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGF(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGD(A)	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGD(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGD(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(9/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-1F-8</th> <th>R-1F-9</th> <th>R-1F-10</th> <th>R-1F-11</th> <th>R-1F-12</th> <th>R-1F-13</th> <th>R-1F-13-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPUS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BPUS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定被排除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-1F-8	R-1F-9	R-1F-10	R-1F-11	R-1F-12	R-1F-13	R-1F-13-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CKD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	○	-	-	-	-	-	RHR-B	○	-	-	○	-	-	-	RHR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPUS	-	-	-	-	-	-	-	BPUS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CEW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	○	-	-	-	-	-	BD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWP	-	-	-	-	-	-	-	MCWC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FPMW	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	-	-	-	-	○	-	-	HSCW-A	-	-	-	-	-	-	-	HSCW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-	RCW-A/E	-	○	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	-	○	-	-	-	RCW-A	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPW	-	-	-	-	-	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HPH	-	-	-	-	○	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	○	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	○	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	○*	-	DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	○	○	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	-	○	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	○	-	-	-	-	-		
	R-1F-8	R-1F-9	R-1F-10	R-1F-11	R-1F-12	R-1F-13	R-1F-13-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CKD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	○	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPUS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BPUS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CEW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPH	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-	○*	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(10/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-1F-14</th> <th>R-1F-15</th> <th>R-1F-15-1</th> <th>R-1F-16</th> <th>R-1F-16-1</th> <th>R-1F-17</th> <th>R-M2F-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHB-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BPXS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>PPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCB</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FWBW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCBW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCBW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSB-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSB-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HBB</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCV(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCV(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCV(H)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(H)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(H)</td><td>○*</td><td>○*</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) ー：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-1F-14	R-1F-15	R-1F-15-1	R-1F-16	R-1F-16-1	R-1F-17	R-M2F-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHB-A	-	-	-	-	-	-	-	RHB-B	-	-	-	-	-	-	-	RHB-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	BPXS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	-	-	PPC	-	-	-	-	-	-	-	RD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCB	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	○	MWP	-	-	-	-	-	-	-	MWC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FWBW	-	-	-	-	-	-	-	HW	-	-	-	-	-	-	-	HCBW-A	-	-	-	-	-	-	-	HCBW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	○	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	○	-	RCW-B/E	-	-	-	○	-	-	-	RSB-A	-	-	-	-	-	-	-	RSB-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	○	-	-	-	-	-	HPCS	-	-	-	-	-	-	-	HBB	-	-	-	-	-	○	-	DGCV(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCV(B)	-	-	-	○	-	-	-	DGCV(H)	-	○	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	○	-	-	-	DGLO(H)	-	○	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(B)	-	-	-	○*	-	-	-	DGPO(H)	○*	○*	○*	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	○	-	-	-	DGDO(H)	○	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	○	-	-	-	-	○	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	○	-	-	-	-		
	R-1F-14	R-1F-15	R-1F-15-1	R-1F-16	R-1F-16-1	R-1F-17	R-M2F-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHB-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BPXS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
PPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCB	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FWBW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCBW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCBW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSB-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSB-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HBB	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCV(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCV(B)	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCV(H)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(H)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	○*	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(H)	○*	○*	○*	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	○	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(11/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-MZF-2</th> <th>R-MZF-3</th> <th>R-MZF-5</th> <th>R-MZF-6</th> <th>R-MZF-7</th> <th>R-MZF-8</th> <th>R-MZF-9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEB</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SUC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPDS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPDS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CIW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FWMSW</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FWCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSH-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSH-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HVW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGL0(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGL0(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGL0(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td></tr> <tr><td>DGPO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) —：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-MZF-2	R-MZF-3	R-MZF-5	R-MZF-6	R-MZF-7	R-MZF-8	R-MZF-9	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CEB	-	-	-	-	-	-	-	SUC	-	-	○	-	-	-	-	RHR-A	○	-	-	○	-	-	-	RHR-B	-	-	-	-	-	-	-	RHR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPDS	-	-	-	-	-	-	-	HPDS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CIW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	○	-	-	-	-	-	RD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	BCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWP	-	-	-	-	-	-	-	MCWC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FWMSW	-	○	-	-	-	-	-	FWCW	-	-	-	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	○	-	-	-	-	-	RSH-A	-	-	-	-	-	-	-	RSH-B	-	-	-	-	-	-	-	HVW	-	-	-	-	-	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	-	-	HW	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGL0(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGL0(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGL0(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	○*	DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	○*	DGPO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	○	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	○	DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	○	-		
	R-MZF-2	R-MZF-3	R-MZF-5	R-MZF-6	R-MZF-7	R-MZF-8	R-MZF-9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CEB	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SUC	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	○	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPDS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPDS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CIW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FWMSW	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FWCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSH-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSH-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HVW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGL0(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGL0(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGL0(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-	-	○*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	-	-	-	○*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>原子炉建屋(12/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-2F-1-1</th> <th>R-2F-1-2</th> <th>R-2F-1-3</th> <th>R-2F-2</th> <th>R-2F-2-1</th> <th>R-2F-2-2</th> <th>R-2F-2-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CIW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWP</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWC</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMPW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>□</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HHCW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HHCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HBB</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定被排除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-2F-1-1	R-2F-1-2	R-2F-1-3	R-2F-2	R-2F-2-1	R-2F-2-2	R-2F-2-3	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RBR-A	-	-	-	-	-	-	-	RBR-B	-	-	-	-	-	-	-	RBR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	HPCS	-	-	-	-	-	-	-	RCLC	-	-	-	-	-	-	-	CIW	-	-	-	○	-	-	-	FPC	-	-	-	-	-	-	-	RD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	BCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWP	-	-	○	-	-	-	-	MCWC	-	-	○	○	-	○	○	FW	-	-	-	-	-	-	-	FPMPW	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	□	-	-	-	-	-	-	HHCW-A	-	-	-	-	-	-	-	HHCW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	○	-	-	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HBB	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	○	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	○	○	-	-	○	-	-		
	R-2F-1-1	R-2F-1-2	R-2F-1-3	R-2F-2	R-2F-2-1	R-2F-2-2	R-2F-2-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CIW	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWP	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MCWC	-	-	○	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMPW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW	□	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HHCW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HHCW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HBB	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	○	○	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
原子炉建屋(13/17)											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-2F-2-4</th> <th>R-2F-2-5</th> <th>R-2F-2-6</th> <th>R-2F-3</th> <th>R-2F-3-1</th> <th>R-2F-4</th> <th>R-2F-5</th> </tr> </thead> </table>					R-2F-2-4	R-2F-2-5	R-2F-2-6	R-2F-3	R-2F-3-1	R-2F-4	R-2F-5
	R-2F-2-4	R-2F-2-5	R-2F-2-6	R-2F-3	R-2F-3-1	R-2F-4	R-2F-5				
FDB											
CDB											
SLC											
RHB-A											
RHB-B											
RHB-C											
LPFS											
HPFS											
RCIC											
LCW											
EPC											
RD											
LCC											
HCW											
SD											
FDB											
MURF											
MURC											
FW											
FTMW											
HWCW											
HFCW-A											
HFCW-B											
RCW-A/W											
RCW-A/E											
RCW-B/W											
RCW-B/E											
RSW-A											
RSW-B											
HPCW											
HPSW											
HRH											
DGCW(A)											
DGCW(B)											
DGCW(O)											
DGL(O)(A)											
DGL(O)(B)											
DGL(O)(O)											
DGF(O)(A)											
DGF(O)(B)											
DGF(O)(O)											
DGD(O)(A)											
DGD(O)(B)											
DGD(O)(O)											
MSC											
消火配管											
衛生配管											
25A以下配管											
<p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) —：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
原子炉建屋(14/17)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-2F-6</th> <th>R-2F-6-1</th> <th>R-2F-6-2</th> <th>R-2F-7</th> <th>R-2F-7-1</th> <th>R-2F-8</th> <th>R-2F-8-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BC1C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>BD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MRFP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MRIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMHW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHCW-A</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHCW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>RCA-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCA-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCA-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCA-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSA-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSA-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSR</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHH</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(H)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>					R-2F-6	R-2F-6-1	R-2F-6-2	R-2F-7	R-2F-7-1	R-2F-8	R-2F-8-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	-	-	-	-	-	RHR-B	-	-	-	-	-	-	-	RHR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	HPCS	-	-	-	-	-	-	-	BC1C	-	-	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	-	-	-	-	-	-	BD	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MRFP	-	-	-	-	-	-	-	MRIC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FPMHW	-	-	-	-	-	-	-	RWC	-	-	-	-	-	○	-	RHCW-A	○	○	-	-	-	-	-	RHCW-B	-	-	-	-	-	○	○	RCA-A/N	-	-	-	-	-	-	-	RCA-A/E	-	-	-	-	-	-	-	RCA-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCA-B/E	-	-	-	-	-	-	-	RSA-A	-	-	-	-	-	-	-	RSA-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HPSR	-	-	-	-	-	-	-	RHH	○	○	-	○	○	○	○	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	○	-	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	○	-	DGDO(H)	-	-	-	○	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	○	-	-	○	-	○	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-
	R-2F-6	R-2F-6-1	R-2F-6-2	R-2F-7	R-2F-7-1	R-2F-8	R-2F-8-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BC1C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MRFP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MRIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMHW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RWC	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHCW-A	○	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHCW-B	-	-	-	-	-	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCA-A/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCA-A/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCA-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCA-B/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSA-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSA-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSR	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RHH	○	○	-	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGFO(H)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(H)	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	○	-	-	○	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>原子炉建屋(15/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-2F-8-2</th> <th>R-2F-9</th> <th>R-2F-11</th> <th>R-2F-12-1</th> <th>R-2F-13-1</th> <th>R-2F-14-1</th> <th>R-2F-15-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RO</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MCWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MEWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FBMW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HDCW</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A 以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-2F-8-2	R-2F-9	R-2F-11	R-2F-12-1	R-2F-13-1	R-2F-14-1	R-2F-15-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	-	-	-	-	-	RHR-B	-	-	-	-	-	-	-	RHR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	HPCS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CEW	-	-	-	-	-	-	-	FPC	-	-	-	-	-	-	-	RO	-	-	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MCWP	-	-	-	-	-	-	-	MEWC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FBMW	-	-	-	-	-	-	-	HDCW	-	○	○	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	○	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	○	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A 以下配管	-	-	-	○	-	-	-		
	R-2F-8-2	R-2F-9	R-2F-11	R-2F-12-1	R-2F-13-1	R-2F-14-1	R-2F-15-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
CEW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RO	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
LCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MCWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MEWC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FBMW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HDCW	-	○	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-A/N	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-A/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-B/E	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RSW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RSW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HPCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HWH	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
消火配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25A 以下配管	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>原子炉建屋(16/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-2F-16-1</th> <th>R-2F-17</th> <th>R-2F-18</th> <th>R-2F-19</th> <th>R-MGF-3-1</th> <th>R-2F-1</th> <th>R-3F-3-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RPCCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CEW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>EPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>ED</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCE</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HEW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MWFP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>MWCC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FTW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RNLT</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RNLT-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RNLT-B</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSA-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSA-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RPW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RPCCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(E)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(A)</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGFO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○*</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(D)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-2F-16-1	R-2F-17	R-2F-18	R-2F-19	R-MGF-3-1	R-2F-1	R-3F-3-1	FDW	-	-	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	-	-	RHR-A	-	-	-	-	-	-	-	RHR-B	-	-	-	-	-	-	-	RHR-C	-	-	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	-	-	RPCCS	-	-	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	-	-	CEW	-	-	-	-	-	○	-	EPC	-	-	-	-	-	-	-	ED	-	-	-	-	-	-	-	LCE	-	-	-	-	-	-	-	HEW	-	-	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	-	-	MWFP	-	-	-	-	-	○	-	MWCC	-	-	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	-	-	FTW	-	-	-	-	-	○	-	RNLT	-	-	-	-	○	○	-	RNLT-A	-	-	-	-	-	○	-	RNLT-B	○	-	-	-	-	○	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	○	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	-	-	-	○	-	RSA-A	-	-	-	-	-	-	-	RSA-B	-	-	-	-	-	-	-	RPW	-	-	-	-	-	-	-	RPCCS	-	-	-	-	-	-	-	RHR	-	-	-	-	○	○	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-	DGLO(E)	-	-	-	-	-	-	-	DGFO(A)	-	○*	-	-	-	-	-	DGFO(B)	-	-	○*	-	-	-	-	DGFO(D)	-	-	-	○*	-	-	-	DGDO(A)	-	○	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	○	-	-	-	-	DGDO(D)	-	-	-	○	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	○	-	-	-	-	○	-	衛生配管	-	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-		
	R-2F-16-1	R-2F-17	R-2F-18	R-2F-19	R-MGF-3-1	R-2F-1	R-3F-3-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
CRD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SLC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-C	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
LPCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RPCCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCIC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
CEW	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
EPC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ED	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
LCE	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HEW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SD	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FDW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MWFP	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MWCC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
FTW	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RNLT	-	-	-	-	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RNLT-A	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RNLT-B	○	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-A/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-A/E	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-B/N	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RCW-B/E	-	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RSA-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RSA-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RPW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RPCCS	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR	-	-	-	-	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGCW(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGCW(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGCW(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(A)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(B)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(D)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGLO(E)	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(A)	-	○*	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(B)	-	-	○*	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGFO(D)	-	-	-	○*	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(A)	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(B)	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DGDO(D)	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
消火配管	○	-	-	-	-	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
衛生配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25A以下配管	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>原子炉建屋(17/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 225 1144 1018"> <thead> <tr> <th></th> <th>R-3F-3-2</th> <th>R-3F-2</th> <th>R-3F-4</th> <th>R-3F-5</th> <th>R-3F-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RBB-C</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCS</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCIC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>CUW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>LCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>SD</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MEWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MEWC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>FPMSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-A/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/N</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RCW-B/E</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>RSW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HPSW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HHH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGCW(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGLO(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGPO(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(A)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(B)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>DGDO(C)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) -：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		R-3F-3-2	R-3F-2	R-3F-4	R-3F-5	R-3F-7	FDW	-	-	-	-	-	CRD	-	-	-	-	-	SLC	-	-	-	-	-	RBB-A	-	-	-	-	-	RBB-B	-	-	-	-	-	RBB-C	-	-	-	-	-	LPCS	-	-	-	-	-	HPCS	-	-	-	-	-	RCIC	-	-	-	-	-	CUW	-	-	-	-	-	FPC	-	-	-	-	-	RD	-	-	-	-	-	LCW	-	-	-	-	-	HCW	-	-	-	-	-	SD	-	-	-	-	-	FDW	-	-	-	-	-	MEWP	-	-	-	-	-	MEWC	-	-	-	-	-	FW	-	-	-	-	-	FPMSW	-	-	-	-	-	HSCW	-	-	-	-	○	HECW-A	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	RCW-A/N	-	-	-	-	-	RCW-A/E	-	-	-	-	-	RCW-B/N	-	-	-	-	-	RCW-B/E	-	-	-	-	-	RSW-A	-	-	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	-	HPCW	-	-	-	-	-	HPSW	-	-	-	-	-	HHH	-	-	-	-	-	DGCW(A)	-	-	-	-	-	DGCW(B)	-	-	-	-	-	DGCW(C)	-	-	-	-	-	DGLO(A)	-	-	-	-	-	DGLO(B)	-	-	-	-	-	DGLO(C)	-	-	-	-	-	DGPO(A)	-	-	-	-	-	DGPO(B)	-	-	-	-	-	DGPO(C)	-	-	-	-	-	DGDO(A)	-	-	-	-	-	DGDO(B)	-	-	-	-	-	DGDO(C)	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	-	-	-	衛生配管	-	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	-	-	-		
	R-3F-3-2	R-3F-2	R-3F-4	R-3F-5	R-3F-7																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CRD	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SLC	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-A	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-B	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RBB-C	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LPCS	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCS	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCIC	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
CUW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPC	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RD	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
LCW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HCW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SD	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FDW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MEWP	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MEWC	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
FPMSW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HSCW	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-A	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HECW-B	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/N	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-A/E	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/N	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RCW-B/E	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-A	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
RSW-B	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPCW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HPSW	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
HHH	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(A)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(B)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGCW(C)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(A)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(B)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGLO(C)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(A)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(B)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGPO(C)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(A)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(B)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DGDO(C)	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
MSC	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消火配管	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
衛生配管	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25A以下配管	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>副御建屋(1/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-B2F-1</th> <th>C-B2F-2</th> <th>C-B2F-3</th> <th>C-B2F-4</th> <th>C-B2F-5</th> <th>C-B2F-6</th> <th>C-MB2F-1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>副御建屋(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-B1F-1</th> <th>C-B1F-2</th> <th>C-B1F-3</th> <th>C-B1F-4</th> <th>C-B1F-5</th> <th>C-B1F-6-1</th> <th>C-B1F-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>○*</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>副御建屋(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-B1F-8</th> <th>C-B1F-9</th> <th>C-MB1F-1</th> <th>C-1F-1</th> <th>C-1F-2</th> <th>C-1F-3</th> <th>C-1F-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) ー：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p> <p>副御建屋(4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-2F-1</th> <th>C-2F-2</th> <th>C-2F-3</th> <th>C-2F-4</th> <th>C-2F-5</th> <th>C-2F-1</th> <th>C-2F-2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> <p>副御建屋(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-2F-3</th> <th>C-2F-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>MWP</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HSCW</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-A</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HECW-B</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>HWH</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>MSC</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>消火配管</td><td>○</td><td>-</td></tr> <tr><td>衛生配管</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td>25A以下配管</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○：溢水源有 □：溢水源(想定破損除外) ー：溢水源無 ○*：静水頭圧の配管</p>		C-B2F-1	C-B2F-2	C-B2F-3	C-B2F-4	C-B2F-5	C-B2F-6	C-MB2F-1	MWP	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	-	○	-	-	-	-	-	HECW-A	○	-	-	-	-	-	○	HECW-B	-	○	-	-	-	-	-	HWH	○	○	-	-	-	-	○	MSC	-	○	-	○	-	-	○	消火配管	○	○	-	-	-	-	○	衛生配管	○	-	-	-	-	-	-	25A以下配管	○	○	○	○	○	○	○		C-B1F-1	C-B1F-2	C-B1F-3	C-B1F-4	C-B1F-5	C-B1F-6-1	C-B1F-7	MWP	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	-	-	-	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	-	-	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	○	-	-	-	-	衛生配管	○*	-	○	-	-	-	-	25A以下配管	-	○	○	○	-	-	-		C-B1F-8	C-B1F-9	C-MB1F-1	C-1F-1	C-1F-2	C-1F-3	C-1F-4	MWP	-	-	-	○	-	-	-	HSCW	○	-	-	○	○	○	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	HWH	○	-	-	○	○	○	-	MSC	○	-	-	-	-	-	-	消火配管	○	-	-	○	○	○	-	衛生配管	-	○	-	○	○	○	○	25A以下配管	-	○	○	○	○	○	○		C-2F-1	C-2F-2	C-2F-3	C-2F-4	C-2F-5	C-2F-1	C-2F-2	MWP	-	-	-	-	-	-	-	HSCW	-	-	○	-	-	-	-	HECW-A	-	-	-	-	-	-	-	HECW-B	-	-	-	-	-	-	-	HWH	-	-	○	-	-	-	-	MSC	-	-	-	-	-	-	-	消火配管	-	-	○	-	-	-	-	衛生配管	-	-	○	-	-	-	-	25A以下配管	-	-	○	-	-	-	-		C-2F-3	C-2F-4	MWP	-	-	HSCW	-	-	HECW-A	-	-	HECW-B	-	-	HWH	-	-	MSC	-	-	消火配管	○	-	衛生配管	-	○	25A以下配管	○	○		
	C-B2F-1	C-B2F-2	C-B2F-3	C-B2F-4	C-B2F-5	C-B2F-6	C-MB2F-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HSCW	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-A	○	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-B	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HWH	○	○	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MSC	-	○	-	○	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消火配管	○	○	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
衛生配管	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25A以下配管	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C-B1F-1	C-B1F-2	C-B1F-3	C-B1F-4	C-B1F-5	C-B1F-6-1	C-B1F-7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HSCW	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HWH	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消火配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
衛生配管	○*	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25A以下配管	-	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C-B1F-8	C-B1F-9	C-MB1F-1	C-1F-1	C-1F-2	C-1F-3	C-1F-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MWP	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HSCW	○	-	-	○	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HWH	○	-	-	○	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MSC	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消火配管	○	-	-	○	○	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
衛生配管	-	○	-	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25A以下配管	-	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C-2F-1	C-2F-2	C-2F-3	C-2F-4	C-2F-5	C-2F-1	C-2F-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MWP	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HSCW	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-A	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HECW-B	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
HWH	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
MSC	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消火配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
衛生配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25A以下配管	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C-2F-3	C-2F-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
MWP	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
HSCW	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
HECW-A	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
HECW-B	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
HWH	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
MSC	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
消火配管	○	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
衛生配管	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25A以下配管	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

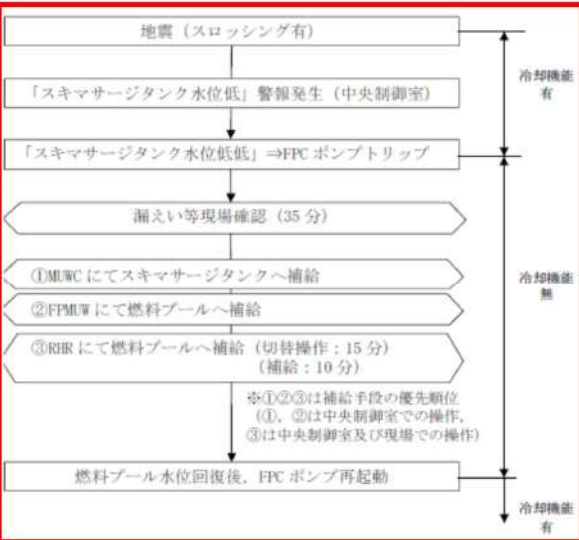
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料1（女川））

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
	<p>屋外（海水ポンプ室）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>SW-1F-1</th> <th>SW-1F-2</th> <th>SW-1F-3</th> <th>SW-1F-4</th> <th>SW-1F-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>FW</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>TCW</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>RSW-A</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>RSW-B</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>TSW</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>HPSW</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>25A以下配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無</p> <p>屋外（復水貯蔵タンク周り）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CST エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CRD</td> <td>○※1</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>○※1</td> </tr> <tr> <td>FPC</td> <td>○※1</td> </tr> <tr> <td>LCW</td> <td>○※1</td> </tr> <tr> <td>MUWC</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>25A以下配管</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無 ※1 溢水量はMUWC系に含めて算出</p> <p>屋外（軽油タンクエリア）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>LOT-1</th> <th>LOT-2</th> <th>LOT-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DGDO(A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>DGDO(B)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>DGDO(H)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>25A以下配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Rw-1F-2-1</th> <th>Rw-1F-2-2</th> <th>Rw-1F-2-3</th> <th>Rw-1F-2-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>HRH</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>25A以下配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】○：溢水源有 □：溢水源（想定破損除外） -：溢水源無</p>		SW-1F-1	SW-1F-2	SW-1F-3	SW-1F-4	SW-1F-5	CF	○	-	-	-	-	FW	○	○	○	○	○	TCW	○	-	○	-	-	RSW-A	-	○	-	-	-	RSW-B	-	-	-	-	○	TSW	-	-	○	-	-	HPSW	-	-	-	○	-	25A以下配管							CST エリア	CRD	○※1	HPCS	○※1	FPC	○※1	LCW	○※1	MUWC	○	25A以下配管			LOT-1	LOT-2	LOT-3	DGDO(A)	○	-	-	DGDO(B)	-	○	-	DGDO(H)	-	-	○	25A以下配管					Rw-1F-2-1	Rw-1F-2-2	Rw-1F-2-3	Rw-1F-2-4	HNCW	-	-	-	○	HRH	-	-	-	○	25A以下配管	-	-	-			
	SW-1F-1	SW-1F-2	SW-1F-3	SW-1F-4	SW-1F-5																																																																																																										
CF	○	-	-	-	-																																																																																																										
FW	○	○	○	○	○																																																																																																										
TCW	○	-	○	-	-																																																																																																										
RSW-A	-	○	-	-	-																																																																																																										
RSW-B	-	-	-	-	○																																																																																																										
TSW	-	-	○	-	-																																																																																																										
HPSW	-	-	-	○	-																																																																																																										
25A以下配管																																																																																																															
	CST エリア																																																																																																														
CRD	○※1																																																																																																														
HPCS	○※1																																																																																																														
FPC	○※1																																																																																																														
LCW	○※1																																																																																																														
MUWC	○																																																																																																														
25A以下配管																																																																																																															
	LOT-1	LOT-2	LOT-3																																																																																																												
DGDO(A)	○	-	-																																																																																																												
DGDO(B)	-	○	-																																																																																																												
DGDO(H)	-	-	○																																																																																																												
25A以下配管																																																																																																															
	Rw-1F-2-1	Rw-1F-2-2	Rw-1F-2-3	Rw-1F-2-4																																																																																																											
HNCW	-	-	-	○																																																																																																											
HRH	-	-	-	○																																																																																																											
25A以下配管	-	-	-																																																																																																												

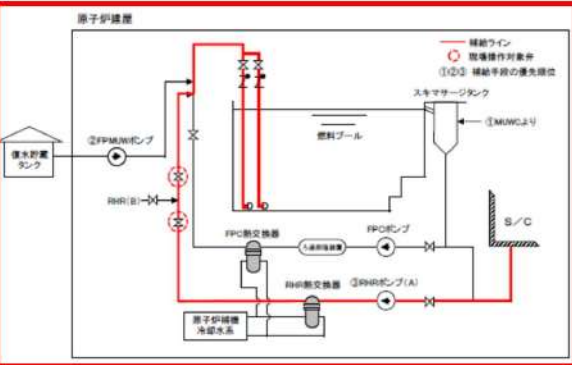
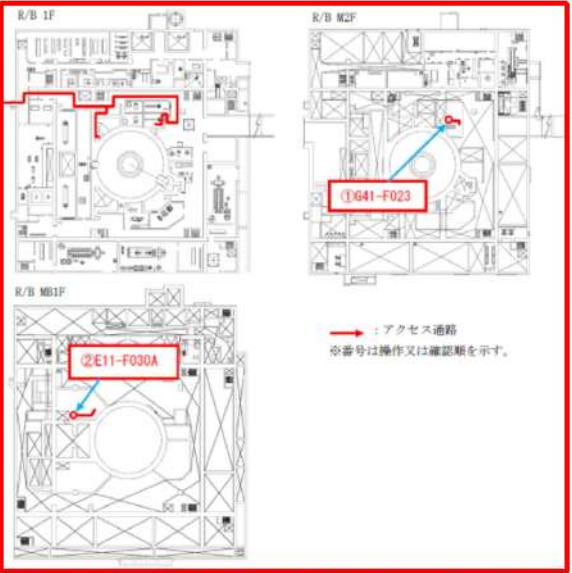
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">補足説明資料10</p> <p>スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されていることを確認しているが、別添1-8のスロッシング後の機能維持評価の補足として使用済燃料プール冷却機能・給水機能維持の系統切替時に必要となる現場操作の操作性について示す。</p> <p>1. 残留熱除去系による使用済燃料プールの給水・冷却のための現場操作</p> <p>地震起因のスロッシング影響により燃料プール冷却浄化系が一時的に機能喪失した場合、残留熱除去系に系統切替し、使用済燃料プールの給水・冷却機能を維持する必要がある。その際に現場での手動弁の操作が必要となる。スロッシングによる燃料プールの水位低下時の対応フローについて図1、残留熱除去系による使用済燃料プール給水・冷却の概要を図2、現場操作対象弁を表2及び表3に示す。</p> <p>(1) スロッシング後の系統切替時のアクセス通路における溢水影響</p> <p>原子炉建屋3階燃料取替床で発生した使用済燃料プールのスロッシングによる溢水水位は、カーブ高さを越えないことから、他区画に溢水伝播しない。系統切替時のアクセス通路については、図3、4に示すとおりであり、原子炉建屋3階燃料取替床での操作がないことから、系統切替時の現場へのアクセス性に影響はない。</p> <p>(2) 使用済燃料プールの温度上昇に対する時間余裕について</p> <p>地震に伴うスロッシングによる溢水量(41m³)を、使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態で、使用済燃料プールの冷却機能が喪失した場合、使用済燃料プールの水温が保安規定で定める水温(65℃)まで上昇する時間は、約5時間である。使用済燃料プール及びスキマサージタンクへ給水できる系統としては、復水補給水系(MUWC)及び燃料プール補給水系(FPMUW)もあるがここでは、残留熱除去系(RHR)への系統切替について記載する。</p> <p>系統切替により冷却機能を復旧させるまでの時間は、中央制御室において燃料プール冷却浄化系(FPC)ポンプトリップを確認</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊と大阪では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても、燃料ピットの水位がピット冷却に必要な水位を下回らないことから、使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。

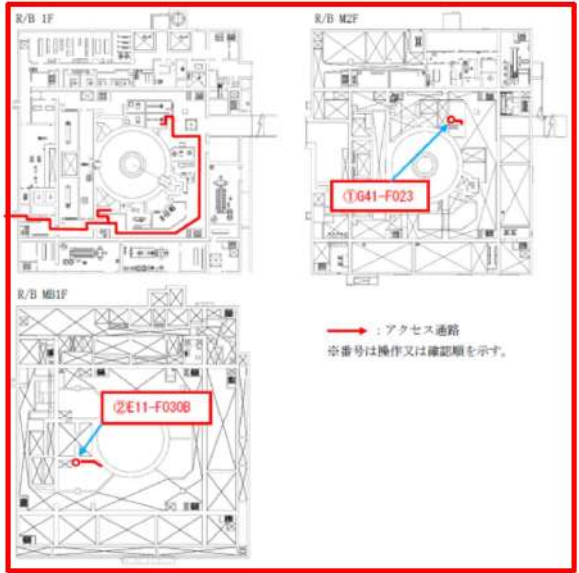
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
	<p>した後、約1時間（現場確認：35分、切替操作：15分、補給時間：10分）で対応可能である。使用済燃料プール冷却機能復旧時間について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 系統切替による冷却機能復旧時間について</p> <table border="1" data-bbox="696 341 1272 475"> <tr> <td>スロッシングによる溢水量 (m³)</td> <td colspan="2">41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RIRによる補給流量 (m³/h)</td> <td colspan="2">300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時間</td> <td>現場確認 (分)</td> <td>35</td> <td rowspan="3">合計 60分</td> </tr> <tr> <td>切替操作 (分)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>補給 (分)</td> <td>10</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">図1 燃料プール水位低下時の対応フロー</p>	スロッシングによる溢水量 (m ³)	41			RIRによる補給流量 (m ³ /h)	300			時間	現場確認 (分)	35	合計 60分	切替操作 (分)	15	補給 (分)	10		
スロッシングによる溢水量 (m ³)	41																		
RIRによる補給流量 (m ³ /h)	300																		
時間	現場確認 (分)	35	合計 60分																
	切替操作 (分)	15																	
	補給 (分)	10																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
	 <p data-bbox="703 555 1272 577">図2 残留熱除去系による使用済燃料プール給水・冷却 概要図</p> <p data-bbox="792 624 1182 646">表2 現場操作対象弁（残留熱除去系A系）</p> <table border="1" data-bbox="703 657 1272 775"> <thead> <tr> <th colspan="4">操作対象弁</th> </tr> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名</th> <th>設置場所</th> <th>防護区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E11-F030A</td> <td>R/R A系 FPC 供給連絡弁</td> <td>R/A MB1F R/R(A)バルブ室</td> <td>R-MB1F-1</td> </tr> <tr> <td>G41-F023</td> <td>FPC R/R 戻り連絡弁</td> <td>R/A 1F FPC 熱交換器上室</td> <td>R-M2F-3</td> </tr> </tbody> </table>  <p data-bbox="703 1409 1272 1465">図3 残留熱除去系A系による燃料プール給水の現場操作アクセス通路</p>	操作対象弁				弁番号	弁名	設置場所	防護区画	E11-F030A	R/R A系 FPC 供給連絡弁	R/A MB1F R/R(A)バルブ室	R-MB1F-1	G41-F023	FPC R/R 戻り連絡弁	R/A 1F FPC 熱交換器上室	R-M2F-3		
操作対象弁																			
弁番号	弁名	設置場所	防護区画																
E11-F030A	R/R A系 FPC 供給連絡弁	R/A MB1F R/R(A)バルブ室	R-MB1F-1																
G41-F023	FPC R/R 戻り連絡弁	R/A 1F FPC 熱交換器上室	R-M2F-3																

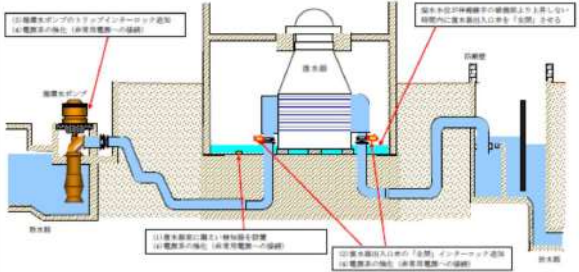
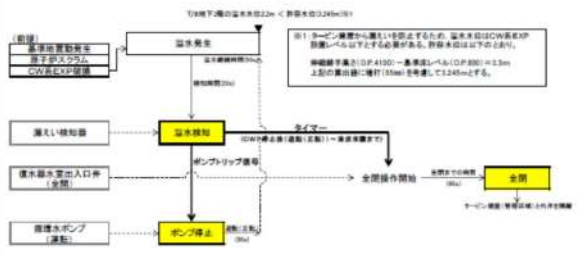
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
	<p style="text-align: center;">表3 現場操作対象弁（残留熱除去系B系）</p> <table border="1" data-bbox="696 209 1272 328"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">操作対象弁</th> </tr> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名</th> <th>設置場所</th> <th>防護区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E11-F030B</td> <td>RHR B系FPC供給連絡弁</td> <td>R/A MB1F RHR(B)バルブ室</td> <td>R-MB1F-3</td> </tr> <tr> <td>G41-F023</td> <td>FPC RHR 戻り連絡弁</td> <td>R/A 1F FPC 熱交換器上室</td> <td>R-M2F-3</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="text-align: center;">図4 残留熱除去系B系による燃料プール給水の現場操作アクセス通路</p>	操作対象弁				弁番号	弁名	設置場所	防護区画	E11-F030B	RHR B系FPC供給連絡弁	R/A MB1F RHR(B)バルブ室	R-MB1F-3	G41-F023	FPC RHR 戻り連絡弁	R/A 1F FPC 熱交換器上室	R-M2F-3		
操作対象弁																			
弁番号	弁名	設置場所	防護区画																
E11-F030B	RHR B系FPC供給連絡弁	R/A MB1F RHR(B)バルブ室	R-MB1F-3																
G41-F023	FPC RHR 戻り連絡弁	R/A 1F FPC 熱交換器上室	R-M2F-3																

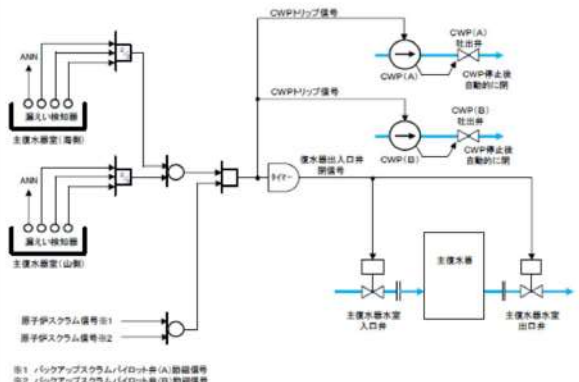
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">補足説明資料12</p> <p>循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について</p> <p>1. タービン建屋（管理区域）における地震時溢水評価について</p> <p>女川2号炉の管理区域内において、海水系配管が敷設されている建屋として該当するものは、タービン建屋のみであり、対象となる系統は循環水系の一系統である。循環水系配管がタービン建屋（管理区域）で破断した場合は、溢水量が増大する可能性があることから、対応が必要となる。（図1参照）</p> <p>（1）基準地震動が発生し、耐震B、Cクラス設備が機能喪失（耐震B、Cクラス設備が損傷し、保有水全量が瞬時に漏えい）</p> <p>（2）漏えいした流体（微量な放射性物質を含む）は、最地下階に貯留</p> <p>（3）循環水ポンプについては、耐震Cクラスであり、機能喪失するものと考えられるが、保守的に通常運転状態が継続されるものとして評価</p> <p>（4）循環水ポンプの運転継続を仮定した場合、最地下階で溢水水位が上昇</p>  <p>図1 タービン建屋（管理区域）における地震時溢水（イメージ）</p> <p>2. タービン建屋（管理区域）からの溢水防止対策の検討</p> <p>（1）運転員の手動操作による対応</p> <p>運転員の手動操作による対応が可能であるが、基準地震動発生直後の状況下（スクラム対応中の状況）において、確実に運転操作（弁の閉止操作が必要であり、CSを全閉保持（1分程度）する必要がある等）を実施することは困難と考えられることから、自動化（インターロック）による対応が必要と判断した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊と大阪では、地震発生時に期待して循環水ポンプの自動停止に期待せず、手動隔離によって循環水ポンプを停止するまでの時間をを用いて溢水量を算出し、溢水影響評価を実施している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 自動化（インターロック追加）による対応 循環水系に以下の対策を実施する。(図2参照)</p> <p>a. 復水器室に漏えい検知器を設置 b. 復水器出入口弁の「全閉」インターロック追加 c. 循環水ポンプのトリップインターロック追加 d. 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続）</p>  <p>図2 循環水系における対策内容</p> <p>3. 循環水系に追加するインターロックについて 追加するインターロックは以下のとおり設定する。(図3、4参照)</p> <p>(1) 基準地震動 S s 発生により、循環水配管（伸縮継手部）が破断し、溢水開始 (2) 溢水開始 20 秒後に復水器室で漏えいを検知し、循環水ポンプトリップ (3) 循環水ポンプトリップは、誤動作を防止する観点から、「原子炉スクラム信号」との and 条件を設定 (4) 循環水ポンプの遊転が停止した以降に全閉するように、漏えい検知の 120 秒後から、復水器出入口弁（全 8 弁）が開動作開始</p>  <p>図3 インターロックの概要</p>		

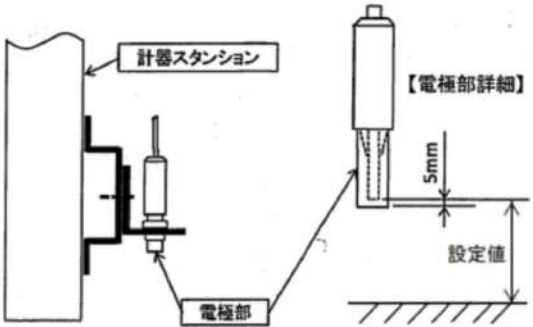
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
	 <p>図4 循環水配管溢水対策インターロックロジック概要</p> <p>4. 漏えい検知までの時間設定（20秒）について 循環水系からの漏えい発生20秒後におけるタービン建屋（管理区域）最地下階の浸水深から、漏えい検出器の設置高さを設定する。</p> <p>（1）評価に必要となる前提条件の整理 表1及び表2に漏えい検知までの時間算出に必要な諸条件を示す。</p> <p>表1 諸条件（ポンプ吐出流量）</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1133"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>吐出流量 (m³/min/台)</th> <th>設置台数</th> <th>流量 (m³/min)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環水ポンプ</td> <td>1662</td> <td>2</td> <td>3324</td> <td>循環水系配管（伸縮継手破損部）からの漏えい流量</td> </tr> <tr> <td>T/B床ドレンサンパポンプ</td> <td>0.17</td> <td>4^{※1}</td> <td>0.68</td> <td>床ドレンポンプが運転することを保守的に仮定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 タービン建屋高電導度ドレンサンパポンプ（2台）を含む</p> <p>表2 タービン建屋（管理区域）最地下階の床面積</p> <table border="1" data-bbox="696 1268 1272 1396"> <thead> <tr> <th>区画</th> <th>床面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水器エリア</td> <td>1621.5</td> </tr> <tr> <td>復水器エリア以外</td> <td>1140.4</td> </tr> <tr> <td>復水器廻りの掘込部</td> <td>840^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 復水器廻りの掘込部における貯留容量 (m³)</p>	項目	吐出流量 (m ³ /min/台)	設置台数	流量 (m ³ /min)	備考	循環水ポンプ	1662	2	3324	循環水系配管（伸縮継手破損部）からの漏えい流量	T/B床ドレンサンパポンプ	0.17	4 ^{※1}	0.68	床ドレンポンプが運転することを保守的に仮定	区画	床面積 (m ²)	復水器エリア	1621.5	復水器エリア以外	1140.4	復水器廻りの掘込部	840 ^{※1}		
項目	吐出流量 (m ³ /min/台)	設置台数	流量 (m ³ /min)	備考																						
循環水ポンプ	1662	2	3324	循環水系配管（伸縮継手破損部）からの漏えい流量																						
T/B床ドレンサンパポンプ	0.17	4 ^{※1}	0.68	床ドレンポンプが運転することを保守的に仮定																						
区画	床面積 (m ²)																									
復水器エリア	1621.5																									
復水器エリア以外	1140.4																									
復水器廻りの掘込部	840 ^{※1}																									

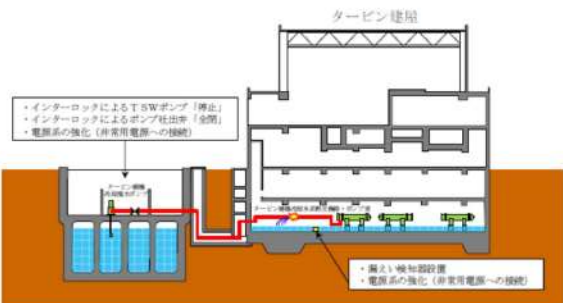
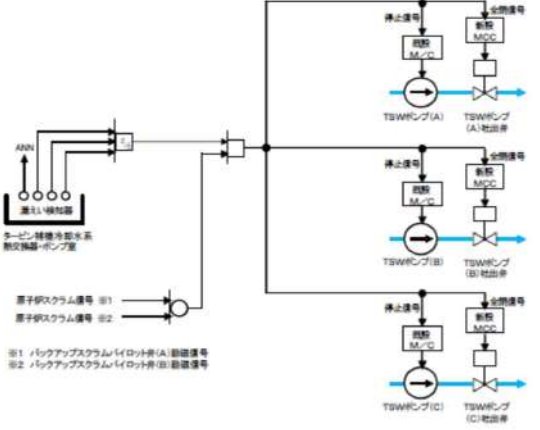
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 溢水発生 20 秒後の浸水深</p> <p>a. 復水器エリアに貯留を仮定した場合</p> <p>復水器エリアは床上 130mm のカーブにより囲われており、循環水系配管（伸縮継手破損部）からの漏えい流量は、建屋内配水系の排水容量（ここでは保守的に建屋内排水系による排水を考慮する）より大きいため、復水器エリアにて床上 130mm まで貯留された後、最地下階全体へ浸水していくものと考えられる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>20秒後の浸水高さ(m)</p> $= \left[\left(\text{漏えい流量}(\text{m}^3/\text{min}) - \text{排水流量}(\text{m}^3/\text{min}) \right) \times \frac{20(\text{s})}{60(\text{s})} - \text{復水器廻りの掘込部貯留容量}(\text{m}^3) \right] + \text{復水器エリアの滞留面積}(\text{m}^2)$ $= \left[(3324 - 0.68) \times \frac{1}{3} - 840 \right] + 1621.5$ <p>= 0.16(m) (小数第3位切り捨て)</p> </div> <p>b. 最地下階（全域）に貯留されることを仮定した場合</p> <p>復水器エリアのカーブを考慮せず、循環水系配管（伸縮継手破損部）からの漏えい水が最地下階全域に浸水すると仮定した場合でも、96mm の浸水深となる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>20秒後の浸水高さ(m)</p> $= \left[\left(\text{漏えい流量}(\text{m}^3/\text{min}) - \text{排水流量}(\text{m}^3/\text{min}) \right) \times \frac{20(\text{s})}{60(\text{s})} - \text{復水器廻りの掘込部貯留容量}(\text{m}^3) \right] + \text{タービン建屋（管理区域）最地下階の滞留面積}(\text{m}^2)$ $= \left[(3324 - 0.68) \times \frac{1}{3} - 840 \right] + (1621.5 + 1140.4)$ <p>= 0.096(m) (小数第4位切り捨て)</p> </div> <p>(3) 漏えい検知器の設定高さについて</p> <p>溢水発生 20 秒後の浸水深から、漏えい検知器は、タービン建屋（管理区域）最地下階の基準床面 (O.P. +800) から 90mm 以下の高さで漏えい検知が可能のように設置する。</p> <p>具体的には、漏えい検知器の精度（今回設置する電極式レベルスイッチでは、±10mm）を考慮し、タービン建屋（管理区域）最地下階の基準床面 (O.P. +800) から 80mm 以下の高さに設置する。図 5 に漏えい検知器概略図を示す。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="871 552 1099 574">図5 漏えい検知器概略図</p> <p data-bbox="696 620 1279 675">5. タービン建屋（非管理区域）における地震時溢水評価について</p> <p data-bbox="696 687 1279 948">女川2号炉のタービン補機冷却海水系は低耐震クラスであり、タービン建屋（非管理区域）の最地下階（タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室）に敷設されている。基準地震動S_sによりタービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室のタービン補機冷却海水系配管破断後、タービン補機冷却海水ポンプが運転状態を維持した場合、溢水量が増大し、タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室で溢水水位が上昇する可能性があることから、対応が必要となる。</p> <p data-bbox="696 960 1279 983">6. タービン建屋（非管理区域）からの溢水防止対策の検討</p> <p data-bbox="696 995 1279 1018">(1) 運転員の手動操作による対応</p> <p data-bbox="696 1031 1279 1187">運転員の手動操作によるポンプ停止（吐出弁は連動して「閉」動作）対応が可能であるが、基準地震動S_s発生直後の状況下（スクラム対応中の状況）において、確実に運転操作を実施することは困難と考えられることから、自動化（インターロック）による対応が必要と判断した。</p> <p data-bbox="696 1235 1279 1257">(2) 自動化（インターロック追加）による対応</p> <p data-bbox="696 1270 1279 1292">タービン補機冷却海水系に以下の対策を実施する。（図6参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="696 1305 1279 1359">a. タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室に漏えい検知器を設置 <li data-bbox="696 1372 1279 1394">b. タービン補機冷却海水ポンプのトリップインターロック追加 <li data-bbox="696 1407 1279 1461">c. タービン補機冷却海水ポンプ吐出弁の「全閉」インターロック追加 <li data-bbox="696 1474 1279 1497">d. 上記に関する電源系の強化（非常用電源への接続） 		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図6 タービン補機冷却海水系における対策内容</p> <p>7. タービン補機冷却海水系に追加するインターロックについて追加するインターロックは以下のとおり設定する。(図7参照)</p> <p>(1) 基準地震動Ss発生により、タービン補機冷却海水系配管が破断し、溢水開始</p> <p>(2) タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室で漏えいを検知し、タービン補機冷却海水ポンプトリップ及びタービン補機冷却海水ポンプ吐出弁の自動「全閉」</p> <p>(3) タービン補機冷却海水ポンプトリップは、誤動作を防止する観点から、「原子炉スクラム信号」とのand条件を設定</p>  <p>図7 タービン補機冷却海水系配管溢水対策インターロックロジック概要</p>		

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
	<p>8. 溢水発生からタービン補機冷却海水ポンプの隔離までの時間について</p> <p>基準地震動Ssにより、タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室のタービン補機冷却海水系配管が破断し、漏えい検出器で溢水を検知後、タービン補機冷却海水ポンプ停止と吐出弁全閉による隔離が完了するまでの時間を確認した。</p> <p>(1) 漏えい検知器の設定値について</p> <p>漏えい検知器は、循環水系と同様に、タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室の基準床面（O.P.-200）から90mm以下の高さで漏えい検知が可能のように設置する。</p> <p>具体的には、漏えい検知器の精度（今回設置する電極式レベルスイッチでは、±10mm）を考慮し、タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室の基準床面から80mm以下の高さに設置する。</p> <p>(2) 評価に必要となる前提条件の整理</p> <p>表3及び表4に漏えい検知までの時間算出に必要なとなる諸条件を示す。</p> <p style="text-align: center;">表3 諸条件（ポンプ吐出流量）</p> <table border="1" data-bbox="698 871 1267 1072"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>吐出流量 (m³/min/台)</th> <th>設置 台数</th> <th>流量 (m³/min)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却 海水ポンプ</td> <td>37.5</td> <td>2</td> <td>75</td> <td>設置台数はタービン補機 冷却海水ポンプ運転台数 (プラント運転状態)</td> </tr> <tr> <td>タービン補機冷却 水系熱交換器室海 水ストームドレン サンポンプ</td> <td>0.17</td> <td>1</td> <td>0.17</td> <td>床ドレンポンプが運転す ることを保守的に仮定</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4 床面積</p> <table border="1" data-bbox="725 1165 1240 1254"> <thead> <tr> <th>区画</th> <th>床面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却水系熱交換 器・ポンプ室</td> <td>410.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 漏えい検知までの時間</p> <p>タービン補機冷却海水配管からの漏えい水により、漏えい検知器の設定高さ（床上+90mm）で検知するまでに必要な時間は次のとおり。</p> <p>a. 漏えい検知に必要な溢水量</p> <p style="text-align: center;">床面積×漏えい検知器の設定高さ=410.9×90÷1000</p>	項目	吐出流量 (m ³ /min/台)	設置 台数	流量 (m ³ /min)	備考	タービン補機冷却 海水ポンプ	37.5	2	75	設置台数はタービン補機 冷却海水ポンプ運転台数 (プラント運転状態)	タービン補機冷却 水系熱交換器室海 水ストームドレン サンポンプ	0.17	1	0.17	床ドレンポンプが運転す ることを保守的に仮定	区画	床面積 (m ²)	タービン補機冷却水系熱交換 器・ポンプ室	410.9		
項目	吐出流量 (m ³ /min/台)	設置 台数	流量 (m ³ /min)	備考																		
タービン補機冷却 海水ポンプ	37.5	2	75	設置台数はタービン補機 冷却海水ポンプ運転台数 (プラント運転状態)																		
タービン補機冷却 水系熱交換器室海 水ストームドレン サンポンプ	0.17	1	0.17	床ドレンポンプが運転す ることを保守的に仮定																		
区画	床面積 (m ²)																					
タービン補機冷却水系熱交換 器・ポンプ室	410.9																					

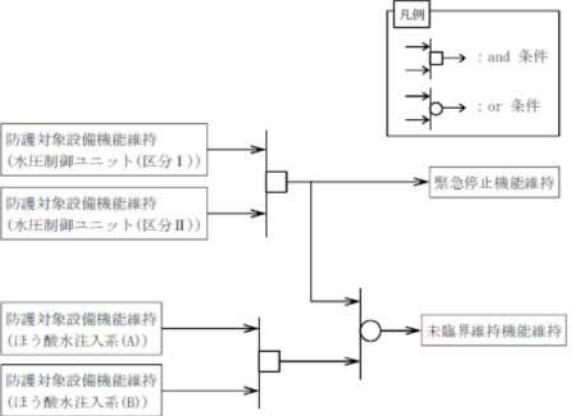
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>= 37.0 (m³)</p> <p>b. 漏えい検知までの時間</p> <p>漏えい検知に必要な溢水量 ÷ (漏えい流量 (m³/min) - 排水流量 (m³/min))</p> <p>= 37.0 ÷ (75-0.17) = 0.495 (min) = 29.7 (秒)</p> <p>= 30 (秒) (小数第一位切り上げ)</p> <p>c. 溢水発生からタービン補機冷却海水ポンプ隔離（ポンプ停止、吐出弁全閉）までの時間</p> <p>タービン補機冷却海水ポンプ及び吐出弁は、漏えい検知後にタービン補機冷却海水ポンプ隔離動作（ポンプ停止、吐出弁閉）を開始する。ポンプは30秒後に停止、吐出弁もほぼ同時に30秒後に全閉となる。</p> <p>漏えい検知までの時間 + ポンプ停止及び吐出弁「全閉」時間</p> <p>= 30 + 30</p> <p>= 60 (秒)</p> <p>よって、タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室内においてタービン補機冷却海水系配管破断により溢水を検知した場合、溢水発生から60秒でタービン補機冷却海水ポンプの隔離が完了する。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p style="text-align: right;">補足説明資料14</p> <p>内部溢水影響評価における判定表</p> <p>1. はじめに 本資料は、内部溢水影響評価における防護対象設備がその安全機能を喪失しないことを確認するために用いた判定表についてまとめたものである。</p> <p>2. 安全機能整理表 別添1-3「防護対象設備の設定」に基づき、内部溢水影響評価における要求事項を表1の安全機能整理表に整理した。 内部溢水影響評価の判定としては、3項から13項の判定基準により、防護対象設備の機能が維持されていることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表1 安全機能整理表(1/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 692 1270 874"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">未臨界維持機能 (IKU又はSLC)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御ユニット</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">ほう酸水注入系</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">A系(I系)</th> <th style="text-align: center;">B系(II系)</th> <th style="text-align: center;">A系</th> <th style="text-align: center;">B系</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 緊急停止機能 【判定基準】 水圧制御ユニットの機能が維持されていること。</p> <p>4. 未臨界維持機能 【判定基準】 水圧制御ユニットの機能又はほう酸水注入系の機能が維持されていること。</p>	原子炉施設				緊急停止機能		未臨界維持機能 (IKU又はSLC)		○		○		水圧制御ユニット		ほう酸水注入系		○		○		A系(I系)	B系(II系)	A系	B系	○	○	○	○		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は、原子炉の高温停止及び低温停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するために必要な設備及び使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な系統について整理し、防護対象設備を選定した。 このため、内部溢水影響評価における防護対象設備がその安全機能を喪失しないことを確認するための判定表は用いていない。(補足説明資料4)</p>
原子炉施設																															
緊急停止機能		未臨界維持機能 (IKU又はSLC)																													
○		○																													
水圧制御ユニット		ほう酸水注入系																													
○		○																													
A系(I系)	B系(II系)	A系	B系																												
○	○	○	○																												

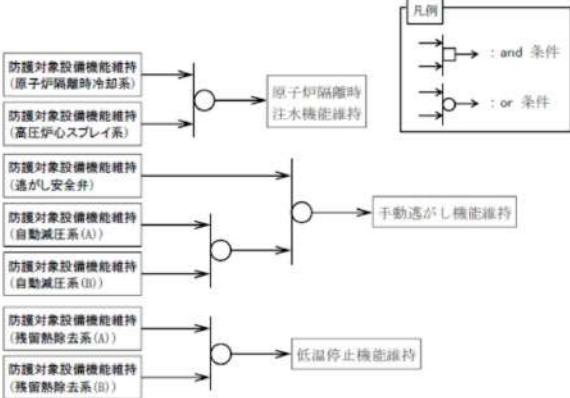
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	 <p style="text-align: center;">表1 安全機能整理表(2/5)</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1272 938"> <thead> <tr> <th colspan="7">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="7">高温停止機能（2区分以上）</th> </tr> <tr> <th colspan="7">○</th> </tr> <tr> <th colspan="3">区分Ⅰ ADS(A) and (RDR(A) or LPCS)</th> <th colspan="3">区分Ⅱ ADS(B) and (RDR(B) or RDR(C))</th> <th>区分Ⅲ HPCS</th> </tr> <tr> <th colspan="7">○</th> </tr> <tr> <th>自動 減圧系</th> <th>残留熱 除去系</th> <th>低圧炉心 スプレイ系</th> <th>自動 減圧系</th> <th colspan="2">残留熱除去系</th> <th>高圧炉心 スプレイ系</th> </tr> <tr> <td>A系</td> <td>A系</td> <td>A系</td> <td>B系</td> <td>B系</td> <td>C系</td> <td>H系</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </thead> </table> <p>5. 高温停止機能 【判定基準】 区分Ⅰ～Ⅲの高温停止機能のうち2区分以上の機能が維持されていること。 (区分Ⅰ) 自動減圧系(A)の機能が維持されており、かつ残留熱除去系(低圧注水モード)(A)又は低圧炉心スプレイ系の機能が維持されていること。 (区分Ⅱ) 自動減圧系(B)の機能が維持されており、かつ残留熱除去系(低圧注水モード)(B)又は(C)の機能が維持されていること。 (区分Ⅲ) 高圧炉心スプレイ系の機能が維持されていること。</p>	原子炉施設							高温停止機能（2区分以上）							○							区分Ⅰ ADS(A) and (RDR(A) or LPCS)			区分Ⅱ ADS(B) and (RDR(B) or RDR(C))			区分Ⅲ HPCS	○							自動 減圧系	残留熱 除去系	低圧炉心 スプレイ系	自動 減圧系	残留熱除去系		高圧炉心 スプレイ系	A系	A系	A系	B系	B系	C系	H系	○	○	○	○	○	○	○		
原子炉施設																																																											
高温停止機能（2区分以上）																																																											
○																																																											
区分Ⅰ ADS(A) and (RDR(A) or LPCS)			区分Ⅱ ADS(B) and (RDR(B) or RDR(C))			区分Ⅲ HPCS																																																					
○																																																											
自動 減圧系	残留熱 除去系	低圧炉心 スプレイ系	自動 減圧系	残留熱除去系		高圧炉心 スプレイ系																																																					
A系	A系	A系	B系	B系	C系	H系																																																					
○	○	○	○	○	○	○																																																					

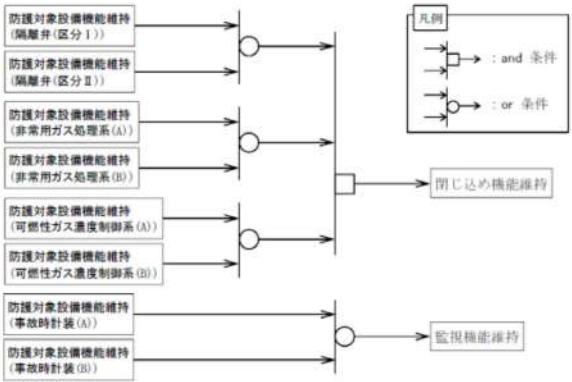
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p style="text-align: center;">表1 安全機能整理表(3/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="7">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">原子炉隔離時注水機能</th> <th colspan="3">手動逃がし機能</th> <th colspan="2">低温停止機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">○</td> <td colspan="3">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>逃がし安全弁</td> <td colspan="2">自動減圧系</td> <td colspan="2">残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>H系</td> <td>-</td> <td>A系</td> <td>B系</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 原子炉隔離時注水機能 【判定基準】 原子炉隔離時冷却系又は高圧炉心スプレイ系の機能が維持されていること。</p> <p>7. 手動逃がし機能 【判定基準】 逃がし安全弁機能又は、自動減圧系(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p> <p>8. 低温停止機能 【判定基準】 残留熱除去系（停止時冷却モード）(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p>	原子炉施設							原子炉隔離時注水機能		手動逃がし機能			低温停止機能		○		○			○		原子炉隔離時冷却系	高圧炉心スプレイ系	逃がし安全弁	自動減圧系		残留熱除去系		○	○	○	○		○		-	H系	-	A系	B系	A系	B系	○	○	○	○	○	○	○		
原子炉施設																																																				
原子炉隔離時注水機能		手動逃がし機能			低温停止機能																																															
○		○			○																																															
原子炉隔離時冷却系	高圧炉心スプレイ系	逃がし安全弁	自動減圧系		残留熱除去系																																															
○	○	○	○		○																																															
-	H系	-	A系	B系	A系	B系																																														
○	○	○	○	○	○	○																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	 <p style="text-align: center;">表1 安全機能整理表(4/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 694 1265 869"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="6">閉じ込め機能</th> <th colspan="2">監視機能</th> </tr> <tr> <th colspan="8">○</th> </tr> <tr> <th colspan="2">隔離弁機能</th> <th colspan="2">非常用ガス処理系</th> <th colspan="2">可燃性ガス濃度制御系</th> <th colspan="2">事故時計装系</th> </tr> <tr> <th colspan="2">○</th> <th colspan="2">○</th> <th colspan="2">○</th> <th colspan="2">○</th> </tr> <tr> <th>A系(I系)</th> <th>B系(II系)</th> <th>A系</th> <th>B系</th> <th>A系</th> <th>B系</th> <th>A系</th> <th>B系</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </thead> </table> <p>9. 閉じ込め機能 【判定基準】 下記に示すすべての機能が維持されていること。 (隔離弁機能) 区分Ⅰ又は区分Ⅱの隔離弁機能が維持されていること。 (非常用ガス処理系) 非常用ガス処理系(A)又は(B)の機能が維持されていること。 (可燃性ガス濃度制御系) 可燃性ガス濃度制御系(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p> <p>10. 監視機能 【判定基準】 A系又はB系の事故時計装系の機能が維持されていること。</p>	原子炉施設								閉じ込め機能						監視機能		○								隔離弁機能		非常用ガス処理系		可燃性ガス濃度制御系		事故時計装系		○		○		○		○		A系(I系)	B系(II系)	A系	B系	A系	B系	A系	B系	○	○	○	○	○	○	○	○		
原子炉施設																																																											
閉じ込め機能						監視機能																																																					
○																																																											
隔離弁機能		非常用ガス処理系		可燃性ガス濃度制御系		事故時計装系																																																					
○		○		○		○																																																					
A系(I系)	B系(II系)	A系	B系	A系	B系	A系	B系																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	 <p style="text-align: center;">表1 安全機能整理表(5/5)</p> <table border="1" data-bbox="696 667 1265 865"> <thead> <tr> <th colspan="8">使用済燃料プールの冷却機能</th> <th colspan="2">中央制御室</th> </tr> <tr> <th colspan="4">冷却機能</th> <th colspan="4">給水機能</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">○</td> <td colspan="4">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料プール冷却浄化系</td> <td colspan="2">残留熱除去系</td> <td colspan="2">燃料プール補給水系</td> <td colspan="2">残留熱除去系</td> <td colspan="2">中央制御室換気空調系</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>A系</td> <td>B系</td> <td>A系</td> <td>B系</td> <td>-</td> <td>A系</td> <td>B系</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>11. 使用済燃料プールの冷却機能 【判定基準】 燃料プール冷却浄化系(A)又は(B), 又は残留熱除去系(燃料プール水の冷却)(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p> <p>12. 使用済燃料プールの給水機能 【判定基準】 燃料プール補給水系, 又は残留熱除去系(燃料プール水の補給)(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p> <p>13. 中央制御室 【判定基準】 中央制御室換気空調系(A)又は(B)の機能が維持されていること。</p>	使用済燃料プールの冷却機能								中央制御室		冷却機能				給水機能						○				○				○		燃料プール冷却浄化系		残留熱除去系		燃料プール補給水系		残留熱除去系		中央制御室換気空調系		○		○		○		○		○		A系	B系	A系	B系	-	A系	B系	A系	B系	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
使用済燃料プールの冷却機能								中央制御室																																																															
冷却機能				給水機能																																																																			
○				○				○																																																															
燃料プール冷却浄化系		残留熱除去系		燃料プール補給水系		残留熱除去系		中央制御室換気空調系																																																															
○		○		○		○		○																																																															
A系	B系	A系	B系	-	A系	B系	A系	B系																																																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">補足説明資料18</p> <p>配管の耐震評価の考え方</p> <p>配管の耐震設計については、日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針『JEAG4601』等に基づき、一次応力評価、一次＋二次応力評価、疲労評価を実施している。</p> <p>一方、地震荷重に対する配管の破損形態と設計限界に関しては、これまでに様々な試験や研究等が実施されており、以下のようない知見が得られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管の地震荷重による破損形態は、ラチェットを伴う低サイクル疲労であり、塑性崩壊は起きなかった。 ・ラチェットを伴う低サイクル疲労による破損寿命は、使用材料の設計疲労線図に対して余裕がある。 ・配管に設計許容限界を超える地震荷重が負荷された場合でも、進行性過大変形が発生しない。 ・疲労に対する耐震設計上の制限を設けることにより、配管の変形を塑性崩壊が起きないレベルに抑えることが可能であり、崩壊防止のための一次応力制限は不要である。 <p>（詳細は別紙（参考文献抜粋）参照）</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において着目する地震起因による耐震B、Cクラス配管から溢水が発生する損傷モードは、配管にき裂若しくはそれ以上の損傷が生じる状態であり、上記知見によれば、低サイクルラチェット疲労に起因するものである。</p> <p>したがって、今回の耐震B、Cクラス配管の耐震評価については、溢水防止の観点から、疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用し、配管のパウンダリ機能が確保されることを確認する。</p> <p>参考文献：原子力発電所耐震設計技術規定（JEAC4601-2008、日本電気協会）</p>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">別紙</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">参考資料 4.4 地震荷重を受ける管の許容応力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内の研究成果 地震動によって配管に発生する実質的な応力状態は、配管の縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 JEAC 4601-1984の許容応力は、従来の縦断断面に対して余裕が大きい。 1984年 AEDC の縦断許容応力 </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">JEAC 4601-2008の許容基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管の縦断断面は、配管の縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 1984年 AEDC の縦断許容応力 </div> </div> <p style="text-align: center;">許容基準見直しの際の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震動によって配管に発生する実質的な応力状態は、配管の縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 地震動の初期応力状態も、配管の縦断断面及び縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 <p style="text-align: center;">検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震動の初期応力状態は、配管の縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 地震動の初期応力状態は、配管の縦断断面は、ラチネットを伴う低サイクル疲労である。 </div>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAC等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

図1 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図2 配管要素試験 (原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋)</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAC等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

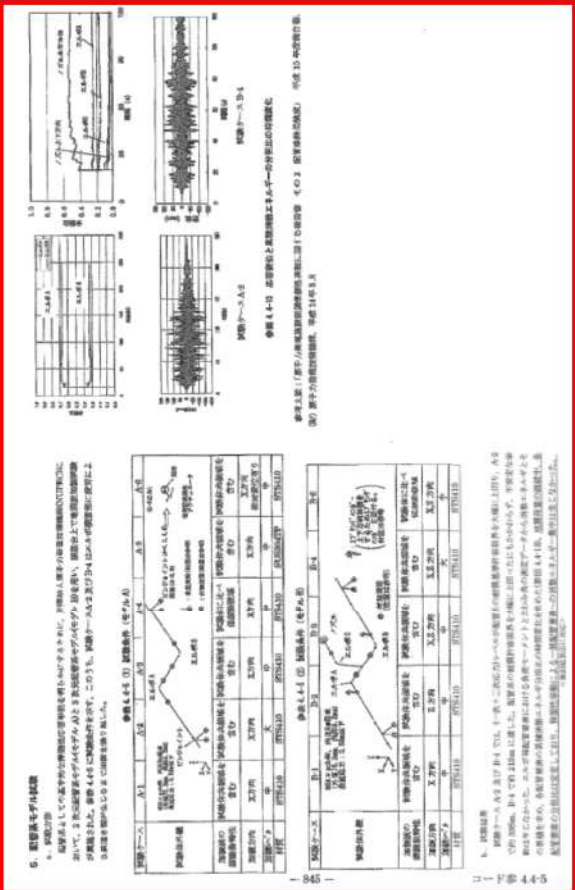
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図3 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEA9等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図4 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

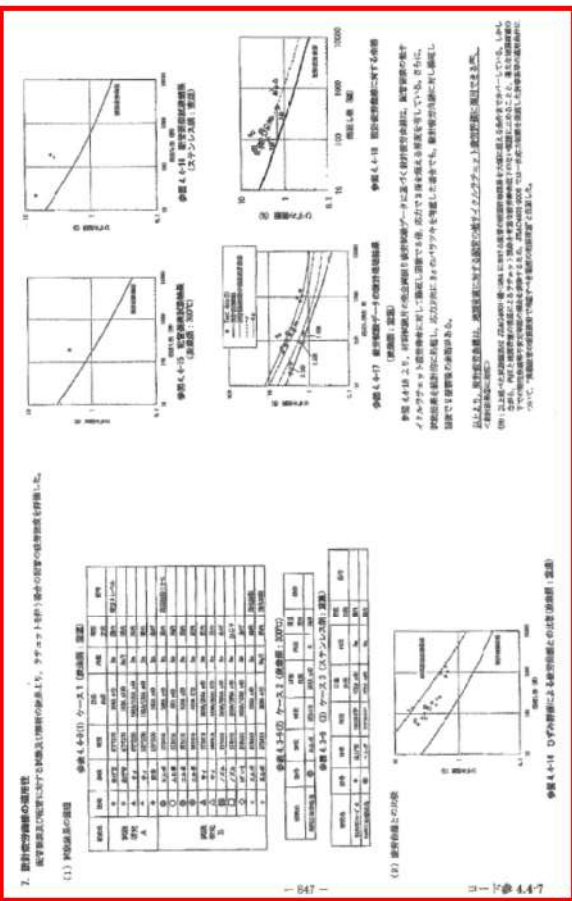
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図5 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

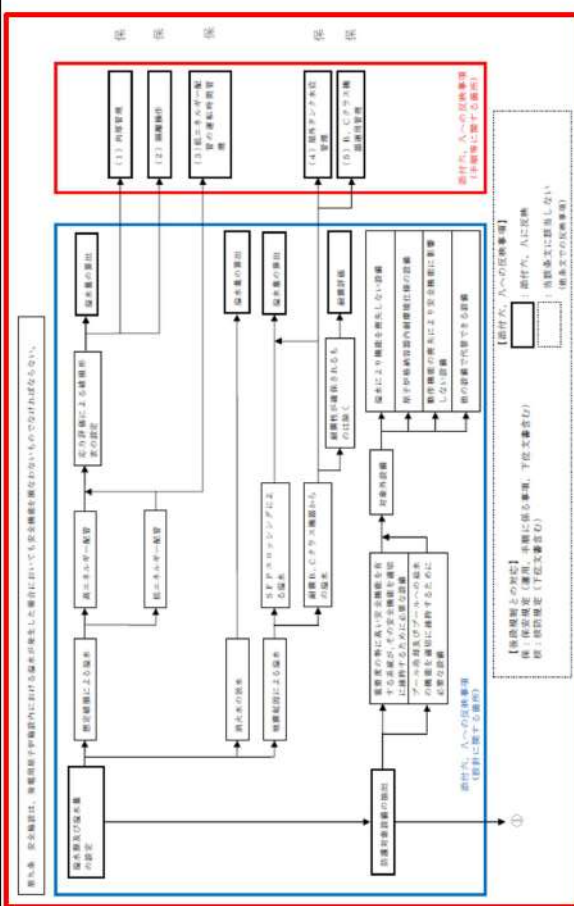
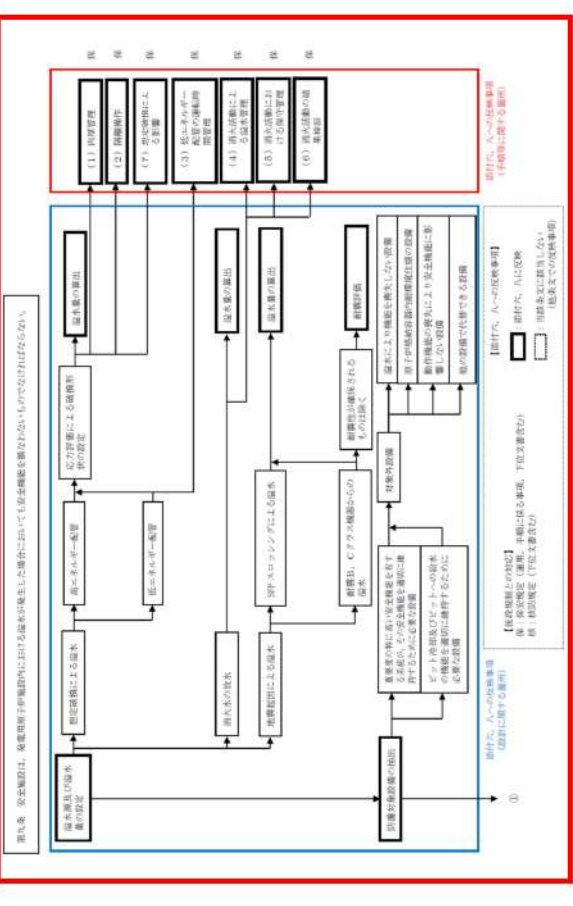
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図6 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図7 配管要素試験（原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008より抜粋）</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様の「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用することから、女川の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>別添資料2 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p>  <p>①</p>	<p>別添資料2 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p>  <p>①</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 運用の相違 女川と泊の運用の相違については、比較表本文「1.7.9 手順等」で明確にする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【赤字】：設計方針の相違 【青字】：記載方針の相違 【緑字】：実質的な相違なし</p>	<p>【赤字】：設計方針の相違 【青字】：記載方針の相違 【緑字】：実質的な相違なし</p>	<p>【女川】 運用の相違 女川と泊の運用の相違については、比較表本文「1.7.9 手順等」で明確にする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図2</p>	<p>図3</p>	<p>【女川】 運用の相違 女川と泊の運用の相違については、比較表本文「1.7.9.手順等」で明確にする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>表1 運用, 手順にかかわる対策等 (設計基準) (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="831 252 1122 1361"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(10) 基本手順</td> <td>運用・手順</td> <td>溢水発生後の対応区画等での基本作業手順を定める</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>(保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(11) 小気物の対応手順</td> <td>運用・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第九条 溢水による損傷の防止</td> <td>運用・点検</td> <td>基本設備が全故障に対する消火水の影響を最小限にとどめるため、消火活動における運用及び保護事項を定める</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>(消防職員等による体制等)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(12) RFRによるSFP冷却、給水機操作</td> <td>運用・点検</td> <td>運用及び保護事項は関係する教育を実施する</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>燃料プールの冷却停止時、燃料プール温度が異常高くなった場合、換気設備故障による使用済燃料プールの冷却・排水操作手順を定める</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体制</td> <td>(運転員による保護操作)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>教育・訓練</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	(10) 基本手順	運用・手順	溢水発生後の対応区画等での基本作業手順を定める	体制	(保全担当箇所による運用管理)	(11) 小気物の対応手順	運用・点検	—	教育・訓練	—	第九条 溢水による損傷の防止	運用・点検	基本設備が全故障に対する消火水の影響を最小限にとどめるため、消火活動における運用及び保護事項を定める	体制	(消防職員等による体制等)	(12) RFRによるSFP冷却、給水機操作	運用・点検	運用及び保護事項は関係する教育を実施する	教育・訓練	燃料プールの冷却停止時、燃料プール温度が異常高くなった場合、換気設備故障による使用済燃料プールの冷却・排水操作手順を定める		運用・手順	—		体制	(運転員による保護操作)		教育・訓練	—	<p>表1 運用, 手順にかかわる対策等 (設計基準) (2/4)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 1198"> <thead> <tr> <th>設置済基準 対象条文</th> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第九条 溢水による損傷の防止</td> <td rowspan="2">(6) 雨水活動の始末検証</td> <td>運用・手順</td> <td>放水後の放水栓の内部溢水対策に係る貸出仕について検証を行う</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>(保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(7) 想定範囲による影響</td> <td rowspan="2">教育・訓練</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(8) 機能維持</td> <td rowspan="2">運用・手順</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(9) 放水タンクの水位管理</td> <td rowspan="2">教育・訓練</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(10) 溢水評価の維持管理</td> <td rowspan="2">運用・手順</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>運用・点検</td> <td>内部溢水評価で用いる放水タンクの水量を管理する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>体制</td> <td>(運転員、保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>教育・訓練</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>運用・手順</td> <td>溢水防護区画において、各種対策設備の追加、質機材の対応等により評価条件としていたる高放射性物質の漏洩及び汚染に迅速に対応する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>体制</td> <td>(運転員による運転時間管理)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>教育・訓練</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置済基準 対象条文	対象項目	区分	運用対策等	第九条 溢水による損傷の防止	(6) 雨水活動の始末検証	運用・手順	放水後の放水栓の内部溢水対策に係る貸出仕について検証を行う	体制	(保全担当箇所による運用管理)	(7) 想定範囲による影響	教育・訓練	—	—	—	—	(8) 機能維持	運用・手順	—	—	—	—	(9) 放水タンクの水位管理	教育・訓練	—	—	—	—	(10) 溢水評価の維持管理	運用・手順	—	—	—	—			運用・点検	内部溢水評価で用いる放水タンクの水量を管理する			体制	(運転員、保全担当箇所による運用管理)			教育・訓練	—			運用・手順	溢水防護区画において、各種対策設備の追加、質機材の対応等により評価条件としていたる高放射性物質の漏洩及び汚染に迅速に対応する			体制	(運転員による運転時間管理)			教育・訓練	—	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> 【女川】 <u>運用の相違</u> 女川と泊の運用の相違については、比較表本文「1.7.9 手順等」で明確にする。</p>
対象項目	区分	運用対策等																																																																																											
(10) 基本手順	運用・手順	溢水発生後の対応区画等での基本作業手順を定める																																																																																											
	体制	(保全担当箇所による運用管理)																																																																																											
(11) 小気物の対応手順	運用・点検	—																																																																																											
	教育・訓練	—																																																																																											
第九条 溢水による損傷の防止	運用・点検	基本設備が全故障に対する消火水の影響を最小限にとどめるため、消火活動における運用及び保護事項を定める																																																																																											
	体制	(消防職員等による体制等)																																																																																											
(12) RFRによるSFP冷却、給水機操作	運用・点検	運用及び保護事項は関係する教育を実施する																																																																																											
	教育・訓練	燃料プールの冷却停止時、燃料プール温度が異常高くなった場合、換気設備故障による使用済燃料プールの冷却・排水操作手順を定める																																																																																											
	運用・手順	—																																																																																											
	体制	(運転員による保護操作)																																																																																											
	教育・訓練	—																																																																																											
設置済基準 対象条文	対象項目	区分	運用対策等																																																																																										
第九条 溢水による損傷の防止	(6) 雨水活動の始末検証	運用・手順	放水後の放水栓の内部溢水対策に係る貸出仕について検証を行う																																																																																										
		体制	(保全担当箇所による運用管理)																																																																																										
(7) 想定範囲による影響	教育・訓練	—	—																																																																																										
		—	—																																																																																										
(8) 機能維持	運用・手順	—	—																																																																																										
		—	—																																																																																										
(9) 放水タンクの水位管理	教育・訓練	—	—																																																																																										
		—	—																																																																																										
(10) 溢水評価の維持管理	運用・手順	—	—																																																																																										
		—	—																																																																																										
		運用・点検	内部溢水評価で用いる放水タンクの水量を管理する																																																																																										
		体制	(運転員、保全担当箇所による運用管理)																																																																																										
		教育・訓練	—																																																																																										
		運用・手順	溢水防護区画において、各種対策設備の追加、質機材の対応等により評価条件としていたる高放射性物質の漏洩及び汚染に迅速に対応する																																																																																										
		体制	(運転員による運転時間管理)																																																																																										
		教育・訓練	—																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
		<p style="text-align: center;">表1 運用、手順にかかわる対策等（設計基準）(3/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">設置許可基準 対象本文</th> <th style="width: 15%;">対象項目</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 55%;">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">第9条 溢水による 損傷の防止</td> <td rowspan="3">(11) 排水設備 図への対応</td> <td>運用・手順</td> <td>排水を期待する箇所からの排水を排出する要因を列し、それを防止するための運用を改善する (運転員、保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(12) 部分的な状 態変化の 運用管理</td> <td>運用・手順</td> <td>溢水影響評価上設定したアラート状態の一次的な変更時においても、防護対象設備の安全機能への影響がないような運用とする (運転員、保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(13) 水密層の運 用管理</td> <td>運用・手順</td> <td>水密層の適切な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める (運転員、保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(14) 排水手順</td> <td>運用・手順</td> <td>溢水発生時の滞留設備等での排水作業手順を定める (保全担当箇所による運用管理)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(15) 水密層の貯 水手順（溢 水防護対象 設備への配 慮）</td> <td>運用・手順</td> <td>溢水防護対象設備に対する雨水の影響を最小限に止めるため、排水活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「防災防護計画」に定める (運転員等による体罰等)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置許可基準 対象本文	対象項目	区分	運用対策等	第9条 溢水による 損傷の防止	(11) 排水設備 図への対応	運用・手順	排水を期待する箇所からの排水を排出する要因を列し、それを防止するための運用を改善する (運転員、保全担当箇所による運用管理)	体制	-	保守・点検	-	(12) 部分的な状 態変化の 運用管理	運用・手順	溢水影響評価上設定したアラート状態の一次的な変更時においても、防護対象設備の安全機能への影響がないような運用とする (運転員、保全担当箇所による運用管理)	体制	-	保守・点検	-	(13) 水密層の運 用管理	運用・手順	水密層の適切な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める (運転員、保全担当箇所による運用管理)	体制	-	保守・点検	-	(14) 排水手順	運用・手順	溢水発生時の滞留設備等での排水作業手順を定める (保全担当箇所による運用管理)	体制	-	保守・点検	-	(15) 水密層の貯 水手順（溢 水防護対象 設備への配 慮）	運用・手順	溢水防護対象設備に対する雨水の影響を最小限に止めるため、排水活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「防災防護計画」に定める (運転員等による体罰等)	体制	-	保守・点検	-	<p>【女川】 <u>運用の相違</u> 女川と泊の運用の相違について は、比較表本文「1.7.9 手順等」 で明確にする。</p>
設置許可基準 対象本文	対象項目	区分	運用対策等																																								
第9条 溢水による 損傷の防止	(11) 排水設備 図への対応	運用・手順	排水を期待する箇所からの排水を排出する要因を列し、それを防止するための運用を改善する (運転員、保全担当箇所による運用管理)																																								
		体制	-																																								
		保守・点検	-																																								
	(12) 部分的な状 態変化の 運用管理	運用・手順	溢水影響評価上設定したアラート状態の一次的な変更時においても、防護対象設備の安全機能への影響がないような運用とする (運転員、保全担当箇所による運用管理)																																								
		体制	-																																								
		保守・点検	-																																								
	(13) 水密層の運 用管理	運用・手順	水密層の適切な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める (運転員、保全担当箇所による運用管理)																																								
		体制	-																																								
		保守・点検	-																																								
	(14) 排水手順	運用・手順	溢水発生時の滞留設備等での排水作業手順を定める (保全担当箇所による運用管理)																																								
		体制	-																																								
		保守・点検	-																																								
(15) 水密層の貯 水手順（溢 水防護対象 設備への配 慮）	運用・手順	溢水防護対象設備に対する雨水の影響を最小限に止めるため、排水活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「防災防護計画」に定める (運転員等による体罰等)																																									
	体制	-																																									
	保守・点検	-																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
		<p>表1 運用、手順にかかわる対策等（設計基準）(4/4)</p> <table border="1" data-bbox="1384 240 1760 1206"> <thead> <tr> <th>設計許容基準 対象条文</th> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第九条 溢水による 損傷の防止</td> <td>(16) 内部溢水に 関する教育</td> <td>運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td>内部溢水全数（詳細内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、機等の設置の配置の考え方等）について教育を定期的に実施する （保全担当箇所等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する</td> </tr> <tr> <td>(17) 水圧に關す る教育（溢 水の護対象 設備への配 慮）</td> <td>運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td>水圧が発生した場合の初期応火活動及び自衛的防除による消火活動時の技術に関する注意事項について教育を定期的に実施する （消防要員等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する</td> </tr> <tr> <td>(18) 内部溢水発 生時の対応 訓練</td> <td>運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td>運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対応に関する訓練を定期的に実施する （運転員による操作訓練） — 事故條件に関する訓練を実施する</td> </tr> </tbody> </table>	設計許容基準 対象条文	対象項目	区分	運用対策等	第九条 溢水による 損傷の防止	(16) 内部溢水に 関する教育	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	内部溢水全数（詳細内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、機等の設置の配置の考え方等）について教育を定期的に実施する （保全担当箇所等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する	(17) 水圧に關す る教育（溢 水の護対象 設備への配 慮）	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	水圧が発生した場合の初期応火活動及び自衛的防除による消火活動時の技術に関する注意事項について教育を定期的に実施する （消防要員等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する	(18) 内部溢水発 生時の対応 訓練	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対応に関する訓練を定期的に実施する （運転員による操作訓練） — 事故條件に関する訓練を実施する	<p>【女川】 <u>運用の相違</u> 女川と泊の運用の相違について は、比較表本文「1.7.9 手順等」 で明確にする。</p>
設計許容基準 対象条文	対象項目	区分	運用対策等														
第九条 溢水による 損傷の防止	(16) 内部溢水に 関する教育	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	内部溢水全数（詳細内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、機等の設置の配置の考え方等）について教育を定期的に実施する （保全担当箇所等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する														
	(17) 水圧に關す る教育（溢 水の護対象 設備への配 慮）	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	水圧が発生した場合の初期応火活動及び自衛的防除による消火活動時の技術に関する注意事項について教育を定期的に実施する （消防要員等による体制等） — 運用及び留意事項等に関する教育を実施する														
	(18) 内部溢水発 生時の対応 訓練	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対応に関する訓練を定期的に実施する （運転員による操作訓練） — 事故條件に関する訓練を実施する														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">別添資料3</p> <p>内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p> <p>1. はじめに 本資料は、女川原子力発電所2号炉における内部溢水防護に係る評価内容の確認プロセスの概要をまとめたものである。 内部溢水防護評価に係る要求事項は以下のとおりである。</p> <p>2. 基準要求 【第九条】 設置許可基準規則第九条（溢水による損傷の防止等）にて、安全施設は発電用原子炉施設における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないよう要求されている。また解釈により、「安全機能を損なわないもの」とは、発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できることをいう。」と規定されている。</p> <p>また、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号 原子力規制委員会決定）」（以下「評価ガイド」という。）の要求事項に基づき、発電用原子炉施設内に設置された機器の破損、消火系統の作動、地震に起因する機器の破損（使用済燃料プールのスロッシングを含む）により発生する溢水に対し、発電用原子炉施設の安全性を損なうことのないよう、防護措置その他の適切な措置が講じられていることを確認する。 評価ガイドに基づき、防護の考え方は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定する機器の破損等により生じる溢水に対し、影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 ・想定される消火水の放水による溢水に対し、影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 ・地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料プールのスロッシングを含む）については、機器の耐震性能を評価するとともに、溢水源とした設備の破損により生じる溢水影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 	<p style="text-align: right;">別添資料3</p> <p>内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p> <p>1. はじめに 本資料は、泊発電所3号炉における内部溢水防護に係る評価内容の確認プロセスの概要をまとめたものである。 内部溢水防護評価に係る要求事項は以下のとおりである。</p> <p>2. 基準要求 【第九条】 設置許可基準規則第九条（溢水による損傷の防止等）にて、安全施設は発電用原子炉施設における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないよう要求されている。また、解釈により、「安全機能を損なわないもの」とは、発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できることをいう。」と規定されている。</p> <p>また、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号 原子力規制委員会決定）」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項に基づき、発電用原子炉施設内に設置された機器の破損、消火系の作動、地震に起因する機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシングを含む）により発生する溢水に対し、発電用原子炉施設の安全性を損なうことのないよう、防護措置その他の適切な措置が講じられていることを確認する。 溢水ガイドに基づき、防護の考え方は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定する機器の破損等により生じる溢水に対し、影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 ・想定される消火水の放水による溢水に対し、影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 ・地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシングを含む）については、機器の耐震性能を評価するとともに、溢水源とした設備の破損により生じる溢水影響を受けて発電用原子炉施設の安全性を損なうことがない設計とする。 	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 内部溢水影響評価のプロセス</p> <p>内部溢水影響評価においては、プラントメーカー等へ評価委託を実施するとともに、併せて当社で現場確認、図面、設計資料の確認を実施している。具体的には、溢水影響評価に係る溢水源、溢水経路、防護対象設備の機能喪失高さ等を現場状況も含めて確認している。確認のプロセスを図1に、確認内容を表1に示す。</p> <p>なお、今後、当社において溢水影響評価に変更を及ぼすおそれのある各種工事並びに資機材管理についてルール化を実施する。</p> <p>4. 今後の対応</p> <p>(1) 資機材の持込み等に対する管理</p> <p>溢水評価区画において、資機材の持込み等により評価条件としている火災荷重及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(2) 水密扉に対する管理</p> <p>水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を整備し、的確に実施する。</p> <p>(3) 改造工事による溢水源の追加、変更の対応</p> <p>改造工事の実施により、溢水源が追加、変更となる場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p>	<p>3. 内部溢水影響評価のプロセス</p> <p>内部溢水影響評価においては、プラントメーカー等へ評価委託を実施するとともに、併せて当社で現場確認、図面、設計資料の確認を実施している。具体的には、溢水影響評価に係る溢水源、溢水経路、防護対象設備の機能喪失高さ等を現場状況も含めて確認している。確認のプロセスを図1に、確認内容を表1に示す。</p> <p>なお、今後、当社において溢水影響評価に変更を及ぼすおそれのある各種工事並びに資機材管理についてルール化を実施する。</p> <p>4. 今後の対応</p> <p>(1) 資機材の持込み等に対する管理</p> <p>溢水評価区画において、資機材の持込み等により評価条件としている火災荷重及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(2) 水密扉に対する管理</p> <p>水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を整備し、的確に実施する。</p> <p>(3) 改造工事による溢水源の追加、変更の対応</p> <p>改造工事の実施により、溢水源が追加、変更となる場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー(1/2)</p>	<p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー (1/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】まとめ資料 9条-別添1-5-9より抜粋</p> <p>・溢水水位その1</p> <p>溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。</p> <p>溢水水位[m] = 溢水量[m³] / 滞留面積[m²] + 床勾配</p>	<p>6. 評価に用いる各項目の算出</p> <p>(1) 滞留面積</p> <p>① 滞留面積の算出 → ① 算出された滞留面積の確認</p> <p>(2) 機能喪失高さ</p> <p>① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ(床勾配)を考慮した機能喪失高さを設定 → ① 現場で設置状況を確認し計測</p> <p>② 機能喪失高さの確認 ← ② 機能喪失高さの設定</p> <p>7. 溢水影響評価の実施</p> <p>① 防護対象設備が要求事項を満足していることを確認</p> <p>8. 溢水影響評価の判定</p> <p>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないことを確認 → ① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないことを判定</p>	<p>6. 評価に用いる各項目の算出</p> <p>(1) 滞留面積</p> <p>① 滞留面積の算出 → ① 算出された滞留面積の確認</p> <p>(2) 床勾配</p> <p>① 床勾配の有無を抽出 → ① 抽出された床勾配を確認</p> <p>(3) 機能喪失高さ</p> <p>① 設置レベルを図面から特定し、機能喪失高さを設定 → ① 現場で設置状況を確認し計測</p> <p>② 機能喪失高さの確認 ← ② 機能喪失高さの設定</p> <p>7. 溢水影響評価の実施</p> <p>① 溢水水位(床勾配及び水面の高さを考慮)を算出し、防護対象設備が要求事項を満足していることを確認 → ① 防護対象設備が要求事項を満足していることを確認</p> <p>8. 溢水影響評価の判定</p> <p>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないことを確認 → ① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないことを判定</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川では床勾配を考慮して機能喪失高さを設定しているが、泊では設置レベルを基に機能喪失高さを設定し、算出した溢水水位に床勾配を加算することとしている。</p> <p>(溢水水位の算出において床勾配を考慮する点は島根と同じ)</p>
	<p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー(2/2)</p>	<p>図1 内部溢水影響評価内容の確認プロセスフロー(2/2)</p>	

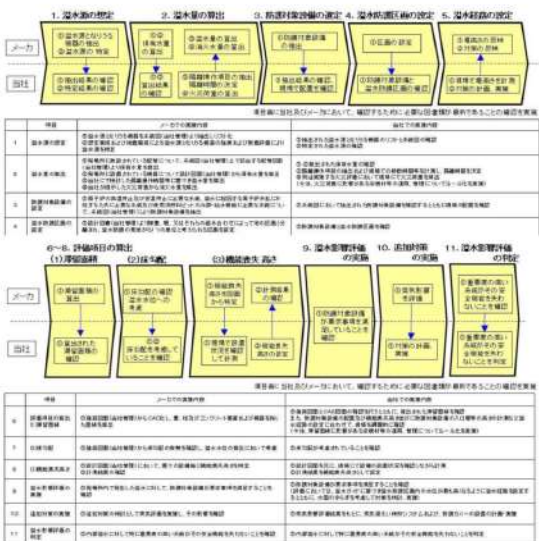
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【伊方3号炉】まとめ資料 別添3 9条-別添3-5より抜粋 表-1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 防護対象設備の抽出</td> <td>① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低電停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能を維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。</td> <td>① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。</td> </tr> <tr> <td>2 溢水源の設定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水となりうる機器を溢水源として特定。</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。</td> </tr> <tr> <td>3 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。</td> <td>① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。</td> <td>① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。</td> </tr> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。</td> <td>① 溢水経路に対して、壁、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。</td> </tr> <tr> <td>6 評価項目の算出（1）滞留面積</td> <td>① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。</td> <td>① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容	1 防護対象設備の抽出	① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低電停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能を維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。	① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。	2 溢水源の設定	① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水となりうる機器を溢水源として特定。	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。	3 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。	① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。	6 評価項目の算出（1）滞留面積	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 溢水源の想定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認</td> </tr> <tr> <td>2 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 Ss によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 溢水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）</td> <td>① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定</td> </tr> <tr> <td>3 防護対象設備の設定</td> <td>① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出</td> <td>① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書より、障壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定</td> <td>① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容	1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認	2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 Ss によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 溢水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定	3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書より、障壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容（1/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 溢水源の想定</td> <td>① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定</td> <td>① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認</td> </tr> <tr> <td>2 溢水量の算出</td> <td>① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出</td> <td>① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定</td> </tr> <tr> <td>3 防護対象設備の設定</td> <td>① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プール冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出</td> <td>① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認</td> </tr> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書又は現地施工図より、壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定</td> <td>① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容	1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認	2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定	3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プール冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書又は現地施工図より、壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違 記載方針の相違</p> <p>泊は、手動隔離と自動隔離における系統隔離範囲図、隔離操作時間を元にメーカーにて溢水量を算出している。（伊方と同様）</p>
項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 防護対象設備の抽出	① 防護対象設備（原子炉の高温停止及び低電停止に必要な設備、原子炉外乱に対処するための設備及び使用済燃料ピットの冷却・給水機能を維持に必要な設備）を、系統図、配置図から抽出。	① 系統図及び配置図で抽出された防護対象設備について確認を行い、現場確認にて防護対象設備の配置を確認。																																																				
2 溢水源の設定	① 溢水源となりうる機器を系統図、配置図より抽出しリスト化。 ② 想定破損及び地震起因による損傷により溢水となりうる機器を溢水源として特定。	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストを系統図および配置図にて確認。 ② 特定された溢水源となる機器は、現場確認にて配置状況を確認。																																																				
3 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出。 ② 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出。 ③ 当社提示の火災荷重より評価用溢水量を算出。	① 算出された保有水量を図面により確認。 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を決定。 ③ 火災荷重を算出。																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。																																																				
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 設水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水密扉、堰及び逆止弁等）。																																																				
6 評価項目の算出（1）滞留面積	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																																				
項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認																																																				
2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動 Ss によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 漏えい検知から隔離操作完了までを80分と設定した場合の溢水量を算出（手動隔離） ④ 漏えいを検知するまでの時間を算出 ⑤ 溢水検知から隔離までを自動で実施する場合の溢水量を算出（自動隔離）	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定																																																				
3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書より、障壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定																																																				
項目	メーカーの実施内容	当社での実施内容																																																				
1 溢水源の想定	① 溢水源となりうる機器を系統図より抽出しリスト化 ② 想定破損及び地震起因による溢水源となりうる機器の強度及び耐震評価により溢水源を特定	① 抽出された溢水源となりうる機器のリストと系統図の確認 ② 特定された溢水源の確認																																																				
2 溢水量の算出	① 溢水源となる機器について設計図面（機器）及び配管図面より保有水量を算出 ② 解析により算出した基準地震動によるスロッシングによる溢水量を算出 ③ 当社で検討した系統隔離範囲、隔離操作時間に基づき溢水量を算出	① 算出された保有水量の確認 ② 隔離操作項目を抽出し、必要となる隔離時間を確認（検証） ③ 消火栓からの放水試験を実施し、実放水量から消火水量を設定																																																				
3 防護対象設備の設定	① 安全施設のうち、原子炉の高温停止、低電停止及び放射性物質の閉じ込め機能並びに使用済燃料プール冷却及び給水機能を維持するために必要となる系統について、系統図、配置図、展開接続図等により防護対象設備を抽出	① 系統図において抽出された防護対象設備を確認するとともに現場の配置を確認 ② 評価対象外とした設備についても、必要に応じ現場の設置状況を確認																																																				
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書又は現地施工図より、壁、堰、又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定	① 防護対象設備と溢水防護区画を確認 ② 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画と設定																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>図1 内部溢水影響評価における確認内容について</p>	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な扉等の検討及び設置の計画、実施</td> </tr> <tr> <td>6 滞留面積の算出</td> <td>① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出</td> <td>① 算出された滞留面積を確認</td> </tr> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認</td> <td>① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定</td> </tr> <tr> <td>7 溢水影響評価の実施</td> <td>① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認</td> <td>① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の高さを考慮した対策を実施）</td> </tr> <tr> <td>8 溢水影響評価の判定</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	5 溢水経路の設定	① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な扉等の検討及び設置の計画、実施	6 滞留面積の算出	① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出	① 算出された滞留面積を確認	機能喪失高さ	① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認	① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定	7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の高さを考慮した対策を実施）	8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定	<p>表1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>メーカーでの実施内容</th> <th>当社での実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定</td> <td>① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）</td> </tr> <tr> <td>6 滞留面積の算出</td> <td>① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出</td> <td>① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認</td> </tr> <tr> <td>床勾配の算出</td> <td>① 建築図面から床勾配の有無を確認</td> <td>① 抽出された床勾配を確認</td> </tr> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>① 設計図面により、種々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを特定 ② 設定した機能喪失高さの確認</td> <td>① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定</td> </tr> <tr> <td>7 溢水影響評価の実施</td> <td>① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の高さを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能特性）を満足することを確認</td> <td>① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施</td> </tr> <tr> <td>8 溢水影響評価の判定</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認</td> <td>① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 代表例として機能喪失高さの確認状況を参考資料に示す。</p>	項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容	5 溢水経路の設定	① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）	6 滞留面積の算出	① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出	① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認	床勾配の算出	① 建築図面から床勾配の有無を確認	① 抽出された床勾配を確認	機能喪失高さ	① 設計図面により、種々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを特定 ② 設定した機能喪失高さの確認	① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定	7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の高さを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能特性）を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施	8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 堰等の対策検討の目的について、女川は溢水影響評価に必要な対策のためとしている。（伊方と同様） 設計方針の相違 ・泊は、区画の全面積から欠損となる機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出している。区画面積及び区画内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、常設機器等の欠損面積は現場実測により算出している。（大阪と同様） ・女川では床勾配を考慮して機能喪失高さを設定しているが、泊では設置レベルを基に機能喪失高さを設定し、算出した溢水水位に床勾配を加算することとしている。（島根、大阪と同様） ・泊では機能喪失高さは、「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の2種類設定している。保守的に機能喪失すると仮定した高さである「基本設定箇所」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「個別測定箇所」を適用している。（島根と同様）</p>
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水経路を形成するために設置が必要な扉等の検討及び設置の計画、実施																																								
6 滞留面積の算出	① 床躯体図を用いて躯体寸法（壁、柱等で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出	① 算出された滞留面積を確認																																								
機能喪失高さ	① 設置レベルを図面から特定し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（設計値）を設定 ② 現場計測結果の確認	① 現場で設置状況を確認し、水上高さ（床勾配）を考慮した機能喪失高さ（計測値）を計測、設定 ② 機能喪失高さ（設計値）及び機能喪失高さ（計測値）を比較し、より低い方を機能喪失高さとして設定																																								
7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水に対して、防護対象設備が要求事項を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認（水面の高さを考慮した対策を実施）																																								
8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定																																								
項目	メーカーでの実施内容	当社での実施内容																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水経路からの溢水経路を設定 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定	① 溢水経路となる扉、ハッチ、階段室及び貫通孔等を現場で確認 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）																																								
6 滞留面積の算出	① 建築図面から躯体寸法（壁で囲まれた範囲）を読み取り床面積を算出し、当社実施の欠損面積算出結果より滞留面積を算出	① 現場にて欠損面積を計測 ② 算出された滞留面積を確認																																								
床勾配の算出	① 建築図面から床勾配の有無を確認	① 抽出された床勾配を確認																																								
機能喪失高さ	① 設計図面により、種々の設備ごとの基本設定箇所及び個別測定箇所における機能喪失高さを特定 ② 設定した機能喪失高さの確認	① 設置状況の確認及び機能喪失高さの確認を現場確認も含めて図面にて実施 ② 確認結果より機能喪失高さを設定																																								
7 溢水影響評価の実施	① 発電所内で発生した溢水（床勾配及び水面の高さを考慮）に対して、防護対象設備が要求事項（設備の機能特性）を満足することを確認	① 防護対象設備が要求事項を満足することを確認し、必要に応じて対策を実施																																								
8 溢水影響評価の判定	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認	① 重要度の特に高い系統がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を判定																																								
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-5-9より抜粋</p> <p>・溢水水位その1</p> <p>溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。</p> <p>溢水水位[m] = 溢水量[m³] / 滞留面積[m²] + 床勾配</p>	<p>【伊方3号炉】まとめ資料 別添3-9条-別添3-5より抜粋</p> <p>表-1 内部溢水影響評価の具体的な確認内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>4 溢水防護区画の設定</td> <td>① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。</td> <td>① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。</td> </tr> <tr> <td>5 溢水経路の設定</td> <td>① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。</td> <td>① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）。</td> </tr> <tr> <td>6 評価項目の算出</td> <td>① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。</td> <td>① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。</td> </tr> </tbody> </table>	4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。	5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）。	6 評価項目の算出	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																
4 溢水防護区画の設定	① 設計図書または現地施工図により、壁、扉またはそれらの組み合わせによって他の区画と分離され、溢水防護の観点から1つの単位と考えられる区画を設定。	① 現場確認にて防護対象設備と溢水防護区画を確認。																																								
5 溢水経路の設定	① 溢水源からの溢水経路を設定。 ② 必要な対策を反映した溢水経路の設定。	① 溢水経路に対して、壁、扉、機器ハッチ等を現場にて確認。 ② 溢水、被水、蒸気の評価において、必要な対策の検討及び実施（水扉扉、扉及び逆止弁等）。																																								
6 評価項目の算出	① 建築図面からCAD化し、壁、柱及びコンクリート基礎、機器を除いた面積を算出。	① 建築図面とCAD図面の確認を行うとともに、算出された滞留面積を確認。																																								

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	DB16-9 r.13.0
提出年月日	令和5年9月29日

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について
(設計基準対象施設等)
比較表

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設

令和5年9月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
比較結果等を取りまとめた資料			
1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)			
1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由			
a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし d. 当社が自主的に変更したもの : なし			
1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由			
a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : あり（比較表相違理由欄参照） b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : あり（比較表相違理由欄参照） c. 他社審査会合の指摘事項を確認した結果、変更したもの : なし d. 当社が自主的に変更したもの : なし			
1-3) バックフィット関連事項			
なし			
2. まとめ資料との比較結果の概要			
2-1) 既許可に係る記載の相違			
燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設について、設置許可基準規則第16条及び技術基準規則第26条、第34条、第47条における追加要求事項は下表1のとおりであり、その他の要求事項に変更はない。したがって、以下の追加要求事への適合性に係る記載を除いては既許可時から設計に変更がないため、記載の相違があっても既許可に係る記載の相違である。			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表1：設置許可基準規則第16条及び技術基準規則第26条、第34条、第47条における追加要求事項			
設置許可基準規則第16条（燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設）	技術基準規則第26条（燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備）		
2 二 二 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。	2 二 二 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。		
3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。	技術基準規則第34条（計測装置）※		
一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。	発電用原子炉施設には、次に掲げる事項を計測する装置を施設しなければならない。ただし、直接計測することが困難な場合は、当該事項を間接的に測定する装置を施設することをもって、これに代えることができる。		
二 外部電源が利用できない場合においても温度、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。	十四 使用済燃料その他高放射性の燃料体を貯蔵する水槽の水温及び水位		
	3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（同項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあつては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあつては、外部電源が喪失した場合においてもこれらの事項を計測することができるものでなければならない。		
	4 第一項第一号及び第三号から第十五号までに掲げる事項を計測する装置にあつては、計測結果を表示し、記録し、及びこれを保存することができるものでなければならない。ただし、設計基準事故時の放射性物質の濃度及び線量当量率を計測する主要な装置以外の装置であつて、断続的に試料の分析を行う装置については、運転員その他の従事者が測定結果を記録し、及びこれを保存し、その記録を確認することをもって、これに代えることができる。		
	技術基準規則第47条（警報装置等）		
	2 発電用原子炉施設には、使用済燃料貯蔵槽の水温の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下を確実に検知し、自動的に警報する装置を施設しなければならない。ただし、発電用原子炉施設が、使用済燃料貯蔵槽の水温の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下に自動的に対処する機能を有している場合は、この限りでない。		
※技術基準規則第34条（計測装置）における使用済燃料ピット温度の表示等の追加要求を踏まえた設備について、設置許可基準規則第16条（燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設）において説明するため、関連する設置許可基準規則第23条（計測制御系統施設）を関連条文として記載。			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
------------	-------------	---------	------

2-2) 主な相違（相違理由の類型化）

主な相違箇所は表2、3のとおりであり、比較表においては相違理由を類型化して記載する。具体的には、表4に示す相違について、相違理由欄の記載を省略する。また、表5に示す相違については、相違理由欄に「類型化番号および相違項目」のみを記載し、説明は省略する。

表2：相違理由の類型化（相違理由欄の記載を省略するもの）

番号	相違項目	説明
-	■記載表現の相違(「,」 「、」)	・既許可を踏襲し、泊は(法令引用箇所を除き)すべて「,」としている。 ・以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。
-	■資料番号の相違	
-	■名称の相違(申請プラント)	(泊・大飯) 使用済燃料ピット / (女川) 使用済燃料プール、(泊・大飯) ピット / (女川) プール (泊) 燃料取扱棟 / (女川) 原子炉建屋原子炉棟 / (大飯) 原子炉周辺建屋 (泊) 燃料取扱棟クレーン・使用済燃料ピットクレーン / (女川) 原子炉建屋クレーン・燃料交換機 / (大飯) 補助建屋クレーン・使用済燃料ピットクレーン
-	■記載表現の相違(発電用原子炉施設)	
-	■名称の相違(申請プラント)	
-	■記載表現の相違(発電用原子炉施設)	・女川の審査実績を踏まえ、記載を適正化。

表3：相違理由の類型化（相違理由欄に、類型化番号および相違項目のみを記載。説明を省略するもの）

番号	相違項目	説明
①	■既許可記載の相違	・新規制基準のうちDB16条の追加要求事項（重量物落下防止、監視設備）に対して、既許可時点から設計に変更を伴わない部分に係る、記載の相違。
②	■設備の相違(MOX燃料)	・泊はMOX燃料の設置許可を取得しており、MOX新燃料の取扱・貯蔵について記載している。また、「新燃料」のうちウラン新燃料のみを示す場合(MOX新燃料を含まない場合)は、『ウラン新燃料』と記載している。 ・女川、大飯はMOX燃料の設置許可は取得していない。
③	■記載の充実(追加要求事項対象外、大飯参照) ■記載の充実(追加要求事項対象外、女川参照)	・新規制基準のうちDB16条の追加要求事項（重量物落下、監視設備）の対象外だが、先行の新規制基準適合プラントに比べて情報量が不足しているため、記載を充実するもの。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設, 第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>2. 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>別添資料1 使用済燃料ピットへの重量物落下について</p> <p>別添資料2 使用済燃料ピット監視設備について</p> <p>3. 技術的能力説明資料</p> <p>別添資料3 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>4. 現場確認プロセス</p> <p>別添資料4 使用済燃料ピットへの重量物落下に係る対象重量物の現場確認について</p> <p>5. 参考資料</p> <p>別添資料5 使用済燃料ピット内への落下物による使用済燃料ピット内燃料集合体への影響評価について</p>	<p>第16条：燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項及び評価条件変更に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>2. 追加要求事項に対する適合方針</p> <p>2.1 使用済燃料プールへの重量物落下について</p> <p>2.2 使用済燃料プールを監視する機能の確保について</p> <p>3. 別添資料</p> <p>別添資料1 使用済燃料プールへの重量物落下について</p> <p>別添資料2 使用済燃料プール監視設備について</p> <p>別添資料3 運用、手順説明資料 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>別添資料4 使用済燃料プールへの重量物落下に係る対象重量物の現場確認について</p>	<p>第16条：燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>2. 追加要求事項に対する適合方針</p> <p>2.1 使用済燃料ピットへの重量物落下について</p> <p>2.2 使用済燃料ピットを監視する機能の確保について</p> <p>別添1 使用済燃料ピットへの重量物落下について</p> <p>別添2 使用済燃料ピット監視設備について</p> <p>3. 運用、手順説明資料</p> <p>別添3 運用、手順説明資料 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>4. 現場確認プロセス</p> <p>別添4 使用済燃料ピットへの重量物落下に係る対象重量物の現場確認について</p> <p>5. 参考資料</p> <p>別添5 使用済燃料ピット内への落下物による使用済燃料ピット内燃料集合体への影響評価について</p>	<p>■【女川】記載方針の相違 ・女川では、評価条件変更の記載で作成。</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■【女川】記載方針の相違（資料構成：大飯参照） ・次項と合わせて、記載の充実している大飯に合わせた。</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照） 女川及び泊の他条文との整合（記載統一）</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照）</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準事故対処設備の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求に対する大飯発電所3号炉及び4号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準事故対処設備について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p> <p>3. において、追加要求事項に適合するための技術的能力（手順等）を抽出し、必要となる運用対策等を整理する。</p> <p>4. において、設計にあたって実施する各評価に必要な入力条件等の設定を行うため、設備等の設置状況を現場にて確認した内容について整理する。</p> <p>5. において、落下物による使用済燃料ピット内燃料集合体への影響評価について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求に対する女川原子力発電所2号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求に対する泊発電所3号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p> <p>3. において、追加要求事項に適合するための運用、手順等を抽出し、必要となる運用対策等を整理する。</p> <p>4. において、設計にあたって実施する各評価に必要な入力条件等の設定を行うため、設備等の設置状況を現場にて確認した内容について整理する。</p> <p>5. において、落下物による使用済燃料ピット内燃料集合体への影響評価について説明する。</p>	<p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■設備名称の相違（プラント名）</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■【女川】記載の充実（大飯参照） 泊の他条文との整合（記載統一）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設について、設置許可基準規則第16条並びに技術基準規則第26条、第34条及び第47条において、追加要求事項を明確化する（表1）。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第16条並びに技術基準規則第26条、第34条及び第47条を第1.1-1表に示す。また、第1.1-1表において、新規制基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第16条並びに技術基準規則第26条、第34条及び第47条を表1に示す。また、表1において、新規制基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	<p>■【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の審査実績を踏まえ、記載を適正化するもの。 <p>■記載表現の相違（表番号）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由			
<p>表1 設置許可基準規則第16条並びに技術基準規則第26条、第34条及び第47条 要求事項</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)の取扱施設(安全施設に係るものに限る。)を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p> <p>第二十六条 通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)を取り扱う設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>表1 設置許可基準規則第16条並びに技術基準規則第26条、第34条及び第47条 要求事項</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)の取扱施設(安全施設に係るものに限る。)を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)を取り扱う設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものであること。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>
<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)の取扱施設(安全施設に係るものに限る。)を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものとする。</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)を取り扱う設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)の取扱施設(安全施設に係るものに限る。)を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものとする。</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料(以下この条において「燃料体等」という。)を取り扱う設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>一 燃料体等を取り扱う能力を有するものであること。</p> <p>二 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p> <p>三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>
<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>	<p>備考 変更なし</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	備考
<p>四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。</p>	<p>六 前号の容器は、内部に燃料体等を入れた場合に、放射線障害を防止するため、その表面の線量当量率及びその表面から一メートルの距離における線量当量率がそれぞれ原子力規制委員会の定める線量当量率を超えないように遮蔽できるものであること。ただし、管理区域内においてのみ使用されるものについては、この限りでない。</p>	<p>四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。</p>	<p>六 前号の容器は、内部に燃料体等を入れた場合に、放射線障害を防止するため、その表面の線量当量率及びその表面から一メートルの距離における線量当量率がそれぞれ原子力規制委員会の定める線量当量率を超えないように遮蔽できるものであること。ただし、管理区域内においてのみ使用されるものについては、この限りでない。</p>	<p>四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。</p>	<p>六 前号の容器は、内部に燃料体等を入れた場合に、放射線障害を防止するため、その表面の線量当量率及びその表面から一メートルの距離における線量当量率がそれぞれ原子力規制委員会の定める線量当量率を超えないように遮蔽できるものであること。ただし、管理区域内においてのみ使用されるものについては、この限りでない。</p>	変更なし
<p>五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。</p>	<p>七 燃料体等の取扱中に燃料体等を取り扱うための動力源がなくなった場合に、燃料体等を保持する構造を有する機器を設けることにより燃料体等の落下を防止できること。</p>	<p>五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。</p>	<p>七 燃料体等の取扱中に燃料体等を取り扱うための動力源がなくなった場合に、燃料体等を保持する構造を有する機器を設けることにより燃料体等の落下を防止できること。</p>	<p>五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。</p>	<p>七 燃料体等の取扱中に燃料体等を取り扱うための動力源がなくなった場合に、燃料体等を保持する構造を有する機器を設けることにより燃料体等の落下を防止できること。</p>	変更なし

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び貯蔵設備)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)	備考	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)	備考	
<p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。</p> <p>イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。</p> <p>ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。</p> <p>ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p>	<p>2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。</p> <p>イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。</p> <p>ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。</p> <p>ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p>	<p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。</p> <p>イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。</p> <p>ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。</p> <p>ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p>	<p>2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>五 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出されることに伴い公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合、放射性物質による敷地外への影響を低減するため、燃料貯蔵設備の格納施設及び放射性物質の放出を低減する発電用原子炉施設を施設すること。</p> <p>三 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものであること。</p> <p>一 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p>	変更なし	<p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <p>一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。</p> <p>イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。</p> <p>ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。</p> <p>ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。</p>	<p>2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。</p> <p>五 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質が放出されることに伴い公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合、放射性物質による敷地外への影響を低減するため、燃料貯蔵設備の格納施設及び放射性物質の放出を低減する発電用原子炉施設を施設すること。</p> <p>三 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものであること。</p> <p>一 燃料体等が臨界に達するおそれがない構造であること。</p>	変更なし	
備考	変更なし							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	<p>備考</p>	<p>設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p>	<p>技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</p>	<p>備考</p>	
<p>二 使用済燃料の貯蔵施設（使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク（以下「キャスク」という。）を置く。）にあつては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものがあること。 イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものであること。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであること。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであること。使用済燃料貯蔵槽から水が漏れ出した場合において水の漏えいを検知することができるものとする。</p>	<p>二 使用済燃料の貯蔵施設（キャスクを除く。）にあつては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものがあること。 イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであること。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであること。</p>	<p>二 使用済燃料の貯蔵施設（使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク（以下「キャスク」という。）を除く。）にあつては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものがあること。 イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであること。最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有するものとする。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであること。使用済燃料貯蔵槽から水が漏れ出した場合において水の漏えいを検知することができるものとする。</p>	<p>四 使用済燃料その他高放射線の燃料体を貯蔵する水槽（以下「使用済燃料貯蔵槽」という。）は、次に定めるところによること。 ロ 使用済燃料その他高放射線の燃料体の放射線を遮蔽するために必要な量の水があること。 二 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。 イ 放射性物質を含む水があふれ、又は漏れない構造であること。 ハ 使用済燃料その他高放射線の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合は、これを防止すること。</p>	<p>二 使用済燃料の貯蔵施設（使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク（以下「キャスク」という。）を除く。）にあつては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものがあること。 イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであること。最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有するものとする。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであること。使用済燃料貯蔵槽から水が漏れ出した場合において水の漏えいを検知することができるものとする。</p>	<p>四 使用済燃料その他高放射線の燃料体を貯蔵する水槽（以下「使用済燃料貯蔵槽」という。）は、次に定めるところによること。 ロ 使用済燃料その他高放射線の燃料体の放射線を遮蔽するために必要な量の水があること。 二 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものであること。 イ 放射性物質を含む水があふれ、又は漏れない構造であること。 ハ 使用済燃料その他高放射線の燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがある場合は、これを防止すること。</p>	<p>変更なし</p>	<p>変更なし</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
備考	追加要求事項					
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び貯蔵設備)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び貯蔵設備)	備考	備考	
ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。	ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。	ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。	ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないこと。	追加要求事項	追加要求事項	
七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにすること。	七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにすること。	七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにすること。	七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにすること。	変更なし	変更なし	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)			
<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>
<p>技術基準規則 第34条 (計測装置)</p> <p>発電用原子炉施設には、次に掲げる事項を計測する装置を設けなければならない。ただし、直接計測することが困難な場合は、当該事項を間接的に測定する装置を設けることができる。</p> <p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>3 第一項第十二号から第十四号までに掲げる事項を計測する装置（第一項第十二号に掲げる事項を計測する装置にあっては、燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備に属するものに限る。）にあっては、外部電源が喪失した場合においてもこれら事項を計測することができるものでなければならない。</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>	<p>追加要求事項</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第34条 (計測装置)	備考
追加要求事項						
備考						
技術基準規則 第34条(計測装置)	4 第一項第一号及び第三号から第十五号までに掲げる事項を計測する装置にあっては、計測結果を表示し、記録し、及びこれを保存することができるものでなければならない。ただし、設計基準事故時の放射性物質の濃度及び線量当量率を計測する主要な装置以外の装置にあっては、断続的に燃料の分析を行う装置については、運転員その他の従事者が測定結果を記録し、及びこれを保存し、その記録を確認することをもって、これに代えることができる。	4 第一項第一号及び第三号から第十五号までに掲げる事項を計測する装置にあっては、計測結果を表示し、記録し、及びこれを保存することができるものでなければならない。ただし、設計基準事故時の放射性物質の濃度及び線量当量率を計測する主要な装置以外の装置にあっては、断続的に燃料の分析を行う装置については、運転員その他の従事者が測定結果を記録し、及びこれを保存し、その記録を確認することをもって、これに代えることができる。	追加要求事項	4 第一項第一号及び第三号から第十五号までに掲げる事項を計測する装置にあっては、計測結果を表示し、記録し、及びこれを保存することができるものでなければならない。ただし、設計基準事故時の放射性物質の濃度及び線量当量率を計測する主要な装置以外の装置にあっては、断続的に燃料の分析を行う装置については、運転員その他の従事者が測定結果を記録し、及びこれを保存し、その記録を確認することをもって、これに代えることができる。	追加要求事項	
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
備考	追加要求事項	技術基準規則 第47条 (警報装置等)	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第47条 (警報装置等)	備考	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第47条 (警報装置等)	備考
	2 発電用原子炉施設には、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下を確実に検知し、自動的に警報する装置を施設しなければならない。ただし、発電用原子炉施設が、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下に自動的に対処する機能を有している場合は、この限りでない。		3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。 一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。	2 発電用原子炉施設には、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下を確実に検知し、自動的に警報する装置を施設しなければならない。ただし、発電用原子炉施設が、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下に自動的に対処する機能を有している場合は、この限りでない。	追加要求事項	3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。ただし、発電用原子炉施設が、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に抑制し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。	2 発電用原子炉施設には、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下を確実に検知し、自動的に警報する装置を施設しなければならない。ただし、発電用原子炉施設が、使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵槽の水位の著しい低下に自動的に対処する機能を有している場合は、この限りでない。	追加要求事項

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="707 244 929 304">設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</th> <th data-bbox="934 244 1155 304">技術基準規則 第47条 (貯蔵装置等)</th> <th data-bbox="1160 244 1227 304">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="707 323 929 751"> 4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。 </td> <td data-bbox="934 323 1155 751"> 2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。 </td> <td data-bbox="1160 323 1227 751">変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第47条 (貯蔵装置等)	備考	4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。	2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。	変更なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1274 244 1496 304">設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</th> <th data-bbox="1500 244 1722 304">技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)</th> <th data-bbox="1727 244 1794 304">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1274 323 1496 738"> 4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。 </td> <td data-bbox="1500 323 1722 738"> 2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。 </td> <td data-bbox="1727 323 1794 738">変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)	備考	4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。	2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。	変更なし	<p>■【大飯】記載の拡充（女川実績反映） ・第16条第4項について、大飯は記載していない。</p>
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第47条 (貯蔵装置等)	備考													
4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。	2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。	変更なし													
設置許可基準規則 第16条 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)	技術基準規則 第26条 (燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備)	備考													
4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。 一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。こと。 二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。こと。 三 使用済燃料が内包する放射性物質を閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。こと。	2 燃料体等を貯蔵する設備は、次に定めるところにより施設しなければならない。 六 使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク(以下「キャスク」という。)は、次に定めるところによる。こと。 イ 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視できる。こと。 ロ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有する。こと。 ハ 使用済燃料の被覆材の著しい腐食又は変形を防止できる。こと。 ニ キャスク本体その他のキャスクを構成する部材は、使用される温度、放射線、荷重その他の条件に対し、適切な材料及び構造である。こと。 七 取扱者以外の者がみだりに立ち入らないようにする。こと。	変更なし													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(k) 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）は、燃料体等を取り扱う能力を有し、燃料体等が臨界に達するおそれがなく、崩壊熱により燃料体等が熔融せず、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できる設計とするとともに、使用済燃料ピット周辺の設備状況等を踏まえて、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。）は、燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納でき、放射性物質の放出を低減でき、燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するとともに、燃料体等が臨界に達するおそれがない設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設は、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により熔融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有し、使用済燃料ピットから放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料ピットから水が漏れいした場合において、水の漏えいを検知することができる設計とする。</p> <p>燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれない設計とするとともに、クレーンはワイヤ2重化、フック部外れ止め及び動力電源喪失時保持機能を有し、クレーン等安全規則に基づく点検等の落下防止対策を行う設計とする。</p>	<p>1.2 追加要求事項及び評価条件変更に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>五 発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備</p> <p>ロ 発電用原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(k) 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）は、燃料体等を取り扱う能力を有し、燃料体等が臨界に達するおそれがなく、崩壊熱により燃料体等が熔融せず、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。）は、燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納でき、放射性物質の放出を低減できる設計とする。</p> <p>また、燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するとともに、燃料体等が臨界に達するおそれがない設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設は、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により熔融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有し、使用済燃料プールから放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料プールから水が漏れいした場合において、水の漏えいを検知することができる設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設は、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれない設計とすることとし、使用済燃料プールの機能に影響を及ぼす重量物については落下しない設計とする。</p>	<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>五 発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備</p> <p>ロ、発電用原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(k) 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）は、燃料体等を取り扱う能力を有し、燃料体等が臨界に達するおそれがなく、崩壊熱により燃料体等が熔融せず、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。）は、燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納でき、放射性物質の放出を低減できる設計とする。</p> <p>また、燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するとともに、燃料体等が臨界に達するおそれがない設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設は、使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により熔融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有し、使用済燃料ピットから放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料ピットから水が漏れいした場合において、水の漏えいを検知することができる設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設は、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれない設計とすることとし、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下しない設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>■【大阪】記載の拡充（女川参照）</p> <p>■【大阪】記載表現の相違（発電用原子炉施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降、同様の相違は相違理由の記載を省略する。 <p>■【大阪】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の審査実績を踏まえ、記載箇所を変更するもの。 ・重量物落下の追加要求事項は貯蔵施設に対する要求であるが、ここは取扱施設について記載している部分であるため、女川に合わせて本頁下部の貯蔵施設側へ移動。 <p>■【大阪】記載箇所の相違（女川実績の反映：本頁上部参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪のクレーンのワイヤ2重化等の落下防止対策については、具体的な設備構造や運用の説明であることから、女川と同様に添付八に記載する。 <p>■記載表現の相違</p>

【説明資料（5.2：16条-別添1-16～31）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料ピットの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを中央制御室に伝えるとともに、外部電源が使用できない場合においても非常用所内電源からの電源供給により、使用済燃料ピットの温度、水位及び放射線量を監視することができる設計とする。</p>	<p>使用済燃料プールの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを中央制御室に伝えるとともに、外部電源が利用できない場合においても非常用所内電源系からの電源供給により、使用済燃料プールの水位及び水温並びに放射線量を監視することができる設計とする。</p>	<p>泊発電所3号炉 (参考1.2:16条-別添1-参考1-1~3, 16条-別添1-参考2-1) 使用済燃料ピットの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを中央制御室に伝えるとともに、外部電源が使用できない場合においても非常用所内電源系からの電源供給により、使用済燃料ピットの水位及び水温並びに放射線量を監視することができる設計とする。 【説明資料(1.2:16条-別添2-1~8)】</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では説明資料番号を記載。以下、相違理由の記載は省略する。 ■【大飯】記載表現の相違(女川参照)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↓</p> <p>二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備</p> <p>A. 3号炉</p> <p>(1)核燃料物質取扱設備の構造</p> <p>核燃料物質取扱設備（燃料取扱設備）は、燃料取替装置、燃料移送装置（一部3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用）及び除染装置（1号、2号及び3号炉共用）で構成する。</p> <p>新燃料は、原子炉周辺建屋内の新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備から燃料取扱設備により、原子炉格納容器内に搬入する。燃料取替は、原子炉上部の原子炉キャビティに水張りし、水中で燃料取扱設備を用いて行う。</p> <div data-bbox="414 758 1086 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(参考) 高浜3号炉(MOX導入済)設置許可(令和3年5月)の記載</p> <p>ウラン新燃料は、原子炉補助建屋内の新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備から燃料取扱設備により、原子炉格納容器内に搬入する。ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料は、原子炉補助建屋内において、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の輸送容器から燃料取扱設備により使用済燃料貯蔵設備に移し、ここから燃料取扱設備により原子炉格納容器内に搬入する。燃料取替は、原子炉上部の原子炉キャビティに水張りし、水中で燃料取扱設備を用いて行う。</p> </div> <p>使用済燃料は、遮蔽に必要な水深を確保した状態で、水中で燃料取扱設備により原子炉周辺建屋内へ移送し、同建屋内の使用済燃料貯蔵設備（1号、2号及び3号炉共用）のほう酸水中に貯蔵する。</p> <p>燃料取扱設備は、燃料取扱時において燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できる設計とするとともに、使用済燃料ピット周辺の設備状況等を踏まえて、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>なお、使用済燃料の運搬又は搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。</p>	<p>二 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備</p> <p>(1)核燃料物質取扱設備の構造</p> <p>核燃料物質取扱設備（燃料取扱設備）は、燃料交換機（1号及び2号炉共用（既設））、原子炉建屋クレーン（1号及び2号炉共用（既設））等で構成する。</p> <p>新燃料は、原子炉建屋原子炉棟内に設ける新燃料貯蔵庫から原子炉建屋クレーン等で使用済燃料プールに移し、燃料交換機により炉心に挿入する。</p> <p>燃料の取替は、原子炉上部のウェルに水を張り、水中で燃料交換機を用いて行う。</p> <p>使用済燃料は、遮蔽に必要な水深を確保した状態で、水中で燃料交換機により移送し、原子炉建屋原子炉棟内の使用済燃料プール（1号及び2号炉共用（既設））の水中に貯蔵する。</p> <p>燃料交換機は、燃料取扱時において燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止する設計とするとともに、使用済燃料プールの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>なお、使用済燃料の搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。</p>	<p>二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備</p> <p>(1)核燃料物質取扱設備の構造</p> <p>核燃料物質取扱設備（燃料取扱設備）は、燃料取替クレーン、使用済燃料ピットクレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）、燃料取扱棟クレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）、燃料移送装置等で構成する。</p> <p>ウラン新燃料は、燃料取扱棟内の新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備から燃料取扱設備により、原子炉格納容器内に搬入する。ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料は、燃料取扱棟内において、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の輸送容器から燃料取扱設備により使用済燃料貯蔵設備に移し、ここから燃料取扱設備により原子炉格納容器内に搬入する。燃料の取替は、原子炉上部の原子炉キャビティに水張りし、水中で燃料取扱設備を用いて行う。</p> <p>使用済燃料は、遮蔽に必要な水深を確保した状態で、水中で燃料取扱設備により燃料取扱棟内へ移送し、同棟内の使用済燃料貯蔵設備（1号、2号及び3号炉共用、既設）のほう酸水中に貯蔵する。</p> <p>燃料取扱設備は、燃料取扱時において燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止する設計とするとともに、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>なお、使用済燃料の搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。</p>	<p>■既許可構成の相違</p> <p>■①既許可記載の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の燃料交換機は、泊の燃料取替クレーン及び使用済燃料ピットクレーンに該当する。 ・女川の原子炉建屋クレーンは、泊の燃料取扱棟クレーンに該当する。 ・泊3号の「等」は、「新燃料エレベータ」「ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置」「燃料取扱工具」である。 <p>■【大阪、女川】②設備の相違 (MOX燃料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉はMOX燃料設置許可取得済みであり、ウラン新燃料のみ、MOX新燃料のみを示す場合は、「ウラン新燃料」、「ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料」と記載している。 <p>■設備名称の相違（燃料取扱棟／原子炉周辺建屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降、同様の相違は相違理由の記載を省略する。 <p>■設備の相違（ほう酸水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は「水中」、泊及び大阪は「ほう酸水中」に燃料を貯蔵する。 ・以降、本相違理由の記載は省略する。 <p>■【大阪】①既許可記載の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力</p> <p>(i) 新燃料貯蔵設備</p> <p>a. 構造</p> <p>新燃料貯蔵設備は、新燃料を新燃料ラックに挿入して貯蔵するものであり、原子炉補助建屋内に設置する。</p> <p>新燃料貯蔵設備は、想定されるいかなる状態においても燃料が臨界に達することのない構造とする。</p> <p>b. 貯蔵能力</p> <p>全炉心燃料の約75%相当分</p> <p>(ii) 使用済燃料貯蔵設備</p> <p>a. 構造</p> <p>使用済燃料貯蔵設備（3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用）は、使用済燃料及び新燃料をほう酸水中の使用済燃料ラックに挿入して貯蔵する鉄筋コンクリート造、ステンレス鋼内張りの水槽（使用済燃料ピット）であり、3号炉原子炉周辺建屋内に設ける。</p> <p>使用済燃料ピットは、使用済燃料の上部に十分な水深を確保する設計とするとともに、使用済燃料ピット水位、水温及び使用済燃料ピット水の漏えい並びに原子炉周辺建屋内の放射線量率を監視する設備等を設け、さらに、万一漏えいを生じた場合には、ほう酸水を注水できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵設備は、想定されるいかなる状態においても燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットには、使用済燃料からの崩壊熱の除去並びに使用済燃料ピット水の浄化を行うため、使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設け、使用済燃料から発生する崩壊熱の除去を行うのに十分な冷却能力を有する設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵設備は、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても</p>	<p>(2) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力</p> <p>(i) 新燃料貯蔵庫</p> <p>a. 構造</p> <p>新燃料貯蔵庫は、新燃料を貯蔵ラックに挿入して貯蔵するものであり、原子炉建屋原子炉棟内に設置する。</p> <p>新燃料貯蔵庫は、想定されるいかなる状態においても新燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>b. 貯蔵能力</p> <p>全炉心燃料の約40%相当分</p> <p>(ii) 使用済燃料貯蔵設備</p> <p>a. 使用済燃料プール</p> <p>(a) 構造</p> <p>使用済燃料プール（1号及び2号炉共用（既設））は、燃料体等を水中の貯蔵ラックに入れて貯蔵する鉄筋コンクリート造、ステンレス鋼内張りの水槽であり、原子炉建屋原子炉棟内に設ける。</p> <p>使用済燃料プールは、燃料体等の上部に十分な水深を確保する設計とするとともに、使用済燃料プール水位、使用済燃料プール水温、使用済燃料プール上部の空間線量率及び使用済燃料プール水の漏えいを監視する設備を設ける。</p> <p>使用済燃料プールは、想定されるいかなる状態においても燃料体等が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料プールのライニングは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の</p>	<p>(2) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力</p> <p>(i) 新燃料貯蔵設備</p> <p>a. 構造</p> <p>新燃料貯蔵設備は、ウラン新燃料を新燃料ラックに挿入して貯蔵するものであり、燃料取扱棟内に設置する。</p> <p>新燃料貯蔵設備は、想定されるいかなる状態においてもウラン新燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>b. 貯蔵能力</p> <p>全炉心燃料の約23%相当分</p> <p>(ii) 使用済燃料貯蔵設備</p> <p>a. 構造</p> <p>使用済燃料貯蔵設備（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、燃料体等をほう酸水中の使用済燃料ラック（1号、2号及び3号炉共用、既設）に挿入して貯蔵する鉄筋コンクリート造、ステンレス鋼内張りの水槽（使用済燃料ピット（1号、2号及び3号炉共用、既設））であり、燃料取扱棟内に設ける。</p> <p>使用済燃料ピットは、燃料体等の上部に十分な水深を確保する設計とするとともに、使用済燃料ピット水位、水温及び使用済燃料ピット水の漏えい並びに燃料取扱棟内の放射線量率を監視する設備等を設け、さらに、万一漏えいを生じた場合にはほう酸水を注水できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵設備は、想定されるいかなる状態においても燃料体等が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットの内張りは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下</p>	<p>■記載の充実（追加要求事項対象外、女川参照）</p> <p>■記載表現の相違（新燃料貯蔵設備／新燃料貯蔵庫）</p> <p>■②設備の相違（MOX燃料）</p> <p>■設備名称の相違（新燃料ラック／貯蔵ラック）</p> <p>■設備の相違（新燃料貯蔵庫の容量）</p> <p>■【女川】既許可構成の相違</p> <p>■記載表現の相違（共用の記載）</p> <p>■記載の適正化（女川参照）</p> <p>■設備の相違（ほう酸水）</p> <p>■設備名称の相違（貯蔵ラック／使用済燃料ラック）</p> <p>・以降、相違理由の記載は省略</p> <p>■【大飯、女川】泊は本文五号（チ、以降）及び添付書類八（3、以降）のうち、共用設備の名称が最初に記載される箇所（共用の宣言）、設備一覧等に共用を記載する方針のため。</p> <p>■記載表現の相違（挿入して／入れて）</p> <p>■記載の適正化（女川参照）</p> <p>■①既許可記載の相違（追加要求事項対象外）</p> <p>■記載の適正化（大飯参照）</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違（漏えい時のほう酸水注水／追加要求事項対象外）</p> <p>■【大飯】記載方針の相違</p> <p>・泊及び女川では、使用済燃料ピット水浄化冷却設備／燃料プール冷却浄化系について、次頁「(3)核燃料物質貯蔵用冷却設備の構造及び冷却能力」に記載している。</p> <p>■【女川】記載表現の相違（内張り／ライニング）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>その機能が損なわれないように設計する。</p> <p>燃料貯蔵設備の使用済燃料ピットは、使用済燃料ピットの冷却機能喪失、使用済燃料ピットの注水機能喪失、使用済燃料ピット水の小規模な漏えいが発生した場合において、燃料の貯蔵機能を確保できる設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットからの大量の水の漏えいにより使用済燃料ピット水位が使用済燃料ピット出口配管下端以下かつ水位低下が継続する場合に、臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置においてスプレーや蒸気条件においても臨界を防止できる設計とする。</p> <p>b. 貯蔵能力 全炉心燃料の約1100%相当分（1号、2号及び3号炉共用、一部既設）とする。</p> <p>(3)核燃料物質貯蔵用冷却設備の構造及び冷却能力</p> <p>(i) 使用済燃料ピット水浄化冷却設備</p> <p>a. 構造 通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、使用済燃料ピットには、使用済燃料からの崩壊熱の除去並びに使用済燃料ピット水の浄化を行うため、ポンプ、冷却器等で構成する使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設ける。</p> <div data-bbox="331 1070 1032 1299" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(参考) 高浜3号炉(MOX導入済)設置許可(令和3年5月)の記載</p> <p>通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、使用済燃料ピットには、使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料からの崩壊熱の除去並びに使用済燃料ピット水の浄化を行うため、ポンプ、冷却器等で構成する使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設ける。</p> </div> <p>b. 冷却能力 使用済燃料から発生する崩壊熱の除去を行うのに十分な冷却能力を有する設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備で除去した熱は、最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p>	<p>落下時においても使用済燃料プールの機能を損なうような損傷を生じない設計とする。</p> <p>使用済燃料プールは、残留熱除去系（燃料プール水の冷却）及び燃料プール冷却浄化系の有する使用済燃料プールの冷却機能喪失又は残留熱除去系ポンプによる使用済燃料プールへの補給機能が喪失し、又は使用済燃料プール水の小規模な漏えいが発生した場合において、燃料体等の貯蔵機能を確保する設計とする。</p> <p>使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能が喪失し、又は使用済燃料プールからの水の漏えいその他の要因により使用済燃料プールの水位が低下した場合及び使用済燃料プールからの大量の水の漏えいその他の要因により使用済燃料プールの水位が異常に低下した場合に、臨界にならないよう配慮した使用済燃料貯蔵ラックの形状により臨界を防止できる設計とする。</p> <p>(b) 貯蔵能力 全炉心燃料の約400%相当分（1号及び2号炉共用(既設)）</p> <p>(3)核燃料物質貯蔵用冷却設備の構造及び冷却能力</p> <p>(i) 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系は、ポンプ、熱交換器、ろ過脱塩装置等で構成し、使用済燃料からの崩壊熱を除去するとともに、使用済燃料プール水を浄化できる設計とする。さらに、全炉心燃料を取り出した場合においても、残留熱除去系を併用して、使用済燃料プール水の十分な冷却が可能な設計とする。</p> <p>また、補給水ラインを設け、使用済燃料プール水の補給も可能な設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系の熱交換器で除去した熱は、原子炉補機冷却系等を経て、最終ヒートシンクである海へ輸送できる設計とする。</p>	<p>時においても使用済燃料ピットの機能を損なうような損傷を生じない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットは、使用済燃料ピット水浄化冷却設備（1号、2号及び3号炉共用、既設）の有する使用済燃料ピットの冷却機能喪失又は燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットの注水機能が喪失し、又は使用済燃料ピット水の小規模な漏えいが発生した場合において、燃料体等の貯蔵機能を確保する設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能が喪失し、又は使用済燃料ピットからの水の漏えいその他の要因により使用済燃料ピットの水位が低下した場合及び使用済燃料ピットからの大量の水の漏えいその他の要因により使用済燃料ピット水位が使用済燃料ピット出口配管下端以下かつ水位低下が継続する場合に、臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置においてスプレーや蒸気条件においても臨界を防止できる設計とする。</p> <p>b. 貯蔵能力 全炉心燃料の約920%相当分（1号、2号及び3号炉共用、既設）</p> <p>(3)核燃料物質貯蔵用冷却設備の構造及び冷却能力</p> <p>(i) 使用済燃料ピット水浄化冷却設備</p> <p>a. 構造 通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、使用済燃料ピットには、使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料からの崩壊熱の除去並びに使用済燃料ピット水の浄化を行うため、ポンプ、冷却器等で構成する使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設ける。</p> <p>b. 冷却能力 使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料から発生する崩壊熱の除去を行うのに十分な冷却能力を有する設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備で除去した熱は、最終的な熱の逃がし場であ</p>	<p>相違理由</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■【大飯】記載の拡充（女川参照）</p> <p>■【女川】設備名称の相違</p> <p>■【大飯、女川】泊は本文五号(子、以降)及び添付書類八(3、以降)のうち、共用設備の名称が最初に記載される箇所（共用の宣言）、設備一覧等に共用を記載する方針のため。</p> <p>■【大飯】記載の拡充（女川参照）</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■【女川】泊（大飯も）は臨界防止のためピット内での配置制限が必要。</p> <p>■記載の充実（女川実績の反映）</p> <p>■設備の相違（使用済燃料ピットの容量）</p> <p>■既許可記載の相違（炉共用）</p> <p>■以下、泊の使用済燃料ピット水浄化冷却設備は同型の設備で記載が充実している大飯と比較し相違理由を記載する。</p> <p>■②設備の相違（MOX燃料）</p> <p>■②設備の相違（MOX燃料）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(参考) 高浜3号炉(MOX導入済)設置許可(令和3年5月)の記載</p> <p>使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化新燃料から発生する崩壊熱の除去を行うのに十分な冷却能力を有する設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備で除去した熱は、最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p> <p>(a) 使用済燃料ピット冷却器 (1号、2号及び3号炉共用) 型式 横置U字管式 基数 2 伝熱容量 約4.3MW(1基当たり) 型式 プレート式 基数 1 伝熱容量 約5.18MW</p> <p>(b) 使用済燃料ピットポンプ (1号、2号及び3号炉共用) 台数 2 容量 約546m³/h(1台当たり)</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可(令和3年5月)より引用】</p> <p>(2) 安全設計方針 該当なし</p>	<p>a. 燃料プール冷却浄化系ポンプ 台数 1(予備1) 容量 約160m³/h</p> <p>b. 燃料プール冷却浄化系熱交換器 基数 2</p> <p>(2) 安全設計方針 該当なし</p>	<p>る海へ輸送できる設計とする。</p> <p>(a) 使用済燃料ピット冷却器(1号、2号及び3号炉共用、既設) 型式 横置U字管式 基数 2 伝熱容量 約6.3×10³kW(1基当たり)</p> <p>(b) 使用済燃料ピットポンプ(1号、2号及び3号炉共用、既設) 台数 2 容量 約550m³/h(1台当たり)</p> <p>(2) 安全設計方針 該当なし</p>	<p>■【大阪】設備の相違(冷却器伝熱容量、プレート式冷却器) ・使用済燃料ピット貯蔵能力の相違から崩壊熱量が異なるため、必要な冷却器伝熱容量も異なる。(追加要求事項対象外)</p> <p>■【大阪】設備の相違(使用済燃料ピットポンプの容量)</p> <p>■大阪との比較はここまで。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 適合性説明 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>1 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下この条において「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。 二 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものとする。 四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。 <p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。 ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。 ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 二 使用済燃料の貯蔵施設（使用済燃料を工場等内に貯蔵する乾式キャスク（以下「キャスク」という。）を除く。）にあっては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有するものとする。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料貯蔵槽から水が漏れいした場合において水の漏れを検知することができるものとする。 ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。 	<p>(3) 適合性説明 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>第十六条 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下この条において「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。 二 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものとする。 四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。 <p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。 ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。 ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 二 使用済燃料の貯蔵施設（キャスクを除く。）にあっては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有するものとする。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料貯蔵槽から水が漏れいした場合において水の漏れを検知することができるものとする。 ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。 	<p>(3) 適合性説明 (燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設)</p> <p>第十六条 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下この条において「燃料体等」という。）の取扱施設（安全施設に係るものに限る。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等を取り扱う能力を有するものとする。 二 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 三 崩壊熱により燃料体等が溶融しないものとする。 四 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 五 燃料体等の取扱中における燃料体等の落下を防止できるものとする。 <p>2 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、燃料体等の貯蔵施設（安全施設に属するものに限る。以下この項において同じ。）を設けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 燃料体等の貯蔵施設は、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 燃料体等の落下により燃料体等が破損して放射性物質の放出により公衆に放射線障害を及ぼすおそれがある場合において、放射性物質の放出による公衆への影響を低減するため、燃料貯蔵設備を格納するもの及び放射性物質の放出を低減するものとする。 ロ 燃料体等を必要に応じて貯蔵することができる容量を有するものとする。 ハ 燃料体等が臨界に達するおそれがないものとする。 二 使用済燃料の貯蔵施設（キャスクを除く。）にあっては、前号に掲げるもののほか、次に掲げるものであること。 <ul style="list-style-type: none"> イ 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。 ロ 貯蔵された使用済燃料が崩壊熱により溶融しないものであって、最終ヒートシンクへ熱を輸送できる設備及びその浄化系を有するものとする。 ハ 使用済燃料貯蔵槽（安全施設に属するものに限る。以下この項及び次項において同じ。）から放射性物質を含む水があふれ、又は漏れないものであって、使用済燃料貯蔵槽から水が漏れいした場合において水の漏れを検知することができるものとする。 ニ 燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれないものとする。 	<p>■【大飯】記載表現の相違（女川実績を参照）</p> <p>■【大飯】記載内容の相違 ・法令の改正による記載の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても温度、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても温度、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p> <p>4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。</p> <p>一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。</p> <p>二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。</p> <p>三 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。</p>	<p>3 発電用原子炉施設には、次に掲げるところにより、使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を測定できる設備を設けなければならない。</p> <p>一 使用済燃料貯蔵槽の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の異常を検知し、それを原子炉制御室に伝え、又は異常が生じた水位及び水温を自動的に制御し、並びに放射線量を自動的に抑制することができるものとする。</p> <p>二 外部電源が利用できない場合においても温度、水位その他の発電用原子炉施設の状態を示す事項（以下「パラメータ」という。）を監視することができるものとする。</p> <p>4 キャスクを設ける場合には、そのキャスクは、第二項第一号に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。</p> <p>一 使用済燃料からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有するものとする。</p> <p>二 使用済燃料の崩壊熱を適切に除去することができるものとする。</p> <p>三 使用済燃料が内包する放射性物質を適切に閉じ込めることができ、かつ、その機能を適切に監視することができるものとする。</p>	<p>■【大飯】記載の充実(女川参照)</p>
<p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について 3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用、及び4号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び4号炉共用の燃料体等の取扱設備は、燃料体等の搬入から搬出までの取り扱いを安全かつ確実に行うことができるように、次の方針により設計する。</p> <p>第1項第1号について 燃料取扱設備は、燃料体等の搬入から搬出までの取り扱いにおいて、燃料取替クレーン、燃料移送装置、使用済燃料ピットクレーン等を連携し、当該燃料を搬入、搬出又は保管できる設計とする。</p> <p>第1項第2号について 燃料取扱設備は、燃料体等を1体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p>	<p>適合のための設計方針</p> <p>以下、通常運転時に使用する燃料体又は使用済燃料（以下「燃料体等」という。）のうち、チャンネル・ボックスを除いたものを燃料集合体という。</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、下記事項を考慮した設計とする。なお、2号炉原子炉建屋原子炉棟内の燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、その一部を1号及び2号炉共用とする。</p> <p>第1項第1号について 燃料取扱設備は、新燃料の搬入から使用済燃料の搬出までの取扱いにおいて、当該燃料を搬入、搬出又は保管できる設計とする。</p> <p>第1項第2号について 燃料取扱設備は、燃料体等を1体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p>	<p>適合のための設計方針</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、下記事項を考慮した設計とする。なお、3号炉燃料取扱棟内の燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、その一部を1号、2号及び3号炉共用とする。</p> <p>第1項について 燃料体等の取扱設備は、以下の方針により設計する。</p> <p>第1項第1号について 燃料取扱設備は、新燃料の搬入から使用済燃料の搬出までの取扱いにおいて、燃料取替クレーン、燃料移送装置、使用済燃料ピットクレーン等を連携し、当該燃料を搬入、搬出又は保管できる設計とする。</p> <p>第1項第2号について 燃料取扱設備は、燃料体等を1体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p>	<p>■【女川】設備の相違 （BWR燃料のチャンネルボックスに相当する設備はない。）</p> <p>■記載の充実（女川参照）</p> <p>■設備名称の相違（プラント名、建屋名称）</p> <p>■既許可構成、記載表現の相違</p> <p>■①既許可記載の相違</p> <p>■【大飯】記載表現の相違</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違 ・泊・大飯は取扱設備名を記載。</p> <p>■【大飯】記載表現の相違（取扱い/取り扱い） ・泊では「取扱い」（名詞）、「取り扱う」（動詞）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1項第3号について 燃料体等（新燃料を除く。）の移送は、すべて水中で行い、崩壊熱により溶融しない設計とする。</p> <p>第1項第4号について 使用済燃料の取扱設備は、取り扱い時において、十分な水遮蔽深さが確保される設計とする。</p> <p>第1項第5号について 燃料取扱設備は、移送操作中の燃料体等の落下を防止するため、十分な考慮を払った設計とする。また、クレーンはワイヤ2重化、フック部外れ止め及び動力電源喪失時保持機能を有し、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>第2項第1号について 3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用、及び4号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び4号炉共用の燃料体等の貯蔵設備は、以下のように設計する。 イ 燃料の貯蔵設備は、独立の原子炉周辺建屋に設け、原子炉周辺建屋内の独立の区画に新燃料貯蔵庫を設ける。 原子炉周辺建屋内の使用済燃料ピット水面には、補助建屋給気系統により外気を供給し、使用済燃料ピット水面から上昇する気体が建屋内に拡散するのを防止するとともに、使用済燃料ピット区域からの排気は補助建屋排気系統より排気筒へ排出することで、放射性物質の放出を低減する設計とする。また、燃料体等の落下により放射性物質が放出された場合は、使用済燃料ピット付近のエリアモニタで検</p>	<p>第1項第3号について 燃料体等（新燃料を除く。）の移送は、すべて水中で行い、崩壊熱により溶融しない設計とする。</p> <p>第1項第4号について 使用済燃料の取扱設備は、取扱時において、十分な水遮蔽深さが確保される設計とする等、放射線業務従事者の線量を合理的に達成できる限り低くするような設計とする。</p> <p>第1項第5号について 燃料交換機の燃料つかみ具は二重ワイヤや種々のインターロックを設け、燃料移動中の燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p> <p>また、原子炉建屋クレーンの主要要素は、吊り荷の落下防止措置を施すとともに使用済燃料輸送容器を吊った場合は、使用済燃料プール上を走行できないなどのインターロックを設ける設計とする。</p> <p>第2項第1号イについて 貯蔵設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置し、適切な雰囲気換気空調系で維持する設計とする。また、燃料等の落下により放射性物質が放出された場合は、原子炉建屋原子炉棟で、その放散を防ぎ、非常用ガス処理系で処理する設計とする。</p>	<p>第1項第3号について 燃料体等（新燃料を除く。）の移送は、すべて水中で行い、崩壊熱により溶融しない設計とする。</p> <p>第1項第4号について 使用済燃料の取扱設備は、取扱時において、十分な水遮蔽深さが確保される設計とする等、放射線業務従事者の線量を合理的に達成できる限り低くするような設計とする。</p> <p>第1項第5号について 燃料取扱設備は二重のワイヤや種々のインターロックを設け、移送操作中の燃料体等の落下を防止できる設計とする。また、クレーンはフック部外れ止め及び動力電源喪失時保持機能を有し、使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については落下を防止できる設計とする。</p> <p>第2項第1号について 燃料体等の貯蔵設備は、以下のように設計する。 イ 燃料貯蔵設備としては、燃料取扱棟内に新燃料貯蔵庫及び使用済燃料ピットを設ける。 燃料取扱棟内の使用済燃料ピット水面には、補助建屋換気空調設備により外気を供給し、使用済燃料ピット水面から上昇する気体が燃料取扱棟内に拡散するのを防止するとともに、使用済燃料ピット区域からの排気は補助建屋換気空調設備により排気筒へ排出する設計とする。また、燃料体等の落下により放射性物質が放出された場合は、アニユラス空気浄化設備で処理する設計とする。</p>	<p>■【大飯】記載の充実（女川参照）</p> <p>■【女川】記載表現の相違 ・泊3号で燃料体等を移送する際は燃料取扱棟クレーン、使用済燃料ピットクレーン及び取扱工具を用いるが、クレーンは動力源喪失時保持機能を有しており、取扱工具は燃料取扱中に燃料体等が外れて落下しないようフェイル・セーフ機構（機械的インターロック）を設け、燃料体等の落下を防止できる設計としている。</p> <p>■【女川】記載の充実（大飯参照） ■【大飯】ワイヤ2重化は泊3号炉では重複するため記載しない。 ■【女川】設備の相違 ・女川の原子炉建屋クレーンに相当する泊の燃料取扱棟クレーンは、使用済燃料ピット上を走行することが無いようクレーンの走行範囲を物理的に制限しているため、インターロックは設けていない。</p> <p>■設置許可構成の相違、記載表現の相違</p> <p>■記載の拡充（建屋名称追加） ■記載内容の相違 ・換気空調設備については泊は詳細に記載。 ■【大飯】記載表現の相違（換気空調設備/給気系統・排気系統）</p> <p>■【大飯】①既許可記載の相違 ・泊では、燃料取扱棟の排気を</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>知し、警報を発信する設計とする。</p> <p>加えて、使用済燃料ピットには、使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設け、使用済燃料ピット水に含まれる固形分及びイオン性不純物を除去し、ピット水からの放射線量が十分低くなるように設計する。</p> <p>ロ 新燃料の貯蔵設備は、燃料取替時に必要とする燃料を貯蔵することができる1/3炉心分以上の容量を有し、使用済燃料の貯蔵設備は、燃料取替時に取り出される燃料及び通常運転時に炉心に装荷されている燃料を貯蔵することができる3号炉及び4号炉のおのおの全炉心燃料の約130%相当分以上の容量を有する設計とする。</p> <p>ハ 3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用、及び4号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び4号炉共用の使用済燃料ピット中の使用済燃料ラックは、燃料集合体との間隔を十分にとり、設備容量分の燃料を収容しても実効増倍率は0.98（解析上の不確定さを含む。）以下となる設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵庫中の新燃料ラックは、燃料集合体の間隔を十分にとり、設備容量分の燃料を収容しても実効増倍率は、0.95（解析上の不確定さを含む。）以下となる設計とする。</p> <p>（第2項第1号ハの前半を再掲）</p> <p>ハ 3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用、及び4号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び4号炉共用の使用済燃料ピット中の使用済燃料ラックは、燃料集合体との間隔を十分にとり、設備容量分の燃料を収容しても実効増倍率は0.98（解析上の不確定さを含む。）以下となる設計とする。</p> <p>第2項第2号について</p> <p>3号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び3号炉共用、及び4号炉原子炉周辺建屋内1号、2号及び4号炉共用の使用済燃料の貯蔵設備は、以下のように設計する。</p> <p>イ 使用済燃料ピットの壁面及び底部は、コンクリート壁による遮蔽を有し、使用済燃料の上部は十分な水深を持た</p>	<p>第2項第1号ロについて</p> <p>新燃料貯蔵庫の貯蔵能力は、全炉心燃料の約40%とする。</p> <p>使用済燃料プールは、2号炉の全炉心燃料の約400%相当分貯蔵できる容量とする。</p> <p>第2項第1号ハについて</p> <p>燃料体等の貯蔵設備としては、新燃料貯蔵庫、使用済燃料プールがある。</p> <p>(1) 新燃料貯蔵庫は、浸水を防止し、かつ、水が入ったとしても排水可能な構造とする。</p> <p>(2) 新燃料貯蔵ラックは、燃料間距離を十分とることにより、新燃料を貯蔵能力最大に収容した状態で万一新燃料貯蔵庫が水で満たされるといふ厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を0.95以下に保つことができる設計とする。</p> <p>なお、実際に起きることは考えられないが、反応度が最も高くなるような水分雰囲気で満たされた場合を仮定しても臨界未満にできる設計とする。</p> <p>(3) 使用済燃料プール及び使用済燃料貯蔵ラックは、耐震Sクラスで設計し、使用済燃料プール中の使用済燃料貯蔵ラックは、適切な燃料間距離をとることにより燃料が相互に接近しないようにする。また、貯蔵能力最大に燃料を収容し、使用済燃料プール水温及び使用済燃料貯蔵ラック内燃料位置等について想定されるいかなる場合でも、実効増倍率を0.95以下に保つことができる設計とする。</p> <p>第2項第2号イについて</p> <p>使用済燃料の貯蔵設備については、以下のように設計する。</p> <p>使用済燃料プール内の壁面及び底部はコンクリート壁による遮蔽を施すとともに、使用済燃料等の上部は十分</p>	<p>加えて、使用済燃料ピットには、使用済燃料ピット水浄化冷却設備を設け、使用済燃料ピット水に含まれる固形分及びイオン性不純物を除去し、ピット水からの放射線量が十分低くなるように設計する。</p> <p>ロ 新燃料貯蔵設備の貯蔵能力は、全炉心燃料の約23%とする。使用済燃料貯蔵設備は、燃料取替時に取り出される燃料及び通常運転時に炉心に装荷されている燃料を貯蔵することができる全炉心燃料の約130%相当分以上の容量、並びにウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を貯蔵できる容量とする。</p> <p>ハ 新燃料貯蔵庫は、浸水を防止し、かつ、水が入ったとしても排水可能な構造とする。</p> <p>新燃料貯蔵庫中の新燃料ラックは、燃料間距離を十分とることにより、新燃料を貯蔵能力最大に収容した状態で万一新燃料貯蔵庫が水で満たされるといふ厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を0.95（解析上の不確定さを含む。）以下に保つことができる設計とする。</p> <p>なお、実際に起きることは考えられないが、反応度が最も高くなるような水分雰囲気で満たされた場合を仮定しても臨界未満にできる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット及び使用済燃料ラックは、耐震Sクラスで設計し、使用済燃料ピット中の使用済燃料ラックは、適切な燃料間距離をとることにより燃料が相互に接近しないようにする。また、貯蔵能力最大に燃料を収容し、使用済燃料ピット水温、使用済燃料ラック内燃料位置等について想定されるいかなる場合でも、実効増倍率を0.98（解析上の不確定さを含む。）以下に保つことができる設計とする。</p> <p>第2項第2号について</p> <p>使用済燃料の貯蔵設備については、以下のように設計する。</p> <p>イ 使用済燃料ピットの壁面及び底部はコンクリート壁による遮蔽を施すとともに、燃料体等の上部は十分な遮蔽効</p>	<p>相違理由</p> <p>アニュラス空気浄化設備に切り替え、フィルタをとおして放射性物質の放出を低減する手段を準備している。 （追加要求事項対象外）</p> <p>■設備の相違（新燃料貯蔵庫の容量）</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違（使用済燃料ピット容量）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1炉心+1取替以上の容量以上（大飯も同じ） ・女川は実際の貯蔵容量（追加要求事項対象外） <p>■設備の相違（MOX燃料）</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■①既許可記載の相違</p> <p>■【大飯】記載の充実（女川参照）（追加要求事項対象外）</p> <p>■【女川】記載の充実（大飯参照）（追加要求事項対象外）</p> <p>■【大飯】記載の充実（女川参照）（追加要求事項対象外）</p> <p>■【女川】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊（大飯も同じ）では、SFPの実効増倍率を0.98以下（解析上の不確かさ含む）で設計している。 <p>■【大飯】設置許可構成の相違</p>

下に再掲する

再掲

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>せた遮蔽により、放射線業務従事者の受ける線量を合理的に達成できる限り低くする設計とする。</p> <p>ロ 使用済燃料の貯蔵設備は、使用済燃料ピット水浄化冷却設備を有する設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット水を冷却して、使用済燃料ピットに貯蔵した使用済燃料からの崩壊熱を十分除去できる設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備で除去した熱は、原子炉補機冷却水設備及び原子炉補機冷却海水設備を経て最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット水を適切な水質に維持できる設計とする。</p> <p>ハ 使用済燃料ピットは、冷却水の喪失を防止するため基準地震動に対して機能を維持する設計とするとともに、冷却水の喪失を引き起こす可能性のあるドレン配管等は設けない設計とする。また、内面はステンレス鋼でライニングし、漏えいを防止する。</p> <p>さらに、使用済燃料ピットに接続する配管には、サイフォン現象により冷却水の喪失を招かないよう必要な個所にはサイフォンブレイカを設ける。</p> <p>また、使用済燃料ピット内張りからの漏えい検知のための装置及び使用済燃料ピット水位監視のための水位低及び水位高の警報を有する設計とする。</p> <p>ニ 使用済燃料ピットは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能を損うことのない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットクレーン本体等の重量物については、使用済燃料ピットに落下しない設計とする。</p>	<p>な遮蔽効果を有する水深を確保する設計とする。</p> <p>第2項第2号ロについて</p> <p>使用済燃料プールの崩壊熱は、燃料プール冷却浄化系の熱交換器で使用済燃料プール水を冷却して除去するが、必要に応じて残留熱除去系の熱交換器を併用する。燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系の熱交換器で除去した熱は、原子炉補機冷却系等を経て最終ヒートシンクである海へ輸送できる設計とする。</p> <p>また、燃料プール冷却浄化系は、ろ過脱塩装置を設置して使用済燃料プール水の浄化を行う設計とする。</p> <p>第2項第2号ハについて</p> <p>使用済燃料プールの耐震設計は、Sクラスで設計し、内面はステンレス鋼でライニングし漏えいを防止する。また、使用済燃料プールには排水口を設けないとともに、使用済燃料プールに入る配管には逆止弁を設けサイフォン効果により使用済燃料プール水が流出しない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料プールライニングの破損による漏えいを監視するため、漏えい検知装置及び水位警報装置を設ける設計とする。</p> <p>第2項第2号ニについて</p> <p>燃料交換機の燃料つかみ具は、二重のワイヤや種々のインターロックを設け、かつ、ワイヤ、インターロック等は、その使用前に必ず機能試験、検査を実施するので燃料体等取扱中に燃料体等が落下することはないと考えるが、使用済燃料プールのライニングは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても使用済燃料プールの機能を失うような損傷は生じない設計とする。</p> <p>また、燃料交換機本体等の重量物については、使用済燃料プールに落下しない設計とする。</p> <p>なお、使用済燃料輸送容器の落下については、キャスクピットは使用済燃料プールとは障壁で分離し、かつ、原子炉建屋クレーンは吊り荷の落下防止措置を施すと</p>	<p>果を有する水深を確保し、放射線業務従事者の受ける線量を合理的に達成できる限り低くする設計とする。</p> <p>ロ 使用済燃料ピットに貯蔵した使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料からの崩壊熱は、使用済燃料ピット水浄化冷却設備で使用済燃料ピット水を冷却して除去する。使用済燃料ピット水浄化冷却設備で除去した熱は、原子炉補機冷却水設備を経て原子炉補機冷却海水設備により最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット脱塩塔及び使用済燃料ピットフィルタを設置して使用済燃料ピット水の浄化を行う設計とする。</p> <p>ハ 使用済燃料ピットは、耐震Sクラスで設計し、内面はステンレス鋼板で内張りし漏えいを防止する。また、使用済燃料ピットには排水口を設けないとともに、使用済燃料ピットに接続する配管には、サイフォン効果により使用済燃料ピット水の喪失を招かないよう必要な個所にはサイフォンブレイカを設ける。</p> <p>また、使用済燃料ピット内張りからの漏えいを監視するため、漏えい検知装置及び使用済燃料ピット水位を設け、使用済燃料ピット水位監視のための水位低及び水位高の警報を有する設計とする。</p> <p>ニ 燃料体等の取扱設備は、二重のワイヤや種々のインターロックを設け、かつ、ワイヤ、インターロック等は、その使用前に必ず機能試験、検査を実施するので燃料体等取扱中に燃料体等が落下することはないと考えるが、使用済燃料ピットの内張りは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても使用済燃料ピットの機能を失うような損傷は生じない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットクレーン本体等の重量物については、使用済燃料ピットに落下しない設計とする。</p> <p>なお、使用済燃料輸送容器の落下については、キャスクピットは使用済燃料ピットから障壁で分離し、かつ、燃料取扱棟クレーンは使用済燃料ピット上を走行できな</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■【女川】①既許可記載の相違 ■記載表現の相違（記載の充実：大飯参照） ■【女川】記載表現の相違 ■設備の相違（MOX燃料） ■【女川】設備の相違（残留熱除去系の併用） ■【女川】設備名称の相違 ■【大飯】記載の充実（女川反映） ■【大飯】①既許可記載の相違 ■【女川】記載統一（耐震Sクラス） ■【大飯】①既許可記載の相違 ■記載の充実（追加要求事項の対象外、大飯参照） ■【女川】設備の相違 泊・大飯はサイフォンブレイカ、女川は逆止弁によりサイフォン効果による水の喪失を防止している。 ■【大飯】記載表現の相違（サイフォン効果/サイフォン現象） ■【大飯】①既許可記載の相違 ■【女川】設備の相違 ■【女川】記載の充実（大飯反映） ■記載の充実（女川審査実績の反映） ■【女川】設備名称の相違 ■設備の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第3項第1号について 使用済燃料ピットには使用済燃料ピット水漏えい監視のため、漏えい検知装置を設ける。 また、使用済燃料ピットの水位及び水温監視のため、水位低及び水位高並びに温度高の警報を設け、中央制御室に警報を発信する設計とする。 燃料取扱場所の放射線監視のため、エリアモニタ及び排気筒モニタを設け、放射線量の異常を検知した時は中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>第3項第2号について 使用済燃料ピットの水位及び温度並びに燃料取扱場所の放射線量の計測設備は、非常用所内電源より給電し、外部電源が利用できない場合においても、監視できる設計とする。</p> <p>1.3 気象等 該当なし</p>	<p>もに使用済燃料輸送容器を吊った場合は、使用済燃料貯蔵ラック上を走行できない等のインターロックを設ける設計とするので、使用済燃料輸送容器が使用済燃料プールに落下することを想定する必要はない。</p> <p>第3項について 使用済燃料プールには、使用済燃料プールの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を監視する設備を設け、異常が検知された場合には、中央制御室に警報を発信することが可能な設計とする。</p> <p>また、これらの計測設備については非常用所内電源系から受電し、外部電源が利用できない場合においても、監視が可能な設計とする。</p> <p>第4項について 本発電用原子炉施設では、乾式キャスクを用いた使用済燃料の貯蔵設備を設置していない。</p> <p>1.3 気象等 該当なし</p>	<p>い設計とするので、使用済燃料輸送容器が使用済燃料ピットに落下することを想定する必要はない。</p> <p>【説明資料（5.2：16条-別添1-16～31） （参考1,2：16条-別添1-参考1-1～3、16条-別添1-参考2-1）】</p> <p>第3項第1号について 使用済燃料ピットにおける崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態を監視する目的で、使用済燃料ピットの水位及び水温を監視する設備を設け、異常が検知された場合には、中央制御室に警報を発信することが可能な設計とする。 燃料取扱場所の放射線監視のため、エリアモニタ及び排気筒モニタを設け、放射線量の異常を検知した時は中央制御室に警報を発信することが可能な設計とする。 【説明資料（1.2：16条-別添2-1～8）】</p> <p>第3項第2号について 使用済燃料ピットの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量の計測設備は、非常用所内電源系から受電し、外部電源が利用できない場合においても、監視が可能な設計とする。 【説明資料（1.4：16条-別添2-10）】</p> <p>第4項について 本発電用原子炉施設では、乾式キャスクを用いた使用済燃料の貯蔵設備を設置していない。</p> <p>1.3 気象等 該当なし</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の原子炉建屋クレーンは使用済燃料プール上の走行が可能であり、使用済燃料輸送容器を吊った場合はプール上を走行できないようインターロックを設けている。泊の燃料取扱棟クレーンは、使用済燃料ピット上にレールが無く、物理的に使用済燃料ピット上を走行できない設計としている。 ■記載内容の相違 ・追加要求事項対象外（第3項第1号）に関する記載の相違 泊は目的を明確にて詳細に記載。 ■記載の充実（大飯参照） ■【大飯】記載表現の相違 ■記載内容の相違 ■【大飯】記載表現の相違 ■【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>4.1 燃料の取扱設備及び貯蔵設備</p> <p>4.1.1 通常運転時等</p> <p>4.1.1.1 概要 (3号炉)</p> <p>燃料の取扱設備及び貯蔵設備は、燃料体等を発電所内に搬入してから発電所外に搬出するまでの燃料取扱い及び貯蔵を安全かつ確実に行うものである。燃料取替は、平衡時には年に約1回行い、この時に取り出す燃料集合体は約60体を予定している。</p> <p>燃料取扱設備の配置を第4.1.1.1図及び第4.1.1.2図に示す。</p> <p>発電所に搬入した新燃料は、補助建屋クレーン等を使用して、受取検査後、原子炉周辺建屋内の新燃料貯蔵庫又は使用済燃料ピットに貯蔵する。原子炉停止後、原子炉より取り出す使用済燃料は、燃料取替クレーン、燃料移送装置、使用済燃料ピットクレーン等を使用して、ほう酸水を張った原子炉キャビティ、燃料取替チャンネル及び燃料移送管を通して使用済燃料ピットへ移動する。これらの使用済燃料の移送は、遮蔽及び冷却のため、すべて水中で行う。</p>	<p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>4.1 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備</p> <p>4.1.1 通常運転時等</p> <p>4.1.1.1 概要</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、新燃料貯蔵庫、使用済燃料プール（1号及び2号炉共用、既設）、燃料交換機（1号及び2号炉共用、既設）、原子炉建屋クレーン（1号及び2号炉共用、既設）、キャスク洗浄ピット（1号及び2号炉共用、既設）等で構成する。</p> <p>なお、使用済燃料の搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。</p> <p>新燃料貯蔵庫及び使用済燃料プール（1号及び2号炉共用、既設）の概要図を第4.1-1図に示す。</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、新燃料を原子炉建屋原子炉棟に搬入してから炉心に装荷するまで、及び使用済燃料を炉心から取り出し原子炉建屋原子炉棟から搬出までの貯蔵、並びに取扱いを行うものである。</p>	<p>1.4 設備等（手順等含む）</p> <p>4. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>4.1 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備</p> <p>4.1.1 通常運転時等</p> <p>4.1.1.1 概要</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、新燃料貯蔵庫、使用済燃料貯蔵設備（1号、2号及び3号炉共用、既設）、使用済燃料ピット水浄化冷却設備（1号、2号及び3号炉共用、既設）、燃料取替クレーン、使用済燃料ピットクレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）、燃料取扱棟クレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）、燃料移送装置等で構成する。</p> <p>なお、使用済燃料の搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。搬出に際しては、使用済燃料輸送容器の除染を行う。</p> <p>燃料貯蔵設備の一設備である使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピットポンプ（1号、2号及び3号炉共用、既設）、使用済燃料ピット冷却器（1号、2号及び3号炉共用、既設）、使用済燃料ピット脱塩塔（1号、2号及び3号炉共用、既設）、使用済燃料ピットフィルタ（1号、2号及び3号炉共用、既設）等からなる閉回路で構成する。</p> <p>燃料貯蔵設備及び取扱設備概要図を第4.1.1図、第4.1.2図に示す。また、使用済燃料ピット水浄化冷却設備系統概要図を第4.1.3図に示す。</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、新燃料を燃料取扱棟に搬入してから炉心に装荷するまで、及び使用済燃料を炉心から取り出し燃料取扱棟内から搬出するまでの貯蔵、並びに取扱いを行うものである。</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 ■設置許可構成の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の「使用済燃料ピット水浄化冷却設備」は、既許可で「燃料の貯蔵設備及び取扱設備」の一設備としており、今回申請でも「添付ハ4.1燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備」の一設備として記載する。 ・女川2号炉/大阪3,4号炉は「添付ハ4.2使用済燃料プールの冷却等のための設備/使用済燃料ピット水浄化冷却設備」に記載しているが、DB16条まとめ資料の作成範囲外としている。 ・泊は本文五号（チ、以降）及び添付書類八（3、以降）のうち、共用設備の名称が最初に記載される箇所（共用の宣言）、設備一覧等に共用を記載する方針のため。 ■【大阪】①既許可記載の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪は設備の目的、燃料取替間隔、取り出し燃料体数を記載しているが、女川2号炉・泊3号炉は設備の構成について記載している。 ■①既許可記載の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料は、使用済燃料ピットに貯蔵するが、必要に応じて使用済燃料ピット内で別に用意した容器に入れて貯蔵する。</p> <p>使用済燃料は、使用済燃料ピット内で通常12箇月間以上冷却し、冷却を終えた使用済燃料は、使用済燃料ピットクレーン等を使用して水中で使用済燃料輸送容器に入れ再処理工場へ搬出する。</p> <p>さらに、燃料の取扱設備及び貯蔵設備のうち、原子炉周辺建屋内の燃料取扱設備の一部及び使用済燃料貯蔵設備は1号、2号及び3号炉共用とする。</p> <p>使用済燃料ピットの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を中央制御室で監視できるとともに、異常時は警報を発信する。</p> <p>(4号炉) 3号炉の3号を4号に読み替える他は、3号炉に同じ。</p>	<p>使用済燃料プールの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量は中央制御室で監視できるとともに、異常時は中央制御室に警報を発信する。</p>	<p>使用済燃料ピット（1号、2号及び3号炉共用、既設）の水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量を中央制御室で監視できるとともに、異常時は中央制御室に警報を発信する。</p> <p>【説明資料（1.1：16条-別添2-1）】</p>	<p>■泊は本文五号（チ、以降）及び添付書類八（3、以降）のうち、共用設備の名称が最初に記載される箇所（共用の宣言）、設備一覧等に共用を記載する方針のため。</p> <p>■【大飯】記載の充実（女川参照）</p> <p>■【大飯】既許可構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3号炉及び4号炉)</p> <p>4.1.1.2 設計方針</p> <p>燃料の取扱設備及び貯蔵設備は、燃料体等の搬入から搬出までの取扱い及び貯蔵を安全かつ確実に行うことができるよう以下の方針により設計する。</p> <p>(9) 使用済燃料の貯蔵設備は、ほう素濃度2,800ppm以上のほう酸水で満たし、定期的にほう素濃度を分析する。また、設備容量分の燃料収容時に純水で満たされた場合を想定しても実効増倍率は0.98以下で十分な未臨界性を確保できる設計とする。</p> <p>新燃料の貯蔵設備は、浸水することのないようにするが、設備容量分の燃料収容時に純水で満たされた場合を想定しても実効増倍率は0.95以下で十分な未臨界性を確保できる設計とする。さらに、いか度の水分雰囲気で満たされたと仮定しても未臨界なる密性を確保できる設計とする。</p> <p>(6) 使用済燃料の貯蔵設備は、使用済燃料ピット水浄化冷却設備を有する設計とする。使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット水を冷却して使用済燃料ピットに貯蔵した使用済燃料からの崩壊熱を十分除去できるとともに、使用済燃料ピット水を適切な水質に維持できる設計とする。</p> <p>(7) 使用済燃料ピットは、冷却用の使用済燃料ピット水の保有量が著しく減少することを防止するため、基準地震動に対して機能を維持する設計とするとともに、使用済燃料ピットに接続する配管は、使用済燃料ピット水の減少を引き起こさない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位は、水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット温度は、ピット水の過熱状態を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。燃料取扱場所の線量当量率を測定する使用済燃料ピット区域エリアモニタは、管理区域境界における線量当量率限度から設置区</p>	<p>4.1.1.2 設計方針</p> <p>(1) 未臨界性</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、幾何学的な安全配置又は適切な手段により、臨界を防止できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵設備は、燃料体等を貯蔵容量最大に収容した場合でも通常時はもちろん、想定されるいかなる場合でも、未臨界性を確保できる設計とする。また、燃料体等の取扱設備は、燃料体等を直接取り扱う場合には、一体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p>	<p>4.1.1.2 設計方針</p> <p>(1) 未臨界性⁽⁴⁾⁽²⁾</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、幾何学的な安全配置又は適切な手段により、臨界を防止できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵設備は、ウラン新燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を貯蔵容量最大に収容し、貯蔵設備が純水で満たされる等の想定されるいかなる場合でも、未臨界性を確保できる設計とする。また、燃料体等の取扱設備は、燃料体等を直接取り扱う場合には、1体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止できる設計とする。</p> <p>(2) 冷却浄化能力</p> <p>使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット内に貯蔵する使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料からの崩壊熱を除去できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水浄化冷却設備の熱交換器で除去した熱は、原子炉補機冷却水設備を経て原子炉補機冷却海水設備により、最終的な熱の逃がし場である海に輸送できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水浄化冷却設備は、使用済燃料ピット水中の固形状及びイオン状不純物を除去し、浄化できる設計とする。</p>	<p>■【大阪】①既許可記載の相違</p> <p>■【大阪】①既許可記載の相違</p> <p>■①既許可記載の相違</p> <p>■【女川】設備の相違 ・PWRの使用済燃料ピットはほう酸水で満たしているため、敢えて当該箇所に「純水で満たされ」という条件を記載している。</p> <p>■記載方針の相違 ・女川は冷却浄化能力に関する記載なし。(追加要求事項対象外)</p> <p>■【大阪】①既許可記載の相違</p>

泊3号炉の(6)で再掲①

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

泊3号炉の(6)で再掲	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>泊3号炉の(12)で再掲②</p>	<p>域における立入り制限値を包絡する計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。さらに、使用済燃料ピット内張りからの漏えい検知のための装置を有する設計とする。</p> <p>外部電源が利用できない場合においても、非常用所内電源からの給電により使用済燃料ピットの温度、水位及び放射線量が監視可能な設計とする。</p> <p>さらに、万一漏えいが生じた場合には、燃料取替用水ピットからほう素濃度2,800ppm以上のほう酸水を注水できる設計とする。</p> <p>(3) 新燃料貯蔵設備は、1回の燃料取替えに必要とする燃料集合体数（全炉心燃料の約30%相当）に十分余裕を持たせた容量を有し、また、使用済燃料の貯蔵設備は、全炉心燃料の取出し及び1回の燃料取替えに必要とする燃料集合体数（全炉心燃料の約130%相当）に十分余裕を持たせた貯蔵容量を有する設計とする。</p>	<p>(2) 非常用補給能力 使用済燃料プール水の補給に復水貯蔵タンク水が使用できない場合には、残留熱除去系を用いてサブプレッションチェンバの水を補給できる設計とする。</p> <p>(3) 貯蔵能力 使用済燃料プールは、使用済燃料を計画どおりに貯蔵した後でも、炉心内の全燃料を使用済燃料プールに移すことができるような貯蔵能力を有した設計とする。また、新燃料貯蔵庫は、通常時の燃料取替を考慮し、適切な貯蔵能力を有した設計とする。</p> <p>(4) 遮蔽 使用済燃料プール内の壁面及び底部は、コンクリート壁による遮蔽を施すとともに、燃料体等の上部には十分な遮蔽効果を有する水深を確保する設計とする。</p> <p>燃料体等の取扱設備は、使用済燃料の炉心から使用済燃料プールへの移送操作、使用済燃料プールから炉心への移送操作、使用済燃料輸送容器への収容操作等が、使用済燃料の遮蔽に必要な水深を確保した状態で、水中で行うことができる設計とする。</p>	<p>(3) 非常用注水能力 使用済燃料ピットから万一漏えいが生じた場合には、燃料取替用水ピットからほう素濃度3,200ppm（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料が装荷されるまでは3,000ppm）以上のほう酸水を注水できる設計とする。</p> <p>(4) 貯蔵能力 新燃料貯蔵設備は、通常の燃料取替えを考慮し、適切な貯蔵能力を有する設計とする。 また、使用済燃料貯蔵設備は、全炉心及び1回の燃料取替えに必要とする燃料集合体数（全炉心燃料の約130%相当）に十分余裕を持たせた貯蔵能力を有する設計とする。</p> <p>(5) 遮蔽 使用済燃料ピット及びキャスクピットの壁面及び底部は、コンクリート壁による遮蔽を施すとともに、燃料体等の上部には十分な遮蔽効果を有する水深を確保する設計とする。 使用済燃料ピットは、使用済燃料ピットに接続する配管等が使用済燃料ピット外で破損して使用済燃料ピット水が流出しても、貯蔵中の使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料が露出せず、遮蔽上十分な使用済燃料ピット水位を保てる設計とする。</p> <p>燃料体等の取扱設備は、使用済燃料の炉心から使用済燃料ピットへの移送操作、使用済燃料ピットから炉心への移送操作、使用済燃料輸送容器への収容操作等が、使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の遮蔽に必要な水深を確保した状態で、ほう酸水中で行うことができる設計とする。</p>	<p>■【女川】記載表現の相違 ■①既許可記載の相違 ■【女川】設備の相違 ・PWRではほう酸水を注水する。 また、泊3号はMOX燃料未装荷のため、MOX燃料が装荷されるまでのほう素濃度も記載する。</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違</p> <p>■記載の充実（追加要求事項の対象外、大飯参照）</p> <p>■①既許可記載の相違 ・大飯の設計方針には遮蔽に該当する記載なし。</p> <p>■①既許可記載の相違（配管破損時の遮蔽維持/DB16条追加要求事項対象外）</p> <p>■設備の相違（MOX燃料）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>（（7）の前半を再掲）</p> <p>①再掲</p> <p>泊3号炉の(12)で再掲③</p> <p>(7) 使用済燃料ピットは、冷却用の使用済燃料ピット水の保有量が著しく減少することを防止するため、基準地震動に対して機能を維持する設計とするとともに、使用済燃料ピットに接続する配管は、使用済燃料ピット水の減少を引き起こさない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位は、水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット温度は、ピット水の過熱状態を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。燃料取扱場所の線量当量率を測定する使用済燃料ピット区域エリアモニタは、管理区域境界における線量当量率限度から設置区域における立入り制限値を包絡する計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。さらに、使用済燃料ピット内張りからの漏えい検知のための装置を有する設計とする。</p> <p>(8) 使用済燃料の貯蔵設備は、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時においても著しい使用済燃料ピット水の減少を引き起こすような損傷が生じない設計とする。</p> <p>(4) 燃料取扱設備は、移送操作中の燃料体等の落下を防止するため2重ワイヤ等の適切な保持装置を有する設計とする。</p>	<p>(5) 漏えい防止、漏えい監視及び崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態の監視</p> <p>使用済燃料プール水の漏えいを防止するため、使用済燃料プールには排水口を設けない設計とする。また、使用済燃料プールに接続された配管には逆止弁を設け、配管が破損しても、使用済燃料プール水が流出しない設計とする。</p> <p>使用済燃料プール水の漏えいを監視するため、漏えい検知装置及び水位警報装置を設ける設計とする。また、使用済燃料プールの水温及び燃料取扱場所の放射線量を測定が可能な設計とする。</p> <p>(6) 構造強度</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、地震荷重等の適切な組合せを考慮しても強度上耐え得る設計とする。</p> <p>また、使用済燃料プールのライニングは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても使用済燃料プールの機能を損なうような損傷を生じない設計とする。</p>	<p>(6) 漏えい防止及び漏えい監視</p> <p>使用済燃料ピット水の漏えいを防止するため、使用済燃料ピット及びキャスクピット（1号、2号及び3号炉共用、既設）には排水口を設けない設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットに接続する配管は、その配管が破損した場合でもサイフォン効果により使用済燃料ピット水が流出しない設計とする。</p> <p>万一の使用済燃料ピット水及びキャスクピット水の漏えいを監視するため、漏えい検知装置及び使用済燃料ピット水位を設ける設計とする。</p> <p>(7) 構造強度</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、地震荷重等の適切な組合せを考慮しても強度上耐え得る設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットの内張りは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても使用済燃料ピットの機能を損なうような損傷を生じない設計とする。</p> <p>【説明資料（別紙1：16条-別添1-別紙1-1～4）】</p> <p>(8) 落下防止</p> <p>燃料取扱設備は、二重のワイヤや種々のインターロックを設け、移送操作中の燃料体等の落下を防止する設計とする。</p> <p>【説明資料（5.2.2：16条-別添1-26～29）】</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、監視設備について「(12)監視機能」で記載している。 泊は本文五号（チ、以降）及び添付書類八（3、以降）のうち、共用設備の名称が最初に記載される箇所（共用の宣言）、設備一覧等に共用を記載する方針のため。 <p>■①既許可記載の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊3号炉の既許可記載は女川相当となっている。 <p>■記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、水温及び放射線量の測定は、(12)監視機能で記載している。 <p>■【大飯】記載内容の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>■【大飯】①既許可記載の相違</p>

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(10) 落下時に使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については、使用済燃料ピット周辺の状況、現場における作業実績、図面等にて確認することにより、落下時のエネルギーを評価し、気中落下試験時の燃料集合体の落下エネルギー (39.3kJ) 以上となる設備等を抽出する。抽出された設備等については、使用済燃料ピットからの離隔を確保するとともに、基準地震動による地震力に対しても床面や壁面へ固定する等により、地震時にも落下を防止できる設計とする。</p> <p>a. 原子炉周辺建屋 原子炉周辺建屋の天井を支持する鉄骨梁及び柱は、基準地震動に対して健全性が確保される設計とする。天井は、鋼板の上に鉄筋コンクリート造の床を設け、地震による剥落のない構造とする。</p> <p>壁は、梁や柱の外側に取り付け、使用済燃料ピット内に落下しない構造とする。</p> <p>b. 使用済燃料ピットクレーン 使用済燃料ピットクレーンは、基準地震動による地震力に対し、クレーン本体、転倒防止金具等及びレール基礎ボルトにおける評価を行い、使用済燃料ピットへの落下物とならないよう、以下を満足する設計とする。</p>	<p>(7) 落下防止 落下時に使用済燃料プールの機能に影響を及ぼす重量物については、使用済燃料プール周辺の状況、現場における作業実績、図面等にて確認することにより、落下時のエネルギーを評価し、気中落下試験時の模擬燃料集合体 (チャンネルボックス含む) の落下エネルギー (15.5kJ) 以上となる設備等を抽出する。床面や壁面へ固定する設備等については、使用済燃料プールからの離隔を確保するため、使用済燃料プールへ落下するおそれはない。</p> <p>a. 原子炉建屋原子炉棟 原子炉建屋原子炉棟の屋根を支持する屋根トラスは、基準地震動に対する発生応力が終局耐力を超えず、使用済燃料プール内に落下しない設計とする。また、屋根については鋼板 (デッキプレート) の上に鉄筋コンクリート造の床を設けた構造とし、地震による剥落のない構造とする。</p> <p>また、燃料取替床の床面より上部を構成する壁は、鉄筋コンクリート造の耐震壁であり、燃料取替床の床面より下部の耐震壁と合わせて基準地震動に対して使用済燃料プール内へ落下しない設計とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(参考) 伊方3号炉設置許可 (令和2年9月) の記載 上層部の壁を構成する鋼板や鋼材は、基準地震動に対して耐震性を有する主柱や間柱に溶接又はボルトで接続された一体構造とし、地震により使用済燃料ピット内に落下しない設計とする。</p> </div> <p>b. 燃料交換機 燃料交換機は、基準地震動による地震荷重に対し、燃料交換機本体の健全性評価及び転倒落下防止評価を行い、使用済燃料プールへの落下物とならないよう、以下を満足する設計とする。また、燃料交換機は、ワイヤロープの二重化、フック部の外れ止め及び動力電源喪失時の保持機能により、落下防止対策を講じた設計とする。</p>	<p>(9) 重量物落下 落下時に使用済燃料ピットの機能に影響を及ぼす重量物については、使用済燃料ピット周辺の状況、現場における作業実績、図面等にて確認することにより、落下時のエネルギーを評価し、気中落下試験時の模擬燃料集合体の落下エネルギー (39.3kJ) 以上となる設備等を抽出する。床面や壁面へ固定する設備等については、使用済燃料ピットからの離隔を確保するため、使用済燃料ピットへ落下するおそれはない。</p> <p>【説明資料 (2~5: 16条-別添1-2~31) (補足説明資料7, 8: 16条-別添1-補足7-1~3, 16条-別添1-補足8-1~4)】</p> <p>a. 燃料取扱棟 燃料取扱棟の屋根を支持する鉄骨梁及び柱は、基準地震動に対する発生応力及び応答せん断力が終局耐力を超えず、使用済燃料ピット内に落下しない設計とする。また、屋根については、鋼板 (デッキプレート) の上に鉄筋コンクリート造の床を設けた構造とし、地震による剥落のない構造とする。</p> <p>また、燃料取扱棟の下層部を構成する壁は、鉄筋コンクリート造の耐震壁であり、基準地震動に対して使用済燃料ピット内に落下しない設計とする。</p> <p>上層部の壁を構成する鋼板や鋼材は、耐震性を有する主柱及び間柱に溶接又はボルトで接続された一体構造とし、基準地震動に対して使用済燃料ピット内に落下しない設計とする。</p> <p>【説明資料 (5.2.1 (1): 16条-別添1-16~19)】</p> <p>b. 使用済燃料ピットクレーン 使用済燃料ピットクレーンは、基準地震動による地震力に対し、クレーン本体の健全性評価及び転倒落下防止評価を行い、使用済燃料ピットへの落下物とならないよう、以下を満足する設計とする。また、使用済燃料ピットクレーンは、二重のワイヤ、フック部外れ止め及び動力電源喪失時の保持機能により、落下防止対策を講じた設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■【女川】①既許可記載の相違 ■【大飯】記載内容の相違 (女川実績の反映) ■【女川】設備の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・建屋の構造及び仕様が異なるため相違する。なお、大飯とは同じ構造及び仕様である。 ■【大飯】記載内容の相違 (女川実績の反映) ■設備の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・女川とは壁の構造が異なり、また、大飯とは壁の取り付け方が異なるため相違する。なお、伊方3号炉とは同じ構造及び仕様である。 ■記載の統一 (地震力) ■【大飯】記載箇所の変更 (女川審査実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) クレーン本体に発生する地震力に対して、評価が保守的となるよう吊荷の条件を考慮し、各部発生応力が許容応力以下であること。</p> <p>(b) クレーンの転倒防止金具等に発生する地震力に対して、評価が保守的となるよう吊荷の条件を考慮し、各部発生応力が許容応力以下であること。</p> <p>(c) 地震によって発生する各方向の力に対し、レール基礎ボルトの発生応力が許容応力以下であること。</p>	<p>(a) 燃料交換機本体の健全性評価においては、想定される使用条件において評価が保守的となるよう最大質量の吊荷を吊った状態を考慮し、基準地震動Ssに対して燃料交換機本体（構造物フレーム）に発生する応力が許容応力以下であること。</p> <p>(b) 転倒落下防止評価においては、走行レール及び横行レール頭部を抱き込む構造をした燃料交換機の転倒防止装置について、想定される使用条件において評価が保守的となるよう最大質量の吊荷を吊った状態を考慮し、基準地震動Ssに対して転倒防止装置及び取付ボルトに発生する応力が許容応力以下であること。</p> <p>(c) 走行レールの健全性評価においては、想定される使用条件において評価が保守的となるよう最大質量の吊荷を吊った状態を考慮し、基準地震動Ssに対して走行レール及びレールクリップボルトに発生する応力が許容応力以下であること。</p>	<p>(a) クレーン本体の健全性評価においては、クレーン本体に発生する地震力に対して、評価が保守的となるよう吊荷の条件を考慮し、各部発生応力が許容応力以下であること。</p> <p>(b) 転倒落下防止評価においては、走行レール頭部を抱き込む構造をしたクレーンの転倒防止金具に発生する地震力に対して、評価が保守的となるよう吊荷の条件を考慮し、各部発生応力が許容応力以下であること。</p> <p>(c) 走行レールの健全性評価においては、走行方向、走行直角方向及び鉛直方向について、地震時に走行レール及び基礎ボルトに発生する応力が、許容応力以下であること。</p> <p>【説明資料（5.2.1（2）：16条-別添1-20～25）】</p>	<p>■記載表現の相違</p> <p>■記載の適正化（大飯参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備構造、評価方法が近い大飯を参照した。 <p>・泊の使用済燃料ピットクレーンに横行レールはない。</p> <p>■記載の適正化（大飯参照）</p> <p>■記載の適正化（走行レールも評価対象であることを記載）</p>
<p>c. 補助建屋クレーン</p> <p>補助建屋クレーンは、使用済燃料ピットの上部に走行レールが無く、仮に脱落したとしても建屋の構造上、クレーン本体及び吊荷が使用済燃料ピットへの落下物とならない設計とする。仮に落下後の移動を想定しても、使用済燃料ピットとの間に燃料取扱キャナルがあるため、クレーン本体及び吊荷が使用済燃料ピットへの落下物となることはない。また、使用済燃料輸送容器をキャスクピット上で取り扱う場合は、燃料ピットゲートを閉止するとともに、使用済燃料輸送容器の移動範囲や移動速度の制限に関する運用上の措置を講ずる。</p> <p>補助建屋クレーンの走行限界位置を第4.1.1.3図に示す。</p>	<p>c. 原子炉建屋クレーン</p> <p>原子炉建屋クレーンは、基準地震動による地震荷重に対し、クレーン本体の健全性評価及び転倒落下防止評価を行い、使用済燃料プールへの落下物とならないよう、以下を満足する設計とする。また、原子炉建屋クレーンは、ワイヤロープ二重化、フック部の外れ止め及び動力電源喪失時の保持機能により落下防止対策を施すとともに、使用済燃料輸送容器を吊った場合は、使用済燃料貯蔵ラック上を走行できない等のインターロックを設ける設計とする。さらに、重量物の移送時には、走行範囲を制限する措置を講ずることで、仮に原子炉建屋クレーンが走行レールから脱落したとしても、クレーン本体及び吊荷が使用済燃料プールに落下しない設計とする。</p> <p>(a) 原子炉建屋クレーン本体の健全性評価においては、想定される使用条件において評価が保守的となるよう最大質量の吊荷を吊った状態を考慮し、基準地震動Ssに対してクレーン本体に発生する応力が許容応力以下であること。</p>	<p>c. 燃料取扱棟クレーン</p> <p>燃料取扱棟クレーンは、使用済燃料ピットの上部に走行レールが無く、仮に脱落したとしても建屋の構造上、クレーン本体及び吊荷が使用済燃料ピットへの落下物とならない設計とする。また、使用済燃料輸送容器をキャスクピット上で取り扱う場合は、万一使用済燃料輸送容器が落下した場合にも使用済燃料ピットの機能が喪失しないように、作業中は使用済燃料ピットとキャスクピットとの間のゲートを閉止するとともに、使用済燃料輸送容器の移動範囲や移動速度の制限に関する運用上の措置を講ずる。</p> <p>燃料取扱棟クレーンの走行限界位置を第4.1.4図に示す。</p> <p>【説明資料（参考1,2：16条-別添1-参考1-1～3、16条-別添1-参考2-1）】</p>	<p>■記載方針の相違（燃料取扱棟クレーン/原子炉建屋クレーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は地震時評価を行い、使用済燃料プールに落下しないことを確認。 ・泊（大飯も同じ）は、走行レールが使用済燃料ピット上に無いため、落下しないことを説明。 <p>■記載の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートを閉止する期間が明確になるよう追記した。 <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の燃料取扱棟クレーンでキャスクをキャスクピット上で取り扱う場合の運用を記載。 <p>■記載の充実（大飯参照）</p> <p>■【女川】記載の相違（原子炉建屋クレーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準地震動による評価について記載。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(b) 転倒落下防止評価においては、走行方向及び横行方向に浮上り代を設けた構造をした原子炉建屋クレーンの脱線防止ラグについて、想定される使用条件において評価が保守的となるよう最大質量の吊荷を吊った状態を考慮し、基準地震動Ssに対して脱線防止ラグに発生する応力が許容応力以下であること。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 燃料貯蔵設備は、適切な格納性と補助建屋給気系統及び補助建屋排気系統を有する区画として設計する。</p> <p>(5) 使用済燃料の取扱設備及び貯蔵設備は、放射線業務従事者の線量を合理的に達成できる限り低くする設計とする。</p> <p>((7)を再掲)</p> <p>③再掲 { 使用済燃料ピット水位は、水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。 使用済燃料ピット温度は、ピット水の過熱状態を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。燃料取扱場所の線量当量率を測定する使用済燃料ピット区域エリアモニタは、管理区域境界における線量当量率限度から設置区域における立入り制限値を包絡する計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時に警報を発信する設計とする。</p> <p>②再掲 { 外部電源が利用できない場合においても、非常用所内電源からの給電により使用済燃料ピットの温度、水位及び放射線量が監視可能な設計とする。</p> <p>(1) 燃料の取扱設備及び貯蔵設備のうち安全上重要な機器は、適切な定期的試験及び検査ができる設計とする。</p>	<p>(8) 雰囲気の浄化 燃料体等の貯蔵設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置し、適切な雰囲気を換気空調設備（「8.放射線管理施設」参照）で維持する設計とする。 また、燃料体等の落下により放射性物質等が放出された場合には、原子炉建屋原子炉棟で、その放散を防ぎ、非常用ガス処理系（「9.原子炉格納施設」参照）で処理する設計とする。</p> <p>(9) 除染 使用済燃料輸送容器の除染ができる設計とする。</p> <p>(10) 被ばく低減 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、放射線業務従事者の被ばくを合理的に達成できる限り低減する設計とする。</p> <p>(11) 燃料取扱場所のモニタリング 燃料取扱場所は、崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態を検出できるとともに、これを適切に放射線業務従事者へ伝えることができる設計とする。</p> <p>(12) 試験検査 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備のうち安全機能を有する構築物、系統及び機器は、適切な定期的試験及び検査を行うことができる設計とする。</p>	<p>(10) 雰囲気の浄化 燃料体等の貯蔵設備は、燃料取扱棟内に設置し、換気空調設備（「8.2換気空調設備」参照）で適切な雰囲気を維持する設計とする。 また、燃料取扱棟内における燃料体等の落下等により放射性物質が放出された場合には、アニュラス空気浄化設備（「9.3アニュラス空気浄化設備」参照）で処理できる設計とする。</p> <p>(11) 被ばく低減 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備は、放射線業務従事者の被ばくを合理的に達成できる限り低くする設計とする。</p> <p>(12) 監視機能 使用済燃料ピット水位は、水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時には中央制御室に警報を発信する設計とする。使用済燃料ピット温度は、ピット水の過熱状態を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時には中央制御室に警報を発信する設計とする。燃料取扱場所の線量当量率を測定する使用済燃料ピットエリアモニタは、管理区域境界における線量当量率限度から設置区域における立入り制限値を包絡する計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常時には中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>外部電源が利用できない場合においても、非常用所内電源系からの受電により使用済燃料ピットの水位及び水温並びに燃料取扱場所の放射線量が監視可能な設計とする。 【説明資料（1.4：16条-別添2-10）】</p> <p>(13) 試験検査 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備のうち安全機能を有する構築物、系統及び機器は、適切な定期的試験及び検査を行うことができる設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載表現の相違 ・泊3号炉の既許可記載は女川相当となっている。</p> <p>■記載内容の相違 ・泊の燃料取扱棟に放射性物質等の放散の抑制は期待していない。</p> <p>■記載方針の相違 ・泊ではキャスクの除染を設計方針としては記載していないが、4.1.1.1 概要で搬出の際には除染する運用としている。</p> <p>■①既許可記載の相違 ■記載の統一</p> <p>■【女川】記載内容の相違 ・女川の水位、水温及びモニタは『(5) 漏えい防止、漏えい監視及び崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態の監視』に記載しているが、監視設備に関する記載は泊（大飯）の方が充実している。</p> <p>■【大飯】記載表現の相違</p> <p>■【大飯】記載拡充（女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4.1.1.4 主要設備 【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↓</p> <p>(3号炉)</p> <p>(1) 新燃料貯蔵庫 新燃料貯蔵庫は、原子炉補助建屋内の独立した区画に設け、キャン型のラックに新燃料を1体ずつ挿入する構造とし、乾燥状態で貯蔵する。</p> <p>新燃料貯蔵庫は、万一純水で満たされたとしても実効増倍率が0.95以下になるよう設計する。さらに、いかなる密度の水分雰囲気でも満たされたときと仮定しても臨界未満となるよう設計する。</p> <p>貯蔵容量は全炉心燃料の約75%相当分とする。</p> <p>貯蔵庫は浸水することのない構造とし、さらに、排水口を設ける。また、水消火設備は設けない。</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↑</p> <p>(2) 使用済燃料ピット 使用済燃料ピット（1号、2号及び3号炉共用）は、原子炉周辺建屋内に設け鉄筋コンクリート造で、耐震設計Sクラスとする。壁は遮蔽を考慮して十分厚くする。使用済燃料ピット内面は、漏水を防ぎ保守を容易にするために、ステンレス鋼板で内張りした構造とする。</p>	<p>4.1.1.3 主要設備の仕様 燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備（1号及び2号炉共用、既設）の主要設備の仕様を第4.1-1表に示す。</p> <p>4.1.1.4 主要設備 発電所に到着した新燃料は、受取検査後、原子炉建屋原子炉棟内の新燃料貯蔵庫又は使用済燃料プールに貯蔵する。</p> <p>(3) 新燃料貯蔵庫 新燃料貯蔵庫は、発電所に到着した新燃料を受取検査後炉心に装荷するまで貯蔵する鉄筋コンクリート造の設備で、原子炉建屋原子炉棟内に設け、全炉心燃料の約40%を取納できる。燃料は堅固な構造のラックに垂直に入れ、乾燥状態で保管する。新燃料貯蔵庫には水が充満するのを防止するための排水口を設ける。</p> <p>なお、新燃料は発電所敷地内の倉庫に所定の保安上の措置を行った上、一時仮置することもある。</p> <p>新燃料貯蔵ラックは、貯蔵燃料の臨界を防止するために必要な燃料間距離を保持し、たとえ新燃料を貯蔵容量最大で貯蔵した状態で、万一新燃料貯蔵庫が水で満たされるといふ厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を0.95以下に保つ。さらに実際には起こることは考えられないが、反応度が最も高くなるというような水分雰囲気で満たされる場合を仮定しても臨界未満とする。</p> <p>(4) 使用済燃料プール 使用済燃料プール（1号及び2号炉共用、既設）は、2号炉の全炉心燃料の約40%相当分貯蔵が可能であり、さらに放射化された機器等の貯蔵及び取扱いができるスペースをもたせる。壁の厚さは遮蔽を考慮して十分とあり、内面はステンレス鋼でライニングし漏えいを防止する。使用済燃料プールの水深は約11.5mである。また、著しく破損した燃料集合体は、使用済燃料プール内の破損燃料貯蔵ラックに収納する。</p>	<p>4.1.1.3 主要設備</p> <p>4.1.1.3.1 新燃料貯蔵設備 新燃料貯蔵庫は、燃料取扱棟内の独立した区画に設け、鉄筋コンクリート造の設備で、ウラン新燃料をキャン型ラックに1体ずつ挿入する構造であり、乾燥状態で貯蔵する。新燃料貯蔵庫は、浸水を防止し、かつ、水が入ったとしても水が充満するのを防止するための排水口を設ける。</p> <p>貯蔵能力は全炉心燃料の約23%相当分である。</p> <p>新燃料ラックは、貯蔵燃料の臨界を防止するために必要な燃料間距離を保持することにより、たとえウラン新燃料を貯蔵容量最大に貯蔵した状態で、万一新燃料貯蔵庫が水で満たされるといふ厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を0.95以下に保つ。</p> <p>なお、実際に起こることは考えられないが、反応度が最も高くなるような水分雰囲気で満たされる場合を仮定しても臨界未満とする。</p> <p>4.1.1.3.2 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料ピット（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、燃料取扱棟内に設け、鉄筋コンクリート造の耐震Sクラスの構造物である。</p> <p>使用済燃料ピットの壁面及び底部のコンクリート壁は、遮蔽を十分に考慮した厚さであり、使用済燃料ピットに貯蔵した使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の上部には燃料取扱時にも十分な遮蔽効果を有する水深を確保する。</p>	<p>■【女川】設置許可構成の相違</p> <p>■①既許可記載の相違 追加要求事項対象外</p> <p>■記載内容の相違 ・泊には新燃料を一時仮置する倉庫はない。 ■設備名称、記載表現の相違 （実質相違はない。）</p> <p>■【大飯】記載箇所、内容の相違</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違</p> <p>■【女川】記載表現の相違 ・壁厚、水深、内張り／ライニングについて、表現は相違しているが、内容は同等。</p>

次々頁に再掲
④

次々頁に再掲
⑤

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料ピット水の減少防止のために、使用済燃料ピット水浄化冷却設備の取水のための配管は使用済燃料ピット上部に取り付け、また、注水のための配管にはサイフォンブレーカを取り付ける。さらに、使用済燃料ピット底部には排水口は設けない。</p> <p>サイフォンブレーカの配置を第4.1.1.4図に示す。</p> <p>使用済燃料ピットのステンレス鋼板内張りから、万一漏えいが生じた場合に漏えい水の検知ができるように、漏えい検知装置を設置し、燃料取替用水ピットからほう素濃度2,800ppm以上のほう酸水を注水できる設計とする。</p>	<p>次頁に再掲⑥</p> <p>なお、使用済燃料プールは通常運転中、全炉心の燃料体等を貯蔵できる容量を確保する。</p> <p>使用済燃料貯蔵ラックは、中性子吸収材であるほう素を添加したステンレス鋼を使用するとともに適切な燃料間距離をとることにより、燃料体等を貯蔵容量最大で貯蔵し、かつ使用済燃料プール水温及び使用済燃料貯蔵ラック内燃料貯蔵位置等について、想定されるいかなる場合でも実効増倍率を0.95以下に保ち、貯蔵燃料の臨界を防止する。</p> <p>使用済燃料プール水の漏えいを防止するため、使用済燃料プールには排水口を設けない。</p> <p>使用済燃料プール水の漏えい又は崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態を監視するため、使用済燃料プール監視設備として、燃料貯蔵プール水位、燃料プールライナドレン漏えい、燃料貯蔵プール水温度、燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度、使用済燃料プール水位/温度（ガイドパルス式）、燃料交換フロア放射線モニタ、原子炉建屋原子炉棟排気放射線モニタ、燃料取替エリア放射線モニタを設ける。</p> <p>なお、外部電源が利用できない場合においても、使用済燃料プール監視設備は、非常用所内電源系より受電し、外部電源が喪失した場合においても計測が可能な設計とする。</p> <p>また、使用済燃料プール水の補給に復水貯蔵タンクの水が使用できない場合には、残留</p>	<p>使用済燃料ピット内面は、ステンレス鋼板で内張りし、万一の燃料集合体の落下時にも使用済燃料ピット水の漏えいを防止する。</p> <p>使用済燃料ピット水浄化冷却設備の取水配管は、使用済燃料ピット上部に取り付け、また、注水配管にはサイフォンブレーカを取付け、配管が破損した場合においても使用済燃料ピット水の流出を防止する。さらに、使用済燃料ピット底部には排水口は設けない。</p> <p>サイフォンブレーカの配置を第4.1.5図に示す。</p> <p>使用済燃料ピット水の漏えい又は崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態を監視するため、使用済燃料ピット監視設備として、使用済燃料ピット水位、使用済燃料ピット温度及び使用済燃料ピットエリアモニタを設ける。</p> <p>なお、外部電源が利用できない場合においても、使用済燃料ピット監視設備は、非常用所内電源系より受電し、外部電源が喪失した場合においても計測が可能な設計とする。</p> <p>また、使用済燃料ピットには漏えい検知装置を設け、使用済燃料ピットのステンレス鋼板内張りから、万一漏えいが生じた場合に漏えい水を検知する。</p> <p>燃料集合体は、ほう素濃度3,200ppm（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料が装荷されるまでは3,000ppm）以上のほう酸水中に貯蔵する。</p> <p>使用済燃料ピット水が減少した場合には、</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■【女川】①既許可記載の相違 ■【大飯】記載表現の相違 ■【女川】記載表現の相違 ■【大飯】記載表現の相違 ■【女川】設備の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊では設置許可基準規則第十六条第3項の要求に対応する使用済燃料ピット監視設備は、使用済燃料ピット水位、使用済燃料ピット温度及び使用済燃料ピットエリアモニタの3点としており、これら設備により要求事項を満足できる。 ■【女川】①既許可記載の相違 ■記載適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号はMOX燃料未装荷のため、MOX燃料が装荷されるまでのほう素濃度も記載する。 ■【女川】①既許可記載の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピット/プールへの注水/補給方法の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>貯蔵容量は、全炉心燃料の約1,100%相当分とする。</p> <p>使用済燃料ピット内には、原子炉から取り出した使用済燃料を鉛直に保持し、ほう素濃度2,800ppm以上のほう酸水中に貯蔵するためのキャン型の使用済燃料ラック（1号、2号及び3号炉共用）を配置する。</p> <p>使用済燃料ラックは、各ラックのセルに1体ずつ燃料集合体を挿入する構造で、耐震設計Sクラスとする。使用済燃料ラックは、材料としてステンレス鋼または中性子吸収材であるボロンを添加したステンレス鋼を使用し、ラック中心間隔は、たとえ設備容量分の新燃料を貯蔵し、純水で満たされた場合を想定しても実効増倍率は0.98以下になるように決定する。</p> <p>使用済燃料ピットには、新燃料を初装荷時に空中で、また、燃料取替え時に水中に一時的に保管する。また、使用済燃料ピットにはバーナブルポイズン、使用済制御棒等を貯蔵する。</p> <p>また、使用済燃料輸送容器を置くためにキャスクピットを設ける。</p>	<p>熱除去系を用いてサブプレッションチェンバのプール水を補給する。</p> <p>④再掲 使用済燃料プール（1号及び2号炉共用、既設）は、2号炉の全炉心燃料の約400%相当分貯蔵が可能であり、さらに放射化された機器等の貯蔵及び取扱いができるスペースをもたせる。</p> <p>⑥再掲 なお、使用済燃料プールは通常運転中、全炉心の燃料体等を貯蔵できる容量を確保する。</p> <p>⑦再掲 使用済燃料貯蔵ラックは、中性子吸収材であるほう素を添加したステンレス鋼を使用するとともに適切な燃料間距離をとることにより、燃料体等を貯蔵容量最大で貯蔵し、かつ使用済燃料プール水温及び使用済燃料貯蔵ラック内燃料貯蔵位置等について、想定されるいかなる場合でも実効増倍率を0.95以下に保ち、貯蔵燃料の臨界を防止する。</p> <p>本頁下部に再掲⑧ キャスクピットは、使用済燃料プールとは障壁で分離し、万一の使用済燃料輸送容器の落下事故の場合にも、使用済燃料プールの機能を喪失しないようにする。 なお、新燃料を使用済燃料プールに一時的に仮置することもある。</p> <p>⑤再掲 また、著しく破損した燃料集合体は、使用済燃料プール内の破損燃料貯蔵ラックに収納する。</p> <p>⑧再掲 キャスクピットは、使用済燃料プールとは障壁で分離し、万一の使用済燃料輸送容器の落下事故の場合にも、使用済燃料プールの機能を喪失しないようにする。</p>	<p>燃料取替用水ポンプにより燃料取替用水ピットからほう素濃度3,200ppm（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料が装荷されるまでは3,000ppm）以上のほう酸水を注水できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットには、燃料集合体を鉛直に保持するキャン型の使用済燃料ラック（1号、2号及び3号炉共用、既設）を配置する。貯蔵能力は、全炉心燃料の約920%相当分である。</p> <p>なお、使用済燃料ピットは、通常運転中は全炉心の燃料体等を貯蔵できる容量を確保する。</p> <p>使用済燃料ラックは、各ラックのセルに1体ずつ燃料集合体を挿入する構造で、耐震Sクラスとし、中性子吸収材であるほう素を添加したステンレス鋼を使用するとともに、貯蔵燃料の臨界を防止するために必要な燃料間距離を保持することにより、燃料体等を貯蔵容量最大に貯蔵した状態で純水で満たされ、かつ使用済燃料ピット水温、使用済燃料ラック内燃料位置等について想定されるいかなる場合でも実効増倍率を0.98以下に保ち、貯蔵燃料の臨界を防止する。</p> <p>使用済燃料ピットには、使用済の制御棒クラスタ、バーナブルポイズン等を貯蔵するとともに、ウラン新燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を一時的に保管する。 また、必要があれば使用済燃料ピット内で別に用意した容器に使用済燃料を入れて貯蔵する。</p> <p>なお、使用済燃料輸送容器を置くため、使用済燃料ピットの隣にキャスクピット（1号、2号及び3号炉共用、既設）を設置する。キャスクピットは、万一使用済燃料輸送容器が落下した場合にも使用済燃料ピットの機能が喪失しないように、使用済燃料ピットとキャスクピットとの間をゲートによって分</p>	<p>相違理由</p> <p>■【女川】設備の相違 ・PWRではほう酸水を注水する。 また、泊3号はMOX燃料未装荷のため、MOX燃料が装荷されるまでのほう素濃度も記載する。</p> <p>■【女川】記載表現の相違 ■【女川】①既許可記載の相違 ■【女川】記載内容の相違 ・女川は放射化された機器等を貯蔵することを記載。</p> <p>■記載適正化（女川参照） ■【女川】①既許可記載の相違 ■【大飯】記載表現の相違</p> <p>■【大飯】設備の相違 ・大飯のラックはSUS製とほう素添加SUS製の2種類ある。 泊と女川はほう素添加SUSのみ。</p> <p>■【女川】設備の相違 ・PWRの使用済燃料ピットはほう酸水で満たしているため、敢えて当該箇所に「純水で満たされ」という条件を記載している。</p> <p>■記載適正化（女川参照） ■記載拡充（女川参照） ■【女川】①既許可記載の相違 ・新燃料の保管 ■【大飯】記載表現の相違</p> <p>■①既許可記載の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>離する。</p> <p>キャスクビットの壁面及び底部のコンクリート壁は、遮蔽を十分に考慮した厚さであり、内面はステンレス鋼板で内張りし、キャスクビット水の漏えいを防止する。さらに、キャスクビットには排水口は設けない。</p> <p>また、漏えい検知装置によりキャスクビットのステンレス鋼板内張りから、万一漏えいが生じた場合の漏えい水を検知する。</p> <p>4.1.1.3.3 使用済燃料ビット水浄化冷却設備</p> <p>(1) 使用済燃料ビットポンプ</p> <p>使用済燃料ビットポンプ（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料ビット水を使用済燃料ビット冷却器に通して再び使用済燃料ビットに戻す冷却系と、使用済燃料ビット脱塩塔及び使用済燃料ビットフィルタを通して再び使用済燃料ビットに戻す浄化系とに送水する。</p> <p>使用済燃料ビットポンプは、2台設置し、1台が故障した場合でも必要容量を確保できる。</p> <p>使用済燃料ビットポンプの吸込口は、使用済燃料ビット上部に設け、その配管等が使用済燃料ビット外で破損して使用済燃料ビット水が流出しても、貯蔵中の使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を露出させない。</p> <p>(2) 使用済燃料ビット冷却器</p> <p>使用済燃料ビット冷却器（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料及びウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料から発生する崩壊熱を除去するものであり、使用済燃料ビット水を管側に流し、原子炉補機冷却水を胴側に流す。</p> <p>使用済燃料ビット冷却器は、2基設置し、過去に取り出された使用済燃料と1号及び2号炉の使用済燃料並びにウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料が使用済燃料ビットに貯蔵されているときに燃料取替えのため原子炉からすべての燃料を取り出して貯蔵した場合に、使用済燃料ビットポンプ2台運転で使用済燃料ビット水平均温度を52℃以下に保つことができる。また、使用済燃料ビットポンプ1台運転でも使用済燃料ビット水平均温度を65℃以下に保つことができる。</p> <p>(3) 使用済燃料ビット脱塩塔</p> <p>使用済燃料ビット脱塩塔（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料ビット水中のイオン状不純物を除去する。また、使用済燃料ビット脱塩塔は、燃料取替用水ビット水中のイオン状不純物を除</p>	<p>■①既許可記載の相違</p> <p>■既許可構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉では使用済燃料ビット水浄化冷却設備を燃料貯蔵設備の一設備として記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↓</p> <p>(3) 除染場ピット 除染場ピット（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、キャスクピットに隣接して設け、使用済燃料輸送容器の除染を行う。</p> <p>(4) 原子炉キャビティ及び燃料取替キャナル 原子炉キャビティは原子炉容器上方に設け、燃料取扱時にほう酸水を満たすことにより燃料取扱時に必要な遮へいが得られるようにする。 原子炉容器と原子炉キャビティ底面のすきまは、水張りに先立ってシールリングによってシールする。 原子炉キャビティは、鉄筋コンクリート造で、内面はステンレス鋼板で内張りし、炉内構造物及びその他の必要な工具を置くことができる十分な広さを持たせる。</p> <p>燃料取替キャナルは、原子炉キャビティと原子炉補助建屋の間で燃料集合体を移送するための水路である。この水路は原子炉格納容器を貫通する燃料移送管を介して原子炉補助建屋内キャナル（1号、2号及び3号炉共用、既設）と原子炉格納容器内キャナルに分かれる。</p> <p>原子炉格納容器内キャナルの側壁の高さ及び内張り材料は原子炉キャビティと同じとし、燃料取替時に原子炉キャビティとつながるプールを形成する。</p> <p>(5) 燃料取替クレーン 燃料取替クレーンは、原子炉キャビティと</p>	<p>(5) キャスク除染ピット キャスク除染ピット（1号及び2号炉共用、既設）は使用済燃料プールに隣接して設け、使用済燃料輸送容器の除染を行う。</p> <p>(6) 破損燃料検出装置 破損燃料検出装置は、原子炉停止時にシッピングを行って、破損燃料を検出する。なお、シッピングとは、チャンネルボックス上にシッパキャップを載せ、各チャンネルボックス内の水を採取し、核種分析によって燃料の破損を検出する方法である。</p> <p>(1) 燃料交換機 燃料交換機（1号及び2号炉共用、既設）</p>	<p>去するためにも使用する。 (4) 使用済燃料ピットフィルタ 使用済燃料ピットフィルタ（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料ピット水中の固形状不純物を除去する。また、使用済燃料ピットフィルタは、燃料取替用水ピット水中の固形状不純物を除去するためにも使用する。</p> <p>4.1.1.3.4 原子炉キャビティ及び燃料取替キャナル 原子炉キャビティは、原子炉容器上方に設け、燃料取扱時には遮蔽に必要な水深を確保するためほう酸水を満たす。 原子炉容器と原子炉キャビティ底面のすきまは、原子炉キャビティ水張りのためにシールする。 原子炉キャビティは、鉄筋コンクリート造で、内面はステンレス鋼板で内張りし、炉内構造物及びその他の必要な工具を置くことができる十分な広さを有する。原子炉キャビティには、一時的に燃料集合体を仮置きするための燃料仮置ラックを設ける。 燃料取替キャナルは、原子炉キャビティと燃料取扱棟の間で燃料集合体を移送するための水路であり、内面はステンレス鋼板で内張りし、燃料取扱時には遮蔽に必要な水深を確保するためほう酸水を満たす。 燃料取替キャナルは、原子炉格納容器を貫通する燃料移送管を介して原子炉格納容器内キャナルと燃料取扱棟内キャナルとに分かれる。 原子炉格納容器内キャナルの側壁の高さは原子炉キャビティと同じとし、燃料取替え時に原子炉キャビティとつながるプールを形成する。</p> <p>4.1.1.3.5 燃料取替クレーン 燃料取替クレーンは、原子炉キャビティと</p>	<p>■設備の相違 ・泊3号炉に除染場ピットは設置しておらず、キャスクの除染は燃料取扱棟内の通常の作業スペースで行う。</p> <p>■①既許可記載の相違 ・実質的な相違なし。</p> <p>■【女川】①既許可記載の相違 ・追加要求事項対象外</p> <p>■泊の燃料取替クレーンと女川の燃料交換機は設備が異なるた</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内キャナルの上に設けたレール上を水平に移動する架台と、その上を移動する移送台車よりなるブリッジクレーンである。</p> <p>移送台車上には、運転台及び燃料集合体をつかむためのグリッパチューブを内蔵したマストチューブアセンブリがあり、燃料集合体はマストチューブ内に入った状態で原子炉キャビティ及び原子炉格納容器内キャナルの適当な位置に移動することができる。</p> <p>グリッパチューブの下部にあるグリッパは、空気作動式とし、燃料集合体をつかんだ状態で空気が喪失しても、安全側に働いて燃料集合体を落とすことのない構造とする。</p> <p>架台及び移送台車の駆動並びにグリッパチューブの昇降を安全かつ確実にを行うために、各装置にはインターロックを設ける。</p> <p>燃料取替クレーンは、地震時にも転倒することがないように設計し、さらに、走行部はレールを抱え込む構造とする。</p> <p>(6) 使用済燃料ピットクレーン</p> <p>使用済燃料ピットクレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料ピット上を移動するブリッジクレーンであり、使用済燃料ピット内での燃料集合体の移動は架台上のホイスト、取扱工具等によって行う。</p> <p>使用済燃料ピットクレーンは、駆動源の喪失に対しフェイル・アズ・イズの設計とするとともに、フックは2重ワイヤとし、取扱工具は、燃料取扱い中に燃料集合体が外れて落下することのないような機械的インターロックを設ける。</p>	<p>は、原子炉ウェル、使用済燃料プール及び蒸気乾燥器・気水分離器ピット上を水平に移動するブリッジ並びにその上を移動するトロリで構成する。</p> <p>また、燃料つかみ具は二重のワイヤや燃料体等を確実につかんでいない場合には、吊上げができない等のインターロックを設け、圧縮空気が喪失した場合にも、燃料体等が外れない設計とする。</p> <p>燃料取替作業による放射線業務従事者の被ばくを低減するため、燃料交換機は遠隔自動で運転できる設計とする。</p> <p>(1) 燃料交換機</p> <p>燃料交換機（1号及び2号炉共用、既設）は、原子炉ウェル、使用済燃料プール及び蒸気乾燥器・気水分離器ピット上を水平に移動するブリッジ並びにその上を移動するトロリで構成する。</p> <p>また、燃料つかみ具は二重のワイヤや燃料体等を確実につかんでいない場合には、吊上げができない等のインターロックを設け、圧縮空気が喪失した場合にも、燃料体等が外れない設計とする。</p> <p>燃料取替作業による放射線業務従事者の被ばくを低減するため、燃料交換機は遠隔自動で運転できる設計とする。</p>	<p>原子炉格納容器内キャナルの上を水平に移動する架台と、その上を移動する移送台車からなるブリッジクレーンである。</p> <p>移送台車には、運転台及び1体の燃料集合体をつかむグリッパチューブを内蔵したマストチューブアセンブリがあり、燃料集合体をマストチューブ内に入れた状態で原子炉キャビティ及び原子炉格納容器内キャナルの適当な位置に移送することができる。</p> <p>グリッパチューブの下部にあるグリッパは、空気作動式であり、燃料集合体をつかんだ状態で空気が喪失しても、安全側に働いて燃料集合体を確実に保持できる。また、グリッパチューブは二重のワイヤで保持する構造である。</p> <p>燃料取替クレーンは、架台及び移送台車の駆動並びにグリッパチューブの昇降を安全かつ確実にを行うために、各装置にインターロックを設ける。</p> <p>燃料取替クレーンは、地震時にも転倒することがない構造であり、さらに走行部はレールを抱え込む構造である。</p> <p>4.1.1.3.6 使用済燃料ピットクレーン</p> <p>使用済燃料ピットクレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、使用済燃料ピット上を水平に移動するブリッジクレーンであり、使用済燃料ピット内での3号炉の燃料集合体の移送は架台上のホイスト、3号炉燃料用取扱工具によって1体ずつ行う。また、1号及び2号炉の燃料集合体の移送は架台上のホイスト、1号及び2号炉燃料用取扱工具によって1体ずつ行う。</p> <p>使用済燃料ピットクレーンは、ホイストのワイヤを二重にした構造であるとともに、燃料集合体をつかんだ状態で駆動源が喪失しても、燃料集合体を確実に保持できる。</p> <p>また、取扱工具は、燃料取扱中に燃料集合体が外れて落下することのない機械的インターロックを設ける。</p> <p>なお、1号及び2号炉燃料用取扱工具は、3号炉の燃料集合体をつかめない構造とし、3号炉燃料用取扱工具は、1号及び2号炉の燃料集合体をつかめない構造とすることにより誤操作を防止する。</p>	<p>め、大飯の燃料取替クレーンと比較する。</p> <p>■【大飯】①既許可記載の相違・実質的な相違なし。</p> <p>■【女川】記載内容の相違・クレーンの構造に関する記載（追加要求事項対象外）</p> <p>■【大飯】①既許可記載の相違・実質的な相違なし。</p> <p>■①既許可記載の相違・記載の順序が異なるが、泊、女川ともに号炉、ワイヤの二重構造、駆動源喪失時の燃料保持（フェイル・アズ・イズ）、燃料が外れて落下しないことを記載しており、実質相違なし。</p> <p>■①既許可記載の相違・泊3号炉既許可では、1・2号燃料用取扱工具の誤操作防止について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料ピットクレーンは、地震時にも転倒することがないように設計し、さらに、走行部はレールを抱え込む構造とする。</p> <p>(7) 補助建屋クレーン 補助建屋クレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、新燃料輸送容器、使用済燃料輸送容器及び新燃料の移動を安全かつ確実に行う天井走行クレーンである。</p> <p>補助建屋クレーンは、フックを2重ワイヤとし新燃料輸送容器、使用済燃料輸送容器及び新燃料の落下を防止するとともに、地震時にも落下することがないように設計とし、その移動範囲を重量物の落下により使用済燃料ピットに影響を及ぼすことがないように限定する。</p> <p>(8) 新燃料エレベータ 新燃料エレベータは、1体の燃料集合体を載せることのできる箱型エレベータで、補助建屋クレーンから使用済燃料ピットクレーンに新燃料を受渡する装置である。新燃料エレベータは、駆動源の喪失に対しフェイルセーフ設計とするとともに2重ワイヤにより燃料集合体の落下を防止する構造とする。</p> <p>(9) 燃料移送装置 燃料移送管を通して燃料を移送するために、水中でレール上を走行する移送台車及び燃料移送管の両端のトラックフレームに燃料集合体の姿勢を変えるリフティング機構を設ける。</p> <p>移送台車及びリフティング機構には、燃料集合体の受渡しを安全かつ確実にできるようにインターロックを設ける。</p> <p>燃料取替時以外は、移送台車を使用済燃料ピット側に納め、燃料移送管の隔離弁を閉止し、閉止ふたをする。</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↑</p>	<p>(2) 原子炉建屋クレーン 原子炉建屋クレーン（1号及び2号炉共用、既設）は、新燃料、使用済燃料輸送容器の運搬に使用するとともに、原子炉遮蔽体、原子炉格納容器上蓋、原子炉圧力容器上蓋、蒸気乾燥器、気水分離器等の取外し、運搬及び取付けに使用する。</p> <p>また、原子炉建屋クレーン（1号及び2号炉共用、既設）の主要要素は、種々の二重化を行うとともに重量物を吊った状態で使用済燃料貯蔵ラック上を通過できないようインターロックを設ける。</p>	<p>使用済燃料ピットクレーンは、地震時にも転倒することがない構造であり、さらに、走行部はレールを抱え込む構造である。</p> <p>4.1.1.3.7 燃料取扱棟クレーン 燃料取扱棟クレーン（1号、2号及び3号炉共用、既設）は、新燃料輸送容器、使用済燃料輸送容器、新燃料の移送等を安全かつ確実に行う天井走行クレーンである。</p> <p>燃料取扱棟クレーンは、地震時にも落下することがない構造であり、新燃料輸送容器、使用済燃料輸送容器、新燃料等の重量物の落下を防止するため、フックのワイヤを二重にした構造である。さらに、重量物の落下により使用済燃料ピットに影響を及ぼすことがないように移動範囲を限定する。なお、新燃料の移送は、取扱工具によって1体ずつ行う。</p> <p>4.1.1.3.8 新燃料エレベータ 新燃料エレベータは、1体の燃料集合体を載せることのできる箱型エレベータで、燃料取扱棟クレーンから使用済燃料ピットクレーンに新燃料を受渡する装置である。</p> <p>新燃料エレベータは、ワイヤを二重にした構造であるとともに、駆動源が喪失しても燃料集合体を確実に保持できる。</p> <p>4.1.1.3.9 燃料移送装置 燃料移送装置は、燃料移送管を介した燃料取替チャンネル内で燃料集合体を1体ずつ移送する装置であり、ほう酸水中でレール上を走行する移送台車、燃料移送管の両端にあるトラックフレームで燃料集合体の姿勢を変えるリフティング機構等で構成する。</p> <p>移送台車及びリフティング機構には、燃料集合体の受渡しを安全かつ確実にできるようにインターロックを設ける。燃料取替時以外は、移送台車を燃料取扱棟内チャンネルに納め、燃料移送管の仕切弁を閉止し、閉止フランジを閉じる。</p>	<p>相違理由</p> <p>■①既許可記載の相違 ・クレーンの使用用途の記載。 （追加要求事項対象外）</p> <p>■【女川】記載内容の相違 ・落下防止対策の相違。泊の燃料取扱棟クレーンはワイヤ二重化、移動範囲限定を記載。女川は二重化及びラックを上を通過しないインターロックとしている。</p> <p>■①既許可記載の相違 ・新燃料エレベータ、燃料移送装置について、既許可記載の相違はあるが、実質的な相違はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(参考) 高浜3号炉(MOX導入済)設置許可(令和3年5月)の記載</p> <p>(10) ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置 ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置は、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の把持及びクレーン機能を持ち、遮へい等放射線防護上の措置を講じた装置であり、補助建屋クレーンに吊り下げて使用する。 本装置の吊り下げには、落下防止のため、2重ワイヤを使用する。 また、本装置のグリップは、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の落下防止のため、クレーン部に2重ワイヤを使用するとともに、グリップを空気動作式とし、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料をつかんだ状態で空気が喪失しても、安全側に働いてウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を落とすことのない構造とする。</p> <p>(10) 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット水位は、通常水位からの水位の低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室において監視できるとともに、異常を検知した場合は警報を発信する。</p> <p>(11) 使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度は、使用済燃料ピット</p>	<p>(7) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール水位は、使用済燃料プール水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、異常を検知した場合は中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>(8) 燃料プールライナドレン漏えい 燃料プールライナドレン漏えいは、使用済燃料プールのライナからの漏えいを検知できる計測範囲を有し、使用済燃料プールからの漏えいが発生した場合に中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>(9) 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度は、使用済燃料プール温度の異常な上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な温度上昇時に警報を発信する設計とする。</p> <p>(10) 燃料貯蔵プール水温度 燃料貯蔵プール水温度は、使用済燃料プー</p>	<p>4.1.1.3.10 ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置 ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置は、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の把持及び昇降機能を持ち、遮蔽等放射線防護上の措置を講じた装置であり、燃料取扱棟クレーンに吊り下げて使用する。 本装置の吊り下げには、落下防止のため、二重のワイヤを使用する。 また、本装置のグリップは、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料の落下防止のため、燃料集合体昇降機能の駆動部に二重のワイヤを使用するとともに、グリップを空気動作式とし、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料をつかんだ状態で空気が喪失しても、安全側に働いてウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料を落とすことのない構造とする。 なお、本装置は、操作員の被ばく低減の観点から、ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料から適切な距離を保って操作する。</p> <p>4.1.1.3.11 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット水位は、使用済燃料ピット水位の異常な低下及び上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常を検知した場合は中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>4.1.1.3.12 使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度は、使用済燃料ピット水</p>	<p>■【女川】設備の相違 (MOX燃料)</p> <p>■【女川】設備名称の相違 ■【大阪】記載内容の相違 (女川実績の反映) ■記載内容の相違 ・泊(大阪も同じ)では、中央制御室で水位の監視が可能。 ■【女川】設備の相違 ・泊では、設置許可基準規則第十六条第3項の要求に対応する使用済燃料ピット監視設備は、使用済燃料ピット水位、使用済燃料ピット温度及び使用済燃料ピットエリアモニタの3種類としており、これら設備により要求事項を満足できる。(漏えい又は崩壊熱の除去能力の喪失に至る状態を監視するものとしても、上記3点の設備で対応可能である) ■【女川】設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ト水の水温を監視できる計測範囲を有し、中央制御室において監視できるとともに、異常を検知した場合は警報を発信する。</p> <p>(12) 使用済燃料ピット区域エアモニタ 使用済燃料ピット区域エアモニタは、使用済燃料ピット周辺の放射線量を監視できる計測範囲を有し、中央制御室において監視できるとともに、異常を検知した場合は警報を発信する。</p> <p>(4号炉) 3号炉の3号を4号に読み替える他は、3号炉に同じ。</p>	<p>ル温度の異常な上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な温度上昇時に警報を発信する設計とする。</p> <p>(11) 使用済燃料プール水位/温度（ガイドパルス式） 使用済燃料プール水位/温度（ガイドパルス式）は、使用済燃料プール水位の異常な低下及び使用済燃料プール温度の異常な上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、水位の異常な低下時及び温度の異常な上昇時に警報を発信する設計とする。</p> <p>(12) 燃料交換フロア放射線モニタ 燃料交換フロア放射線モニタは、燃料取扱場所の放射線量について異常な上昇を検出できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な放射線量を検出し警報を発信する設計とする。</p> <p>(13) 原子炉建屋原子炉棟排気放射線モニタ 原子炉建屋原子炉棟排気放射線モニタは、燃料取扱場所での燃料取扱事故（燃料体等の落下）時において燃料取扱場所の放射線量について異常な上昇を検出できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な放射線量を検知した場合に警報を発信し、原子炉建屋の通常の換気空調系を停止するとともに非常用ガス処理系を起動する設計とする。</p> <p>(14) 燃料取替エリア放射線モニタ 燃料取替エリア放射線モニタは、燃料取扱場所での燃料取扱事故（燃料体等の落下）時において燃料取扱場所の放射線量について異常な上昇を検出できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な放射線量を検知した場合に警報を発信し、原子炉建屋の通常の換気空調系を停止するとともに非常用ガス処理系を起動する設計とする。</p>	<p>の温度の異常な上昇を監視できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な温度上昇時に警報を発信する設計とする。</p> <p>4.1.1.3.13 使用済燃料ピットエアモニタ 使用済燃料ピットエアモニタは、使用済燃料ピット周辺の放射線量について異常な上昇を検出できる計測範囲を有し、中央制御室で監視できるとともに、異常な放射線量を検出し警報を発信する設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>■【女川】設計方針の相違 泊ではAピット水位及び温度、Bピット水位及び温度はそれぞれ1台ずつ設置して監視しており、女川の当該設備の機能を十分満足できる設計となっている。</p> <p>■【女川】設備名称の相違</p> <p>■【女川】設備の相違 ・女川は燃料交換フロア放射線モニタの他に2種類のモニタを設置しているが、泊（大阪も同じ）ではDB16条第3項の要求への対応として使用済ピットエアモニタを設置しており、本エアモニタで要求事項（放射線監視、中央制御室への警報）へ対応している。</p> <p>■【大阪】既許可構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4.1.1.5 評価</p> <p>(1) 燃料取扱設備は、2重ワイヤ、インターロック等により燃料体等の落下を防止する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットは、耐震設計Sクラスとするとともに、ピット底部には排水口を設けないので冷却水が著しく減少することはない。また、使用済燃料ピットは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においてもその機能が損なわれることはない。</p> <p>(3) 新燃料貯蔵庫は、必要なラック中心間隔をとっていることから想定されるいかなる状態でも未臨界を確保できる。さらに、新燃料は気中で貯蔵されていること、また浸水することのない構造としている。</p> <p>(4) 使用済燃料ピットは、必要なラック中心間隔をとっていることから想定されるいかなる状態でも未臨界を確保できる。さらに、使用済燃料ピットは、ほう素濃度2,800ppm以上のほう酸水で満たし、また底部には排水口を設けない構造としている。</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↓</p> <p>4.1.1.6 試験検査</p> <p>燃料取扱及び貯蔵設備は、機器の使用に先立って機能試験、検査を実施する。また使用済燃料ピットのほう素濃度は定期的に分析する。</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↑</p>	<p>4.1.1.5 試験検査</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備の機器は、その使用前に必ず機能試験、検査を実施する。</p>	<p>4.1.1.4 主要仕様</p> <p>燃料取扱設備及び貯蔵設備の主要仕様を第4.1.1表に示す。</p> <p>4.1.1.5 評価</p> <p>(1) 燃料取扱設備は、二重のワイヤ、インターロック等により燃料体等の落下を防止する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットは、耐震Sクラスとするとともに、ピット底部には排水口を設けないので使用済燃料ピット水が著しく減少することはない。また、使用済燃料ピットは、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下時及び重量物の落下時においても使用済燃料ピットの機能が損なわれることはない。</p> <p>(3) 新燃料貯蔵庫は、必要なラック中心間隔をとっていることから想定されるいかなる状態でも未臨界を確保できる。さらに、ウラン新燃料は気中で貯蔵されていること、また浸水することのない構造としている。</p> <p>(4) 使用済燃料ピットは、必要なラック中心間隔をとっていることから想定されるいかなる状態でも未臨界を確保できる。さらに、使用済燃料ピットは、ほう素濃度3,200ppm（ウラン・ブルトニウム混合酸化物燃料が装荷されるまでは3,000ppm）以上のほう酸水で満たし、また底部には排水口を設けない構造としている。</p> <p>4.1.1.6 試験検査</p> <p>燃料体等の取扱設備及び貯蔵設備の機器は、その使用前に必ず機能試験及び検査を実施する。</p>	<p>■【女川】記載表現の相違</p> <p>■記載の充実（大飯参照）</p> <p>■設備の相違（MOX燃料）</p> <p>■設備の相違（ほう素濃度）</p> <p>■記載適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号はMOX燃料未装荷のため、MOX燃料が装荷されるまでのほう素濃度も記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4.1.1.7 手順等</p> <p>(1) 使用済燃料ピットへの重量物落下防止対策</p> <p>a. 使用済燃料ピット周辺の設備やクレーンで取り扱う吊荷については、4.1.1.2 設計方針(10)の考え方に基づき使用済燃料ピットに影響を及ぼす落下物となる可能性を評価し、落下防止措置を実施する。</p> <p>b. 使用済燃料ピット上の燃料集合体取扱作業において、燃料集合体下端の吊上げの上限高さはピット底部より4.9mとすることを手順等で整備し、的確に操作を実施する。</p> <p>c. 使用済燃料ピットの健全性を維持するため、燃料取扱設備の吊荷に対する落下防止対策として、ワイヤ2重化や可動範囲制限等を施した設備を使用することとし、それらを手順等に整備し、的確に実施する。</p> <p>d. 補助建屋クレーンにより、使用済燃料輸送容器をキャスクピット上で取り扱う場合は、燃料ピットゲートを閉止する。また、使用済燃料輸送容器の移動範囲や移動速度の制限に関する運用上の措置を講ずることとし、それらを手順等に整備し、的確に実施する。</p> <p>e. クレーン等安全規則に基づき、定期点検及び作業開始前点検を実施するとともに、クレーンの運転、玉掛は有資格者が実施する。</p> <p>f. 使用済燃料ピットの健全性を維持するため、重量物落下防止に係る設備等について</p>	<p>4.1.1.6 手順等</p> <p>燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設は、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 使用済燃料プールへの重量物落下防止対策</p> <p>a. 使用済燃料プール周辺に設置する設備や取り扱う吊荷については、あらかじめ定めた評価フローに基づき評価を行い、使用済燃料プールに影響を及ぼす落下物となる可能性が考えられる場合は落下防止措置を実施する。</p> <p>b. 日常作業等において使用済燃料プール周辺に持ち込む物品については、必要最低限に制限するとともに落下防止措置を実施する。</p> <p>c. 燃料交換機及び原子炉建屋クレーンは、通常待機時、使用済燃料プール上への待機配置を原則行わないこととする。また、原子炉建屋クレーンにより、使用済燃料輸送容器を使用済燃料プール上で取り扱う場合は、使用済燃料輸送容器の移動範囲の制限に関する運用上の措置を講ずることとし、それらを手順等に整備し、的確に実施する。</p> <p>d. 使用済燃料プール上で作業を行う原子炉建屋クレーンについては、クレーン等安全規則に基づき、定期点検及び作業開始前点検を実施するとともに、クレーンの運転、玉掛は有資格者が実施する。また、燃料交換機においても、定期点検及び作業開始前点検を実施する。</p>	<p>4.1.1.7 手順等</p> <p>燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設は、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 使用済燃料ピットへの重量物落下防止対策</p> <p>a. 使用済燃料ピット周辺に設置する設備や取り扱う吊荷については、あらかじめ定めた評価フローに基づき評価を行い、使用済燃料ピットに影響を及ぼす落下物となる可能性が考えられる場合は落下防止措置を実施する。</p> <p>b. 日常作業等において使用済燃料ピット周辺に持ち込む物品については、必要最低限に制限するとともに落下防止措置を実施する。</p> <p>c. 使用済燃料ピット上の燃料集合体取扱作業において、燃料集合体下端の吊上げの上限高さはピット底部より4.9mとすることを手順等で整備し、的確に操作を実施する。</p> <p>d. 使用済燃料ピットの健全性を維持するため、燃料取扱設備の吊荷に対する落下防止対策として、二重のワイヤや可動範囲制限等を施した設備を使用することとし、それらを手順等に整備し、的確に実施する。</p> <p>e. 使用済燃料ピットクレーンは、通常待機時、使用済燃料ピット上への待機配置を原則行わないこととする。</p> <p>f. 燃料取扱棟クレーンにより、使用済燃料輸送容器をキャスクピット上で取り扱う場合は、使用済燃料ピットとキャスクピットとの間のゲートを閉止する。また、使用済燃料輸送容器の移動範囲や移動速度の制限に関する運用上の措置を講ずることとし、それらを手順等に整備し、的確に実施する。</p> <p>g. 使用済燃料ピットクレーン及び燃料取扱棟クレーンについては、クレーン等安全規則に基づき、定期点検及び作業開始前点検を実施するとともに、クレーンの運転、玉掛は有資格者が実施する。</p> <p>h. 使用済燃料ピットの健全性を維持するため、重量物落下防止に係る設備等について</p>	<p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映による記載拡充）</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照）</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照）</p> <p>■【大飯】記載内容の相違（女川実績の反映による記載拡充）</p> <p>■【女川】記載内容の相違 ・泊では使用済燃料ピット上で使用済燃料輸送容器を取り扱うことはない。 ■記載の充実（大飯参照）</p> <p>■【女川】記載内容の相違 ・泊の使用済燃料ピットクレーン及び燃料取扱棟クレーンは両方ともクレーン設備のため併記した。 ■【大飯】記載の拡充（女川参照）</p> <p>■【女川】記載内容の相違（大飯参照）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>は、適切に保守管理を実施するとともに必要に応じ補修を行う。</p> <p>g. 使用済燃料ピットへの重量物落下防止に係る落下防止措置及び当該設備の保守管理に関する教育を行う。</p> <p>(2) 使用済燃料ピット水位、使用済燃料ピット温度及び使用済燃料ピット区域エリアモニタに要求される機能を維持するため、適切に保守管理を実施するとともに、必要に応じ補修を行う。</p> <p>(3) 使用済燃料ピットの計測設備に係る保守管理に関する教育を行う。</p>		<p>は、適切に保守管理を実施するとともに必要に応じ補修を行う。</p> <p>i. 使用済燃料ピットへの重量物落下防止に係る落下防止措置及び当該設備の保守管理に関する教育を行う。</p> <p>(2) 使用済燃料ピット水位、使用済燃料ピット温度及び使用済燃料ピットエリアモニタに要求される機能を維持するため、適切に保守管理を実施するとともに、必要に応じ補修を行う。</p> <p>(3) 使用済燃料ピットの計測設備に係る保守管理に関する教育を行う。</p>	<p>■記載内容の相違（大飯参照）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第4.1.1.1表 燃料の取扱設備及び貯蔵設備の設備仕様 【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】 （3号炉）</p> <p>(1) 新燃料貯蔵庫 基数 1 ラック容量 燃料集合体約160体分（全炉心燃料の約75%相当分） ラック材料 ステンレス鋼</p> <p>(2) 使用済燃料ピット 基数 1 ラック容量 燃料集合体約2130体分（全炉心燃料の約1100%相当分、1号、2号及び3号炉共用） ラック材料 ステンレス鋼（全炉心燃料の約500%相当分） ボロン添加（0.95～1.05wt%）ステンレス鋼（2） （全炉心燃料の約600%相当分） ライニング材料 ステンレス鋼</p> <p>(3) 除染場ピット 基数 1（1号、2号及び3号炉共用）</p> <p>(4) 原子炉キャビティ及び燃料取替チャンネル 基数 1（燃料取替チャンネルのうち原子炉補助建屋内チャンネルは1号、2号及び3号炉共用） ライニング材料 ステンレス鋼</p> <p>(5) 燃料取替クレーン 台数 1</p>	<p>第4.1-1表 燃料取扱及び貯蔵設備の主要仕様</p> <p>(1) 種類 ステンレス鋼内張りプール形（ラック貯蔵方式）</p> <p>(2) 貯蔵能力 2号炉全炉心燃料の約400%相当分</p>	<p>第4.1.1表 燃料取扱設備及び貯蔵設備の主要仕様</p> <p>(1) 新燃料貯蔵庫 基数 1 貯蔵能力 全炉心燃料の約23%相当分 ラック材料 ステンレス鋼</p> <p>(2) 使用済燃料ピット（1号、2号及び3号炉共用、既設） 基数 2 貯蔵能力 全炉心燃料の約920%相当分 ラック材料 ボロン添加（0.95～1.05wt%）ステンレス鋼 ライニング材料 ステンレス鋼</p> <p>(3) 燃料取替用水ポンプ 台数 2 容量 約46 m³/h（1台当たり）</p> <p>(4) 使用済燃料ピットポンプ（1号、2号及び3号炉共用、既設） 台数 2 容量 約550 m³/h（1台当たり）</p> <p>(5) 使用済燃料ピット冷却器（1号、2号及び3号炉共用、既設） 基数 2 伝熱容量 約6.3×10³ kW（1基当たり）</p> <p>(6) 使用済燃料ピット脱塩塔（1号、2号及び3号炉共用、既設） 基数 2 容量 約46 m³/h（1基当たり）</p> <p>(7) 使用済燃料ピットフィルタ（1号、2号及び3号炉共用、既設） 基数 2 容量 約46 m³/h（1基当たり）</p> <p>(8) 原子炉キャビティ及び燃料取替チャンネル 基数 1 ライニング材料 ステンレス鋼</p> <p>(9) 燃料取替クレーン 台数 1</p>	<p>■記載の充実（女川参照）</p> <p>■①既許可記載の相違 ・女川は主要仕様として、使用済燃料プールの種類・貯蔵能力以降は監視設備の使用を記載。 ・泊（大飯も同じ）は、取扱設備及び貯蔵設備の仕様を記載。</p> <p>■【大飯】設備の相違（新燃料貯蔵庫、使用済燃料ピット容量）</p> <p>■【大飯】既許可構成の相違 ・泊は使用済燃料ピット水浄化冷却設備を掲載。</p> <p>■【大飯】設備の相違 ・泊3号炉は除染場ピットを設置していない。</p> <p>■【大飯】設備の相違 ・大飯3号炉は、キャスクピットから使用済燃料ピットへ燃料移送する際に燃料取替チャンネルのうち原子炉補助建屋内チャンネルを通過するので、1、2号炉と共用化している。泊3</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(6) 使用済燃料ピットクレーン 台数 1 (1号、2号及び3号炉共用)</p> <p>(7) 補助建屋クレーン 台数 1 (1号、2号及び3号炉共用)</p> <p>(8) 新燃料エレベータ 台数 1</p> <p>(9) 燃料移送装置 台数 1</p> <p>【まとめ資料作成範囲外のため。設置許可（令和3年5月）より引用】↑</p> <p>(10) 使用済燃料ピット水位 個数 1 計測範囲 E.L.+32.16m~E.L.+33.41m</p> <p>検出器 超音波式検出器</p> <p>(11) 使用済燃料ピット温度 個数 3 計測範囲 0~100℃ 検出器 測温抵抗体</p> <p>(12) 使用済燃料ピット区域エリアモニタ</p>	<p>(3) 燃料貯蔵プール水位 個数 1 計測範囲 (水位低警報設定値)</p> <p>通常水位-165mm (O.P. 32730mm) (水位高警報設定値) 通常水位+ 35mm (O.P. 32930mm) 種類 フロート式</p> <p>(4) 燃料プールライナドレン漏えい 個数 1 計測範囲 (警報設定値) ドレン止め弁 (O.P. 15550mm)より+528mm (O.P. 16078mm) 種類 フロート式</p> <p>(5) 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度 個数 1 計測範囲 0~100℃ 種類 熱電対</p> <p>(6) 燃料貯蔵プール水温度 個数 1 計測範囲 0~100℃ 種類 熱電対</p> <p>(7) 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドパルス式) 個数 水位：1 温度：1 (検出点2箇所) 計測範囲 水位：-4,300mm~7,300mm^{*1} (O.P. 21620mm~O.P. 33220mm) ^{*1}：基準点は、使用済燃料貯蔵ラック上端 (O.P. 25920mm) 温度：0~120℃ 種類 水位：ガイドパルス式 温度：測温抵抗体</p> <p>(8) 燃料交換フロア放射線モニタ</p>	<p>(10) 使用済燃料ピットクレーン (1号、2号及び3号炉共用、既設) 台数 1</p> <p>(11) 燃料取扱棟クレーン (1号、2号及び3号炉共用、既設) 台数 1</p> <p>(12) 新燃料エレベータ 台数 1</p> <p>(13) 燃料移送装置 台数 1</p> <p>(14) ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料取扱装置 台数 1</p> <p>(15) 使用済燃料ピット水位 個数 2 計測範囲 T.P. 32.26~32.76m (水位低警報設定値) 通常水位-0.08m (T.P. 32.58m) (水位高警報設定値) 通常水位+0.07m (T.P. 32.73m) 検出器 超音波式検出器</p> <p>(16) 使用済燃料ピット温度 個数 2 計測範囲 0~100℃ 検出器 測温抵抗体</p> <p>(17) 使用済燃料ピットエリアモニタ</p>	<p>号炉はキャスクピットと使用済燃料ピットが直接接続されているため、燃料取替キャナルは共用化していない。</p> <p>■設備の相違 (MOX燃料)</p> <p>■設備仕様の相違</p> <p>■【大飯】記載の充実 (女川実績の反映)</p> <p>■設備の相違 (個数) ・泊はAピット、Bピットに各1個ずつ設置。</p> <p>■設備の相違 (計測範囲)</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、第23条 計測制御系統施設

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>個数 1 計測範囲 $1\sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$ 検出器 半導体式検出器</p>	<p>個数 1 計測範囲 $10^{-4}\sim 1\text{mSv/h}$ 種類 半導体式 (9) 原子炉建屋原子炉棟排気放射線モニタ 個数 4 計測範囲 $10^{-4}\sim 1\text{mSv/h}$ 種類 半導体式 (10) 燃料取替エリア放射線モニタ 個数 4 計測範囲 $10^{-3}\sim 10\text{mSv/h}$ 種類 半導体式</p>	<p>個数 1 計測範囲 $1\sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$ 検出器 半導体式検出器</p>	